

津市久居消防署南分署建築工事

図 面 リ ス ト					
	意匠図			構造図	
A-00	表紙・図面目録	A-36	会議室兼消防団作戦室 平面詳細図	S-01	構造設計概要
A-01	特記仕様書(1)	A-37	会議室兼消防団作戦室 展開図	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-02	特記仕様書(2)	A-38	1階天井伏図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-03	特記仕様書(3)	A-39	2階天井伏図	S-04	鉄骨構造標準図
A-04	特記仕様書(4)	A-40	1階建具伏図	S-05	露出型弾性固定柱脚工法 設計施工標準図
A-05	特記仕様書(5)	A-41	2階建具伏図	S-06	鉄骨はり貫通孔補強工法 設計施工標準
A-06	特記仕様書(6)	A-42	建具表(1)	S-07	合成スラブ設計・施工標準
A-07	特記仕様書(7)	A-43	建具表(2)	S-08	床型枠用デッキプレート 設計・施工標準
A-08	工事区分表	A-44	建具表(3)	S-09	A L C縦壁ロッキング構法 標準図
A-09	仕上表	A-45	建具表(4)	S-10	ボ-リング 柱状図(1)
A-10	附近見取図・配置図	A-46	雑詳細図(1)	S-11	ボ-リング 柱状図(2)
A-11	求積図・求積表	A-47	雑詳細図(2)	S-12	杭伏図
A-12	室面積求積図・求積表、法坪	A-48	雑詳細図(3)	S-13	基礎・1階梁床伏図
A-13	1階平面図	A-49	雑詳細図(4)	S-14	基礎リスト・地中梁リスト
A-14	2階平面図	A-50	雑詳細図(5)	S-15	2階梁床伏図
A-15	R階平面図	A-51	雑詳細図(6)	S-16	2階+1700 梁床伏図
A-16	北・西立面図	A-52	雑詳細図(7)	S-17	屋階 梁床伏図
A-17	南・東立面図	A-53	雑詳細図(8)	S-18	軸組図(1)
A-18	断面図	A-54	雑詳細図(9)	S-19	軸組図(2)
A-19	断面詳細図(1)	A-55	サイン計画図	S-20	軸組図(3)
A-20	断面詳細図(2)	A-56	ホース乾燥塔 平面図	S-21	軸組図(4)
A-21	断面詳細図(3)	A-57	ホース乾燥塔 立・断面図	S-22	軸組図(5)
A-22	断面詳細図(4)	A-58	懸垂幕昇降装置 組立及び詳細図	S-23	部材リスト
A-23	断面詳細図(5)	A-59	外構平面図	S-24	鉄骨架構詳細図(1)
A-24	屋外階段平面詳細図	A-60	外構詳細図(1)	S-25	鉄骨架構詳細図(2)
A-25	屋外階段断面詳細図	A-61	外構詳細図(2)	S-26	鉄骨架構詳細図(3)
A-26	屋内階段詳細図	A-62	外構詳細図(3)	S-27	鉄骨架構詳細図(4)
A-27	玄関ホ-ル平面詳細図・展開図	A-63	仮設計画図	S-28	鉄骨架構詳細図(5)
A-28	事務室・待機室兼食堂 平面詳細図	A-64	撤去・一時取外し再取付け図	S-29	雑詳細図
A-29	事務室・待機室兼食堂 展開図				
A-30	車庫 平面詳細図				
A-31	車庫 展開図				
A-32	2階平面詳細図(1)				
A-33	2階展開図(1)				
A-34	2階平面詳細図(2)				
A-35	2階展開図(2)				

株式会社市川三千男総合設計

工事特記仕様書

I. 工事名 津市久居消防署南分署建築工事

II. 工事概要

1. 工事場所 三重県津市雲出本郷町 地内

2. 敷地面積 1,993.24㎡

3. 工事内容

棟名称 津市久居消防署南分署

構造 鉄骨造 2階建て

建築面積 511.19㎡

延べ面積 873.09㎡

工事項目 建築工事、外構工事

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章

項目

特記事項

①

①適用基準等

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。

1) 建築工事標準詳細図

国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成28年版）

2) 建築物解体工事共通仕様書

国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（平成28年版）

3) 津市公共建築物等木材利用方針

②

②施工条件

施工方法及び検査に関する事項

※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。

※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。

※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。

※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。

※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないように万全の注意を払うこと。

※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。

※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。

※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。

※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。

※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

③

発生材の処理等

（1.3.11）

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他 （ 防砂フェンス ）	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用

・引渡を要するもの（・無・）

・特別管理産業廃棄物・有（ ）処理方法（ ）

・アスベスト成形板等解体時の留意点

1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。

2.可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。

3.飛散されない様にするここと。

4.保護具及び作業着を着用すること。

5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。

6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

・再資源化を図るもの・コンクリート塊
・アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。

また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

適用する

職種別に可能なものについては積極的に活用のこと

④

建設副産物情報交換システムの利用

6.電気保安技術者

（1.3.3）

7.技能士

（1.5.2）

⑤

三重県産業廃棄物税

⑧

建築材料等

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。

2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校 教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（○・図示（図面番号： ） ・（ ））

測定方法（○・）バッシブ法 ・アクティブ法 ）

報告書提出部数 2部

10. 特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫ 工事写真

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。

提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

⑬ 完成図書

（1.7.2）

・作成する（○・完成図（○・保全に関する資料 ・（ ））

・完成図作図範囲（設計図を訂正）

完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

⑭ 完成写真

・デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部

箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。

写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮ 設備工事との取合い

施工範囲

・図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強

・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強

・駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図

・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯ 設計GL

・ 図示のベンチマーク(B.M) KBM±0=+1.05mm
(現状地盤はB.M mm)

⑰ 養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

⑱ 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲ 消防法関係の手続き

1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成

・本工事（○・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事）

・別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

⑳ 労働安全衛生法に基づく労働生害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉑

不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項

市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

22. 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

仮設工事

1. 監督員事務所
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所
の備品
(2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入 電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき銅板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

3. 仮設便所

構内既存の施設
・利用できる
・利用できない

4. 工事用水

構内既存の施設
・利用できる（ ・有償 ・無償 ）
○利用できない

5. 工事用電力

構内既存の施設
・利用できる（ ・有償 ・無償 ）
○利用できない
本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に
起因する電力料金は本工事に含まれる。

6. 足場

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン
（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場
に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する
足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法に
よる足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)
手すり先行専用足場方式により行うこと。

7. 交通誘導警備員

配置 ○ 図示

3
土
工
事

1. 埋戻し及び盛土
(3.2.3)
(表3.2.1)

2. 建設発生土
の処理
(3.2.5)

3. 山留めの撤去
(3.3.3)

種別 ○ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種

○ 自由処分
・ 処分地指定 処分地（ ）
・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

4. 山留めの撤去
(3.3.3)

・ 撤去 ・ 存置

4
地
業
工
事

1. 杭の施工管理

杭工事特記仕様書による。

2. 適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するため
に講ずべき措置」（平成28年3月4日）

3. 施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭
の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付し
たうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート
紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代
替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておく
こと。

4. 根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した
施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的
な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、
保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項
（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定によ
る引渡しを受けた日から10年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または
提示しなければならない。

5. 試験杭及び
試験掘 (4.2.2)

・ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）
○ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示

6. 杭の支持地盤

支持地盤の位置、種類 ○ 図示 ・（ ）

（ ）mm以下

7. 水平方向の
位置ずれ

（ ）mm以下

8. 杭の載荷試験
(4.2.3)

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・（ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN）
報告書 ・ 提出部数 2部

9. 地盤の載荷
試験 (4.2.4)

試験方法 ・ 平板載荷 ・（ ）
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN）
報告書 ・ 提出部数 2部

10. 既製コンクリート
杭 (4.3.2)

○ PHC杭
○ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種

(4.3.3)

○ SC杭

(4.3.4)

・ PRC杭

(4.3.5)

○ 上記以外の建築基準法に基づく杭 ※構造特記による
(参考表)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計 支持力(kN/本)	備考
※S-12	杭リストによる					

先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型

施工方法
・ 打込み工法 設計支持力（ ）
打込み杭の推定支持力の算定方法（ ）

・ 打撃工法
・ プレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm）
・ セメントミルク工法
・ オーガーの支持地盤への掘削深さ
・（ ）m ・ 図示（図面番号： ）
・ 杭の支持地盤への根入れ深さ
・（ ）m ・ 図示（図面番号： ）
・ 特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
継手 ・ アーク溶接 ○ 無溶接継手（工法： ）
杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない

11. 鋼杭地業
(4.4.2)

(表4.4.2)

(4.4.4)

長さ（ ）m

(4.3.3)

先端形状 ・ 開放形 ・（ ）

(4.3.5)

補強方法 ・ 補強バンド ・（ ）

(4.3.6)

継手 ・ JISA5525(鋼管ぐい)

(4.3.7)

施工方法
・ 打込み工法 設計支持力（ ）
打込み杭の推定支持力の算定方法（ ）

・ 打撃工法
・ プレボーリング打撃併用工法
（掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm）
・ 特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない

12. 場所打ち
コンクリート
杭地業
(4.5.3)

(4.5.4)

(4.5.5)

施工方法
・ アースドリル工法
・ リバース工法
・ オールケーシング工法
・ 鋼管コンクリート杭工法
掘底 ・ 行わない ・ 行う（ ）
孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない

5
鉄
筋
工
事

1. 鉄筋の種類
(5.2.1)

種類の記号	径	備 考
○SD295A	○D16以下	
・SD295B	・（ ）	
○SD345	○D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

2. 溶接金網
(5.2.2)

網目の形状、寸法
鉄線の径（mm） ・ 4 ・ 5 ○6 ○（3.2）
寸法（mm） ・ 100×100 ○150×150 ○（50×50）

3. 内法直径
(5.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径 ○ 図示（図面番号： S-02）

	径	部 位
○重ね継手	D16以下	
○ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
・ 標準仕様書[5.3.4](c)(1)
・ 図示（図面番号： ）

継手位置
・ 各部配筋参考図による
・ 図示（図面番号： ）

鉄筋定着
・ 標準仕様書[表5.3.4] ・ 図示（図面番号： ）

5. 鉄筋のかぶり
厚さ及び間隔
(5.3.5)

軽量コンクリートで土に接する部分
○ 無し ・ 有り(適用箇所：)
最小かぶり厚さ（ ）mm
耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等)
○ 無し ・ 有り(適用箇所：)
最小かぶり厚さ（ ）mm

6. 各部配筋
(5.3.7)

○ 図示

7. 圧接完了後の
試験 (5.4.9)

8. 機械式継手
及び溶接継手
(5.5.2)

・ 機械式継手 種類() 工法()
品質の確認方法()
不良部分の修正方法()
鉄筋相互のあき()mm

・ 溶接継手 工法()
品質の確認方法()
不良部分の修正方法()
鉄筋相互のあき()mm

6
コン
ク
リ
ー
ト
工
事

1. コンクリートの
使用骨材による
種類及び強度
(6.2.1)
(6.2.2)
(6.2.4)
(6.11.1)
(6.11.3)
(6.10.1)

2. コンクリートの
類別 (6.2.1)
(表6.2.1)

3. コンクリート
の仕上り
(6.2.5)

4. セメント
(6.3.1)
(表6.3.1)

5. 骨材
(6.3.1)

6. 混和材料
(6.3.1)
(6.3.2)

7. 型枠
(6.8.2)
(6.8.3)
(表6.8.1)

8. コンクリート
強度試験
(6.9.3)

9. 寒中コン
クリート (6.11.2)

10. 暑中コン
クリート (6.12.2)

11. マスコン
クリート
(6.13.1)
(6.13.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適 用 箇 所	施工時期	スランブ
・			・ 18 (cm)
・			
・			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位 容積質量	スランブ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分 図示（図面番号： ）

類別 ○ I 類 ・ II 類
・ 大臣認定品 図示（図面番号： ）

合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種類
・ A種 ○ B種 ・ C種

種類 ○ 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種
・（ ）
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・ 適用箇所 図示（図面番号： ）

アルカリシリカ反応性による区分
○ AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・ A(安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工
事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、
試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、
生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・ 特殊な骨材の使用
・ フェロニッケルスラグ細骨材
・ 鋼スラグ細骨材
・ 電気炉酸化スラグ骨材
・ 再生骨材 H

混和材料 ・ 図示（図面番号： ）
混和剤の種類、使用方法、使用量
○ 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)
・（ ）
混和材の種類、使用方法、使用量
○ 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)
・（ ）

材料 ○複合合板（厚さ（mm） ○ 12 ・（ ））
打増し厚さ ○ 図示
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

・ 断熱材の兼用
・ MCR工法用シート
スリーブの材種、規格等
○ 標準仕様書[表6.8.1] ・ 図示（図面番号： ）

圧縮強度試験の供試体の材齢
○ 材齢28日 ・ 型枠脱型用
○ 材齢28日を超え91日以内

適用期間（ ）
○ 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める

構造体強度補正值(S)
○ 6 N/mm² ・（ ）

適用箇所 ・ 図示（図面番号： ）
セメントの種類
・ 中熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 普通ポルトランドセメント

原図：A2

株 式 会 社	市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設 計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年 月 日	縮 尺 A2 ー	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図 名 特記仕様書(2)	NO. A — 02 / 64
---------	-----------	---	------------------------------	------	-------	-------------	-----------------------	-----------------	--------------------

⑥シーリング

(9.7.2)

(9.7.3)

(表9.7.1)

(9.7.5)

・標準仕様書[表9.7.1]による

施工箇所	目地寸法	種類
ALC・RC取合い、打継目地	20×10	PU-2
防水押え金物天端、小口取合い、幕板立木取合い	15×10	MS-2
建具周囲	20×10	〃
面台	10×10	SR-1
タイル見切り	15×10	PS-2

接着性試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

1.天然石

(10.2.1)

(表10.2.1)

(表10.2.2)

(10.1.3)

(10.1.5)

(表10.2.1)

(10.3.2)

使用部位	種類(名称)	品質	寸法・厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	形状
床		・2等		・粗磨き ・()		
壁		・1等		・水磨き ・()		

割付

・標準仕様書[10.1.3](a)

・図示(図面番号:)

粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ

・()

清掃における床面ワックス

・使用する

ジェットバーナー仕上げ面

・手加工あり

・機械加工パフ仕上げあり

石裏面処理

・適用する

石裏面処理

・適用する

2.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・()

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・300型 ・400型	・()

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上
	・大理石	・1.5～12mm	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・()	・()

(10.1.3)

(10.1.5)

割付

・標準仕様書[10.1.3](a)

・図示(図面番号:)

清掃における床面ワックス

・使用する

3.その他の材料

(10.3.2)

取付用モルタル

・図示(図面番号:)

目地用モルタル

・図示(図面番号:)

石裏面処理材

・図示(図面番号:)

裏打ち処理材

・図示(図面番号:)

ドレンパイプ

・図示(図面番号:)

充填材料

・図示(図面番号:)

4.外壁湿式工法

(10.2.2)

(10.2.3)

(10.3.2)

(10.3.3)

受け金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ

クロスメッシュ巻き

25～35φ

・()

下地ごしらえ

・流し筋工法

・あと施工アンカー工法

・あと施工アンカー横筋流し工法

アンカーの材質及び径

・SS400 M12

・()

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・6以上

・()

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書[表11.1.1]

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

5.内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

受け金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

下地ごしらえ

・あと施工アンカー横筋流し工法

・あと施工アンカー工法

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・6以上

・()

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地

位置

・6mごと

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

6.乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(10.5.3)

取り付け工法

・スライド方式

・ロッキング方式

たば用穴の位置

・図示(図面番号:)

風圧力に対応した工法

・図示(図面番号:)

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・8以上

・()

シーリング材

・適用する

7.床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

目地

一般目地

目地幅(mm)

・屋内4mm以上、屋外3～6mm

・図示(図面番号:)

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地

位置

・標準仕様書[10.6.2](e)(2)(i)

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

8.アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.7.1)

(10.7.2)

取付工法

・外壁湿式工法

・内壁空積工法

・乾式工法

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](c)

・()

吊金物及び化粧吊りボルト

・設ける

吊金物

・ステンレス(SUS304)

径6mm長さ80mm(加工物)

吊りボルト

・ステンレス(SUS304)

M10

化粧ナット付き

及び他の部材と取り合う箇所

アンカーの材質及び径

・()

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

目地

一般目地

目地幅(mm)

・6以上

・()

伸縮調整目地

位置

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

9.笠木、甲板等

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.5.3)

(10.7.1)

(10.7.3)

取付工法

・外壁湿式工法

・内壁空積工法

・乾式工法

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](c)

・()

取付け代(乾式工法の場合)(mm)

・標準仕様書[10.5.3](b)

・()

アンカーの材質及び径

・()

あと施工アンカーの材質及び形状

・()

石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)

・適用する

図示(図面番号:)

目地

一般目地

目地幅(mm)

・()

シーリング材

・適用する

伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)

位置

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上

・図示(図面番号:)

10.隔て板

(10.7.4)

石材の厚さ

・()

11.タイル工事

1.伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)

2.陶磁器質タイル張り

(表11.2.3)

(11.2.2)

(11.3.2)

(11.3.4)

(表11.3.2)

施工箇所	形状寸法	工法	耐滑り性	区分(きじ)	Ⅰ類(磁器)	Ⅱ類(せつ器)	Ⅲ類(陶器)	うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性
玄関前・土	150×150		○	○						標準色	
〃	300×300[点字タイル]			○						標準色	
風呂室	150×150			○						標準色	
男子便所	汚垂タイル t5 端部加工			○						標準色	
足洗い	50×50タイル タタキタイル			○						標準色	

・役物

()

・タイルの試験張りを行う

・見本焼きを行う

セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事

コンクリート素地面の処理

・適用箇所

図示(図面番号:)

・目荒し工法

・MCR工法

接着剤あと張り工事

シーリング材

打継、ひび割れ誘発目地

・PU-2

・()

伸縮、その他目地

・MS-2

・()

種別

・タイルシート法

・目地樹法

・桟木法

タイル型枠先付け面のせき板の種別

・()

3.陶磁器質タイル型枠先付

(表11.4.1)

(11.4.2)

(11.4.3)

12.木工事

①.木材

(12.1.4)

(表12.1.1)

(12.2.1)

(12.4.1)

(12.5.1)

(12.6.1)

(12.7.1)

(表12.2.1)

見え掛り部の表面仕上げ

・A種

・B種

・C種

適用箇所

()

木材の含水率

部材名称	種別
下地材	・A種 ・B種
造作材	・A種 ・B種

樹種

・図示

②.製材

(12.2.1)(b)(1)

製材

「製材の日本農林規格」による製材

	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	
造作用針葉樹製材	・図示(図面番号:)	・()	
広葉樹製材	・ワツ合板	・(1級)	・10%以下

「製材の日本農林規格」以外の製材

樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率

・図示(図面番号:)

造作材の材面の品質

・A種

・()

樹種

部位	樹種	県産材

代用樹種の使用

・禁止する

(12.2.1)(b)(2)

(表12.2.2)

(表12.2.3)

③集成材等

(12.2.1)

4.単板積層材

(12.2.1)

5.床張り用合板及びその他の合板

(12.2.1)

6.防腐・防蟻処理

(12.3.1)

(12.3.2)

13.屋根及びとい工事

1.長尺金属板葺

(13.2.2)

(13.2.3)

(表13.2.1)

2.折板葺

(13.3.2)

(13.3.3)

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

	樹種・寸法・形状	等級	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・〃集成材	・(1等)	
化粧ばり造作用集成材	・図示	・()	
化粧ばり構造用集成材	・図示		

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率

・図示(図面番号:)

造作材の材面の品質

・A種

・()

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

厚さ、表面の品質及び防虫加工

・図示(図面番号:)

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工

・図示(図面番号:)

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
耐水合板	ワツ	I類	2級以上	C-D以上	K1	9mm

構造用合板の強度等級

・図示(図面番号:)

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等

・図示(図面番号:)

薬剤加圧注入

適用部位、保存処理性能区分

・図示(図面番号:)

薬剤の塗布等

処理方法

・標準仕様書[12.3.1](3)(ii)

・()

ボード原料接着剤への薬剤混入

・()

防虫処理

・()

1.長尺金属板葺

(13.2.2)

(13.2.3)

(表13.2.1)

2.折板葺

(13.3.2)

(13.3.3)

屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考
	・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	・0.4	・アスファルトルーフィング940	

耐風圧及び積雪荷重に対応した工法

・図示(図面番号:)

雪止め

・図示(図面番号:)

緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分
・重ね形	・0.8 ・0.6	・90 ・()	・()	・()
・はぜ締め形		・塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合板めっき鋼板 ・()		・あり ・なし

断熱材

種別

・ガラス繊維シート

・()

厚さ(mm)

・5

・()

防火性能

・()

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・図示(図面番号:)

原図：A2

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 一級建築士 TEL (059) 222-0082 FAX (059) 222-0659 第266489号 山口 裕之

設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之

整理番号

年 月 日

縮 尺 A2 ー

工事名 津市久居消防署南分署建築工事

図 名 特記仕様書(4)

NO. A-04 / 64

3.粘土瓦葺

(13.4.2)

(13.4.3)

種 類

大 き さ

産 地

役物の種類

棟の工法

雪止め瓦 ・ 使用する
瓦棧木の材種、寸法 ・ 杉又は桧 21×15 ・ ()
棟補強用心材の材質、寸法 ・ 杉又は桧 40×30 ・ ()
下葺材料の種類 ・ ()
風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示 (図面番号：)
桧木の留付け工法 ・ 図示 (図面番号：)
棟の工法 ・ 標準仕様書[13.4.3](d) ・ 図示 (図面番号：)

4.とい

(13.5.2)

(表13.5.1)

(13.5.3)

(表13.5.5)

1.あと施工アンカー

(14.1.3)

2.ステンレス

(14.2.1)

3.アルミニウム

(14.2.2)

(表14.2.1)

4.鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

5.軽量鉄骨

天井下地

(14.4.2)

(表14.4.1)

(14.4.3)

(表14.4.2)

(14.4.4)

6.軽量鉄骨壁

下地

(14.5.3)

(表14.5.1)

7.金属成形板

板張り

(14.6.2)

(14.6.3)

8.アルミニウム製笠木

(14.7.2)

(14.7.3)

(表14.7.1)

9.手すり

(14.8.2)

10.タラップ

(14.8.3)

種 類	大 き さ	産 地	役物の種類	棟の工法

雪止め瓦 ・ 使用する
瓦棧木の材種、寸法 ・ 杉又は桧 21×15 ・ ()
棟補強用心材の材質、寸法 ・ 杉又は桧 40×30 ・ ()
下葺材料の種類 ・ ()
風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示 (図面番号：)
桧木の留付け工法 ・ 図示 (図面番号：)
棟の工法 ・ 標準仕様書[13.4.3](d) ・ 図示 (図面番号：)

材種 ()・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管)
・ (ステンレス製)
鋼管製といの防露巻工法
・ 標準仕様書[表13.5.5] ・ ()

引抜き耐力の確認試験 ・ 実施する
設計用引張強度 ・ ()
表面仕上げ ()HL仕上げ ()ﾊﾞﾌ仕上げ)
表面処理の種類
・ A-1 ・ A-2 ()B-1 ()B-2 ・ C-1 ・ C-2 ・ D
常温乾燥形の塗装 ・ ()
陽極酸化被膜の着色方法 ()二次電解着色 ・ ()
亜鉛めっきの種類
()A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
野縁などの種類
屋内 ()19形 ・ ()
屋外 ()25形 ・ ()
屋外の野縁受等の間隔 ()標準仕様書[14.4.2]
吊りボルトの補強方法 (@900mm超) ()標準仕様書[14.4.4]
吊りボルトの水平補強、斜め補強
()天井ふところ≧1.5m ()標準仕様書[14.4.4](h)
・ 図示 (図面番号：)
・ 天井ふところ>3.0m 図示 (図面番号：)
・ 耐震天井 図示 (図面番号：)
・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号：)
スタッド、ランナーの種類
()標準仕様書[表14.5.1] ・ 図示 (図面番号：)
スタッドの高さ5m超
・ 図示 (図面番号：)
施工箇所
材 種 ()アルミニウム
・ ステンレス ・ 鋼
形 状 ()スパンドレル形
・ パネル形
表面処理 ()カラー電解着色
取付け用下地 ・ 図示 (図面番号：)
長尺ものにおける伸縮調整継手
・ 設ける 図示 (図面番号：)
部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ()350形
表面処理 ()
固定方法 ()図示
材種 表面処理の種類 施工箇所
アルミニウム ・ 標準仕様書[表14.2.1]の種類()種) 屋内階段
()ﾋﾞｰﾙ樹脂)
鋼 ・ 標準仕様書[表14.2.2]の種類()種)
()
ステンレス ・ HL程度
・ () スロープ
材種 表面処理の種類 施工箇所
鋼 ・ 標準仕様書[表14.2.2]の種類()種)
ステンレス ()ﾀﾞﾝﾊﾞﾌ研磨、ﾛｰﾚｯﾄ加工、一部HL 一階屋根上

11.天井見切縁

12.点検口

15.左官工事

1.モルタル塗り

(15.2.2)

(15.2.5)

2.珪弗レベリング

(15.4.2)

3.仕上塗材仕上

(15.5.2)

(表15.5.1)

材種 ()アルミニウム合金製 ()塩化ビニル製

取付箇所	材種	寸法	形式
()天井	()アルミニウム製	()450角 ()600角	()額縁タイプ ()目地タイプ
()壁	()アルミニウム製	()450角 ()600角	()額縁タイプ

既製目地材 ()使用する 図示
床の目地 ・ 図示 (図面番号：)
下地モルタルの接着力試験 (外壁タイル張り等) ・ 実施する
種類 ・ せっこう系 ()セメント系

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け
	・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラク	
	()	()	()

厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	ｽﾀｯｺ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け
			・ 平たん状 ・ 凹凸状	・ こて
	・ 外装厚塗材Si	ｽﾀｯｺ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	・ 吹付け
			・ 平たん状 ・ 凹凸状	・ こて
	・ 外装厚塗材E	・ ひき起こし	・ ローラー	
	()	()	()	

複層仕上塗材	()複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水型複層塗材E ・ 防水型複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ()凹凸状	・ ローラー ()吹付け
	()	()	()

軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付け用軽量塗材 ・ こて塗用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて
--------------	--------------------------	-----------------	---------------

内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)
・ JIS A 6909 調湿形
複層仕上塗材の耐候性 ()耐候形3種 ・ ()
外装厚塗材Cの上塗材
・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量() kg/㎡
複層仕上塗材の上塗材の種類

樹 脂 種 類	溶 媒 種 類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
()ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	()水系 ()艶有 ・ 艶無	

ALCパネルの内壁目地 ()V形目地付き ・ ()
仕上塗材の所要量等の確認方法 ・ 標準仕様書[表15.5.4] ・ ()
種類 ・ A種 ・ B種
仕上材塗り 種類 ()
仕上吹付け厚さ () mm

4.マステック塗材塗り (15.6.2) (表15.6.1)

5.ロックウール吹付け (15.8.3)

16.建具工事

1.防火戸

(16.1.3)

2.見本の製作等

(16.1.4)

3.防犯建物部品

(16.1.6)

4.防火製建具

(16.2.2)

(16.2.4)

(表16.2.1)

(表14.2.1)

(16.2.5)

5.網戸

(16.2.3)

6.樹脂製建具

(16.3.2)

(16.3.3)

(16.3.4)

(16.8.2)

7.鋼製建具

(16.4.2)

(表16.4.1)

(表16.2.1)

(16.4.3)

(16.4.4)

(表16.4.2)

8.鋼製軽量建具

(16.5.2)

(16.5.3)

(16.5.4)

9.ステンレス製建具

(16.6.2)

(16.6.3)

(16.6.4)

(16.6.5)

防火戸の指定 ()図示
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動するもの
・ 図示 (図面番号：)
建具見本の製作 ・ 実施する
特殊な建具の仮組 ・ 実施する
防犯建物部品 ・ 図示 (図面番号：)
外部建具の性能等級等
・ A種 ()B種 ・ C種 ・ ()
表面処理 種別 ・ B-2 ()A-1 ()標準色 ・ 特注色
内部建具
表面処理 種別 ・ B-2 ・ () ()標準色 ・ 特注色
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ ()等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ ()等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ ()等級)
建具の見込み寸法 () [表16.2.1] ・ 図示 (図面番号：)
結露水の処理方法 ・ ()
水切り板、ぜん板等 ・ 図示 (図面番号：)
形式 ()可動式 ・ 固定式
網の材質 ・ 合成樹脂 ・ ガラス繊維入り合成樹脂
()ステンレス (SUS316) ・ ()
網 目 ・ 16メッシュ ()8メッシュ ・ ()
外部建具の性能等級等
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ ()
外部建具の遮音性能等級
・ T-A種 ・ T-B種 ・ ()
外部建具の断熱性能等級
・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 ・ ()
ガラス ・ 複層ガラス ・ ()
建具枠見込み寸法 ・ 図示 (図面番号：)
表面色 ・ 標準色 ・ 特注色
水切り板 ぜん板 ・ 図示 (図面番号：)
丁番 ・ [表16.8.3] ・ 図示 (図面番号：)
簡易気密型ドアセット ()図示
外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ()S-5 ・ S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ ()等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ ()等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ ()等級)
鋼板の種類、めっき付着量
()JIS G 3302 ()Z12 ・ F12 ・ ()
・ JIS G 3317 ・ Y08 ・ ()
鋼板類の厚さ () [表16.4.2] ・ 図示 (図面番号：)
H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号：)
簡易気密型ドアセット ()図示 (図面番号：)
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ ()等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ ()等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ ()等級)
鋼板類の表面仕上げ
・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ()カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
召し合せ、縦小口包み板等の材質
()鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合板押出型材
鋼板類の厚さ () [表16.5.1] ・ 図示 (図面番号：)
H>2400超 又は W>950超 ・ 図示 (図面番号：)
簡易気密型ドアセット ・ 図示 (図面番号：)
外部建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
防音ドアセット、防音サッシの遮音性 ・ ()等級)
断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性 ・ ()等級)
耐震ドアセットの面内変形追随性 ・ ()等級)
ステンレス鋼板 ・ SUS304 ・ ()
表面仕上げ ・ HL ・ 鏡面仕上げ
曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

10.木製建具

(16.7.2)

(表16.7.1)

(表16.7.6)

(表16.7.3)

(16.7.4)

11.建具用金物

(16.8.2)

(表16.8.1)

(16.8.3)

(16.8.4)

12.自動ドア開閉装置

(16.9.2)

(表16.9.1)

(表16.9.2)

(16.9.3)

13.自閉式上吊り引戸装置

(16.10.3)

14.重量シャッター

(16.11.2)

(表16.11.1)

15.軽量シャッター

(16.12.2)

(表16.12.1)

(16.12.3)

(16.12.4)

16.オーバーヘッドドア

(16.13.2)

(16.13.3)

17.ガラス

(16.14.2)

(16.14.3)

(16.14.4)

(表16.14.1)

18.ガラスブロック積み

(16.14.5)

建具材の含水率 ・ A種 ()B種 ・ C種
フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
種類、材面の品質 ()図示
接着の程度 ()1類 (水掛り)、2類 (その他) ・ ()
フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ ()標準仕様書[表16.7.6] ・ ()
引戸の召合わせ ・ いんろう付き 図示 (図面番号：)
かまち戸 かまち、鏡板の樹種 ・ 図示 (図面番号：)
ふすま 上張の種類 ・ 図示 (図面番号：)
縁の仕上げ ・ 図示 (図面番号：)
枠及びくづずりの材料 ()図示
戸の見込み寸法 ()図示
マスターキー ()製作する ・ 製作しない
()監督員と協議の上システムを決定する
キーボックス ()要 ・ 不要
金物の種類、見え掛かり部等の材質等
()標準仕様書[表16.8.1] ・ 図示 (図面番号：)
レバーハンドル、クレセント等の取付け位置
()監督員と協議の上システムを決定する
開閉方法
()スライディングドア ・ スイングドア
・ 図示 (図面番号：)
センサー種類 ()図示
性能値
スライディングドア ()標準仕様書 [表16.9.1] ・ ()
スイングドア ・ 標準仕様書 [表16.9.2] ・ ()
性能値
()標準仕様書 [表16.10.1] ・ ()
シャッターの種類 ()図示
開閉機能による種類 ()図示
管理用シャッター、外壁用防火シャッター
()耐風圧強度(メーカー仕様による)
管理用シャッターのシャッターケース ・ 図示 (図面番号：)
鋼板の種類 ・ 図示 (図面番号：)
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
開閉機能による種類 ・ 図示 (図面番号：)
・ 耐風圧強度(Pa 以上)
スラットの材質、めっき付着量
()JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()
・ JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()
スラットの形状
・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール
・ スチールタイプ ()バランス式 ()スタンダード形 ・ 溶融亜鉛
()アルミニウム ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 めっき鋼板
タイプ ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ()ステンレス
・ ファイバー ・ パーチカル形
ガラスタイプ
耐風圧性能の区分 JIS A 4715 () (1250)
板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等
()図示
留め材 ()シーリング ・ ガスケット()
ガラス溝の寸法、形状等
()標準仕様書[表16.14.1] ・ 図示 (図面番号：)
熱線反射ガラスの映像調整 ・ 実施する
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号：)
壁用金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号：)
力骨の材質等 ・ SUS304、φ5.5はしご形状複筋、単筋 ・ ()
化粧目地モルタルの色 ・ ()
シーリング材の種類 ・ ()
化粧カバーの材質、形状等 ・ 図示 (図面番号：)
風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号：)
目地幅、伸縮調整目地 ・ 標準仕様書[16.14.5](b)(2) ・ ()

原 図：A2

	株 社 市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0082 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設 計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年 月 日	縮 尺 A2 ー	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図 名 特記仕様書(5)	NO. A ー05 / 64
--	---------------	--	---------------------------	------	-------	----------	--------------------	--------------	----------------

ユニット及びその他工事	5. 階段滑り止め (20. 2. 6)	・ ステンレスSUS304製　ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・ () 寸法　・ 約35mm　・ 図示(図面番号：) 工法　・ 接着工法　・ 埋込み工法	排水工事	1. 排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	排水管用材料	<table><tr><th>材種</th><th>管の種類</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>VP</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材種	管の種類	呼び径	備考	・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP											3. アスファルト舗装 (22. 4. 2)～ (22. 4. 6) (表22. 4. 1)～ (表22. 4. 6)	舗装厚　・ A-5-15　・ () ・ A-3-10　・ () 表層及び基層の種類 ・ 加熱アスファルト混合物　・ 再生加熱アスファルト混合物 路盤材料 ・ クラッシャラン　・ 再生材クラッシャラン　・ (切込碎石) シールコートの施工　・ 行う(適用範囲　図示(図面番号：)) 試験　・ アスファルト混合材等の抽出試験	外構工事	4. 新植樹木の枯補償 (23. 3. 4)	引渡しの日から　・ 1年　・ ()						
	材種	管の種類		呼び径	備考																												
	・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP																															
	6. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 8)	黒板の種類　・ 焼付け　・ () 黒板の色　・ 緑　・ () ホワイトボードの種類　・ 図示 厚さ　・ 5mm　・ (mm)		2. 排水樹等 (21. 2. 1)	・ 排水樹 種類及び寸法　・ 図示 ・ 適用荷重 () ・ 排水溝 種類及び寸法　・ 図示(図面番号：) ・ ふた/グレーチングの種類	5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3)	種類 ・ 加熱系　構成及び厚さ () 混合物　・ アスファルト　・ 石油樹脂系 添加材　・ 着色骨材　・ 自然石 ・ 常温系 着色部下部　・ アスファルト舗装　・ コンクリート舗装	7. 屋上緑化 (23. 5. 3) (23. 5. 4)	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ　・ 図示(図面番号：) 排水量　・ 軽量骨材(層の厚さ：)　・ 板状成形品 植込み用土　・ 改良土　・ 人工軽量土 樹木の材種　図示(図面番号：) 寸法　図示(図面番号：) 株立数　図示(図面番号：) ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号：) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示(図面番号：) 支柱　・ 図示(図面番号：) かん水装置　・ 図示(図面番号：)																								
	7. 鏡 (20. 2. 14)																																
	8. 表示 (20. 2. 10)	<table><tr><th>区分</th><th>材質</th><th>厚さ</th><th>寸法</th><th>印刷等の種類</th><th>取付方法</th></tr><tr><td>○ 室名札 ・ ()</td><td>・ アクリル ○ 7mm型材</td><td>○ 8mm</td><td>○ 254 × 80</td><td>・ シルク スクリーン印刷 ○ カッティングシート</td><td>○ ビス留め</td></tr><tr><td>○ 仮設置札 ・ ()</td><td>・ アクリル ○ 7mm型材</td><td>○ 3mm</td><td>○ 214 × 132</td><td>・ シルク スクリーン印刷 ○ UV印刷</td><td>○ ビス留め</td></tr></table> ・ 衝突防止表示　図示 ・ 非常用進入口表示　図示(図面番号：)		区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法	○ 室名札 ・ ()	・ アクリル ○ 7mm型材	○ 8mm	○ 254 × 80	・ シルク スクリーン印刷 ○ カッティングシート	○ ビス留め	○ 仮設置札 ・ ()	・ アクリル ○ 7mm型材	○ 3mm	○ 214 × 132	・ シルク スクリーン印刷 ○ UV印刷	○ ビス留め	3. 地業の材料 (21. 2. 1)	・ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利又は切込碎石 ・ 砂の粒度試験	6. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (表22. 7. 1)		舗装材料及び厚さ ストレートアスファルト 厚さ(mm)　・ ()　・ 図示(図面番号：)	24. 1. 旗竿	材種　・ アルミニウム製　・ () 形式　・ テーパー付き　・ ロープ式　・ ハンドル式 脚部　・ 埋込式　・ ベース式 高さ(m)　・ 5　・ 6　・ 7　・ 9					
	区分	材質		厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法																										
	○ 室名札 ・ ()	・ アクリル ○ 7mm型材		○ 8mm	○ 254 × 80	・ シルク スクリーン印刷 ○ カッティングシート	○ ビス留め																										
○ 仮設置札 ・ ()	・ アクリル ○ 7mm型材	○ 3mm	○ 214 × 132	・ シルク スクリーン印刷 ○ UV印刷	○ ビス留め																												
9. 煙突ライニング (20. 2. 11)	煙突用成形ライニング材　・ ゴノライト系けい酸加硫 ・ 心材付き繊維積層 適用安全使用温度　・ (℃)	4. 埋め戻し土 (21. 2. 2)	・ B種　・ A種　・ C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土	遠心力鉄筋コンクリート管 厚さ、種類　・ 図示(図面番号：) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類　・ 図示(図面番号：) 継手　・ 接着剤　・ ゴム輪	7. ブロック系舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)	<table><tr><th>舗装</th><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ コンクリート 平板舗装</td><td>・ 普通平板 ・ 透水平板 ・ ()</td><td>・ 300角 ・ ()</td><td>・ 60 ・ ()</td><td>目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td></tr><tr><td>・ インター ロッキング ブロック舗装</td><td>・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック</td><td></td><td>車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()</td><td>表面加工 ・ 標準品 ・ ()</td></tr><tr><td></td><td>・ 植生用ブロック</td><td></td><td>・ 80 ・ 100</td><td></td></tr><tr><td>・ 舗石舗装</td><td>・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()</td><td></td><td>・ 80～100</td><td>施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装</td></tr></table>	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板 ・ ()	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ ()		・ 植生用ブロック		・ 80 ・ 100		・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80～100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装	4. 駐車場案内サイン	・ 図示
舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																													
・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板 ・ ()	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																													
・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ ()																													
	・ 植生用ブロック		・ 80 ・ 100																														
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80～100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装																													
10. ブラインド (20. 2. 12)	<table><tr><th>形式</th><th>スラット</th><th>開閉方式</th><th>スラットの成形幅(mm)</th><th>ヘッドボックス・ボトムレールの種類</th></tr><tr><td>・ 横形 ブラインド</td><td>・ アルミニウム 合金 ・ ()</td><td>・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td><td>・ 25 ・ ()</td><td>・ 鋼製 ・ ()</td></tr><tr><td>・ 縦形 ブラインド</td><td>・ アルミニウム 合金 ・ ()</td><td>・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()</td><td>・ 80 ・ 100 ・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table>	形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類	・ 横形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()	・ 縦形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()	・ ()	5. 施工 (21. 2. 2)	コンクリート緑石、側溝 形状、寸法　・ 図示 地業 材料　・ 標準仕様書[4. 6. 2]　・ 図示 厚さ　・ 100mm　・ 図示(図面番号：)	8. 砂利敷き (22. 9. 2)	・ 通路部　・ A種　・ B種　・ () ・ 建物周囲　・ B種　・ A種　・ ()	5. ガードパイプ	・ 図示											
形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類																													
・ 横形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()																													
・ 縦形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()	・ ()																													
11. ロールスクリーン (20. 2. 13)	操作方法　・ スプリング式　・ チェン式　・ 電動式 寸法及び材質種　・ 図示	6. 街きょ 緑石、側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2)																															
12. カーテン及びカーテンレール (20. 2. 14)	カーテンの形式等 <table><tr><th>きれ地</th><th>ひだの種類</th><th>形式</th><th>開閉操作</th></tr><tr><td>・ ドレープ ・ レース ・ 図示()</td><td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ　・ つまひだ ・ ブレーンひだ　・ 片ひだ</td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td></tr><tr><td>・ 暗幕 (遮光()級)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table> カーテンレール　・ アルミ製　・ ステンレス製 強さ区分　・ 10-90　・ () 形状　・ シングル　・ ダブル 断面形状　・ 角形　・ C形　・ D形	きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作	・ ドレープ ・ レース ・ 図示()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ　・ つまひだ ・ ブレーンひだ　・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ 暗幕 (遮光()級)	・ ()	・ ()	・ ()	22. 舗装工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 2) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料(厚さは図示(図面番号：)) ・ 遮断層　・ 川砂　・ 海砂又は良質な山砂 ・ 凍上抑制層　・ 切込み砂利　・ 砂　・ () ・ フィルター層　・ 砂 路床安定処理　・ 行う 添加材料による安定処理 種類　・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種　・ 生石灰()号 ・ 消石灰()号 添加量()kg/m ³ (目標CBR　・ 5以上　・ ()) ジオテキスタイル　・ 適応する 盛土に用いる材料 ・ A種　・ B種　・ C種　・ D種　・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合：建設発生土受入量()m ³ 片道の運搬距離()km 試験　・ 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	23. 植栽工事	1. 植栽地の確認 (23. 1. 3)	・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験　・ 行う ・ 電気伝導度率(EC)の試験　・ 行う ()の試験　・ 行う														
きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作																														
・ ドレープ ・ レース ・ 図示()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ　・ つまひだ ・ ブレーンひだ　・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動																														
・ 暗幕 (遮光()級)	・ ()	・ ()	・ ()																														
13. プレキャストコンクリート工事 (20. 3. 2) (20. 3. 3) (20. 3. 4)	補強鉄線の径　・ 3. 2mm　・ () 設計基準強度Fc　・ 図示(図面番号：) 配筋　・ 図示(図面番号：) 取付方法　・ 図示(図面番号：)	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3) (表22. 3. 2) (22. 3. 5)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>舗装の厚さ(mm) 車道部　歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装 ・ カラー舗装 ・ 透水性アスファルト舗装 ・ インターロッキング ブロック舗装 ・ (コンクリート舗装)</td><td>・ (50) ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ (150) ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン 鉄鋼スラグ ・ クラッシャラン ・ (切込碎石)</td></tr></table>	舗装の種類	舗装の厚さ(mm) 車道部　歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装 ・ カラー舗装 ・ 透水性アスファルト舗装 ・ インターロッキング ブロック舗装 ・ (コンクリート舗装)	・ (50) ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ (150) ・ ()	・ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン 鉄鋼スラグ ・ クラッシャラン ・ (切込碎石)																								
舗装の種類	舗装の厚さ(mm) 車道部　歩道部	路盤材料																															
・ アスファルト舗装 ・ カラー舗装 ・ 透水性アスファルト舗装 ・ インターロッキング ブロック舗装 ・ (コンクリート舗装)	・ (50) ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () ・ (150) ・ ()	・ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン 鉄鋼スラグ ・ クラッシャラン ・ (切込碎石)																															
14. 間知石 間知ブロック積 (20. 4. 2) (20. 4. 3)	材種　・ () 種類及び質量区分　・ 図示(図面番号：) 積み方　・ 谷積み　・ 布積み 目塗り　・ () 伸縮調整目地　・ 材種()　・ 厚さ(mm)																																

総合仮設・直接仮設 工事区分									
工事	工 種	項 目	工事区分						
			建築	電気	機械				
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所 同備品							
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○	○	共同1棟可			
		仮設便所	○	○	○	共同1棟可			
	工事施設	仮囲い	○						
	現場安全	安全費	○	○	○	統括安全衛生管理は、 建築請負業者とする。			
	機械器具	機械器具損料	○	○	○				
		揚重機費	○	○	○				
	その他	各種試験費	○	○	○				
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○	○				
		周辺道路清掃	○	○	○				
直接仮設工事		仮設足場	○			各設備業者に対して 無償にて使用させる こと。			
		清掃・片付け	○	○	○				
		養生	○	○	○				

工 事 区 分												
No.	項 目		建築	電気	機械	No.	項 目		建築	電気	機械	
1	機械基礎及びその仕上		○			27	避難器具					
2	基礎・地中梁の設備工事に関 するスリーブ及び箱入れ			○	○	28	浄化槽・受水層・その他の水槽等のコン クリート躯体・断熱及び防水工事		○			
3	同上鉄筋補強		○			29	同上内部仕上・マンホール及び タラップ		○	○		
4	鉄骨造の設備工事 に関するスリーブ及び補強		○			30	ガソリントラップ及びコンクリート製 グリーストラップ				○	
5	機器取付用あと施工アンカー・鉄骨架台			○	○	31	排水溝(厨房・敷地内通路・機械室)・ルー フドレン・フロアドレン・雨水排水竖樋		○			
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強		○			32	雨水排水竖樋の桝までの横引き				○	
7	軽量鉄骨下地天井、 壁ボード類の切込	補強	○			33	雨水配管の防露工事					
		切込		○	○	34	ピット・トレンチ内の排水設備工事				○	
8	埋込分電盤 端子盤 プルボックス	補強	○			35	出入口のマット下排水目皿及び 排水設備工事（自動ドア下排水含む）				○	
		切込		○	○	36	陶製以外の流し類(業務用等の厨房流し を除く)		○			
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強		○	○	○	37	同上 附属金物及び接続工事				○	
10	設備工事に伴う防水貫通用屋上スラブ コンクリート立上げ					38	浴槽		○			
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞			○	○	39	鏡(衛生工事に関連しない場合・特殊・ 寸法の場合)				○	
12	屋内外ピット・トレンチ及びそれらの蓋 マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋			○	○	40	建物外内壁・ドア・窓枠に取付ける ガラリ類(ガラリ取付け本枠等も含む)		○			
13	屋外配管用スタンション			○	○	41	シャッター・自動ドア等制御盤から 電動盤・スイッチ等に到る配管・配線			○		
14	二重スラブ内の水及び空気の間通管 二重壁内の湧水処理費					42	煙感知機連動の扉・シャッター及び 防煙垂れ壁等の自閉用作動装置		○			
15	ALC板など外装材の穴あけ			○	○	43	エレベーター昇降口・インジケーター 及び押釦の穴あけ					
16	同上 穴あけに伴う補強		○			44	エレベーター機械室の天井フック取付 ・床穴あけ及び床増内コンクリート					
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い			○	○	45	吊ボルトの躯体への支持		○	○	○	
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカー ・火災報知機・換気扇等の穴あけ			○	○	46	天井吊り型FCU及び全熱交換型換気扇と 操作スイッチとの渡り配管・配線				○	
19	同上 天井穴あけ部の下地補強		○			47	煙感知機から連動制御盤を経て防煙ダ ンバに至る配管・配線					
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの 点検口		○			48	小便器用節水装置の制御盤以降の配管 配線				○	
21	ユニットシステム(バス・トイレ・キッチ ン)及び内部の 配管・配線		○			49	電力		○	○	○	
22	ユニットシステム(キッチン)及びユニッ トシステム(バス・トイレ・キッチン)への 配管・配線及び接続			○	○	50	用水		○	○	○	
23	保守用キャットウォーク・タラップ手摺 (設備機器に装着するものを除く)		○			51	消火器		○			
24	換気扇取付枠				○							
25	配電盤・制御盤等の基礎(屋内外)											
26	ルーフファン											

原図：A2

設 計		整理番号	年 月 日	縮 尺	工事名	図 名	NO.
一級建築士 第 302310号 山田 兼之				A2 ー	津市久居消防署南分署建築工事	工事区分表	A ー08 / 64

建 築 概 要				外 部 仕 上 表			
工事名	津市久居消防署南分署建築工事	敷地面積	1993.24 ㎡	屋根	屋根：（平場）塩ビ樹脂系シート防水 t＝2.0(S-M2) 歩行用露出機械の固定工法 （立上り）塩ビ樹脂系シート防水 t＝2.0(S-F2)	笠木	7ℓミ製 カラ-W=350
工事場所	三重県津市雲出本郷町 地内	構 造	鉄骨造 2階建て			縦樋	硬質塩ビ管 φ100着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
	市街化区域（準工業地域）	建築面積	511.19 ㎡	軒天	玄関：7ℓミスパンドル t=1.0 車庫：ケイカル板 t=8.0 EP-G塗装	コナドレン ルフトレン	鋳鉄製
	建ぺい率・容積率：60％・200％	延べ面積	873.09 ㎡	外壁	ALC版たて張り t=100 複層塗材E吹付け	庇	（平場、立上り）塩ビ樹脂系シート防水 t=2.0(S-F2) 接着工法 キーстонPL t=1.2 モルタル t＝30下地
	防火地域：22条区域	1階床面積	473.94 ㎡（車庫面積 165.00 ㎡）	巾木	コンクリト打放し補修 高耐候性水性フッ素樹脂剤ｸﾘｱ-吹付け	幕板	ﾎﾞﾝﾃﾞｰ鋼板 t=1.6 焼付け塗装（車庫前 2色塗分け）
		2階床面積	399.15 ㎡				

内 部 仕 上 表 1.各部分の仕上材（下地共）は、原則として全てF☆☆☆☆とする。（建具、造り付家具類などもこれに準ずる）（規制対象外を除く） 2.クロロビリホスを使用しない。

室 名		床		巾 木	壁		天 井		天井高	廻縁	室名札	備 考
1階	風除室	磁器質床用150角ﾀｲﾙ張	モルタル下地	ステンレス H=60	EP塗装	LGS下地 PBt=12.5	岩綿化粧吸音板 t=12(300*600)	LGS下地 PBt=9.5(捨貼) (910*1,820)	2,750	塩ビ		掲示板
	玄関ﾎｰﾙ	ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=3.0	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	LGS下地 PBt=12.5	岩綿化粧吸音板 t=12(300*600)	LGS下地 PBt=9.5(捨貼) (910*1,820)	2,750	塩ビ		掲示板
	事務室(踏込)	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t=6.5	OAﾌｫﾌﾞH=50 モルフレベリング(踏込)	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼(不燃)	LGS下地 PBt=12.5	岩綿化粧吸音板 t=9(300*600)	LGS下地 PBt=9.5(不燃)(捨貼) (910*1,820)	2,700 2,750	塩ビ	○	書庫、下足ﾛｯｶｰ、ﾎｲﾚﾄﾞｰﾙ、ｽﾛｰﾌﾞ、 消火器ﾎﾞｯｸｽ(消火器ABC10型共)
	待機室兼食堂	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼(不燃)	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910：不燃)	LGS下地	2,700	塩ビ	○	掲示板、食器棚、消火器ﾎﾞｯｸｽ(消火器ABC10型共)
	調理ｽﾍﾟｰｽ	ﾎﾓﾞｷﾞ系系塗床 t＝1.0	モルタル下地	ステンレスHL H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910：不燃)	LGS下地	2,550～ 2,500	塩ビ		
	救急消毒室	ﾎﾓﾞｷﾞ系系塗床 t＝1.0	モルタル下地	ステンスHL H=60	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=8	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,500	塩ビ	○	二槽流し台、作業台、消火器ﾎﾞｯｸｽ(消火器ABC10型共)、 白衣ﾛｯｶｰ、洗濯ﾊﾞﾝ(設備工事)
	脱衣室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルタル下地	ビニル巾木 H=100	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=8	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,500	塩ビ		ユニットﾔﾍﾞｰ
	防火衣室	ﾎﾓﾞｷﾞ系系塗床 t＝1.0	モルタル下地	ステンスHL H=60	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=8	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,700	塩ビ	○	防火服ﾛｯｶｰ
	救急資材庫	ﾎﾓﾞｷﾞ系系塗床 t＝1.0	モルタル下地	ステンスHL H=60	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=8	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,500	塩ビ	○	ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ、収納棚
	男子・女子ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	コンクリト金ｺﾞﾃ	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	汚垂ﾀｲﾙ(男子ﾄｲﾚ)
	多目的ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	コンクリト金ｺﾞﾃ	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	
	倉 庫1	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	コンクリト金ｺﾞﾃ	ビニル巾木 H=100	EP塗装	LGS下地 耐水PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ
	車 庫	コンクリト金ｺﾞﾃ		モルタル巾木 H=300	複層塗材E吹付け	ALC版	ﾃﾞｯｷ表し、鉄骨SOP		直 天		○	手洗い・足洗い・鉄骨見掛けSOP塗装、 消火器ﾎﾞｯｸｽ(消火器ABC10型共)、ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ
	倉 庫2	モルタル金ｺﾞ	コンクリト	モルタル巾木 H=300	複層塗材E吹付け	ALC版	ﾃﾞｯｷ表し、鉄骨SOP		2,760		○	ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ、資機材収納
2階	油 庫	モルタル金ｺﾞ	コンクリト	モルタル巾木 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	複層塗材E吹付け EP塗装	ALC版 LGS下地 強化PBt21+21	ﾃﾞｯｷ表し、鉄骨SOP		2,760		○	ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ
	ﾎﾞﾝﾃﾞｰ室	モルタル金ｺﾞ	コンクリト	モルタル巾木 H=300	複層塗材E吹付け	ALC版	ﾃﾞｯｷ表し、鉄骨SOP		2,760		○	
	ﾀｲﾁ庫	モルタル金ｺﾞ	コンクリト	モルタル巾木 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	複層塗材E吹付け EP塗装	ALC版 LGS下地 PBt=12.5	ﾃﾞｯｷ表し、鉄骨SOP		2,760		○	ﾀｲﾁ・ﾎｰｽ棚、ﾎｰｽ棚、ﾎﾞﾝﾍﾞ棚、ﾀｲﾁ収納庫
	会議室兼消防団作戦室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ t=6.5	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼(不燃)	LGS下地 PBt=12.5	岩綿化粧吸音板 t=9	LGS下地 PBt=9.5(不燃)(捨貼) (910*1,820)	2,700	塩ビ	○	ﾎｲﾚﾄﾞｰﾙ、ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ(ｽｸﾘｰﾝ共)
	訓練室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼(不燃)	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910：不燃)	LGS下地	2,700	塩ビ	○	懸垂棒、消火器ﾎﾞｯｸｽ(消火器ABC10型共)
	機械室(自家発電設備)	ﾎﾓﾞｷﾞ系系塗床 t＝1.0	モルタル下地	－	ｸﾞﾗｽｸｰﾙﾎｰﾄﾞ t=50(ｸﾞﾗｽｸﾛｽ貼)	ALC版	ﾃﾞｯｷ表し、鉄骨SOP		直 天		○	消火器ﾎﾞｯｸｽ(消火器ABC10型共)
	仮眠室1～10、倉庫5	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	収納付木製ﾍﾞｯﾄﾞ・更衣ﾛｯｶｰ(仮眠室のみ)
	女性用仮眠室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 耐水合板 t＝15捨張り	ﾌﾘｰﾌｫﾌﾞH=100	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	収納付木製ﾍﾞｯﾄﾞ、更衣ﾛｯｶｰ
	踏込	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,600	塩ビ		
	女性用洗面室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 耐水合板 t＝15捨張り	ﾌﾘｰﾌｫﾌﾞH=200	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,400	塩ビ	○	小物収納棚、洗濯ﾊﾞﾝ(設備工事)、洗面化粧台(設備工事)
	女性用ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 耐水合板 t＝15捨張り	ﾌﾘｰﾌｫﾌﾞH=200	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,400	塩ビ	○	
	男子・女子ﾄｲﾚ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	コンクリト金ｺﾞﾃ	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	汚垂ﾀｲﾙ(男子ﾄｲﾚ)
	洗面室(踏込)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 耐水合板 t＝15捨張り ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5(踏込)	ﾌﾘｰﾌｫﾌﾞH=100 モルフレベリング(踏込)	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,500 2,600	塩ビ	○	個人ﾛｯｶｰ、洗濯ﾊﾞﾝ(設備工事)、洗面化粧台(設備工事)
	脱衣室(踏込)	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 耐水合板 t＝15捨張り	ﾌﾘｰﾌｫﾌﾞH=200 ﾌﾘｰﾌｫﾌﾞH=100(踏込)	ビニル巾木 H=100	化粧ケイカル t＝6	LGS下地 耐水PBt=12.5	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6 (910*1,820)	2,500 2,600	塩ビ	○	脱衣棚、個人ﾛｯｶｰ
共通	倉庫4、書庫、ﾘﾝﾄﾞ庫	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	コンクリト金ｺﾞﾃ	ビニル巾木 H=100	EP塗装	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ	○	ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ
	廊 下	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルフレベリング	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ		消火器ﾎﾞｯｸｽ
	階段室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	モルタル下地	ビニル巾木 H=100	ビニルクロス貼	LGS下地 PBt=12.5	化粧PBt=9.5(455*910)	LGS下地	2,500	塩ビ		
	倉庫3	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	コンクリト金ｺﾞﾃ	ビニル巾木 H=100	EP塗装	LGS下地 PBt=12.5	鉄骨SOP		直天	塩ビ	○	ｽﾃｰﾙ中量ﾗｯｸ

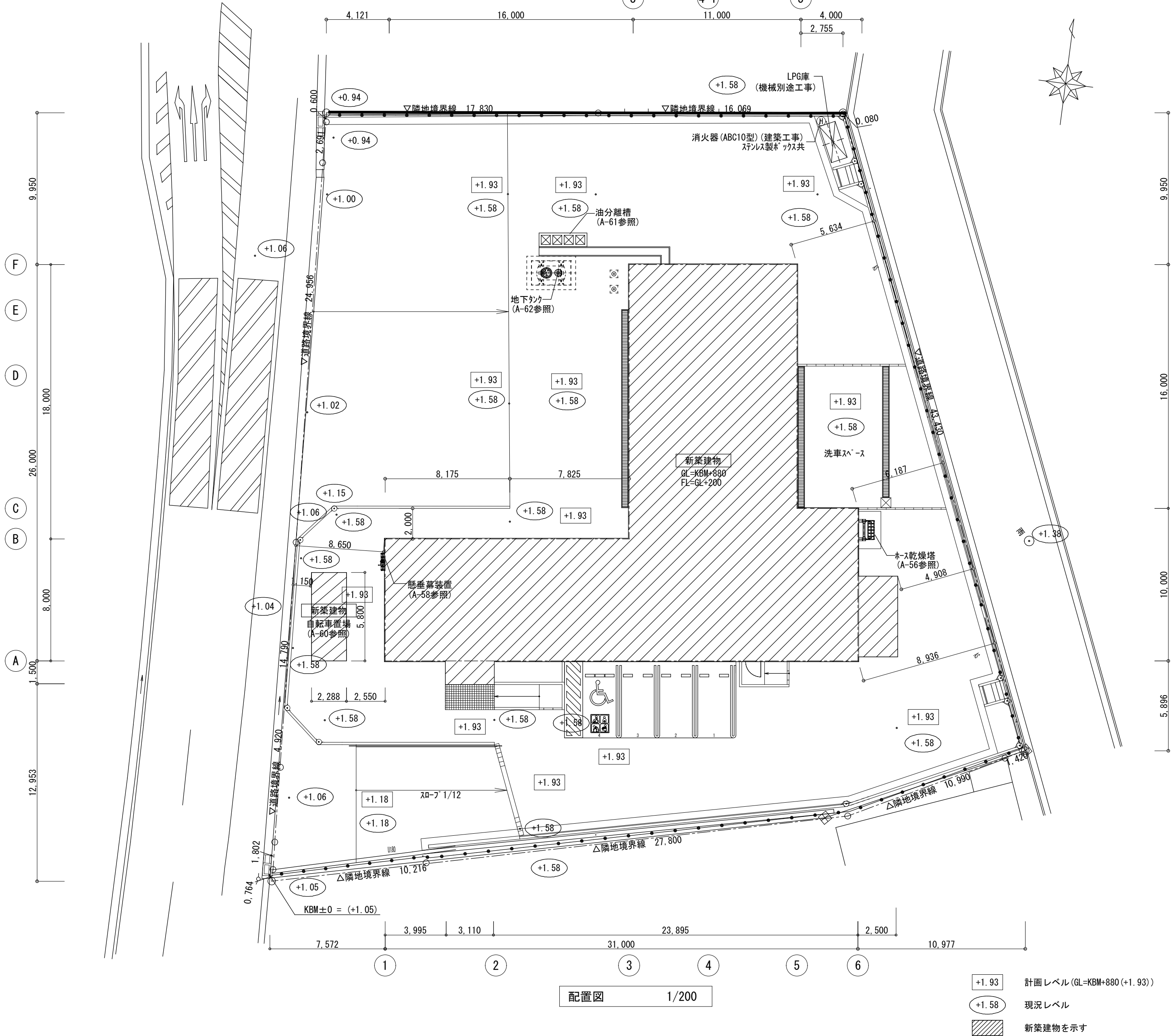
共通事項		材料認定番号				耐火・準耐火認定番号		凡 例	
1	ﾗｲﾆﾝｸﾞ部下地は特記なき限りW=65とする。	せっこうﾎｰﾄﾞ t=12.5	不燃	NM－8619	複層塗材E吹付け	不燃	NM－8585	NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料
2	ﾎｰﾙｽｸﾘｰﾝは防災物品を有するもととする。	せっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5(準不燃)	準不燃	OM－9828	岩綿化粧吸音板	不燃	NM－8599	CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ
3	木部は特記なき限りCLとする。	せっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5(不燃)	不燃	NM－8613				EP	合成樹脂エマルジョンﾍﾞｲﾝﾄ塗
4	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽはAA級とする。	化粧せっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5(準不燃)	準不燃	OM－0524		(外壁)		EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンﾍﾞｲﾝﾄ塗
5	外壁面、車庫～事務所エｱ7壁面：ｸﾞﾗｽｸｰﾙ24K t=50 天井裏：ｸﾞﾗｽｸｰﾙ24K t=100(仮眠室)	化粧せっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5(不燃)	不燃	NM－1864		ALC版たて張り t=100	不燃 告示第1400号	SOP	合成樹脂調合ﾍﾞｲﾝﾄ塗
6	モルフレベリングは特記なき限りt=10とする。	ビニルクロス	不燃	NM－9867				ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=3.0	ﾌﾞﾘﾝﾄﾀｲﾌﾟ
7	建基法第37条に規定する建築材料を使用する。	NAD、SOP、EP、EP-G塗装	不燃	NM－8585		(耐火間仕切壁)			
8	ﾎﾓﾞｷﾞ系系塗り床はt=1.0 防塵・耐薬品・耐衝撃・耐磨耗・重量物走行仕様とする。					強化PBt=21+21	FP060NP-0007		原図：A2

	株式会社 市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 一級建築士 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 第266489号 山口 裕之	設 計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年 月 日	縮 尺	工事名	図 名	仕上表	NO. A —09 / 64
						—	津市久居消防署南分署建築工事			



附近見取図

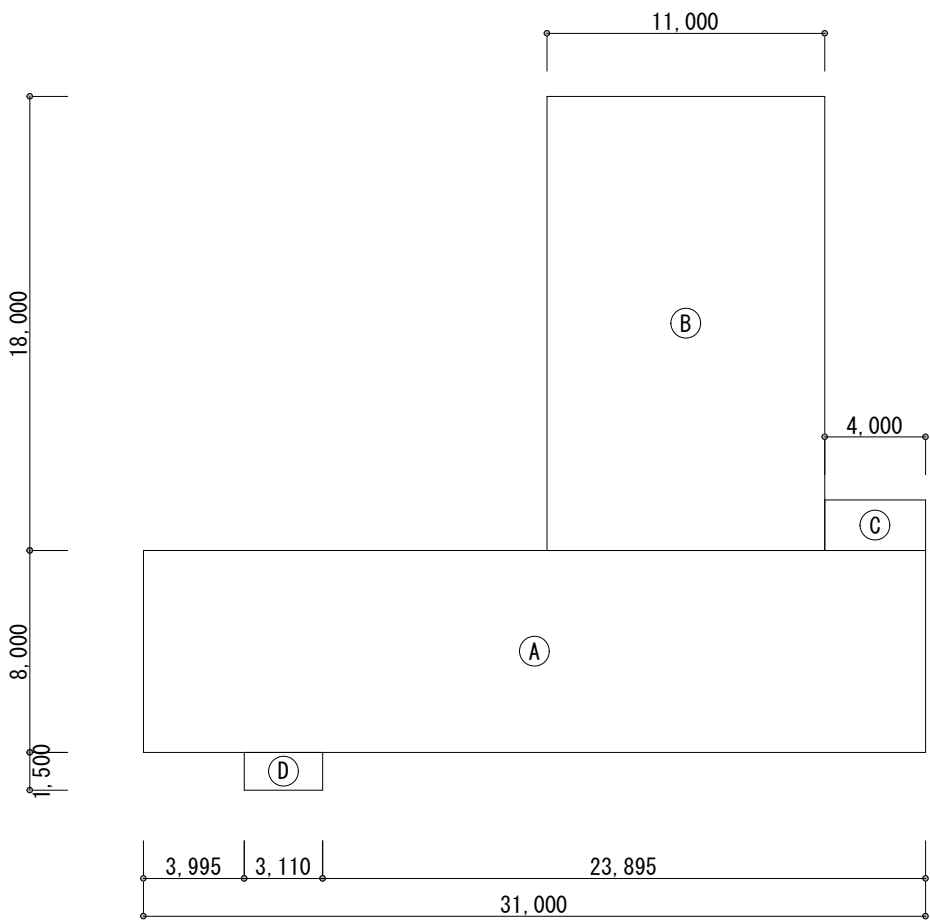
斜線検計
用途地域：準工業地域の勾配＝1.50
道路斜線制限適用距離＝20m(容積率200%)
□東側道路斜線
後退距離：4.908m
(4.908+6.20+4.908)×1.5＝24.024>10.33…OK
□西側道路斜線
後退距離：1.15m
(1.15+12.10+1.15)×1.5＝21.600>2.159…OK
(1.15+12.10+8.65)＝21.9m>20m…OK
□隣地斜線
用途地域：準工業地域の勾配＝31m+2.5
建物高さ31m以下のため…OK



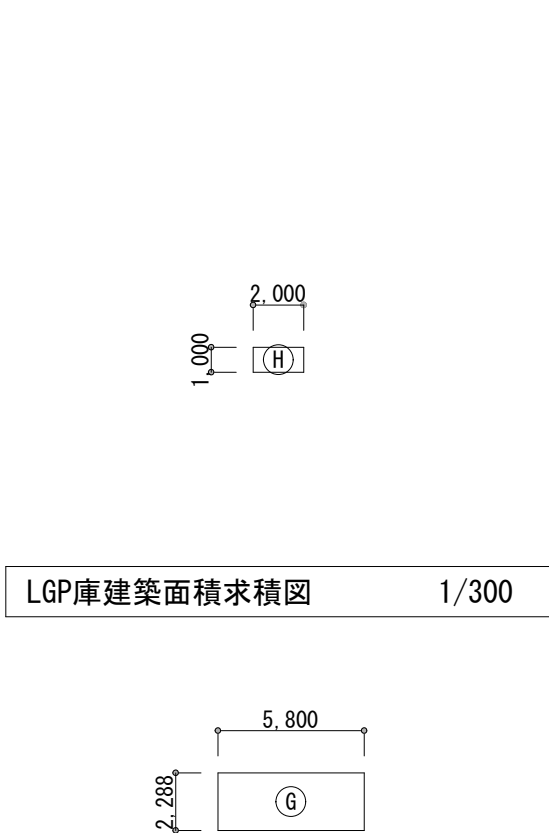
配置図 1/200

+1.93	計画レベル (GL=KBM+880 (+1.93))
+1.58	現況レベル
	新築建物を示す

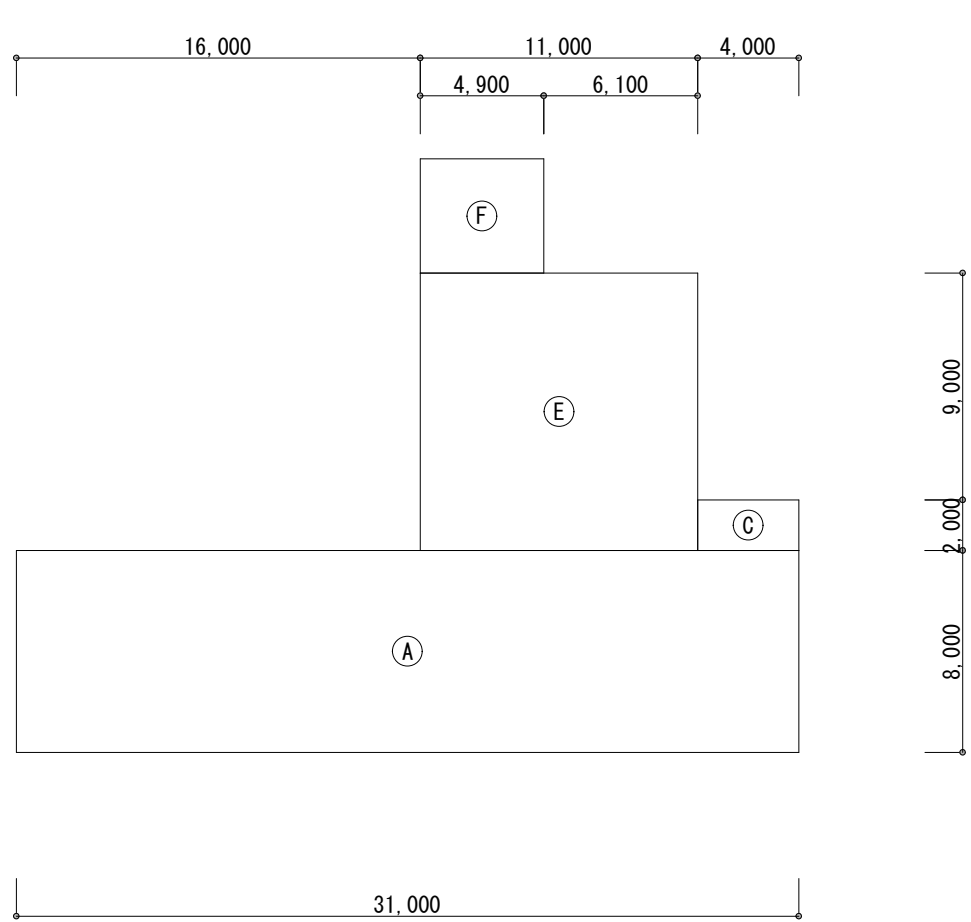
原図：A2



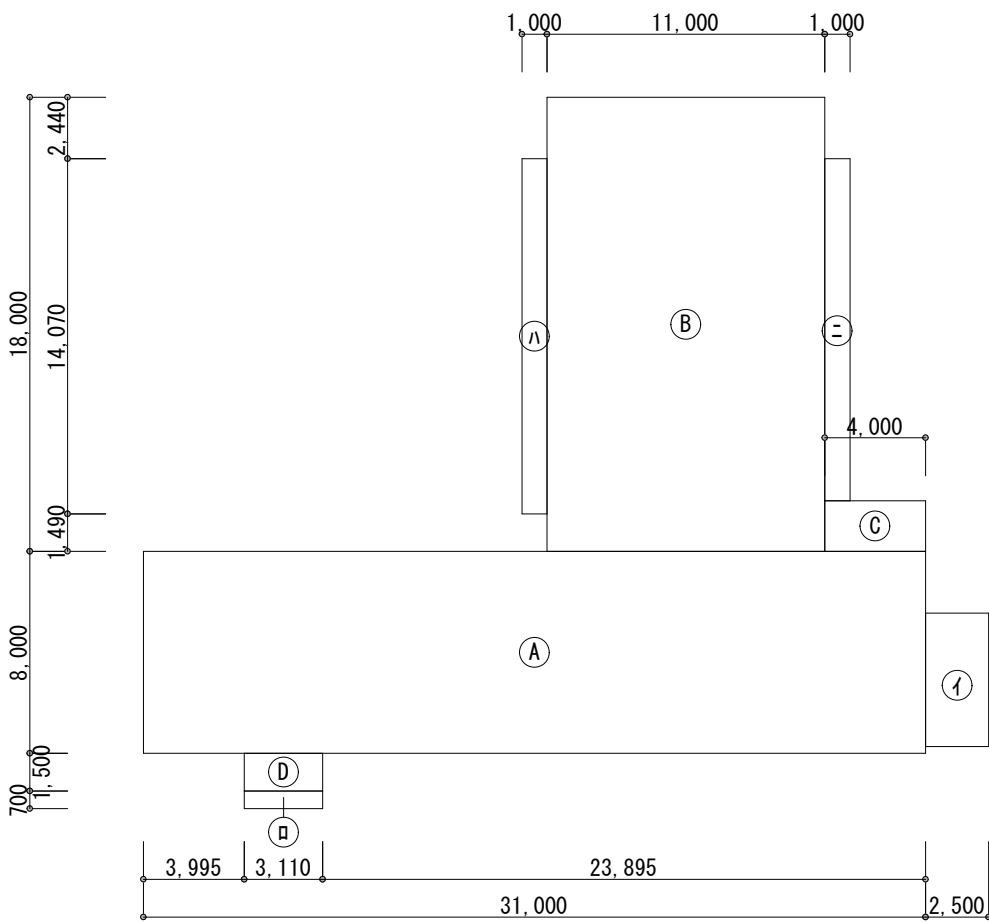
1階延床面積求積図 1/300



自転車置場延床面積求積図 1/300



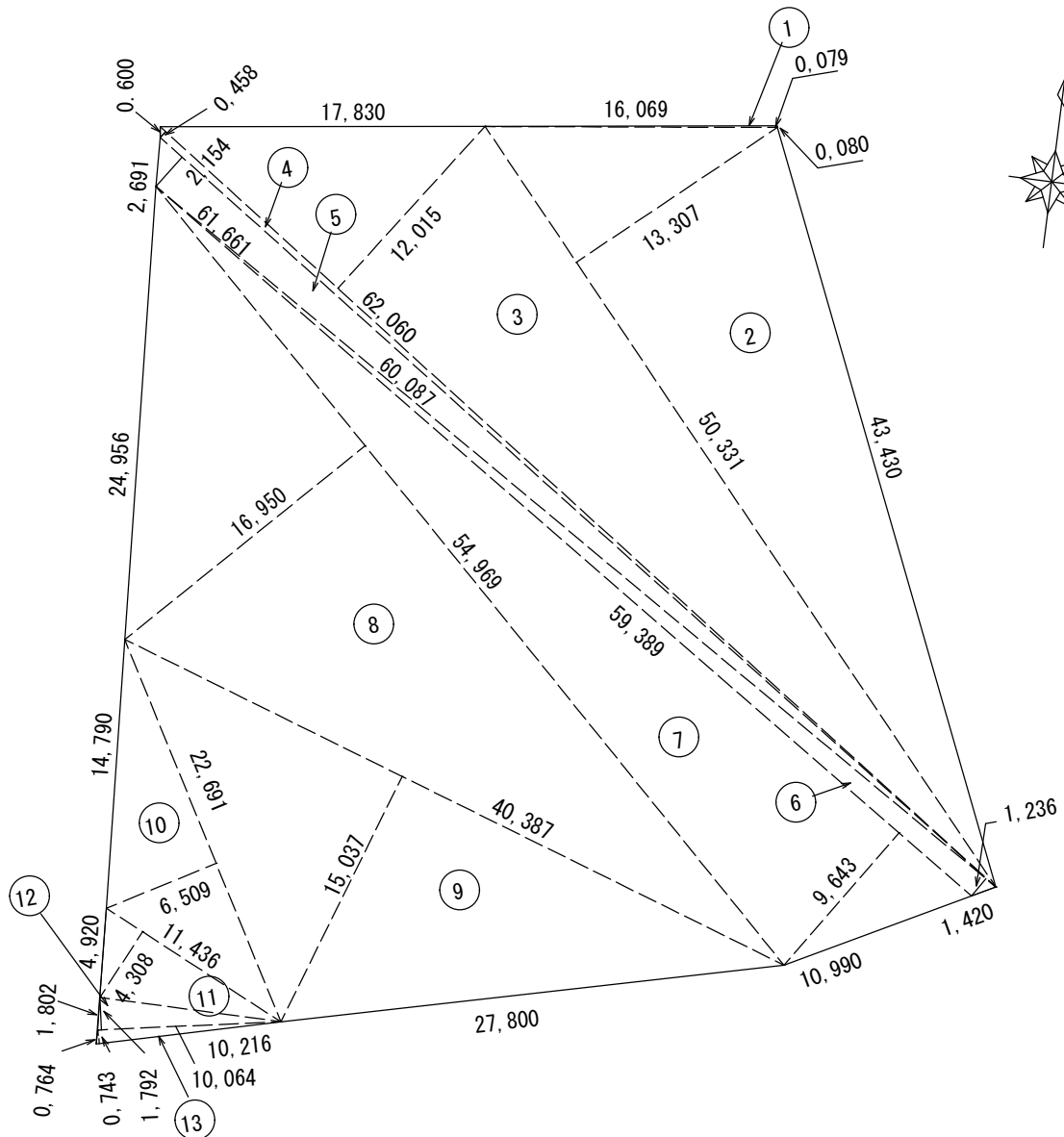
2階延床面積求積図 1/300



建築面積求積図 1/300



自転車置場建築面積求積図 1/300

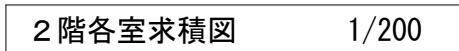
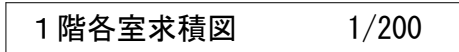


敷地求積図 1/400

求積表		
本体		
(A)	31.000*8.000	248.000
(B)	11.000*18.000	198.000
(C)	4.000*2.000	8.000
(D)	3.110*1.500	4.665
(E)	11.000*11.000	121.00
(F)	4.900*4.520	22.148
(G)	5.800*2.288	13.2704
(H)	2.000*1.000	2.000
1階床面積 A+B+C+D+G=		473.94
2階床面積 A+C+E+F=		399.15
延べ床面積		873.09
(イ)	2.500*5.300	13.250
(ロ)	3.110*0.700	2.177
(ハ)	1.000*14.070	14.070
(ニ)	1.000*13.560	13.560
(ホ)	5.800*1.288	7.4704
(ヘ)	2.000*1.000	2.000
建築面積 A+B+C+D+イ+ロ+ハ+ニ+ホ+ヘ=		511.19
建築面積		511.19
延床面積		873.09
敷地面積		1993.24
建ぺい率		25.65 %
容積率		
車庫等の部分 165.00+13.2704=178.27㎡		
873.09/5 =174.62㎡		
自家発電設備の部分 22.15㎡		
873.09/100 =8.73㎡		
873.09-(174.62+8.73) =689.74㎡		
		34.61 %

求積表				
N O	底辺	高さ		
(1)	16,069	×	0,079	+
(2)	50,331	×	13,307	+
(3)	62,060	×	12,015	+
(4)	62,060	×	0,458	+
(5)	61,661	×	2,154	+
(6)	60,087	×	1,236	+
(7)	59,389	×	9,643	+
(8)	54,969	×	16,950	+
(9)	40,387	×	15,037	+
(10)	22,691	×	6,509	+
(11)	11,436	×	4,308	+
(12)	10,064	×	1,792	+
(13)	10,216	×	0,743	=
合計倍面積				3986.482953
敷地面積				1993.24㎡

原図：A2



階	記号	室名	室内積求積表	
2	(19)	訓練室	9.00+4.00-0.90+0.70	35.370000
	(20)	会議室兼 消防団作戦室	8.945+2.50	22.362500
			9.00+5.00	45.000000
			計	67.362500
	(21)	仮眠室1～10	2.00+3.40	6.800000
	(22)	女性用仮眠室	2.10+4.00	8.400000
			1.10+2.00	2.200000
			計	10.600000
	(23)	女性用洗面室	3.20+1.90	6.080000
	(24)	女性用トイレ	1.20+1.445	1.734000
	(25)	書庫	8.25+2.00	16.500000
	(26)	リリ庫	3.90+2.00	7.800000
	(27)	倉庫4	3.00+2.00	6.000000
	(28)	倉庫5	2.00+3.40	6.800000
	(29)	機械室 (自家発電設備)	4.90+4.52	22.148000
	(30)	男子トイレ	2.00+2.59-0.30+0.95	4.895000
	(31)	女子トイレ	3.70+2.59	9.583000
	(32)	洗面室	3.245+2.59	8.404550
	(33)	脱衣室	1.905+4.6975	8.948738
	(34)	廊下	3.80+2.00	7.600000
			2.00+4.00	8.000000
			9.00+2.60	23.400000
			13.0+1.51	19.630000
			1.54+2.00	3.080000
			2.00+11.00	22.000000
			計	83.710000
	(35)	階段	3.80+4.00	15.200000

收容人員算定

1階

2階

$$\frac{99.70+35.37+67.3625}{102.7325/3} = 34.24 \rightarrow 34人$$

従業員数

従業員数

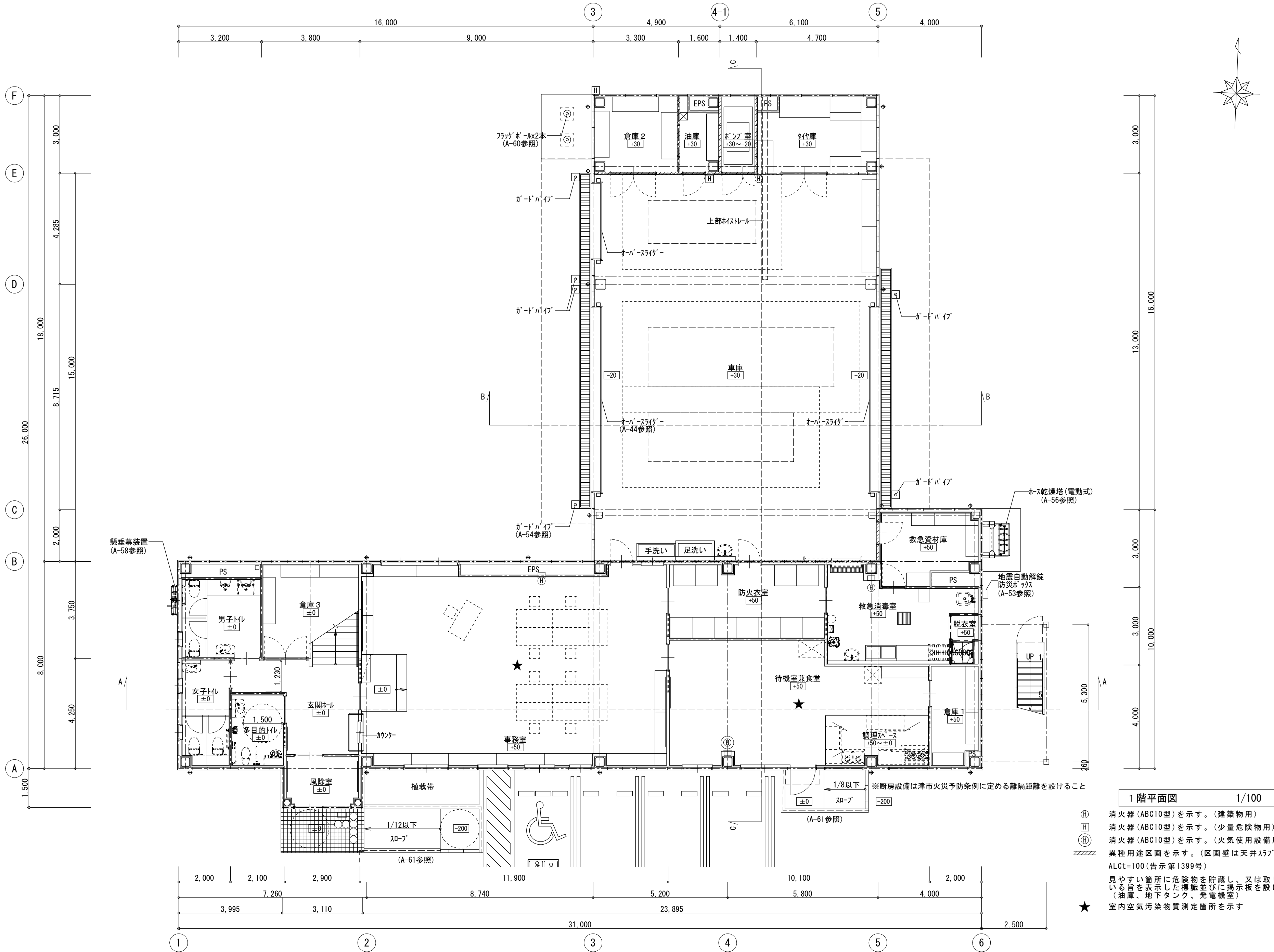
11人

11人

∴ 11人

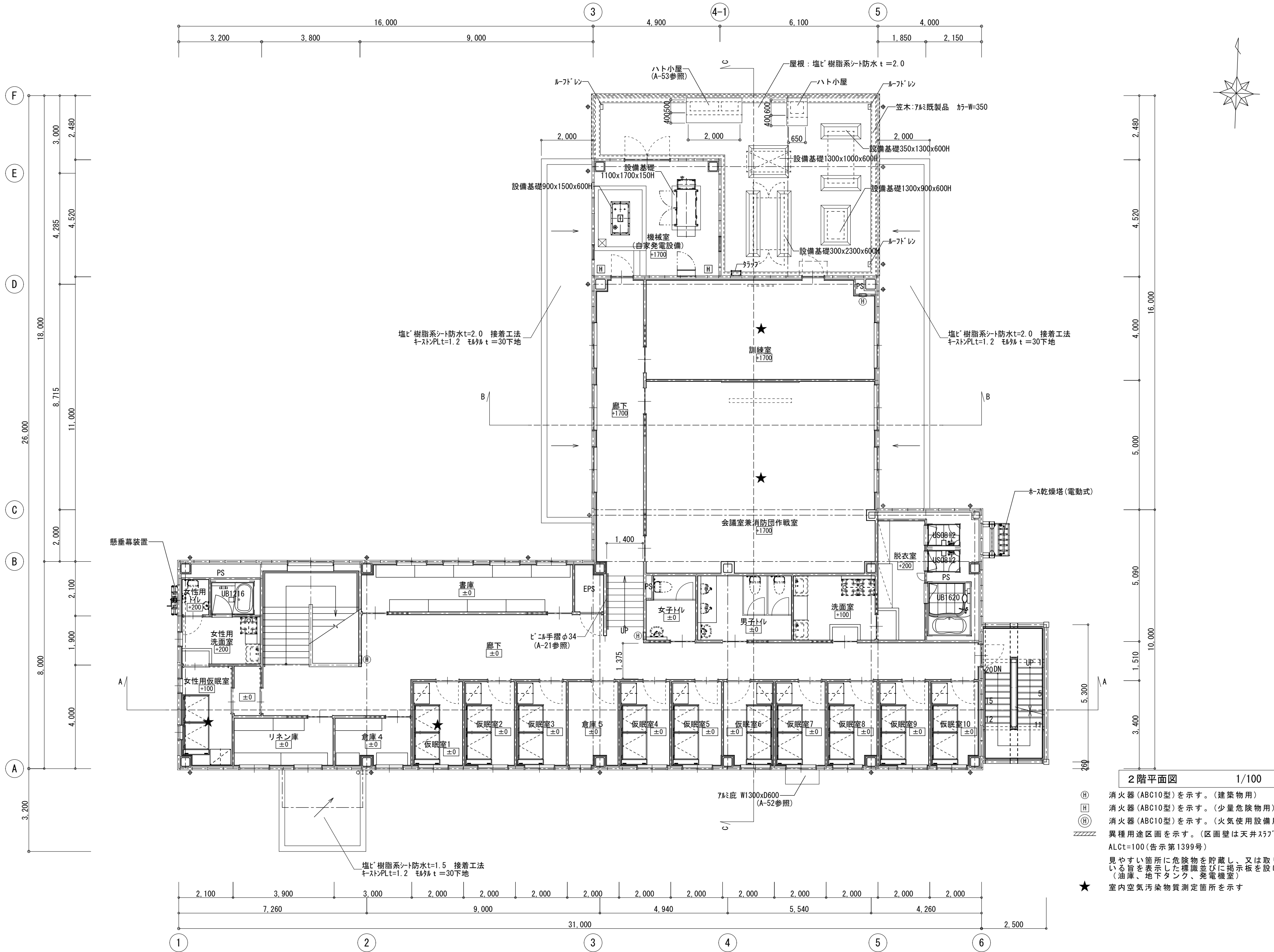
∴ $34 + 11 = 45人$

全体收容人員：11+45-11=45人



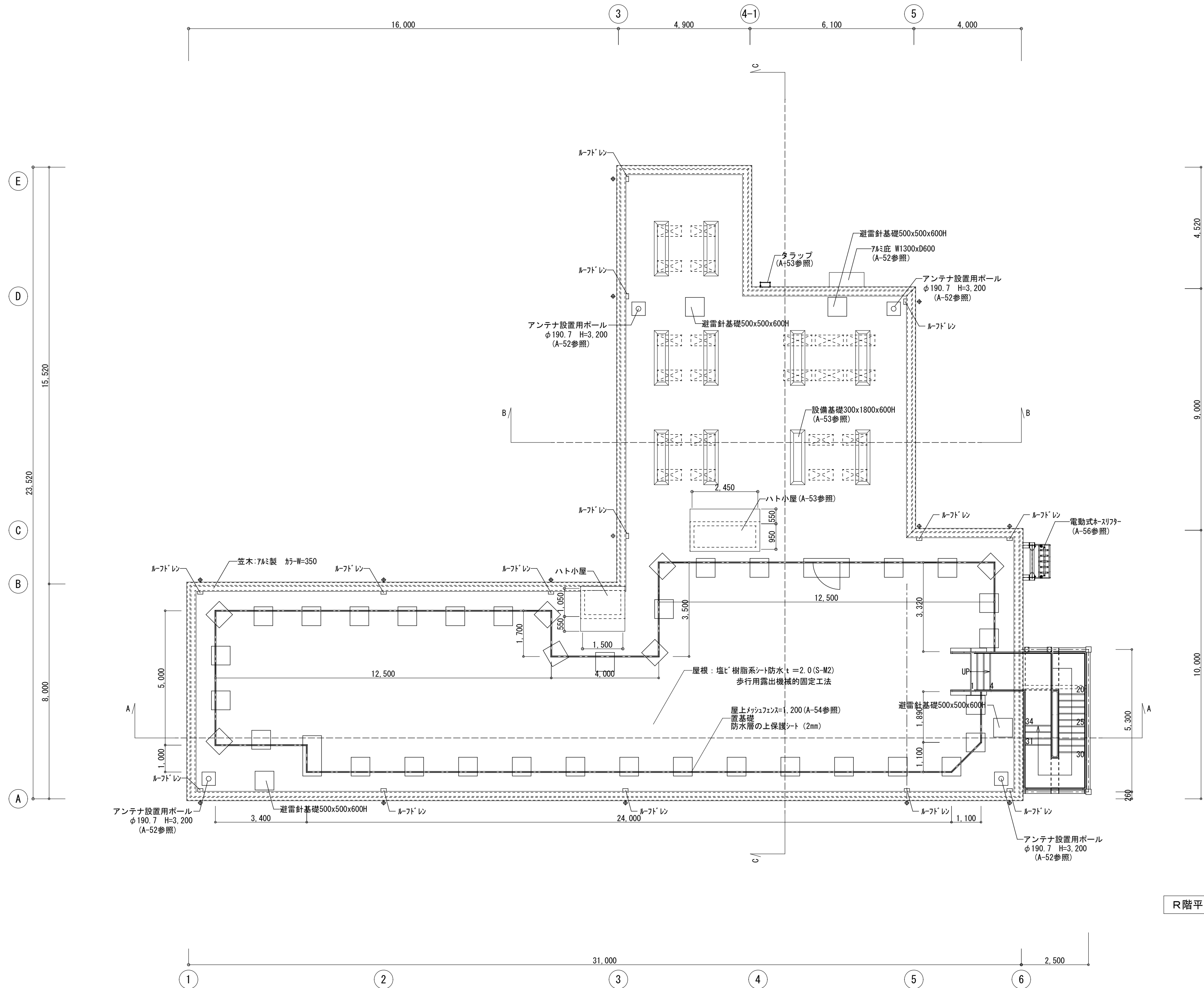
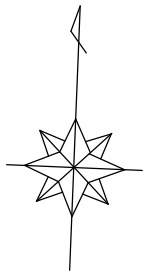
1 階平面図 1/100

- (H) 消火器 (ABC10型) を示す。(建築物用)
- (H) 消火器 (ABC10型) を示す。(少量危険物用)
- (H) 消火器 (ABC10型) を示す。(火気使用設備用)
- //// 異種用途区分画を示す。(区画壁は天井スラブまでとする) AL Ct=100 (告示第1399号)
- ★ 見やすい箇所に危険物を貯蔵し、又は取り扱っている旨を表示した標識並びに掲示板を設ける (油庫、地下タンク、発電機室)
- ★ 室内空気汚染物質測定箇所を示す



2階平面図 1/100

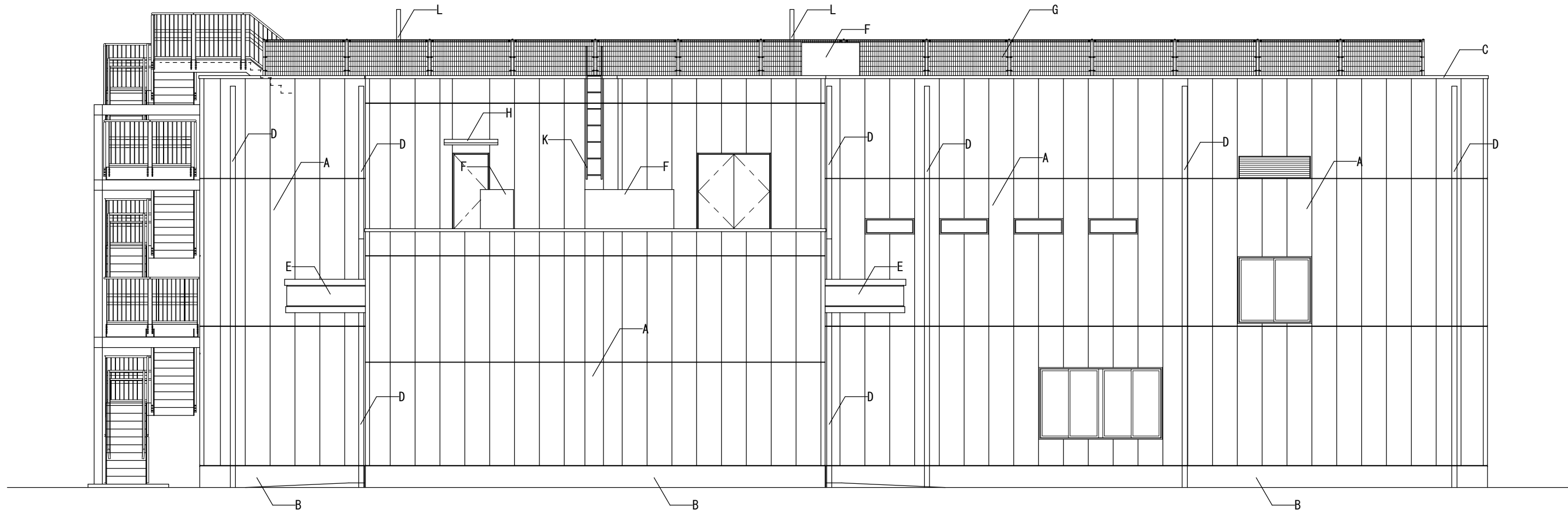
- (H) 消火器(ABC10型)を示す。(建築物用)
- (H) 消火器(ABC10型)を示す。(少量危険物用)
- (H) 消火器(ABC10型)を示す。(火気使用設備用)
- 異種用途区分画を示す。(区分壁は天井までとする)
ALCt=100(告示第1399号)
- 見やすい箇所に危険物を貯蔵し、又は取り扱っている旨を表示した標識並びに掲示板を設ける
(油庫、地下タンク、発電機室)
- ★ 室内空気汚染物質測定箇所を示す



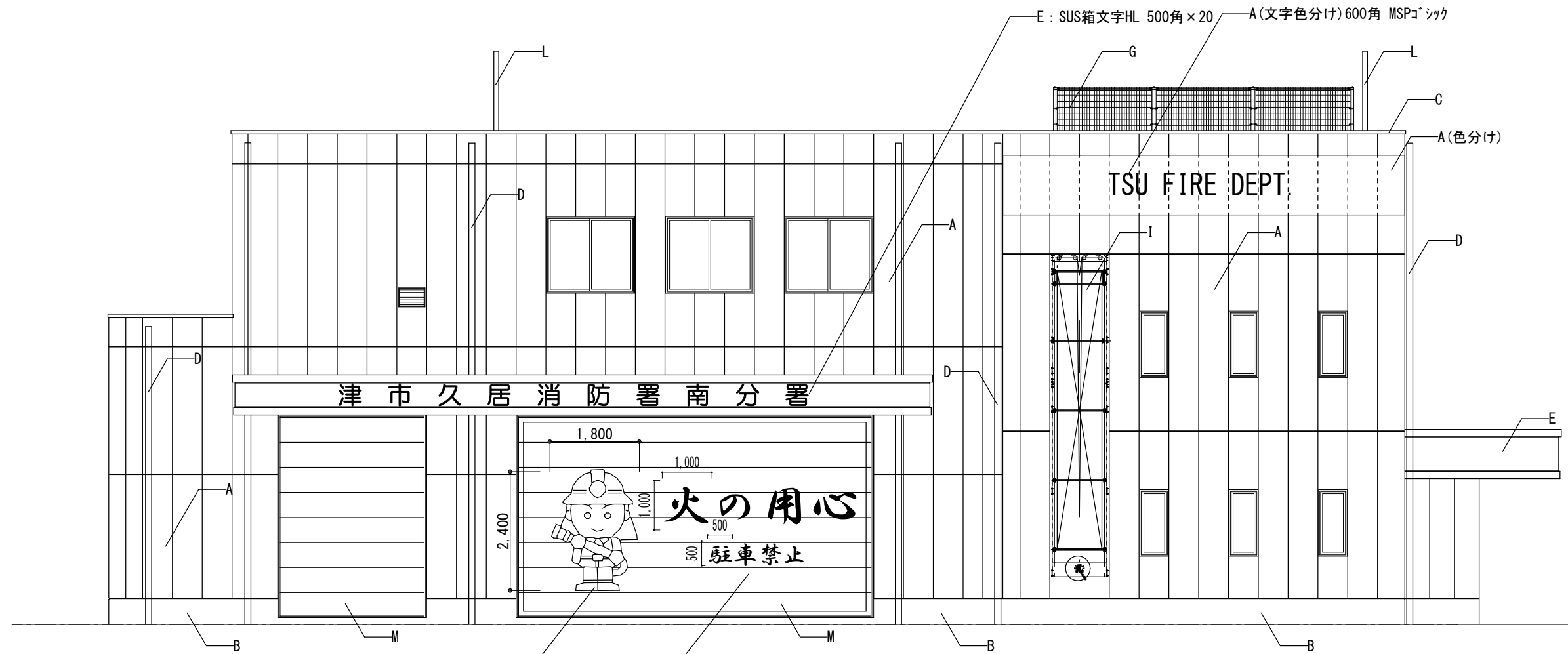
R階平面図 1/100

原図: A2

株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/100	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 R階平面図	NO. A — 15 / 64
----------------	--	--	--------------------------	------	-----	----------	--------------------	----------	-----------------



北立面図 1/100

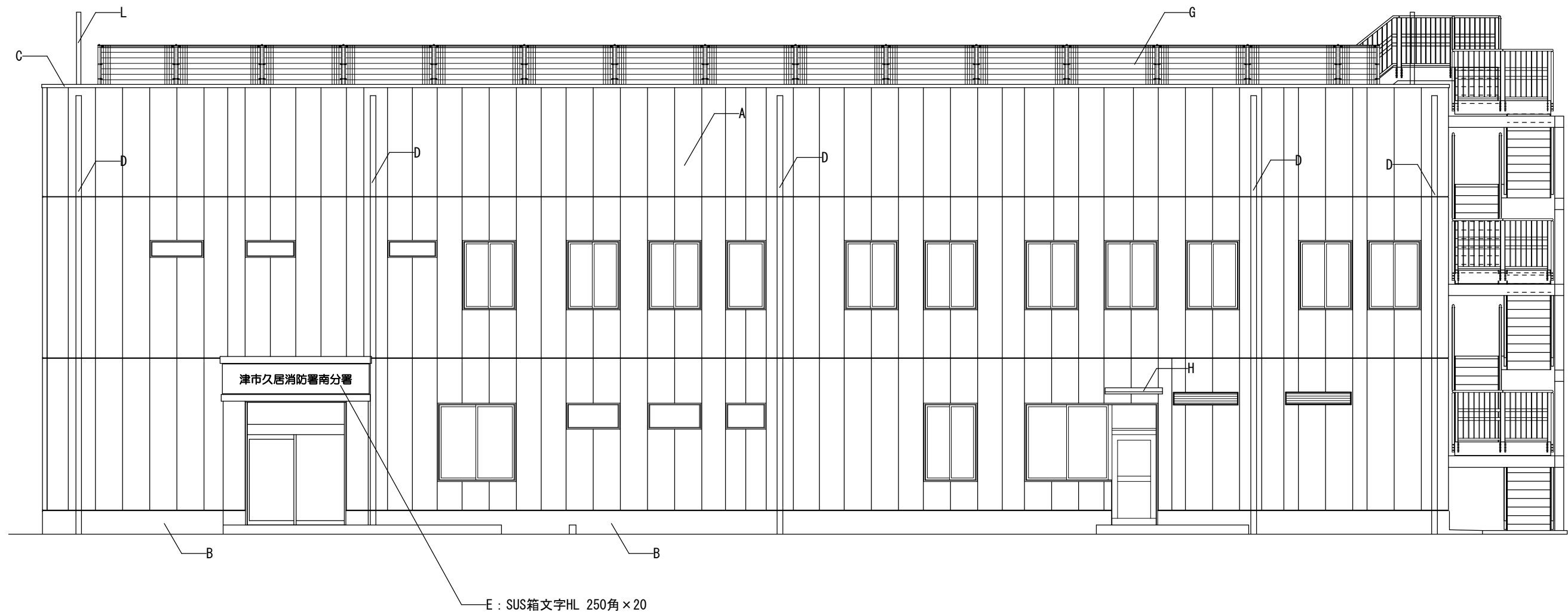


イラスト：消太君（インクジェットシート、分割貼）
文字：火の用心、駐車禁止（インクジェットシート、分割貼）

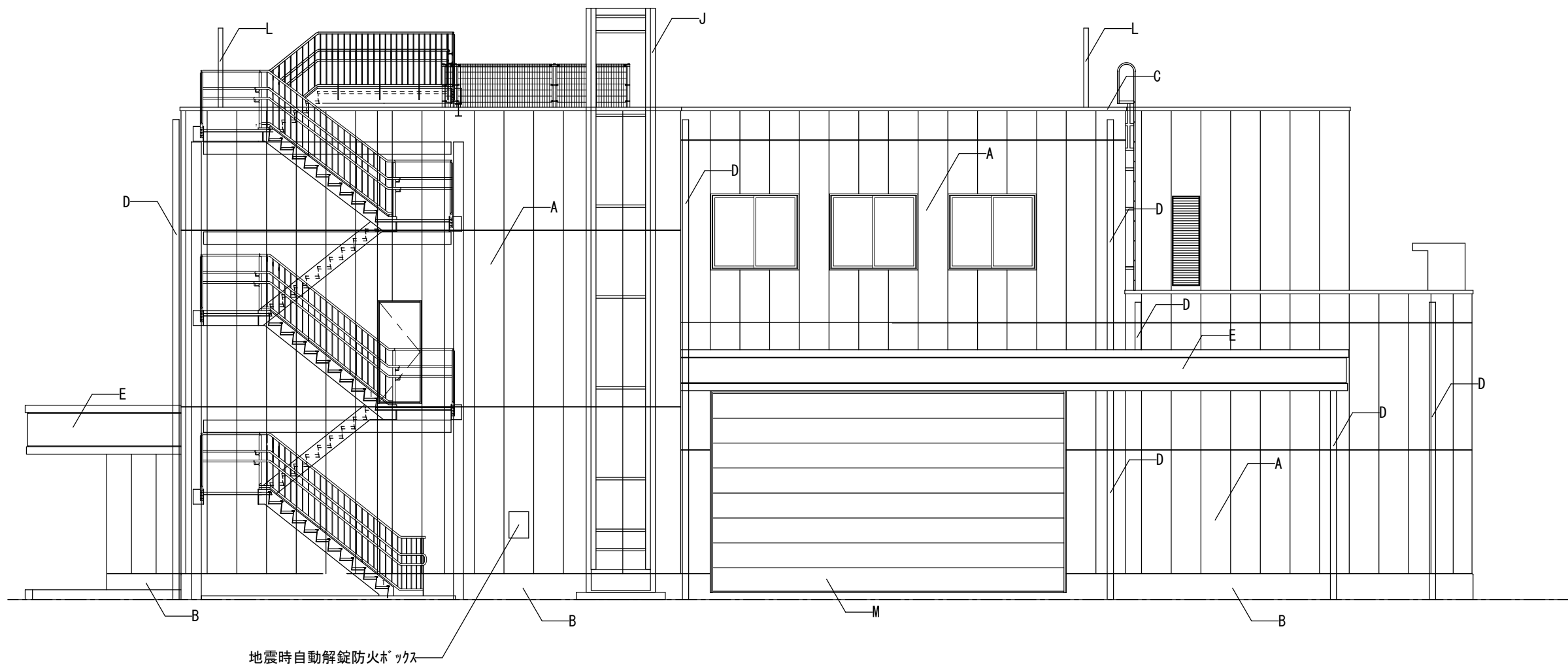
西立面図 1/100

仕 上 表	
Ⓐ	外壁：ALC版たて張りt=100 複層塗材E吹付け（珪素）
Ⓑ	巾木：コンクリート打放し補修 高耐候性水性珪素樹脂カア-吹付け
Ⓒ	笠木：アルミ製 カラー=350
Ⓓ	縦樋：硬質塩ビ管φ100着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
Ⓔ	幕板：ステンレス鋼板t=1.6 焼付け塗装
Ⓕ	ハト小屋：ガルバリウム鋼板防水
Ⓖ	スチール製メッシュフェンス
Ⓗ	アルミ庇 W1300×D900
Ⓘ	懸垂幕装置
Ⓙ	ホース乾燥塔
Ⓚ	ステンレスラック
Ⓛ	アンテナ設置用ポール φ190.7
Ⓜ	オーバーサイズ

原図：A2



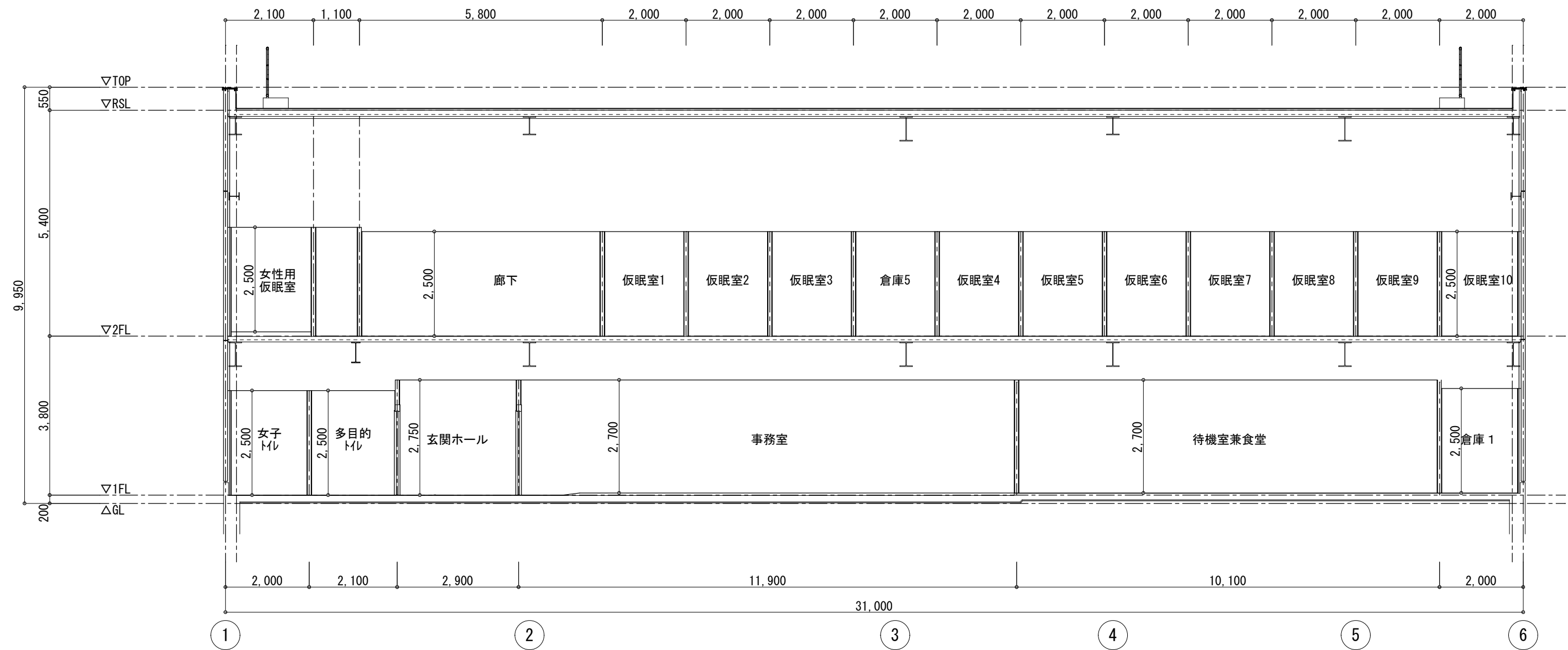
南立面図 1/100



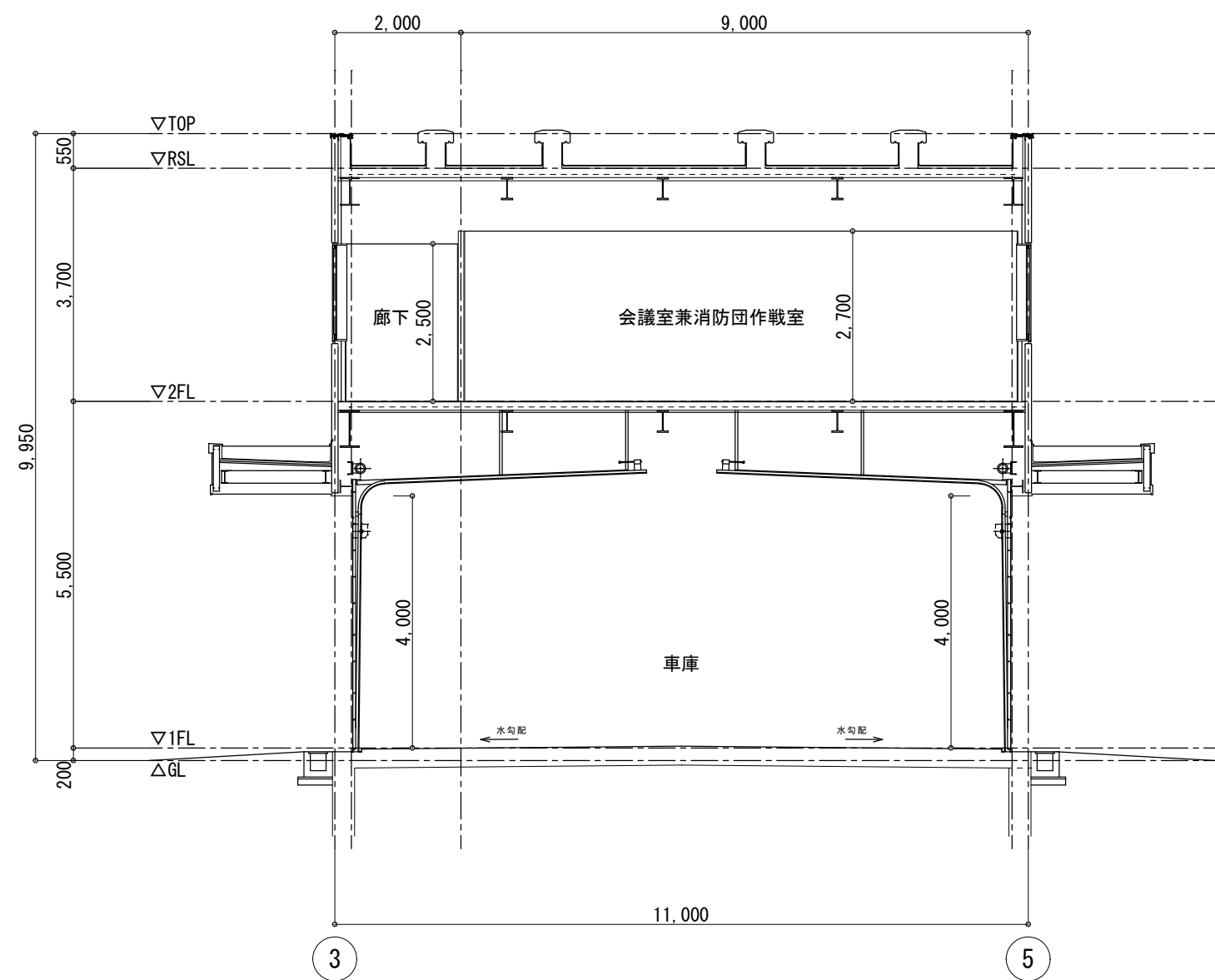
東立面図 1/100

仕 上 表	
(A)	外壁：ALC版たて張りt=100 複層塗材E吹付け(珩素)
(B)	巾木：コンクリート打放し補修 高耐候性水性珩素樹脂カア-吹付け
(C)	笠木：珩ミ製 カラーW=350
(D)	縦樋：硬質塩ビ管φ100着色管 つかみ金物：珩レス製 (SUS304)
(E)	幕板：ホ-ンテ 銅板t=1.6 焼付け塗装
(F)	ハト小屋：珩タシ塗膜防水
(G)	珩チ-ル製メッシュフェンス
(H)	珩ミ庇 W1300×D900
(I)	懸垂幕装置
(J)	ホ-ス乾燥塔
(K)	珩レスタラップ
(L)	アンテナ設置用ホ-ル φ190.7
(M)	ホ-バ-スライダ-

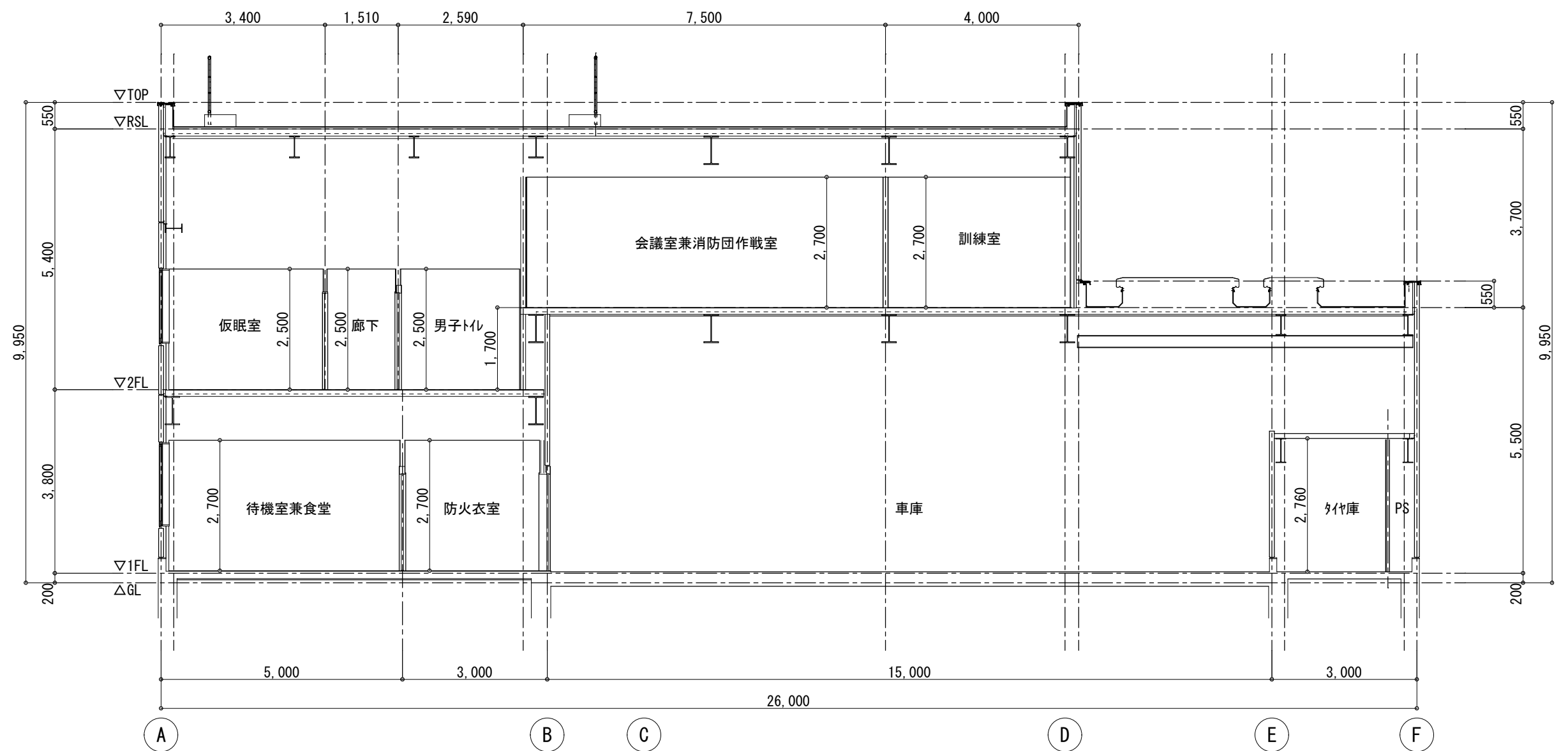
原図：A2



A-A断面図 1/100

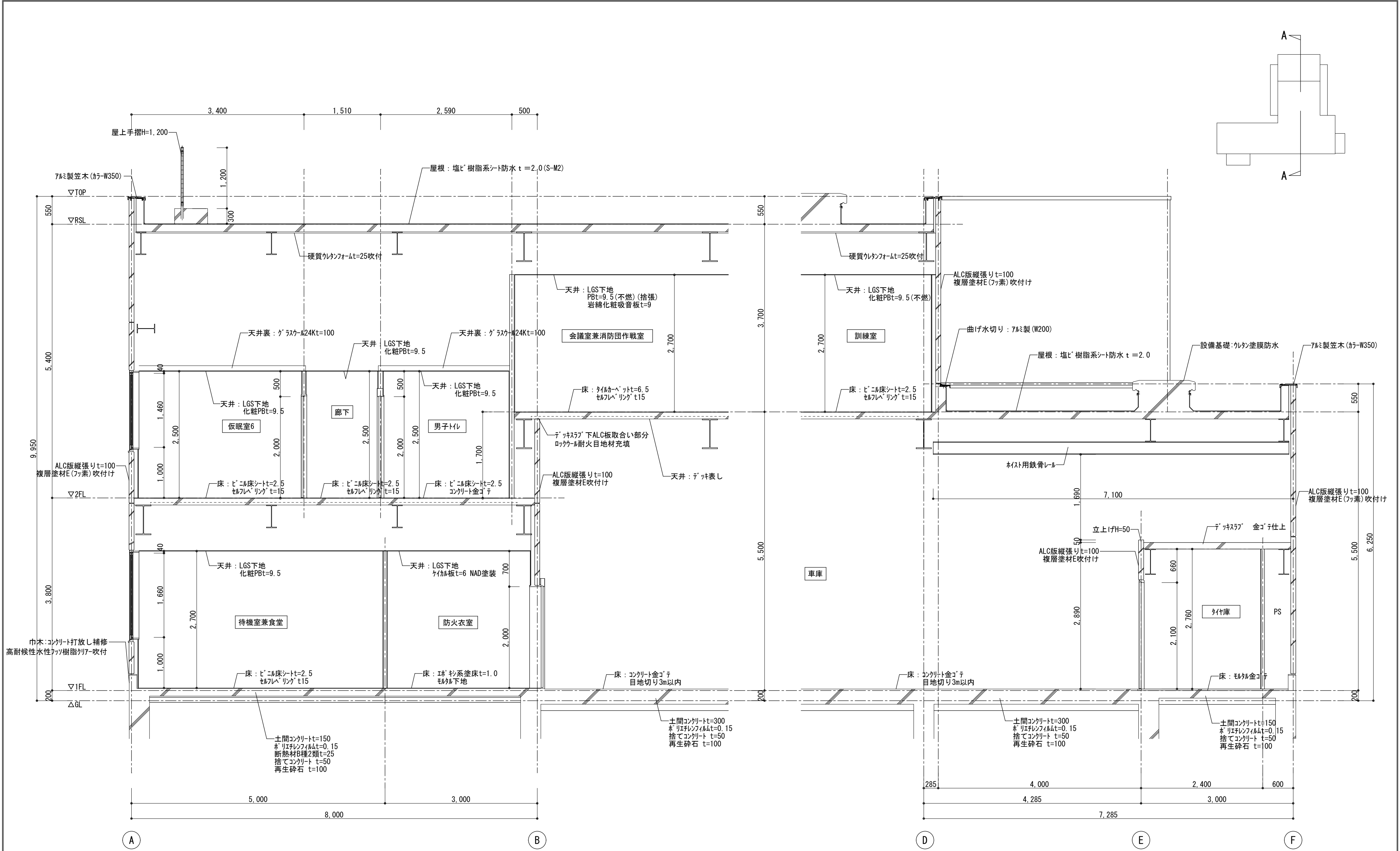


B-B断面図 1/100

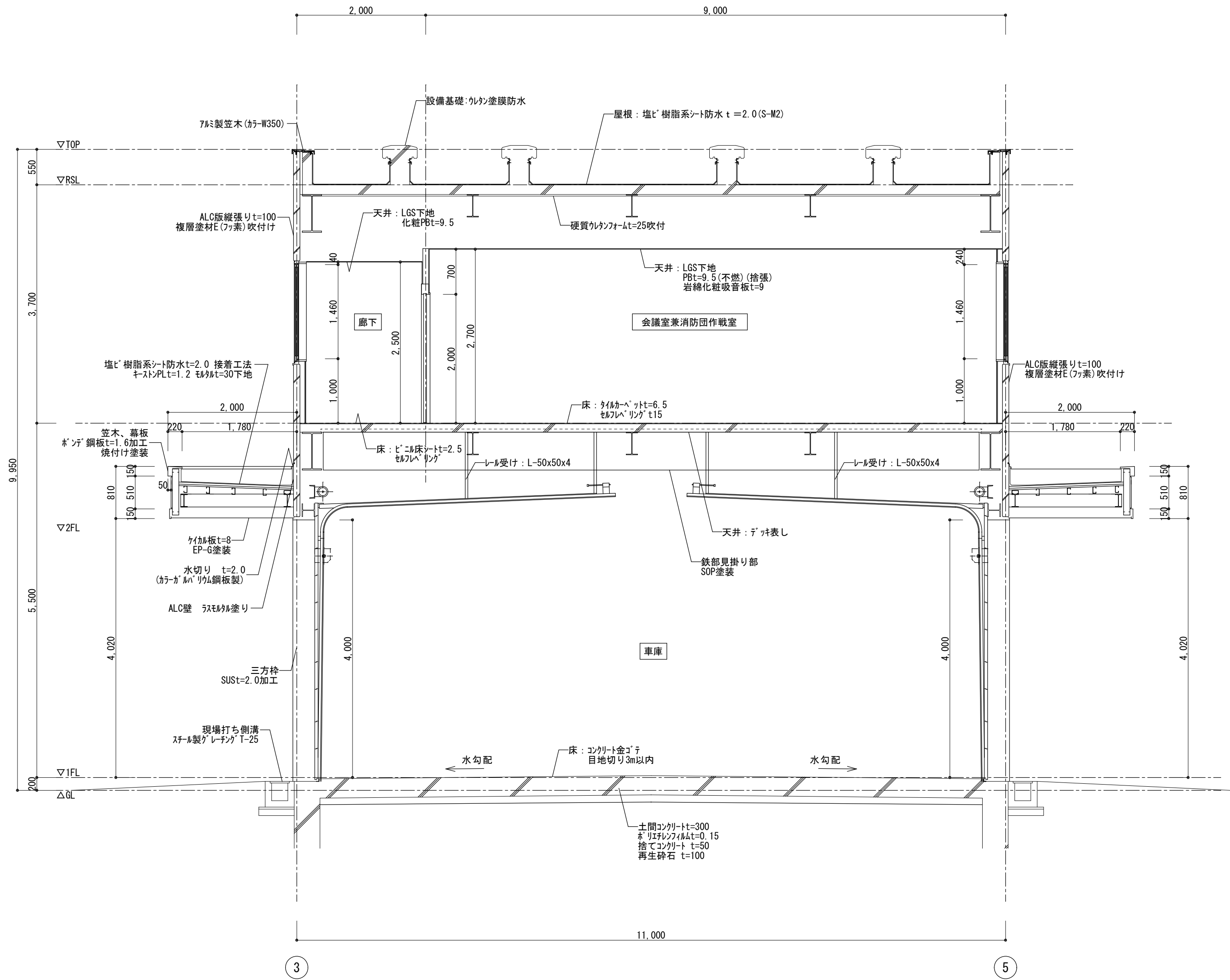


C-C断面図 1/100

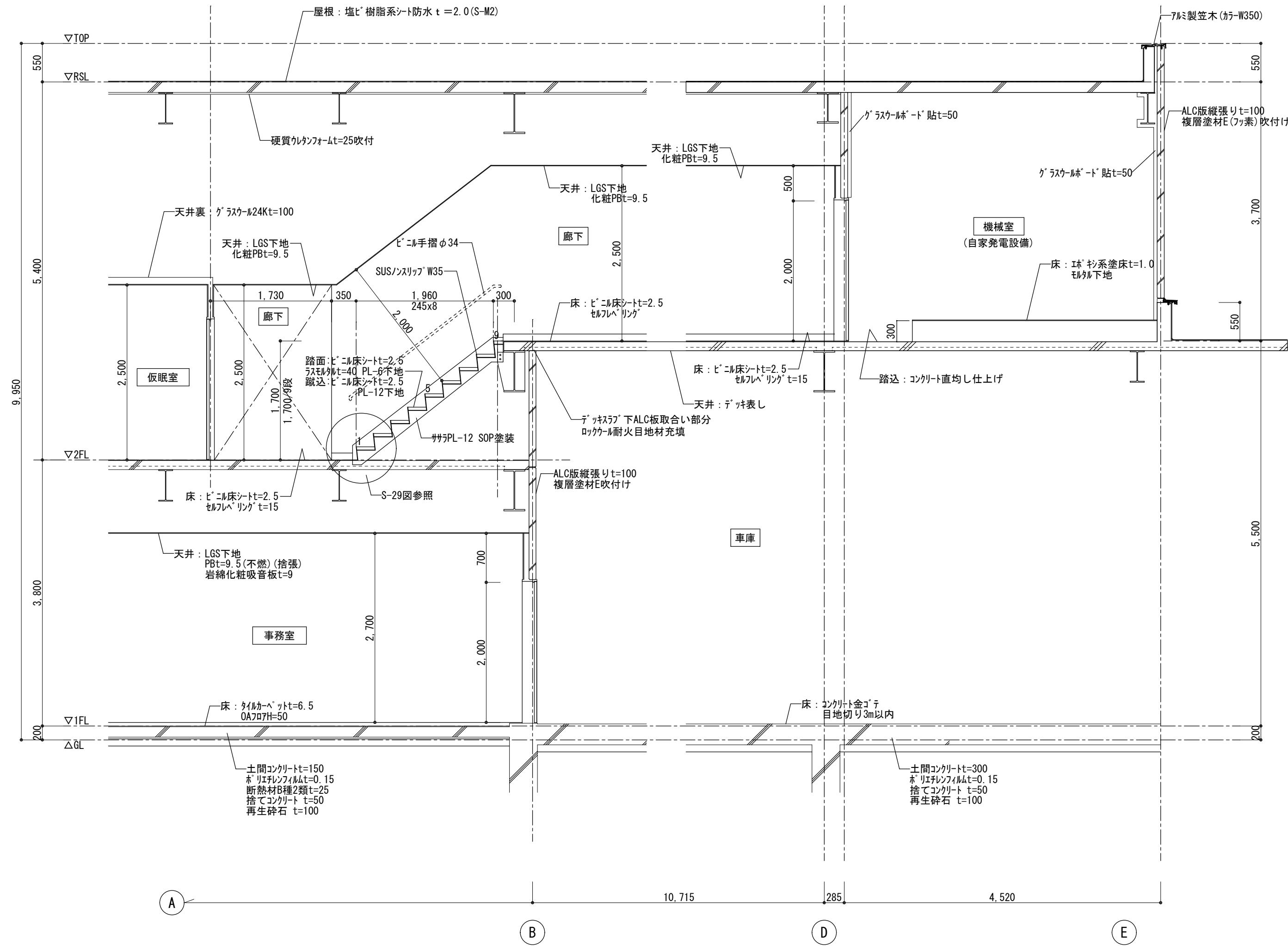
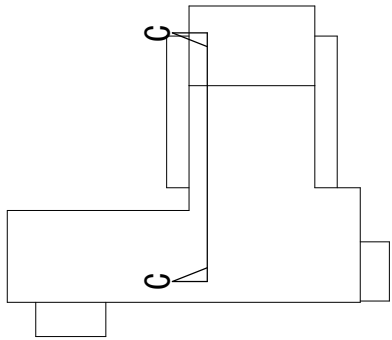
原図：A2



A-A 断面詳細図 1/50



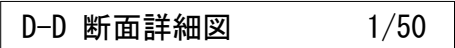
B-B 断面詳細図 1/50

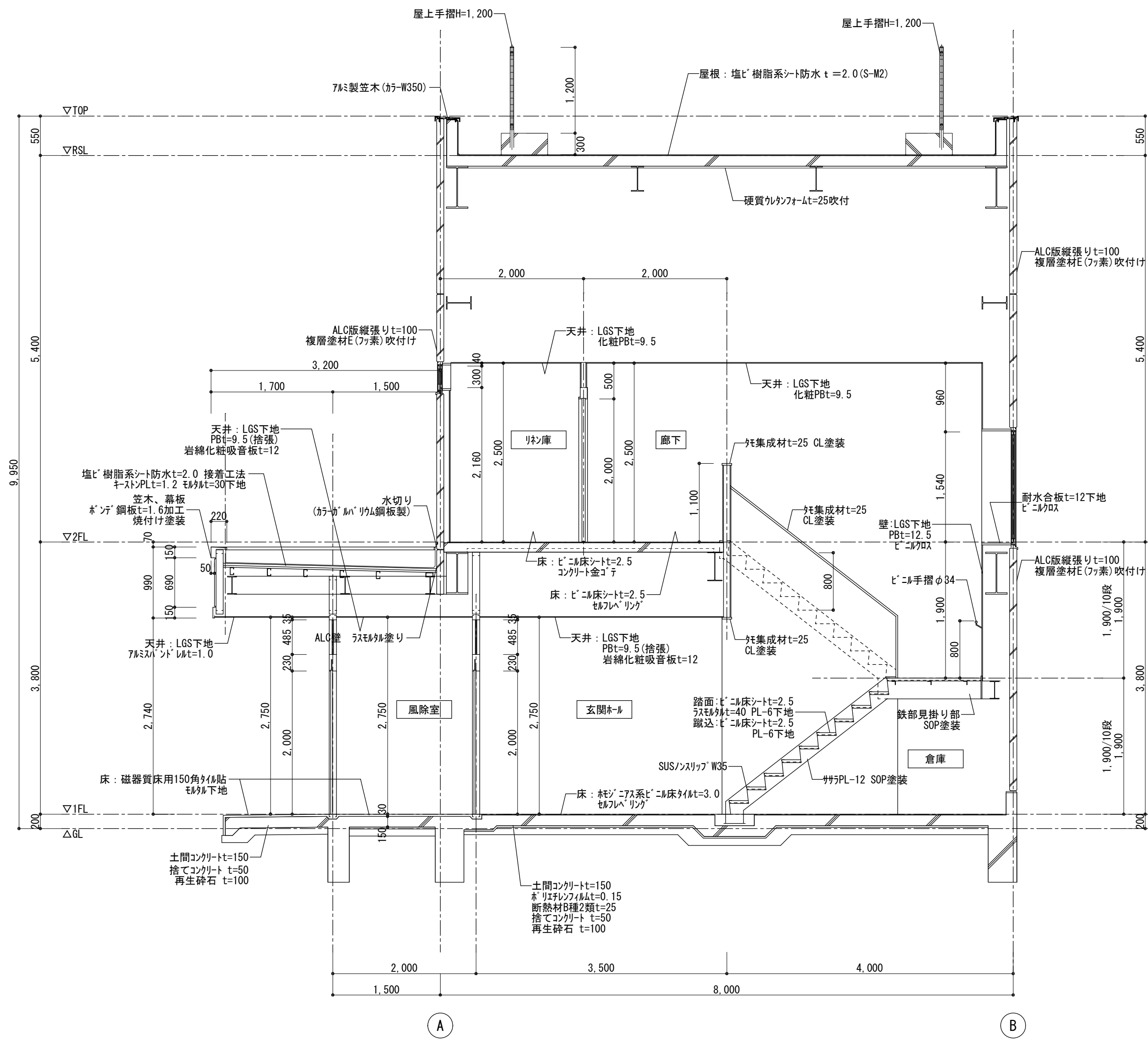


C-C 断面詳細図 1/50

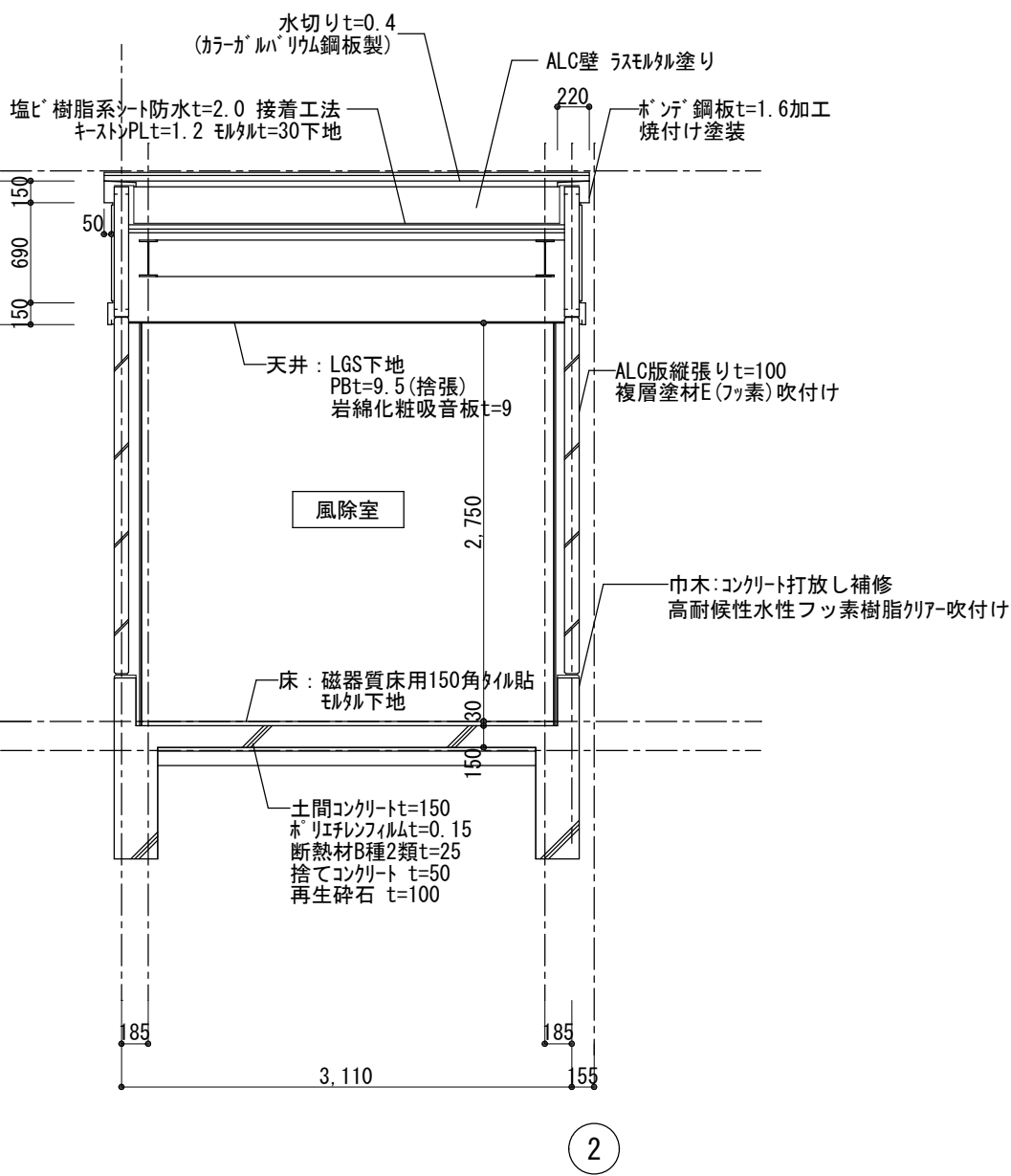
原図：A2

株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年 月 日	縮 尺 1/50	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図 名 断面詳細図 (3)	NO. A — 21 / 64
----------------	--	--	--------------------------	------	-------	----------	--------------------	---------------	-----------------

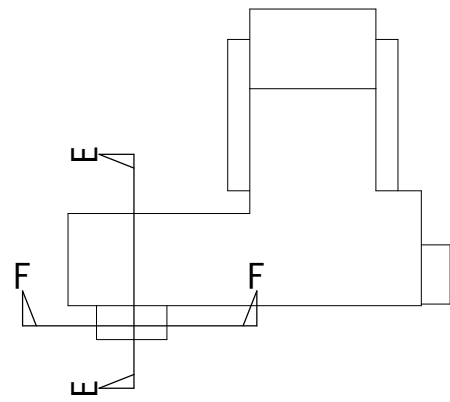




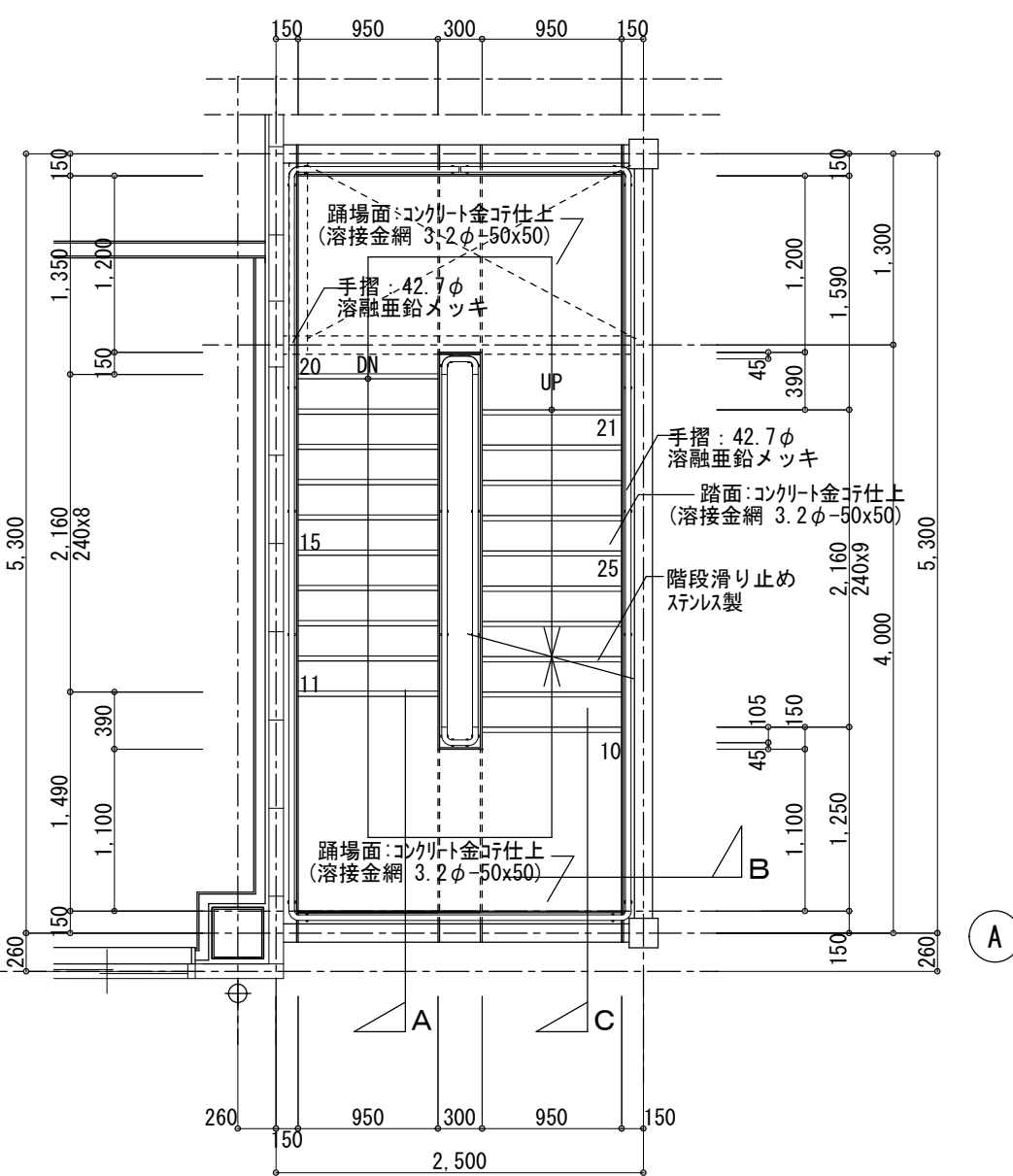
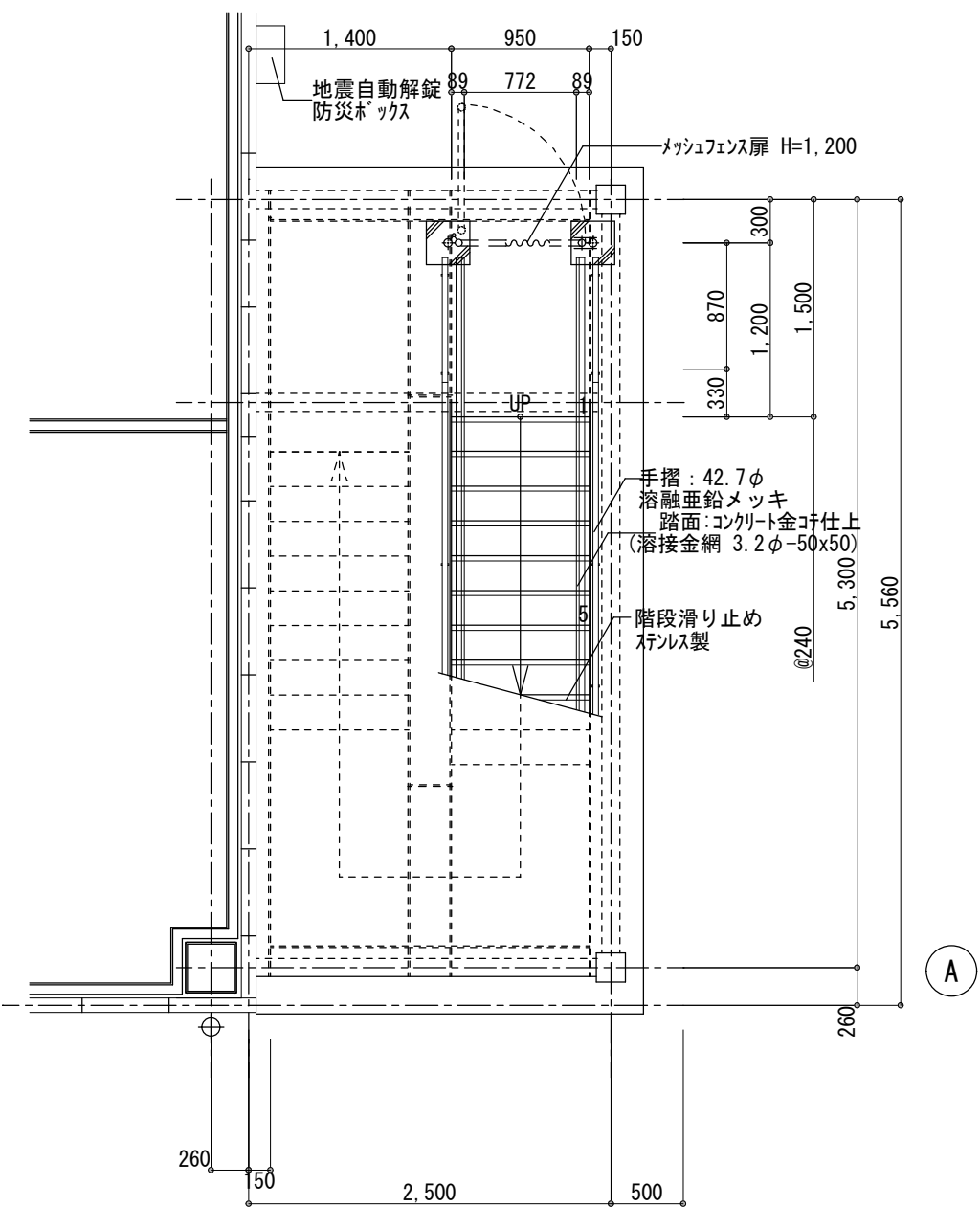
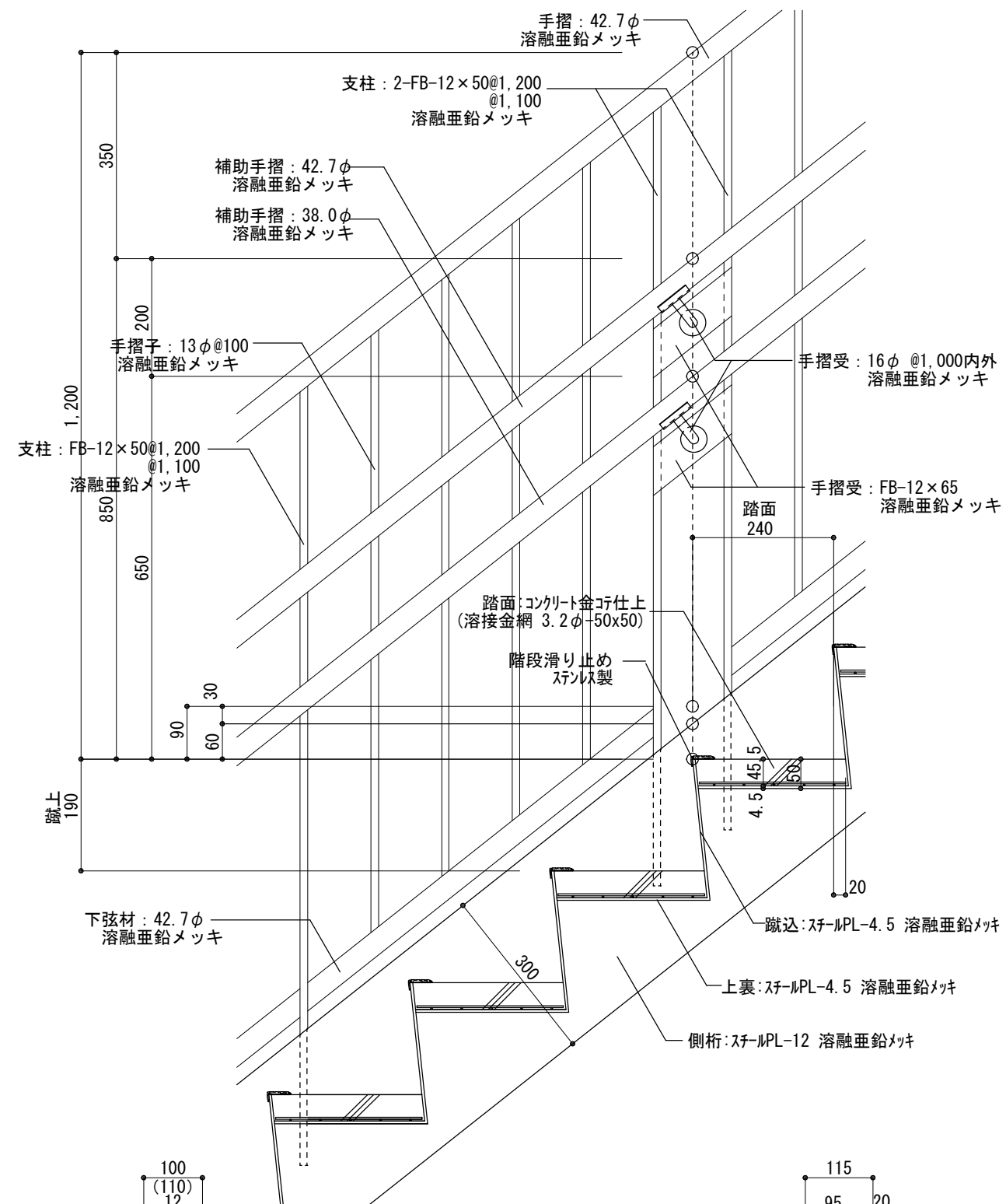
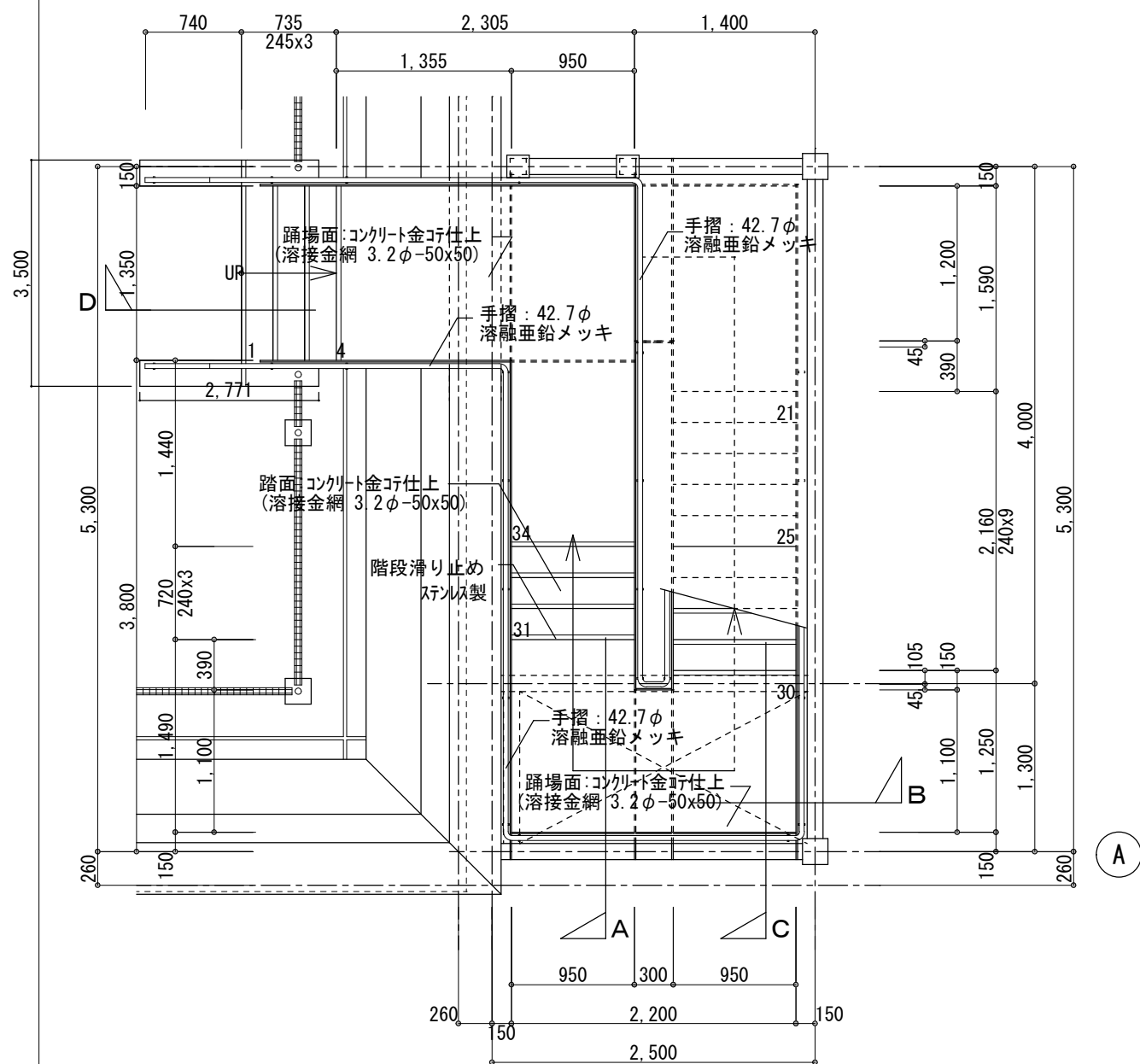
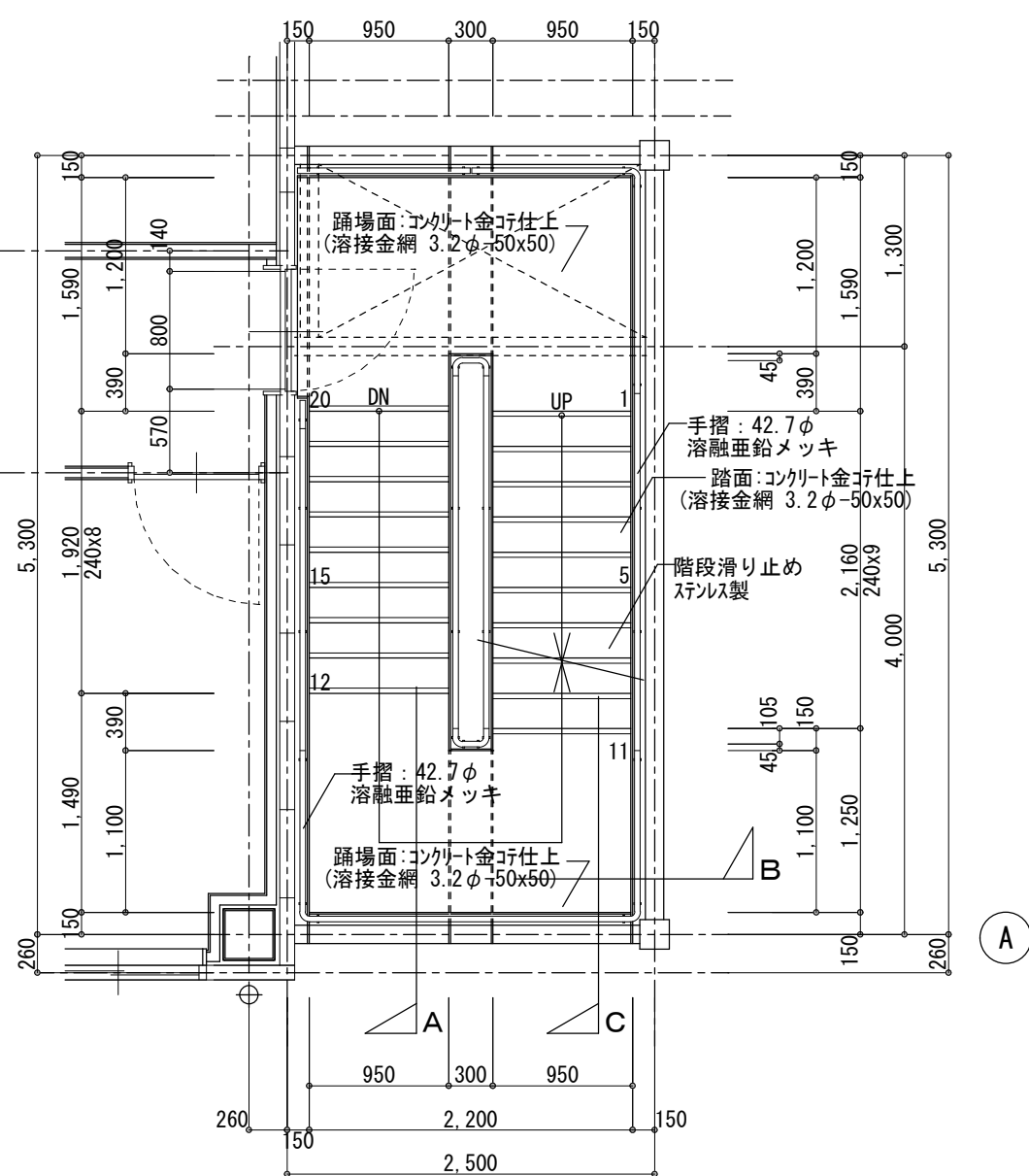
E-E 断面詳細図 1/50



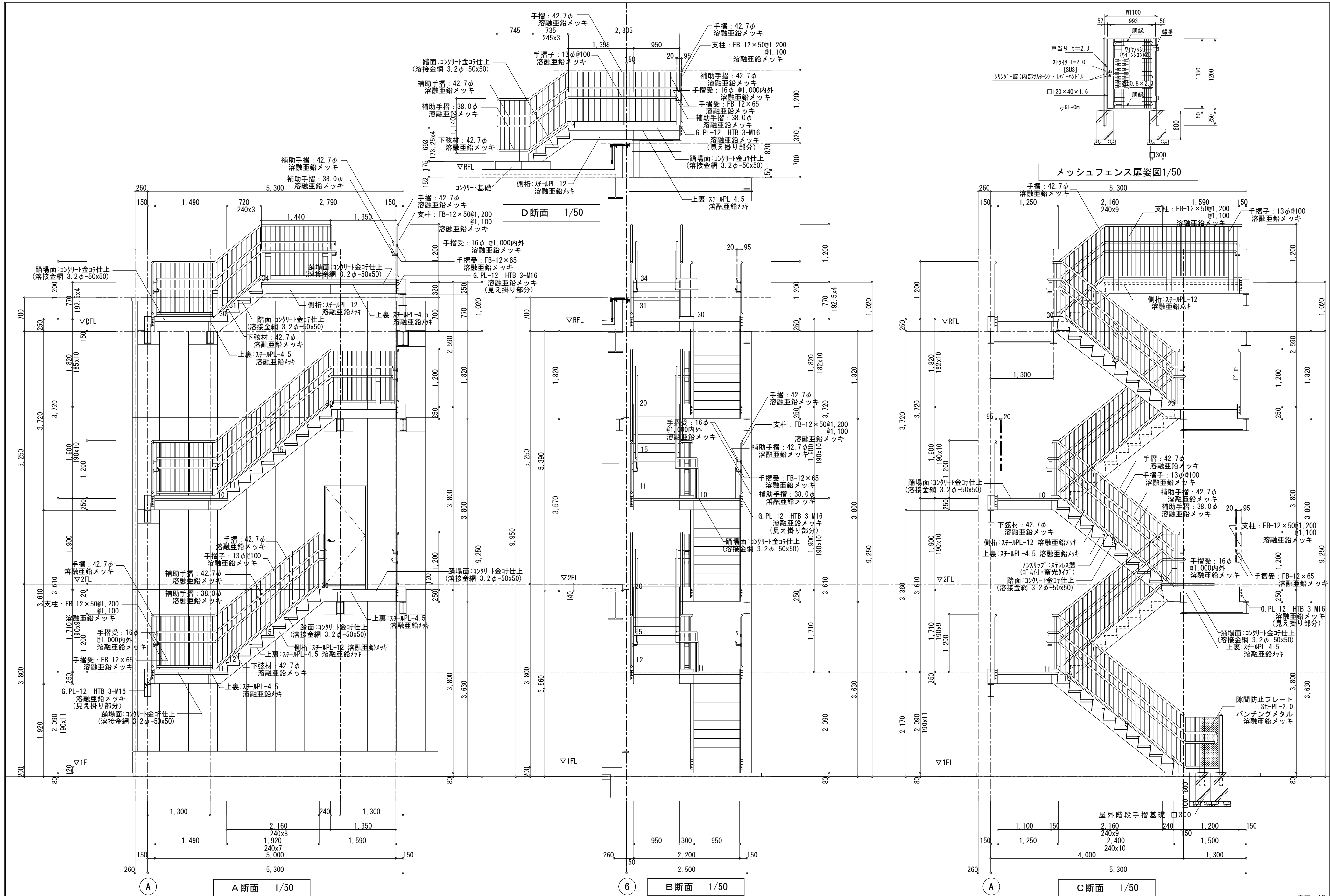
F-F 断面詳細図 1/50



原図：A2

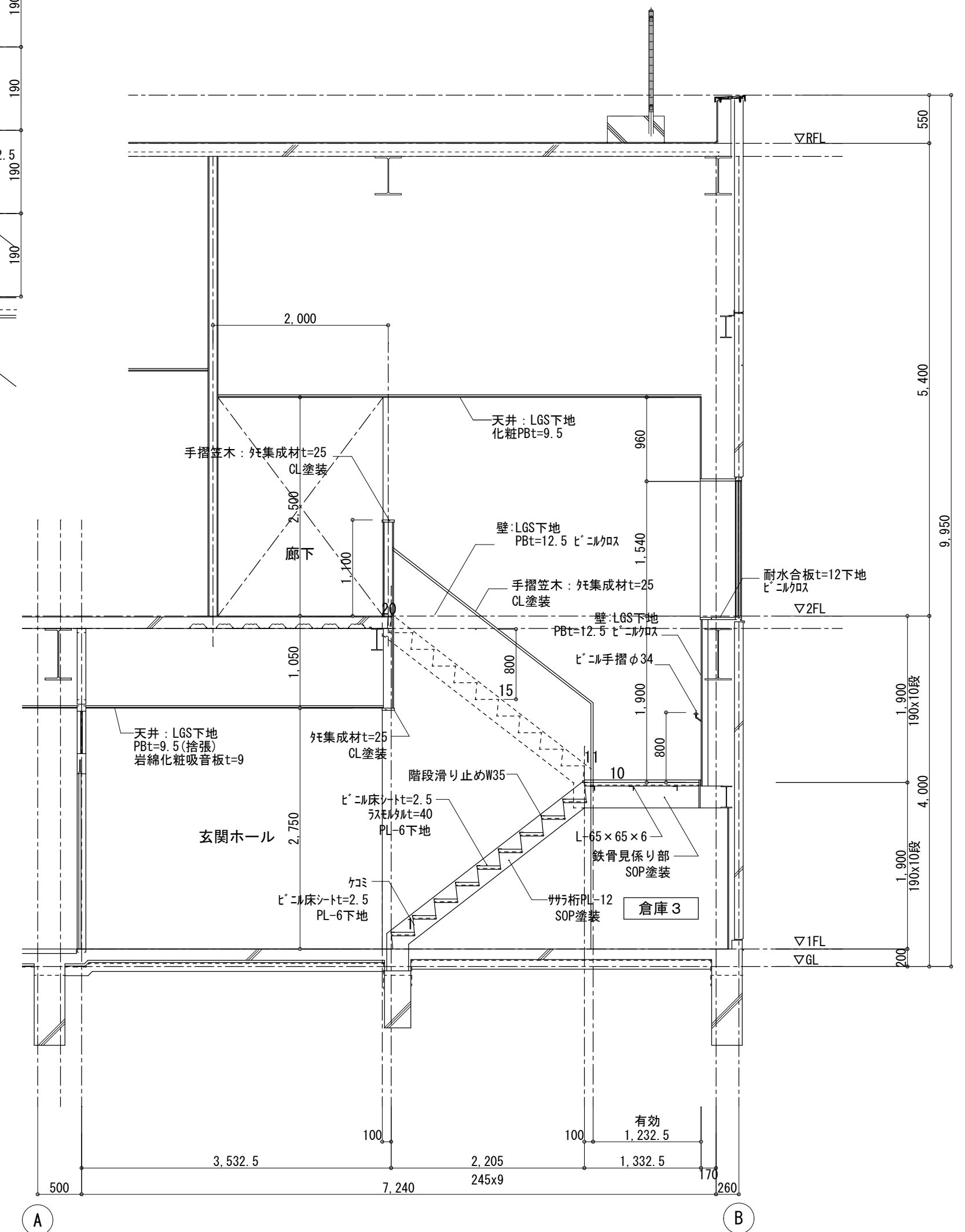
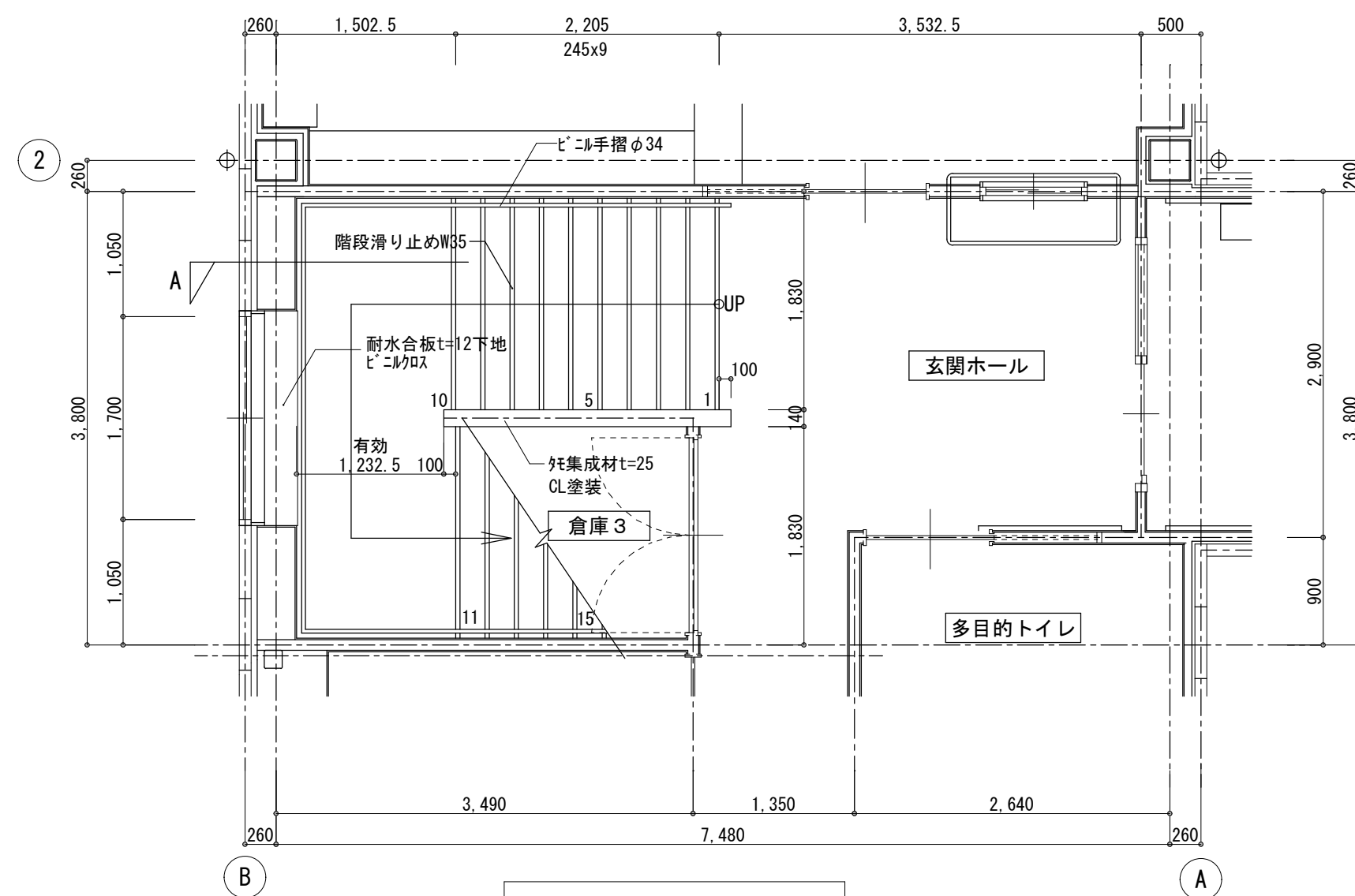
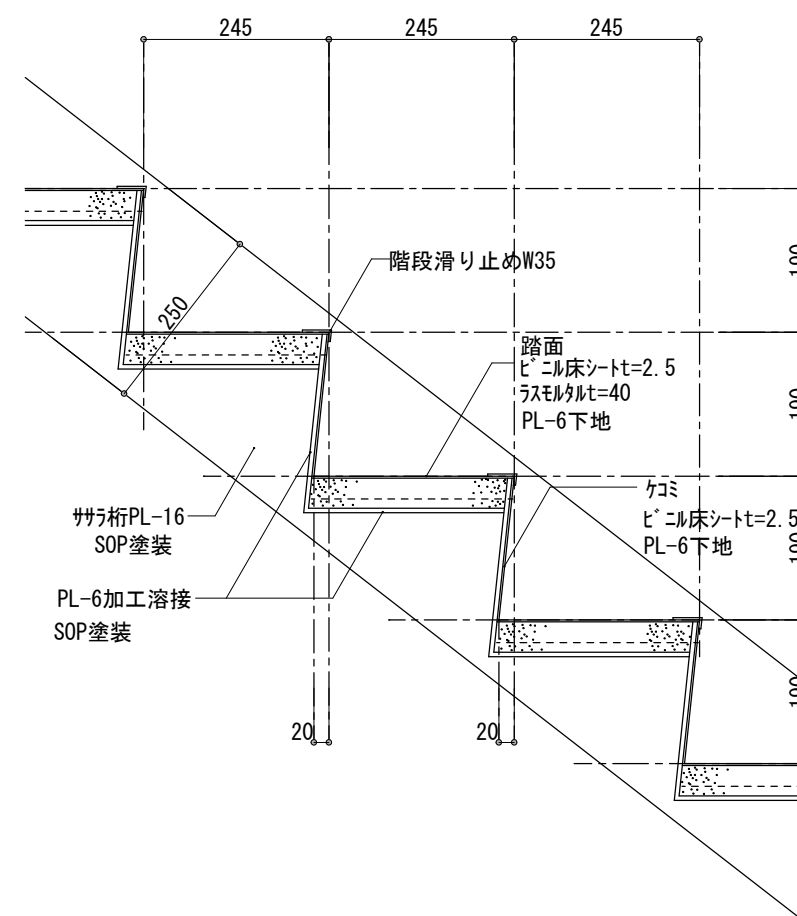
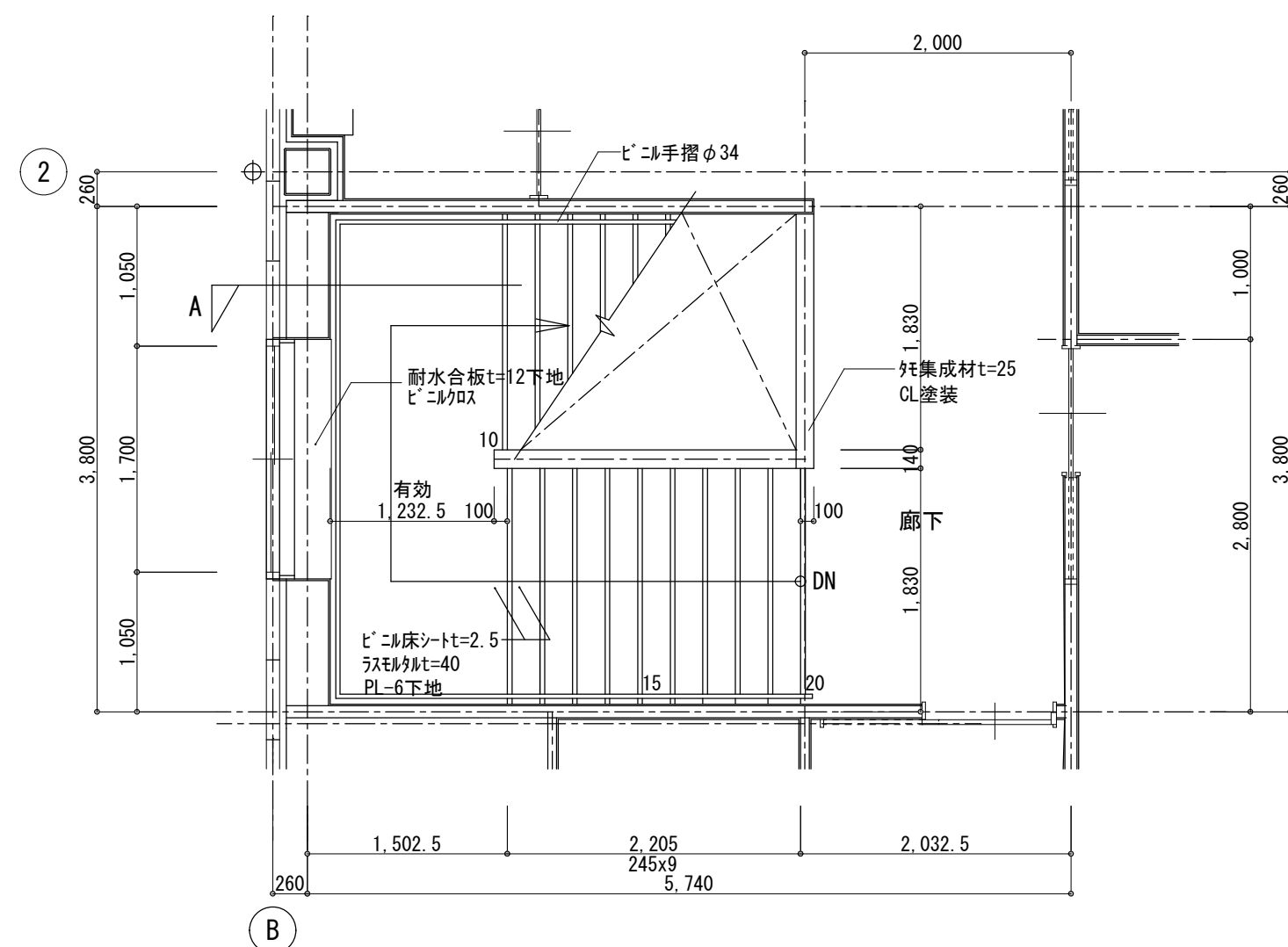


※ 屋外に面する、特記なき鉄部は溶融亜鉛メッキ(2種HDZ55)とする。

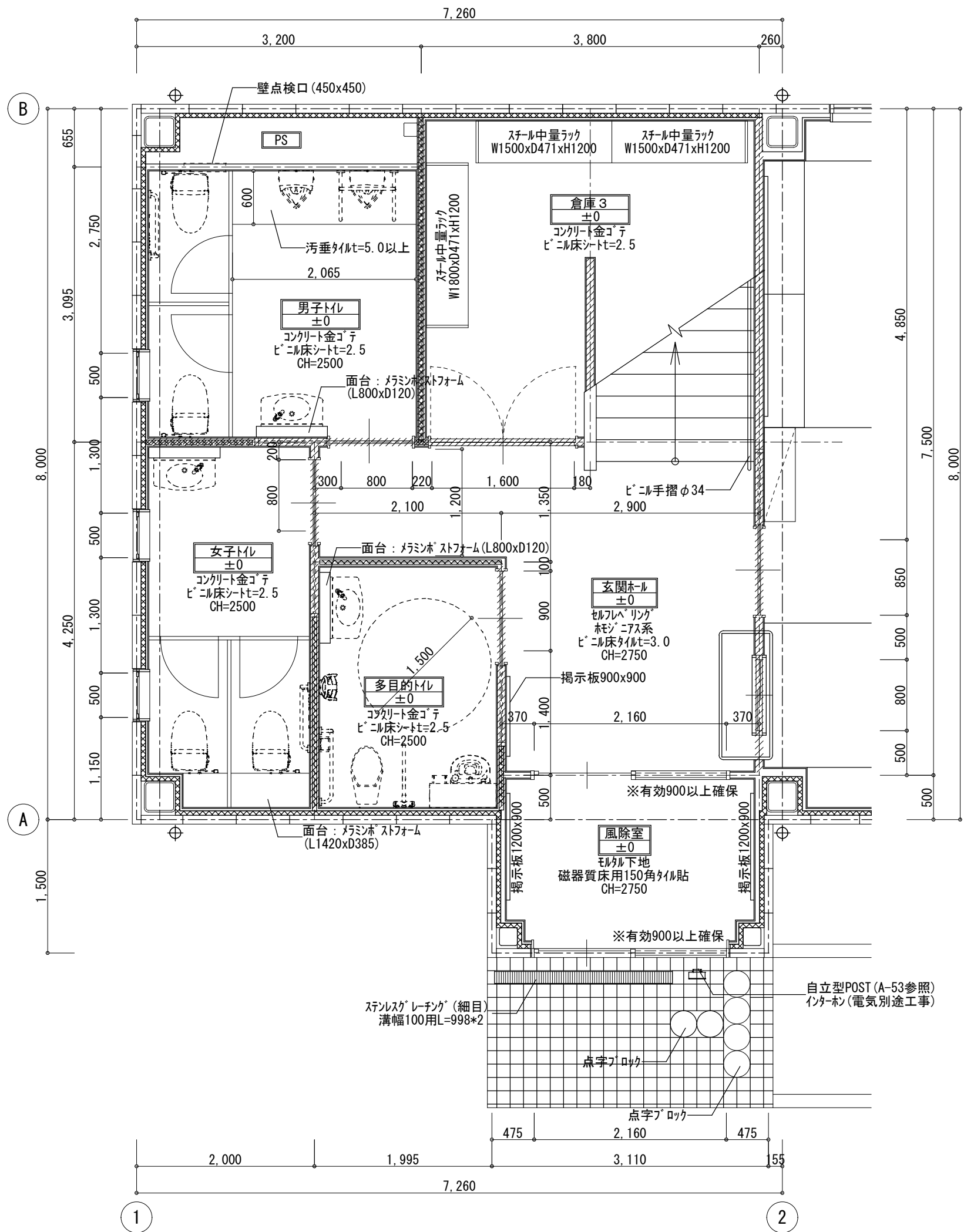
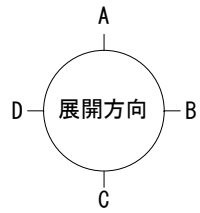


原図：A2

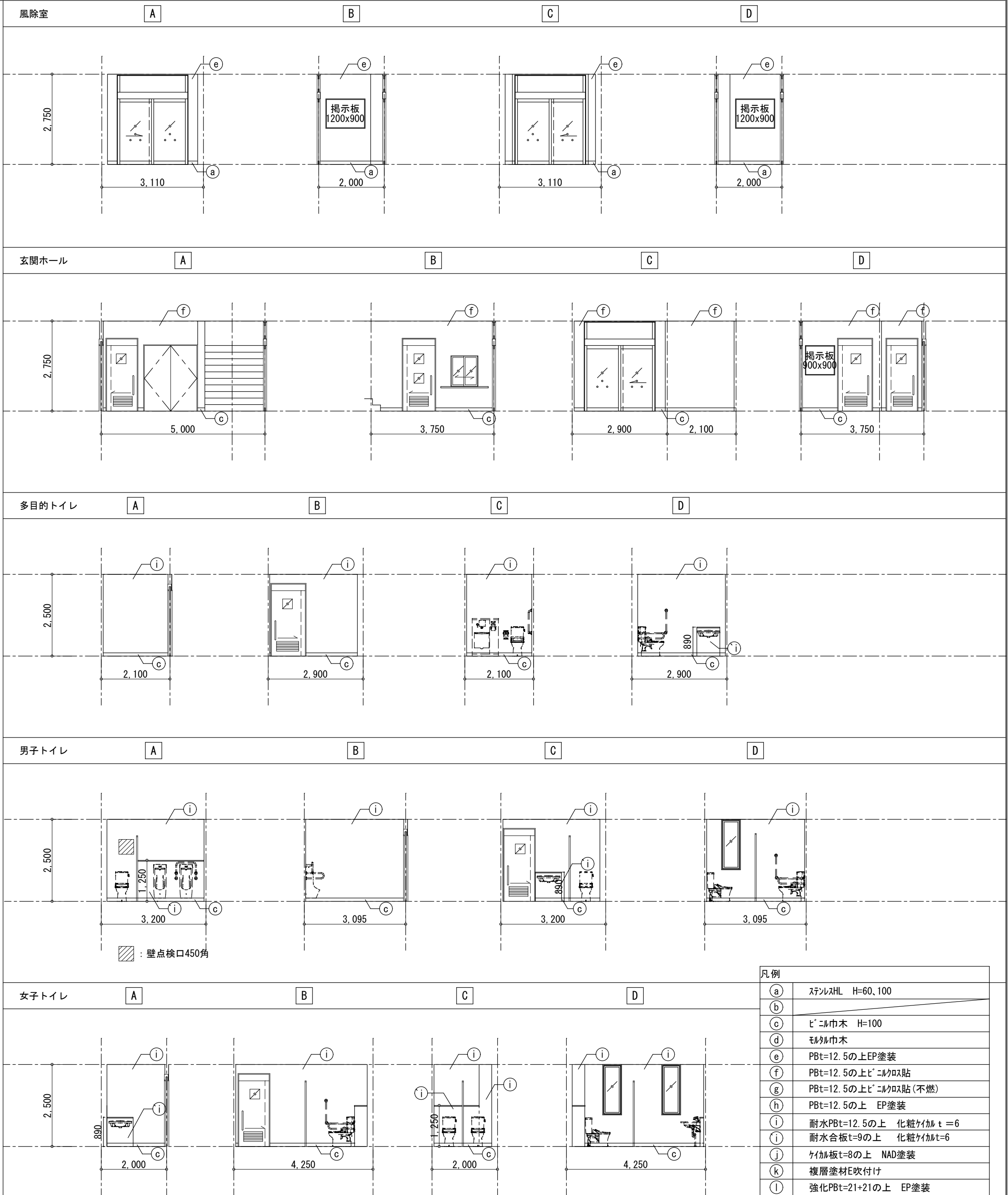
株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/50	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 屋外階段断面詳細図	NO. A-25 / 64
----------------	--	--	-------------------------	------	-----	---------	--------------------	--------------	---------------



原图：A2

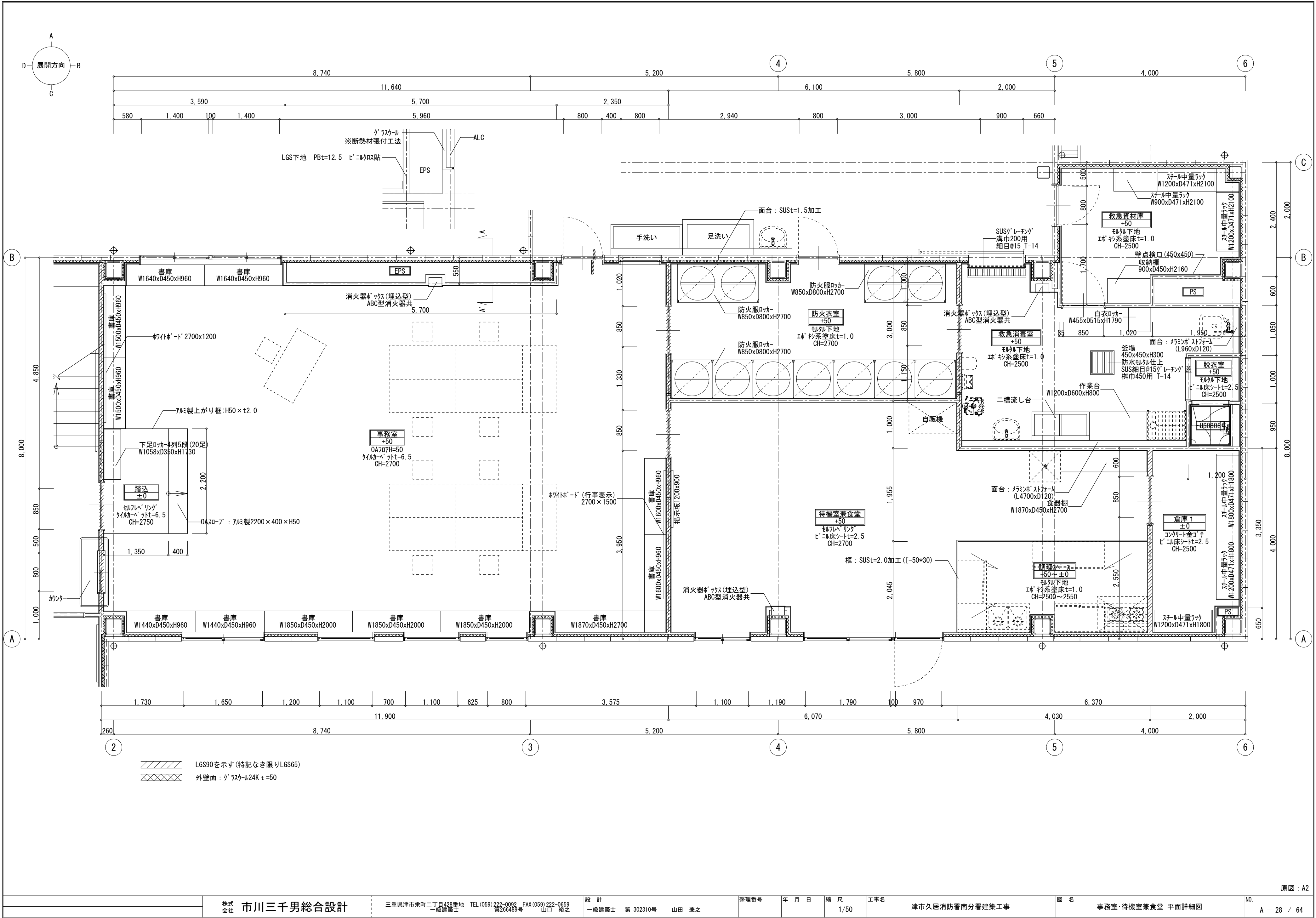


- /// LGS90を示す(特記なき限りLGS65)
- 外壁面: グラスカー-#24K t=50
- 間仕切り壁面: LGS65下地 グラスカー-#24K t=50
- 間仕切り壁面: LGS90下地 グラスカー-#24K t=100



凡例	
(a)	ステンズHL H=60、100
(b)	
(c)	ビニル巾木 H=100
(d)	珪藻土巾木
(e)	PBt=12.5の上EP塗装
(f)	PBt=12.5の上ビニル貼
(g)	PBt=12.5の上ビニル貼(不燃)
(h)	PBt=12.5の上 EP塗装
(i)	耐水PBt=12.5の上 化粧ケイカル t=6
(j)	耐水合板t=9の上 化粧ケイカルt=6
(k)	ケイカル板t=8の上 NAD塗装
(l)	複層塗材E吹付け
(m)	強化PBt=21+21の上 EP塗装
(n)	鉄骨 SOP塗装
(o)	グラスカー-#24K t=50 (ガラス貼)

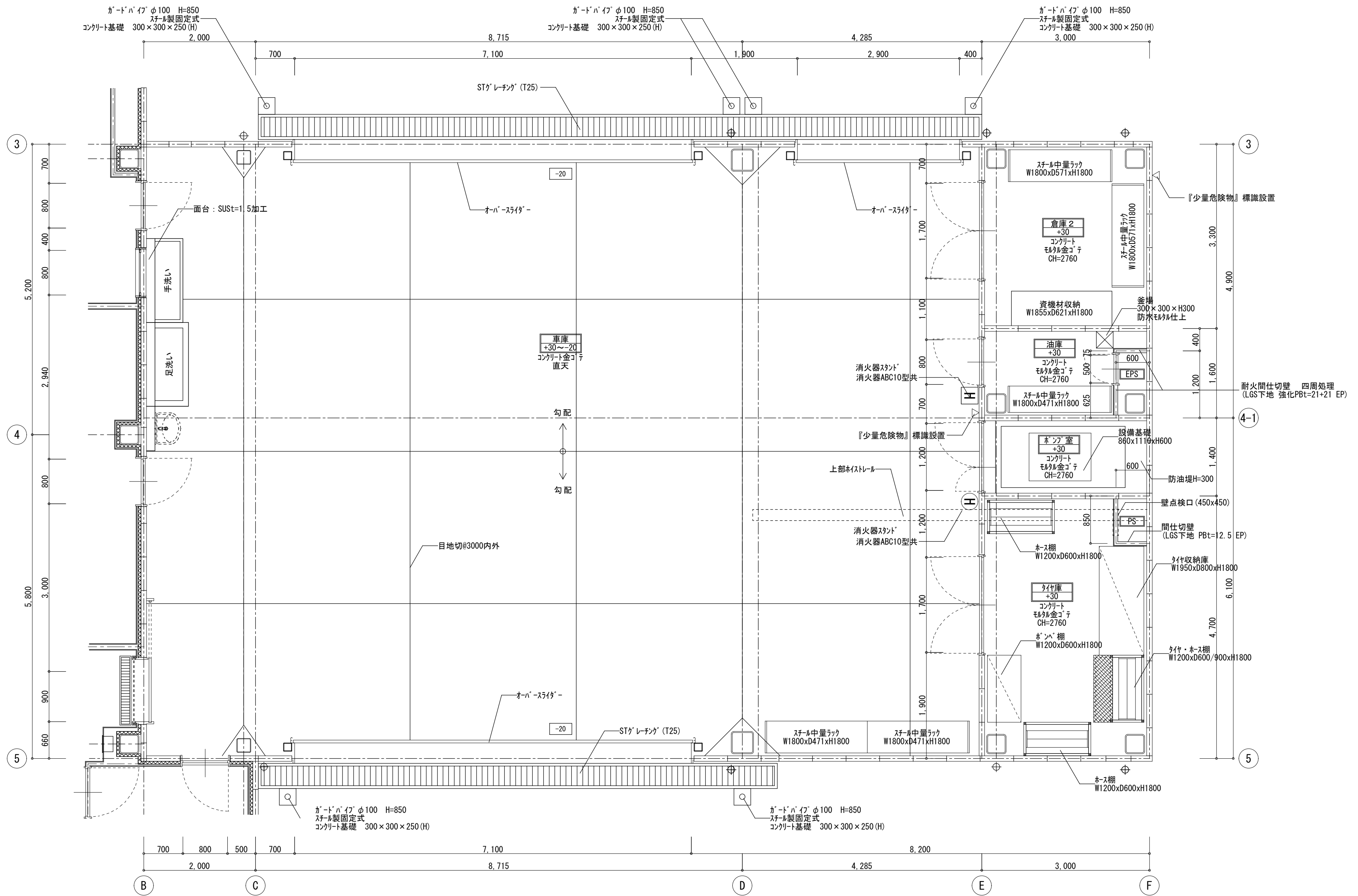
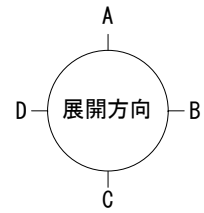
原図: A2



原図: A2

株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/50	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 事務室・待機室兼食堂 平面詳細図	NO. A — 28 / 64
----------------	--	--	--------------------------	------	-----	---------	--------------------	---------------------	-----------------





原図：A2

設計		整理番号	年月日	縮尺	工事名	図名	NO.
一級建築士 第 302310号 山口 裕之				1/50	津市久居消防署南分署建築工事	車庫 平面詳細図	A — 30 / 64
株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 第266489号 山口 裕之					



倉庫2

A

B

C

D

油庫

A

B

C

D

2,760

3,000

3,300

3,000

3,300

2,760

3,000

1,600

3,000

1,600

スチール中量ラック

スチール中量ラック

スチール中量ラック

資機材収納

自動ドア用カットスイッチ

足洗い

手洗い

ポンプ室

A

B

C

D

タイヤ庫

A

B

C

D

2,760

3,000

1,400

3,000

1,400

2,760

3,000

4,700

3,000

4,700

防油堤

ホース棚

タイヤ収納庫

ホース棚

ホース棚

ホース棚

壁点検口450角

防油堤

ホース棚

タイヤ収納庫

ホース棚

ホース棚

ホース棚

壁点検口450角

凡例

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

(f)

(g)

(h)

(i)

(j)

(k)

(l)

(m)

(n)

スチールHL H=60、100

ビニル巾木 H=100

ビニル巾木 H=100

モルタル巾木

PBt=12.5の上EP塗装

PBt=12.5の上ビニル吸貼

PBt=12.5の上ビニル吸貼(不燃)

PBt=12.5の上 EP塗装

耐水合板t=9の上 化粧ケイカル t=6

ケイカル板t=8の上 NAD塗装

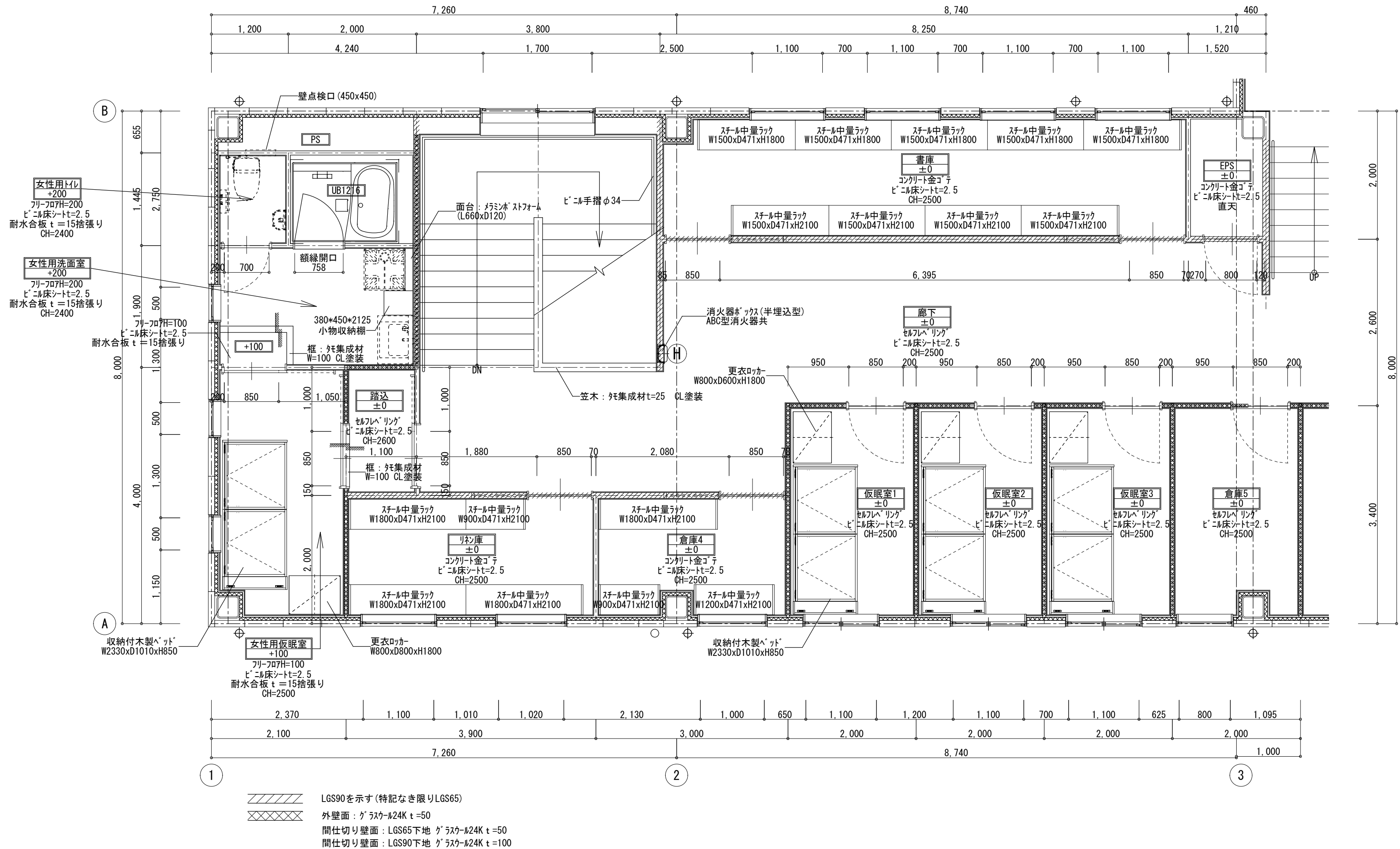
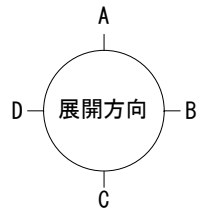
複層塗材E吹付け

強化PBt=21+21の上 EP塗装

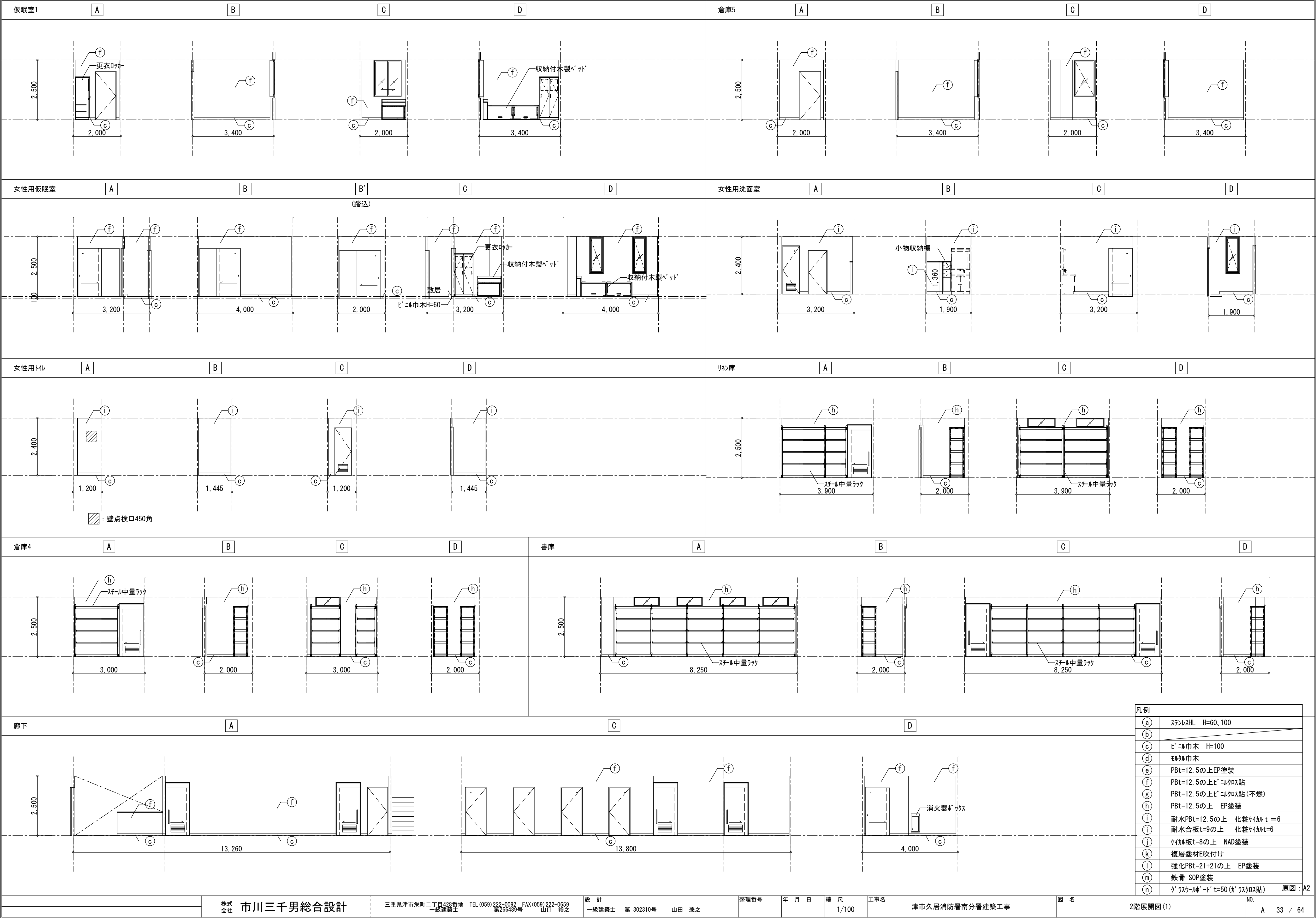
鉄骨 SOP塗装

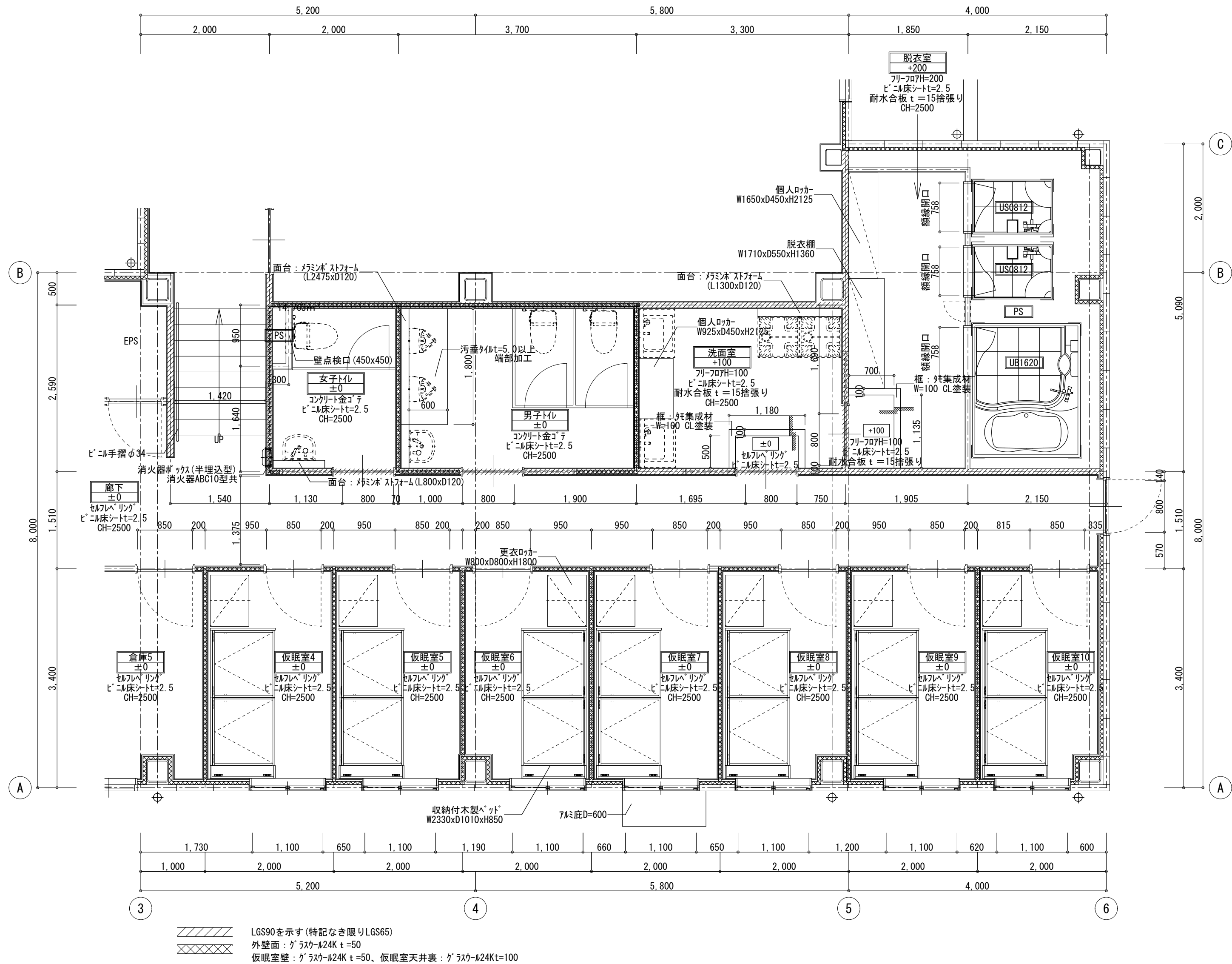
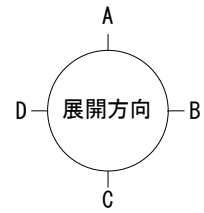
ガラスカーボート t=50(ガラス吸貼)

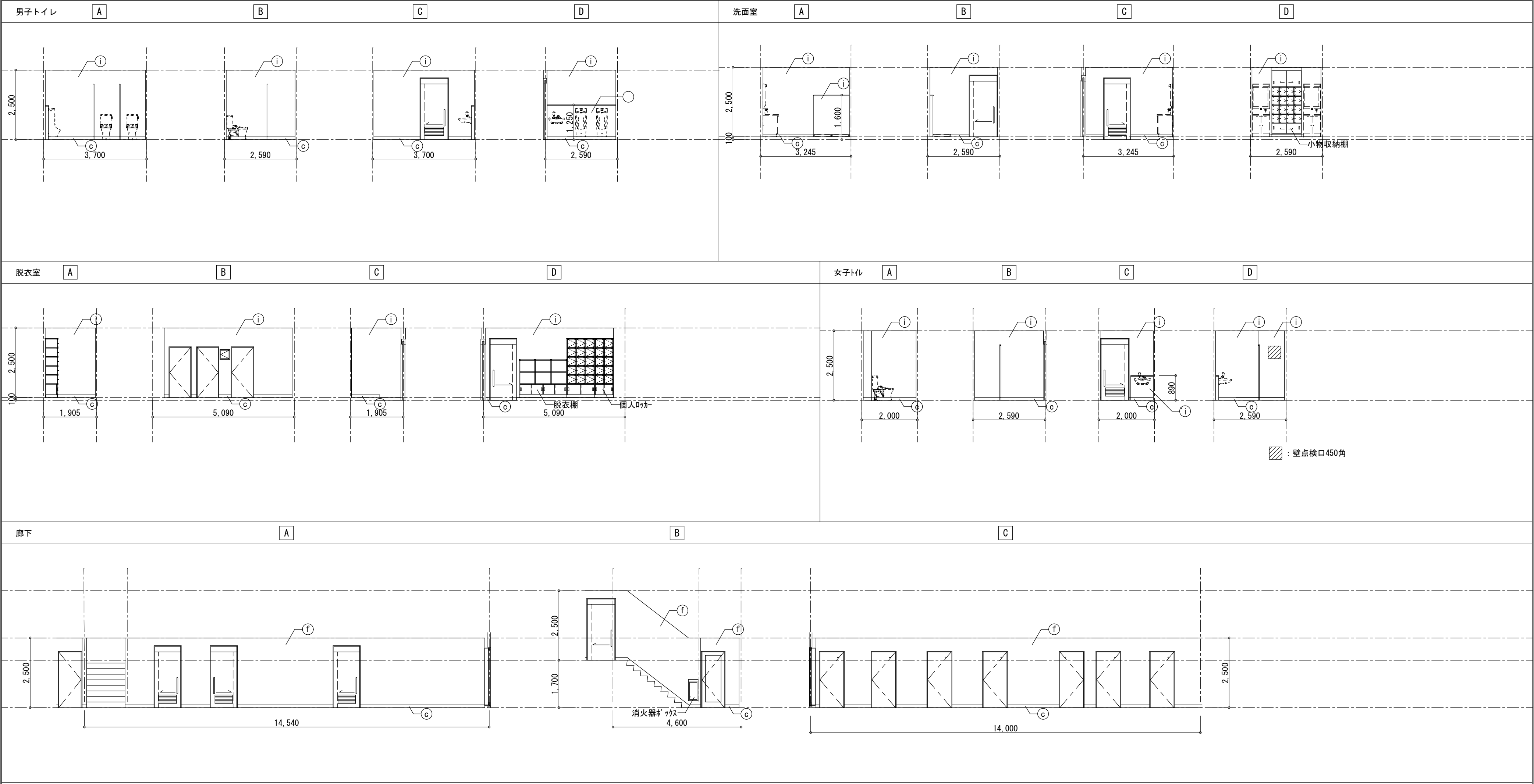
原図：A2



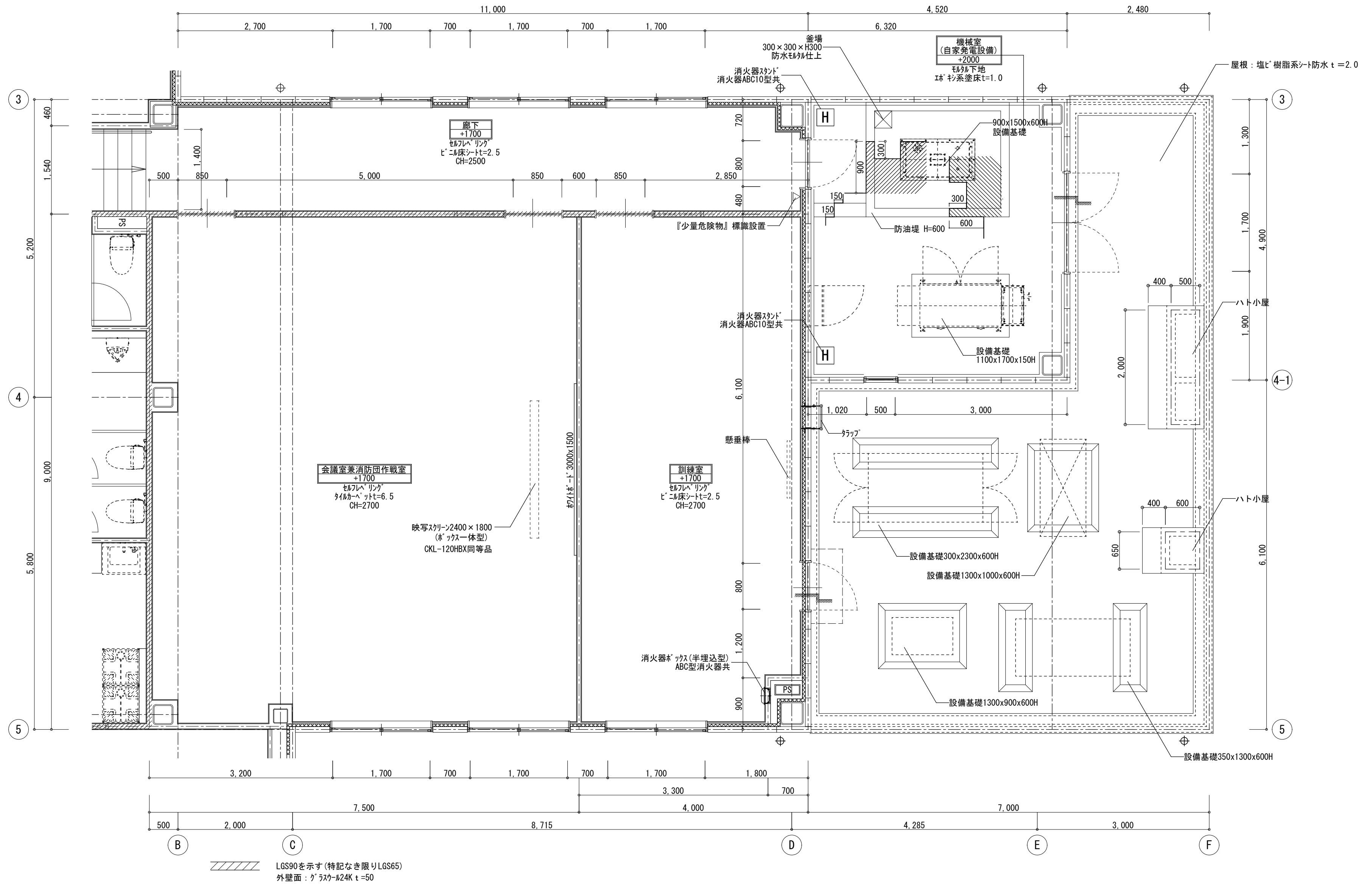
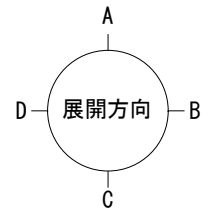
原図：A2







凡例		
(a)	ステンスHL H=60、100	
(b)		
(c)	ビニル巾木 H=100	
(d)	ミルミ巾木	
(e)	PBt=12.5の上EP塗装	
(f)	PBt=12.5の上ビニル貼	
(g)	PBt=12.5の上ビニル貼(不燃)	
(h)	PBt=12.5の上 EP塗装	
(i)	耐水PBt=12.5の上 化粧ケイル t=6	
(i)	耐水合板t=9の上 化粧ケイルt=6	
(j)	ケイル板t=8の上 NAD塗装	
(k)	複層塗材E吹付け	
(l)	強化PBt=21+21の上 EP塗装	
(m)	鉄骨 SOP塗装	
(n)	ケラスケルボード t=50 (ケラスケル貼)	
		原図：A2

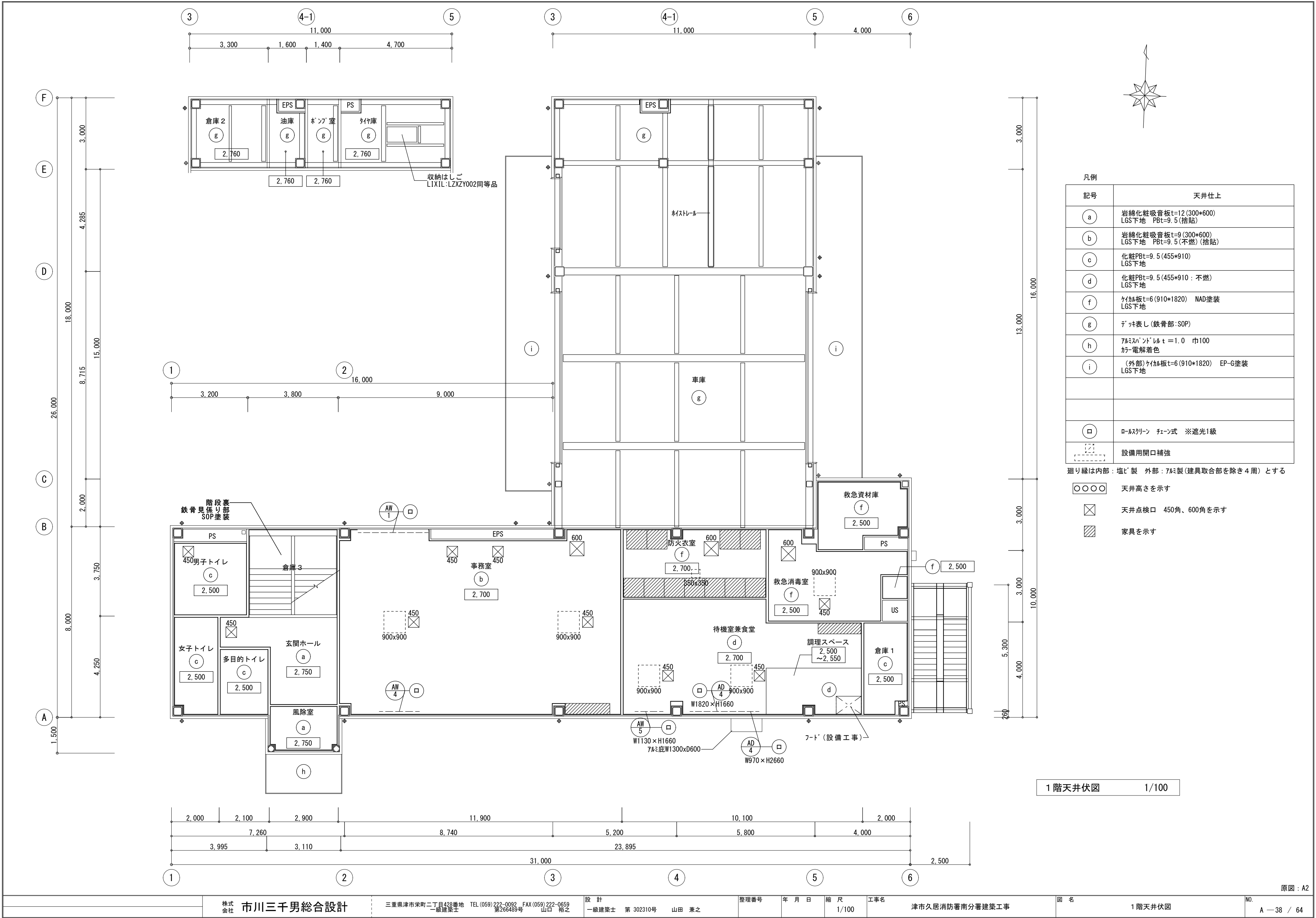


原図：A2

	株式会社 市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/50	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 会議室兼消防団作戦室 平面詳細図	NO. A — 36 / 64
--	----------------	--	--------------------------	------	-----	---------	--------------------	---------------------	-----------------



原図：A2



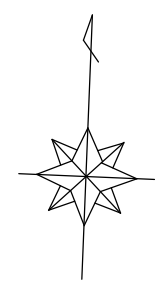
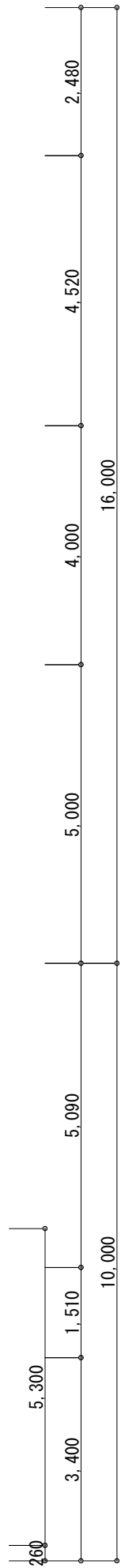
凡例	
記号	天井仕上
a	岩綿化粧吸音板t=12(300*600) LGS下地 Pbt=9.5(捨貼)
b	岩綿化粧吸音板t=9(300*600) LGS下地 Pbt=9.5(不燃)(捨貼)
c	化粧Pbt=9.5(455*910) LGS下地
d	化粧Pbt=9.5(455*910:不燃) LGS下地
f	ケイカル板t=6(910*1820) NAD塗装 LGS下地
g	デッキ表し(鉄骨部:SOP)
h	アルミサッシ t=1.0 巾100 カー電着色
i	(外部)ケイカル板t=6(910*1820) EP-G塗装 LGS下地
□	ロールスクリーン フェン式 ※遮光1級
⊠	設備用開口補強

廻り縁は内部：塩ビ製 外部：アルミ製(建具取合部を除き4周)とする

- ○ ○ ○
- 天井高さを示す
-
- ⊠
- 天井点検口 450角、600角を示す
-
- ▨
- 家具を示す

1階天井伏図 1/100

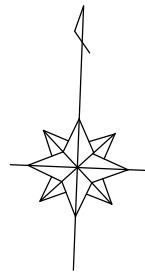
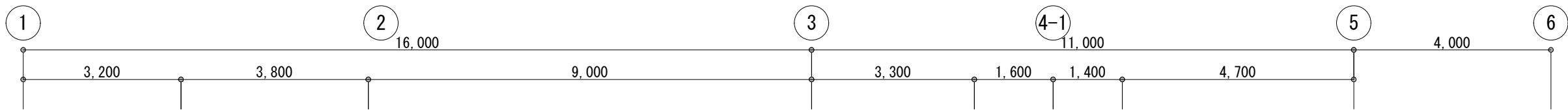
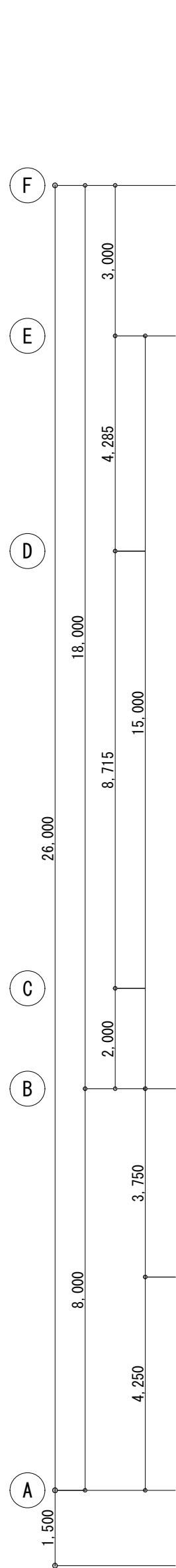
原図：A2



廻り縁は内部：塩ビ製 外部：FRP製(建具取合部を除き4周)とする

	天井高さを示す
	天井点検口 450角、600角を示す
	家具を示す

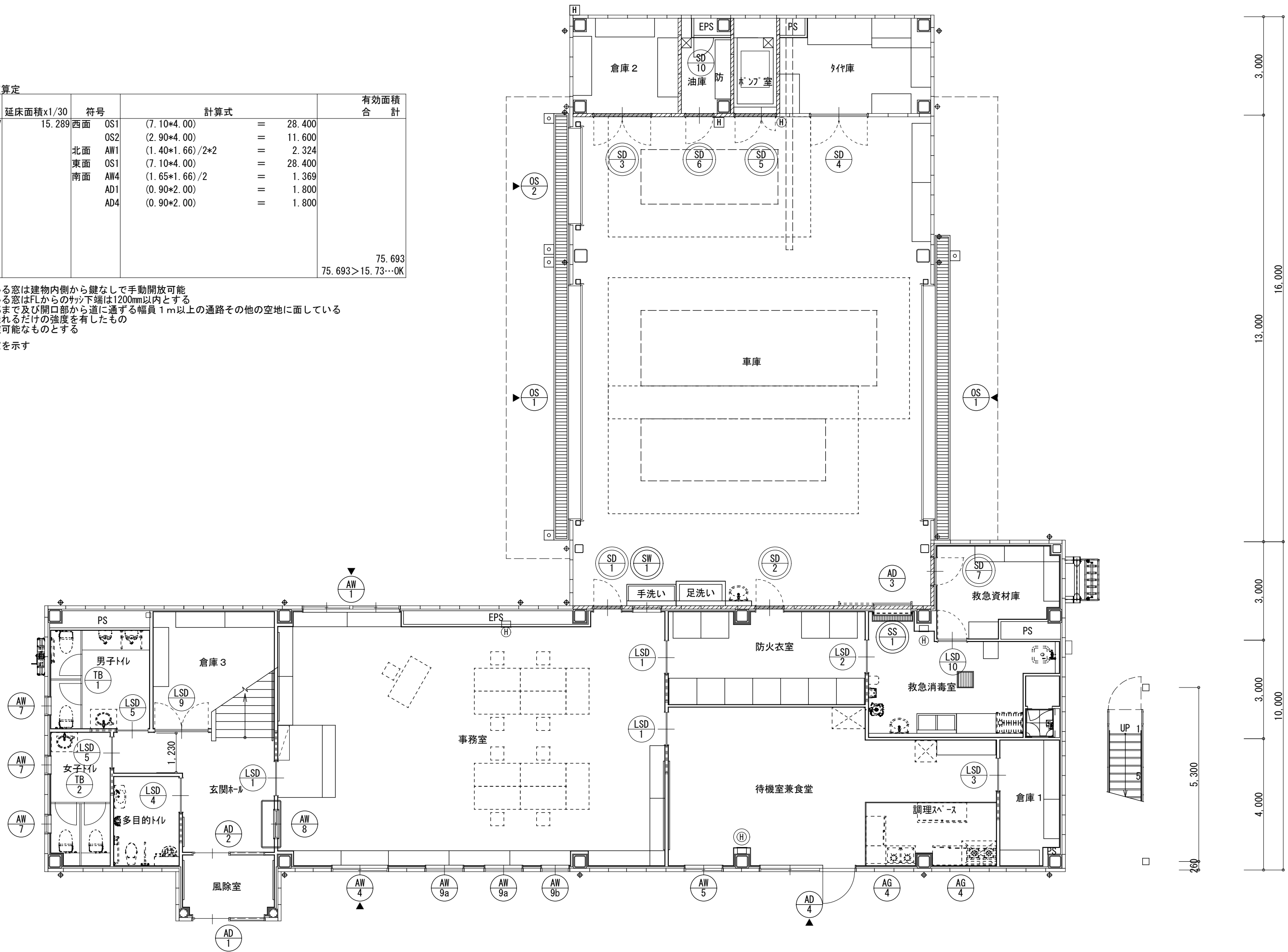
2階天井伏図 1/100



消防用 有窓・無窓算定

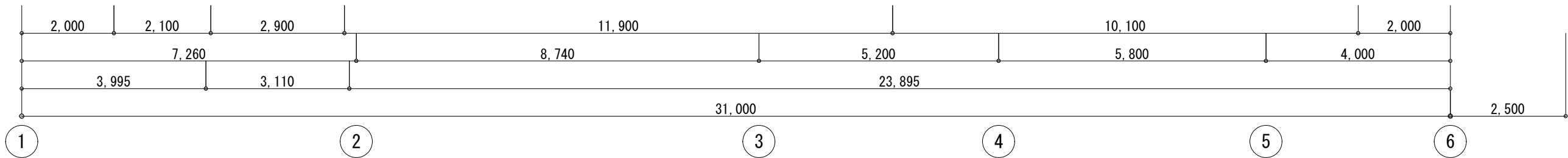
階	延床面積	延床面積x1/30	符号	計算式	有効面積 合 計
1	458.67	15.289	西面 OS1	(7.10*4.00) =	28.400
			OS2	(2.90*4.00) =	11.600
			北面 AW1	(1.40*1.66)/2*2 =	2.324
			東面 OS1	(7.10*4.00) =	28.400
			南面 AW4	(1.65*1.66)/2 =	1.369
			AD1	(0.90*2.00) =	1.800
			AD4	(0.90*2.00) =	1.800
					75.693
					75.693>15.73...OK

※有効開口としている窓は建物内側から鍵なしで手動開放可能
※有効開口としている窓はFLからのサツ下端は1200mm以内とする
※開口部は、開口部まで及び開口部から道に通ずる幅員1m以上の通路その他の空地に面している
※車庫の底は人が乗れるだけの強度を有したものとす
※電気錠は遠隔開錠可能なものとする
▲：有効開口採用窓を示す

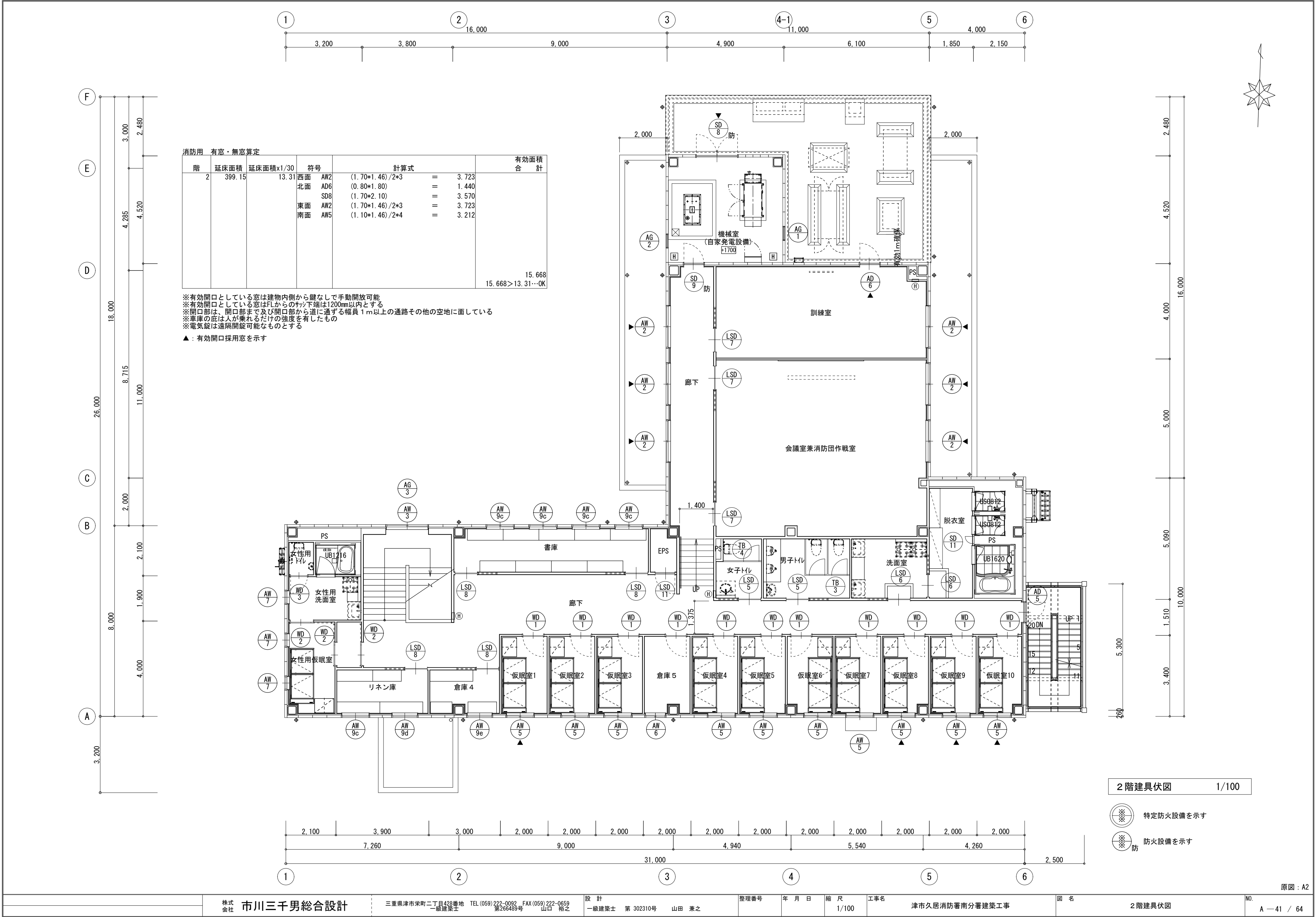


1 階建具伏図 1/100

- 特定防火設備を示す
- 防火設備を示す



原図：A2



消防用 有窓・無窓算定

階	延床面積	延床面積×1/30	符号	計算式			有効面積 合 計
2	399.15	13.31	西面 AW2	$(1.70 \times 1.46) / 2 \times 3$	=	3.723	15.668 15.668>13.31…OK
			北面 AD6	(0.80×1.80)	=	1.440	
			SD8	(1.70×2.10)	=	3.570	
			東面 AW2	$(1.70 \times 1.46) / 2 \times 3$	=	3.723	
			南面 AW5	$(1.10 \times 1.46) / 2 \times 4$	=	3.212	

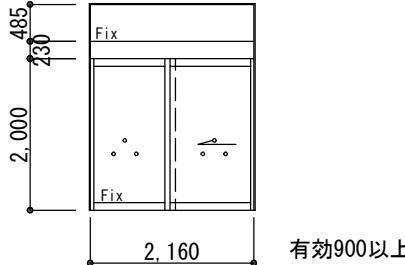
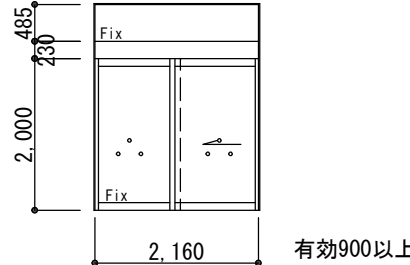
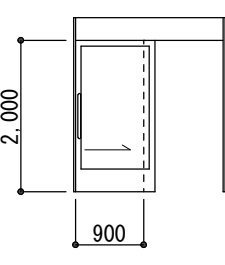
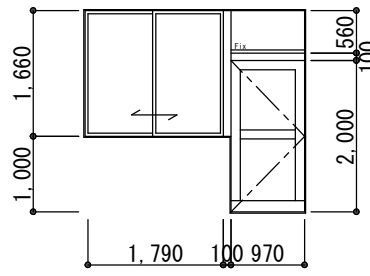
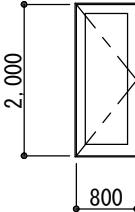
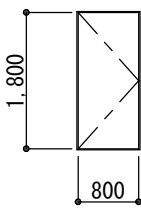
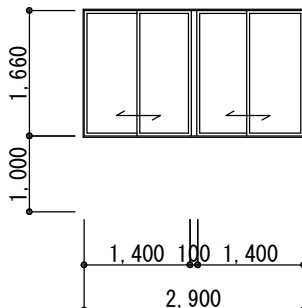
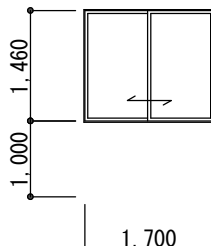
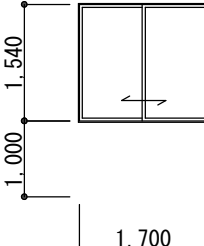
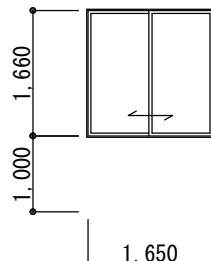
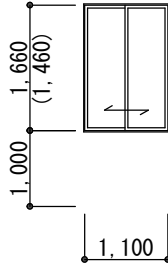
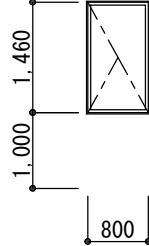
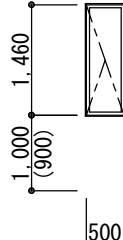
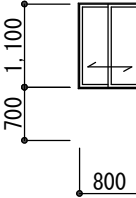
※有効開口としている窓は建物内側から鍵なしで手動開放可能
※有効開口としている窓はFLからのサツ下端は1200mm以内とする
※開口部は、開口部まで及び開口部から道に通ずる幅員1m以上の通路その他の空地に面している
※車庫の庇は人が乗れるだけの強度を有したもの
※電気錠は遠隔開錠可能なものとする

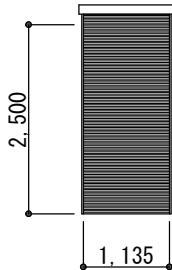
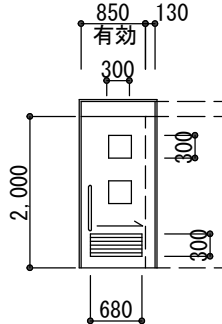
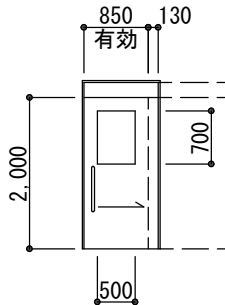
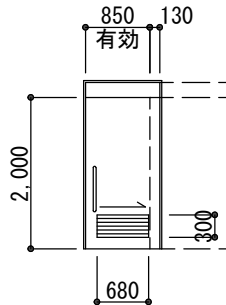
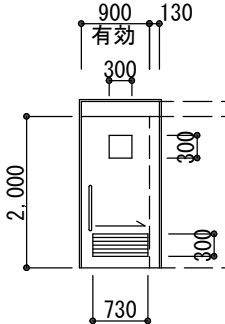
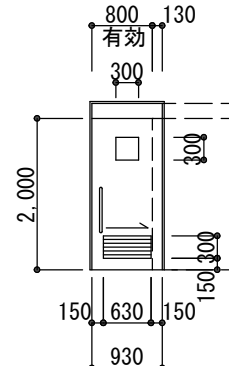
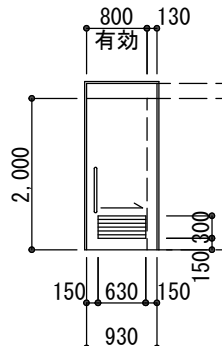
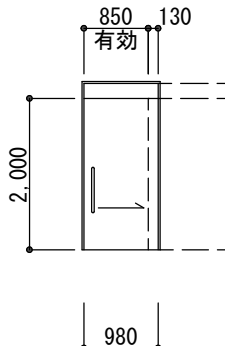
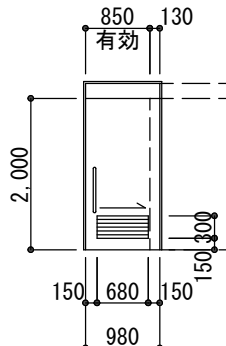
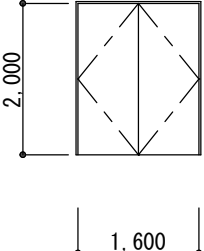
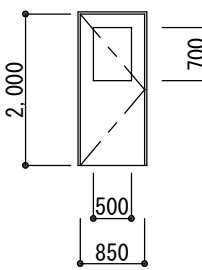
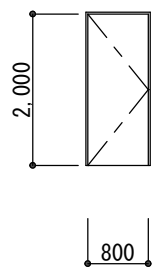
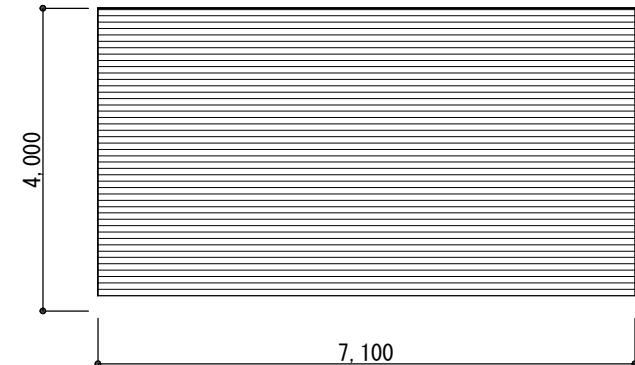
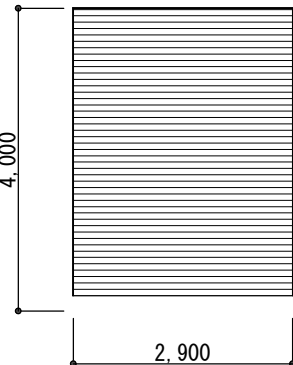
▲：有効開口採用窓を示す

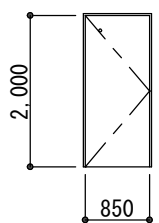
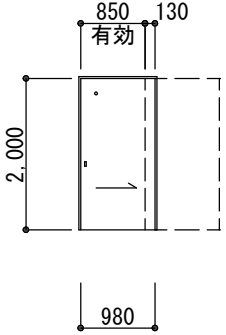
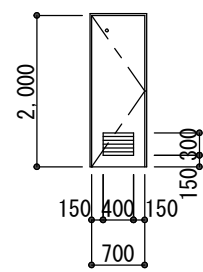
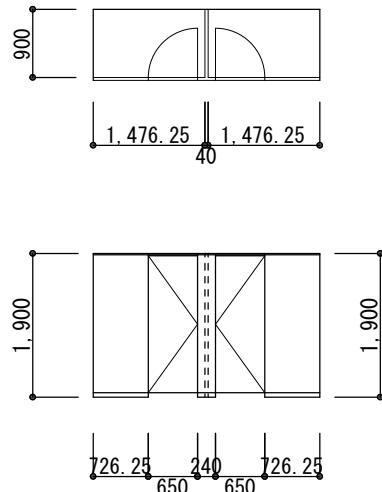
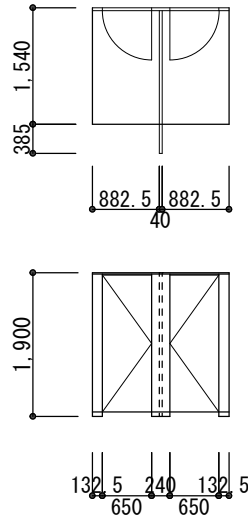
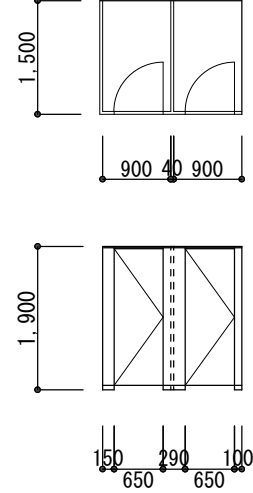
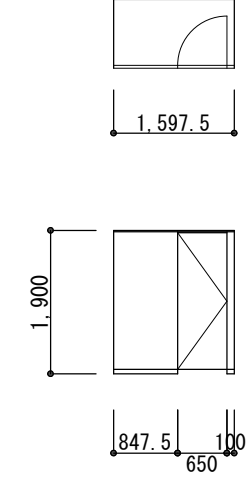
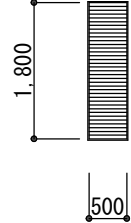
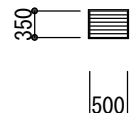
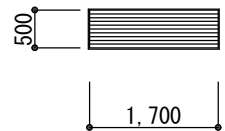
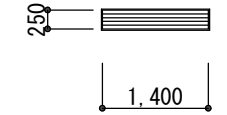
2階建具伏図 1/100

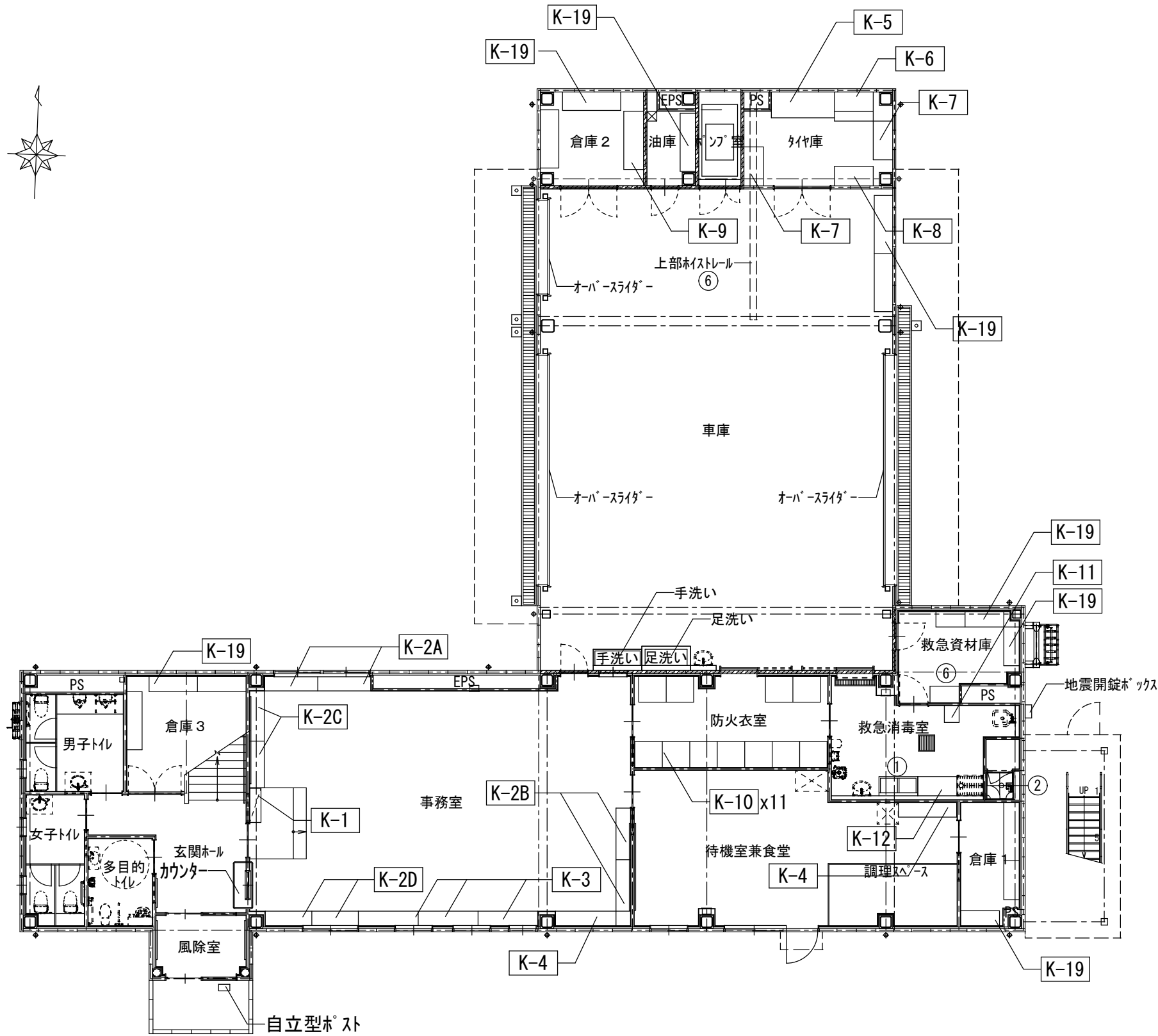
- 特定防火設備を示す
- 防火設備を示す

原図：A2

符号		型式		AD17mm製欄間付自動ﾄﾞｱ		AD27mm製欄間付自動ﾄﾞｱ		AD37mm製自動ﾄﾞｱ		AD47mm製引き違い窓付片開き框戸		AD57mm製片開き戸																			
姿 図																															
		見込：100				見込：100				見込：100				見込：70				見込：70													
		位置		数量		風除室		1F:1		玄関ﾎｰﾙ		1F:1		救急消毒室		1F:1		待機室兼食堂		1F:1		屋外階段		2F:1							
		硝子		強化FL5 欄間：強化FL4						強化FL5 欄間：強化FL4						強化FL5						強化FL5									
		塗装・仕上		ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ									
金 物		標準金物一式 シﾘﾝﾀﾞｰ錠(内部ﾅﾑﾀﾞｰﾝ)						標準金物一式 シﾘﾝﾀﾞｰ錠(内部ﾅﾑﾀﾞｰﾝ)						標準金物一式 シﾘﾝﾀﾞｰ錠(内部ﾅﾑﾀﾞｰﾝ)						標準金物一式 ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ﾄﾞｱﾁｬｯｸ 電気錠(内部ﾅﾑﾀﾞｰﾝ、暗証盤ﾛｯｷｰ)						標準金物一式 ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ﾄﾞｱﾁｬｯｸ シﾘﾝﾀﾞｰ錠(内部ﾅﾑﾀﾞｰﾝ)					
		ﾀｯﾁ式自動ﾄﾞｱ装置一式 電気錠 水抜きSUSﾊﾞｲﾌﾟ SUSﾚｰﾙ						ﾀｯﾁ式自動ﾄﾞｱ装置一式						電気錠 ﾌｯﾄｽｲｯﾁ 補助センサー						ｸﾚｰﾄ						電気錠					
備 考		衝突防止ｼｰﾙ貼 ｱﾙﾐ額縁(D145) 一斉施錠多回線ｼｽﾃﾑ(通電時施錠型) 停電時手動開放可能						衝突防止ｼｰﾙ貼 ｱﾙﾐ額縁(D50)						SUS沓摺 ｱﾙﾐ額縁(D145) 一斉施錠多回線ｼｽﾃﾑ						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ ｱﾙﾐ額縁 SUS沓摺(D145) SUS網戸 ｱﾙﾐ水切 一斉施錠多回線ｼｽﾃﾑ(通電時施錠型)						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS沓摺 ｱﾙﾐ額縁(D125) ｱﾙﾐ水切 一斉施錠多回線ｼｽﾃﾑ(通電時施錠型)					
符号		型式		AD67mm製片開き戸		AW17mm製2連引き違い窓		AW27mm製引き違い窓		AW37mm製引き違い窓		AW47mm製引き違い窓																			
姿 図																															
		見込：70				見込：70				見込：70				見込：70				見込：70													
		位置		数量		訓練室		2F:1		事務室		1F:1		訓練室、会議室兼消防団作戦室、2階廊下		2F:6		階段		2F:1		事務室		1F:1							
		硝子								強化FL5						強化FL5						強化FL5									
		塗装・仕上		ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ									
金 物		標準金物一式 ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ﾄﾞｱﾁｬｯｸ シﾘﾝﾀﾞｰ錠(内部ﾅﾑﾀﾞｰﾝ)						標準金物一式 ｸﾚｰﾄ						標準金物一式 ｸﾚｰﾄ						標準金物一式 ｸﾚｰﾄ											
																				ｱﾙﾐ水切											
備 考		ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ ｱﾙﾐ額縁 SUS沓摺(D145) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(D145) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(D125) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(D125) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(D145) ｱﾙﾐ水切					
符号		型式		AW57mm製引き違い窓		AW67mm製縦すべり出し窓		AW77mm製縦すべり出し窓		AW87mm製引き違い窓		AW87mm製引き違い窓																			
姿 図																		■ 凡例 F・・・型板ｸﾞﾗｽ FL・・・透明ｸﾞﾗｽ ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ・・・L=450 樹脂製  特定防火設備を示す  防火設備を示す ※7mm額縁：1F 145x25 ：2F 125x25													
		○は2階建具寸法高さを示す				見込：70				見込：70				見込：70																	
		位置		数量		待機室兼食堂、仮眠室		1F:1 2F:10		倉庫5		2F:1		女性用仮眠室、女性用洗面室、1階男子・女子ﾄｲﾚ		1F:3 2F:3						事務室		1F:1							
		硝子		強化FL5						強化FL5						強化F5、強化FL5(女性用仮眠室のみ)						強化FL5									
		塗装・仕上		ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ						ｱﾙﾐｶｰ									
金 物		標準金物一式 ｸﾚｰﾄ						標準金物一式 ﾎﾝﾄﾞﾙ						標準金物一式 ﾎﾝﾄﾞﾙ						標準金物一式 ｸﾚｰﾄ											
備 考		ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(1F:D145、2F:D125) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(D125) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ SUS網戸 ｱﾙﾐ額縁(1F:D145、2F:D125) ｱﾙﾐ水切						ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ											
																						原図：A2									

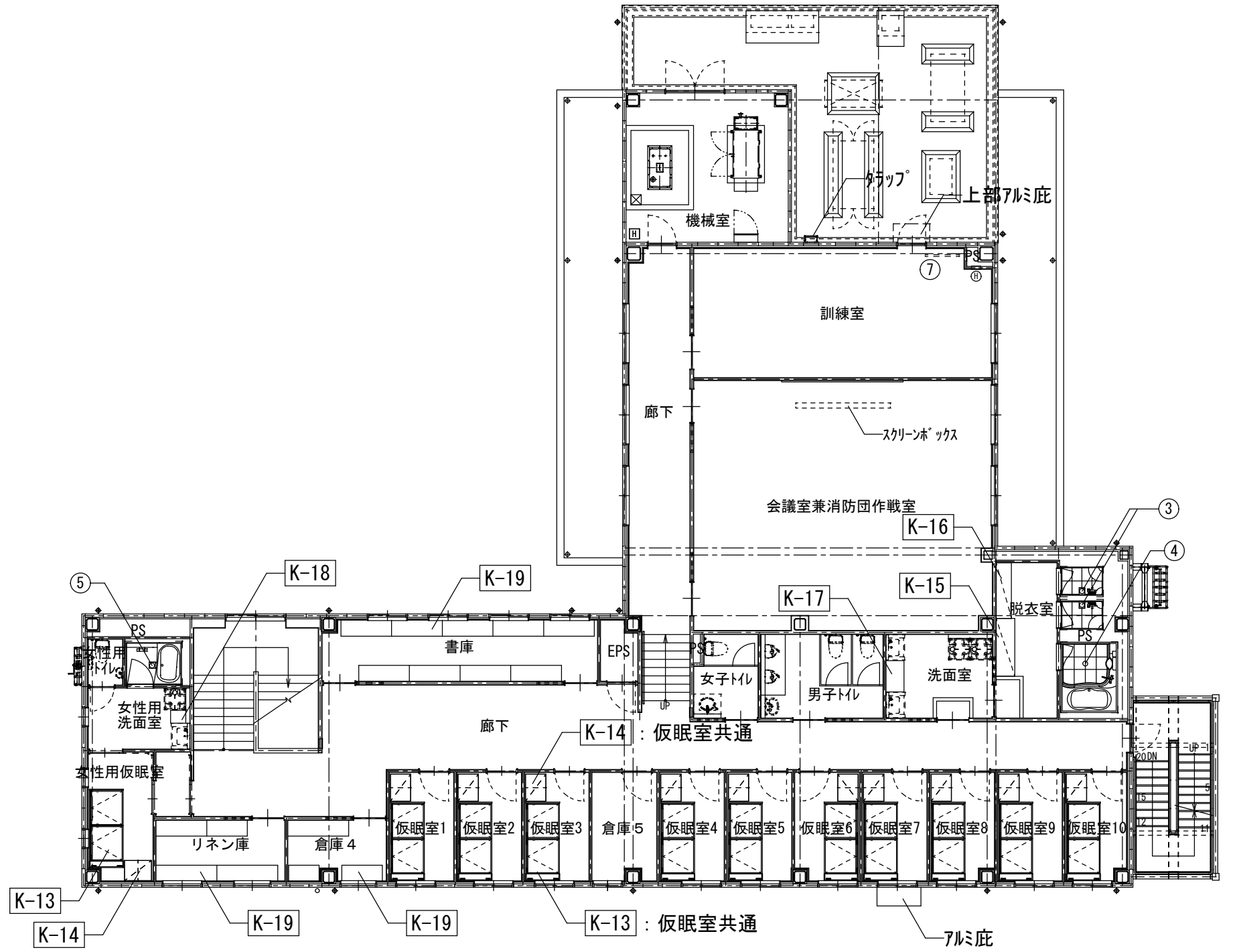
符号	型式	SS1 防火・防煙シャッター（電動）	LSD1 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD2 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD3 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD4 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）				
姿 図										
		見込：100	見込：135	見込：135	見込：135	見込：135				
	位置	数量	救急消毒室1	事務室3	防火衣室1	倉庫1	多目的トイレ1			
	硝 子		強化F4	強化F4		強化F4				
	塗装・仕上		スラット=1.6（焼付け鋼板）	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板			
金 物		マグサ・ガイドレール・座金・三方枠（全てSUS） 付属金物一式	標準金物一式 引棒	標準金物一式 引棒	標準金物一式 引棒	標準金物一式 引棒 表示錠				
		自動閉鎖装置 非常停止装置								
備 考		特定防火設備遮煙性能（告示2564）	SUS沓摺 ガラリ	SUS沓摺	SUS沓摺 ガラリ	SUS沓摺 ガラリ				
符号	型式	LSD5 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD6 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD7 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD8 鋼製片引きフラッシュ戸（壁内収納タイプ）	LSD9 鋼製軽量両開きフラッシュ戸				
姿 図										
		見込：135	※ガラリは洗面室のみとする。 見込：135	見込：135	見込：135	見込：135				
	位置	数量	1階・2階男子トイレ、女子トイレ4	洗面室、脱衣室2	会議室兼消防団作戦室、訓練室3	書庫、リネ庫、倉庫4	倉庫31			
	硝 子		強化F4							
	塗装・仕上		枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板			
金 物		標準金物一式 引棒	標準金物一式 引棒	標準金物一式 引棒	標準金物一式 引棒	標準金物一式 レバーハンドル ドアチェック				
備 考		SUS沓摺 ガラリ	SUS沓摺 ガラリ	SUS沓摺	SUS沓摺 ガラリ	SUS沓摺				
符号	型式	LSD10 鋼製軽量両開きフラッシュ戸	LSD11 鋼製軽量片開きフラッシュ戸	OS1 アルミ製オーバーサイズゲート	OS2 アルミ製オーバーサイズゲート	■ 凡例 F・・・型板ガラリ FL・・・透明ガラリ 引棒・・・L=450 樹脂製 ※※ 特定防火設備を示す ※※ 防火設備を示す 防				
姿 図										
		見込：135	見込：135	見込：100	見込：100					
	位置	数量	救急消毒室1	2階EPS1	車庫2		車庫1			
	硝 子		強化F4							
塗装・仕上		枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	枠：垂鉛メッキ鋼板 SOP、戸：化粧鋼板	アルミパネル=0.6 三方枠：SUS	アルミパネル=0.6 三方枠：SUS					
金 物		標準金物一式 レバーハンドル ドアチェック	標準金物一式 レバーハンドル ドアチェック	バランス式スタンダード型手動式 Sブレード	バランス式スタンダード型手動式 Sブレード					
				手動開放可能 耐風圧1250pa	手動開放可能 耐風圧1250pa					
備 考		SUS沓摺	SUS沓摺			原図：A2				
		株式会社 市川三千男総合設計	三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設 計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年 月 日	縮 尺 1/100	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図 名 建具表 (3)	NO. A — 44 / 64

符号		型式		WD1 木製片開きフラッシュ戸		WD2 木製片引きフラッシュ戸		WD3 木製片開きフラッシュ戸		TB1 トイレブース		TB2 トイレブース									
姿 図																					
位置	数量	仮眠室、倉庫5		11	女性用仮眠室、女性用洗面室		3	女性用トイレ		1	1階男子トイレ		1	1階女子トイレ		1					
硝 子		あかり窓φ40				あかり窓φ40				あかり窓φ40											
塗装・仕上		メラミン化粧板(木目調程度)				メラミン化粧板(木目調程度)				メラミン化粧板(木目調程度)				メラミン高圧樹脂化粧板							
金 物		標準金物一式 丁番 レバーハンドル				標準金物一式、表示錠錠(出入口)、SUSレール				標準金物一式 丁番 レバーハンドル				ステンス巾木、非常時外開き開放、7mm笠木(小口フラ付)							
		サムターンリッダー錠 ドアチェック								表示錠 ドアチェック				7mmエッジ、表示錠、戸当り：吊元タイプ フック付							
備 考										ガラス											
符号	型式	TB3 トイレブース				TB4 トイレブース															
姿 図																					
位置	数量	2階男子トイレ		1	2階女子トイレ		1														
硝 子																					
塗装・仕上		メラミン高圧樹脂化粧板				メラミン高圧樹脂化粧板															
金 物		ステンス巾木、非常時外開き開放、7mm笠木(小口フラ付)				ステンス巾木、非常時外開き開放、7mm笠木(小口フラ付)															
		7mmエッジ、表示錠、戸当り：吊元タイプ フック付				7mmエッジ、表示錠、戸当り：吊元タイプ フック付															
備 考																					
符号	型式	AG1 7mm製ガラス				AG2 7mm製ガラス				AG3 7mm製ガラス				AG4 7mm製ガラス							
姿 図																					
位置	数量	機械室(自家発電設備)		1	機械室(自家発電設備)		1	屋内階段		1	調理スペース		2	■ 凡例 F・・・型板ガラス FL・・・透明ガラス 引棒・・・L=450 樹脂製  特定防火設備を示す  防火設備を示す 原図：A2							
硝 子																					
塗装・仕上		7mmカラー				7mmカラー				7mmカラー											
金 物		7mm額縁 横型：開口率30%				7mm額縁 横型：開口率30%				7mm額縁 横型：開口率30%											
備 考		アングルベース 7mm水切				アングルベース 7mm水切				アングルベース 7mm水切											
				株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266469号 山口 裕之		設 計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之		整理番号		年 月 日		縮 尺 1/100		工事名 津市久居消防署南分署建築工事		図 名 建具表(4)		NO. A — 45 / 64	



1階キープラン

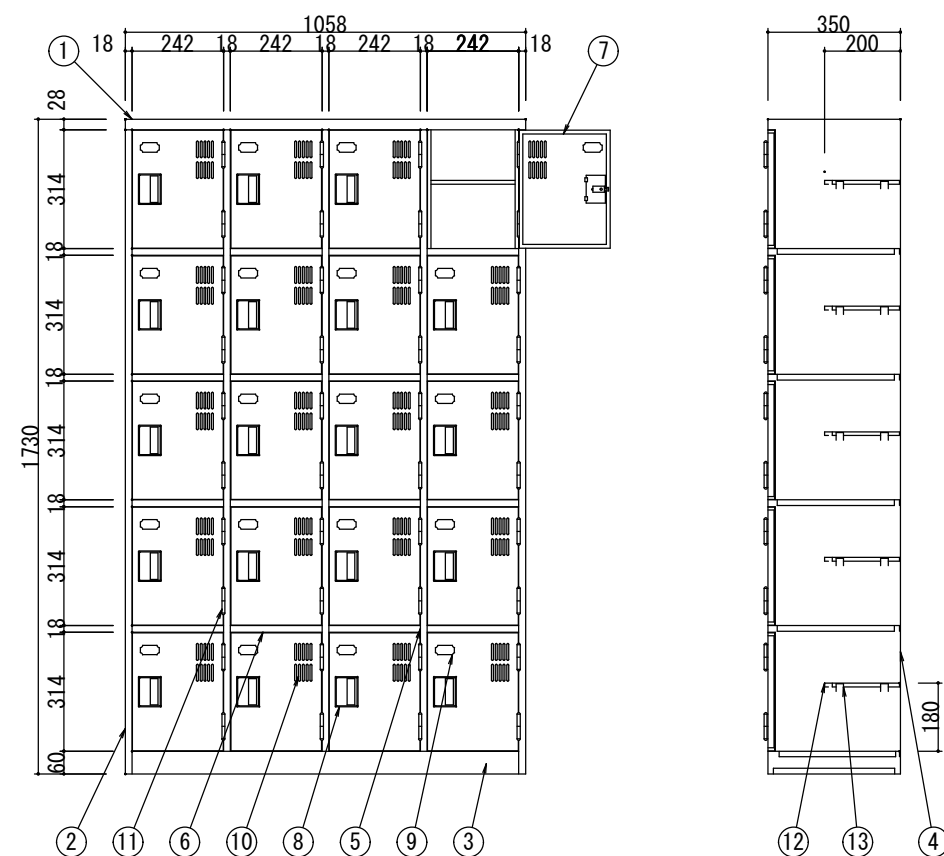
	品 名	サイズ	個 数	設置場所
K-1	下足入	W1058xD350xH1730	1	事務室
K-2	書庫 (A～D) (A-47参照)	雑詳細図 (2) 参照	-	事務室
K-3	書庫	W1850xD450xH2000	3	事務室
K-4	書庫、食器棚	W1870xD450xH2700	2	事務室、待機室兼食堂
K-5	タイヤ収納庫	W1950xD800xH1800	1	タイヤ庫
K-6	タイヤ・ホス棚	W1200xD600/900xH1800	1	タイヤ庫
K-7	ホス棚	W1200xD600xH1800	2	タイヤ庫
K-8	ホソ棚	W1200xD600xH1800	1	タイヤ庫
K-9	資機材収納	W1800xD621xH1800	1	倉庫 2
K-10	防火服ロッカー	W850xD800xH2700	11	防火衣室
K-11	白衣ロッカー	W455xD515xH1790	1	救急消毒室
K-12	作業台	W1200xD600xH800	1	救急消毒室
K-13	収納付木製ベッド	W2330xD1010xH850	11	仮眠室1～10、女性用仮眠室
K-14	更衣ロッカー	W800xD400xH1800	11	仮眠室1～10、女性用仮眠室
K-15	脱衣棚	W1710xD550xH1360	1	脱衣室
K-16	個人ロッカー	W1650xD450xH2125	1	脱衣室
K-17	個人ロッカー	W925xD450xH2125	1	洗面室
K-18	小物収納庫	W380xD450xH1350	1	女性用洗面室
K-19	スチール中量ラック	雑詳細図 (6) 参照	-	倉庫1、倉庫2、倉庫3、倉庫4、救急資材庫、車庫、油庫、書庫、リネン庫



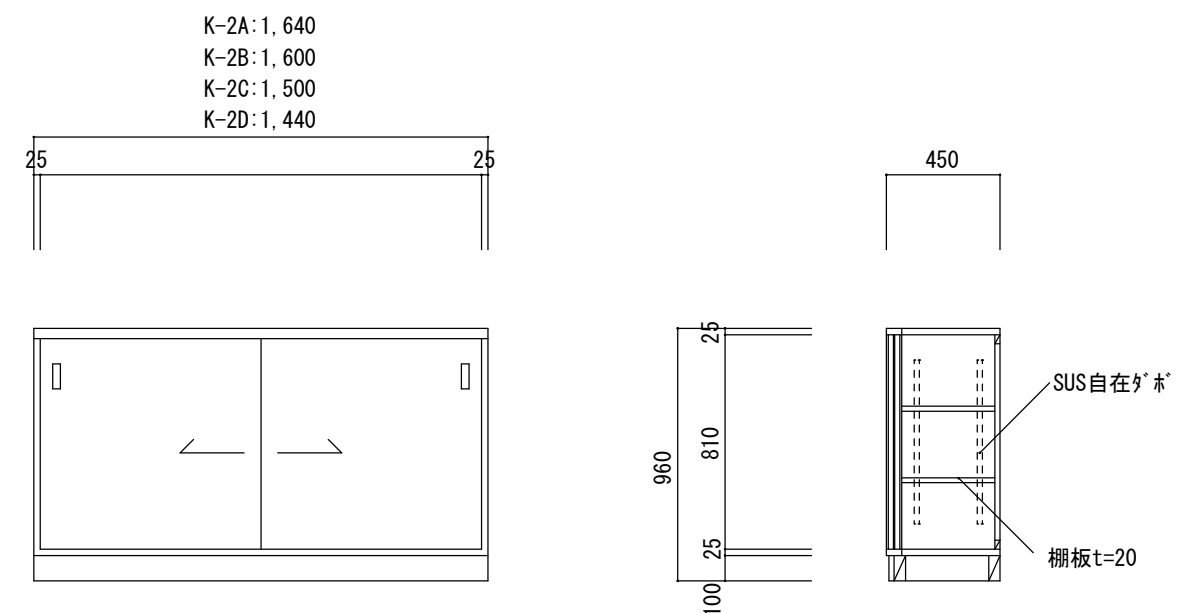
2階キープラン

	品 名	仕 様	個 数	設置場所
①	二槽流し台	バックガード付 LIXIL S-2SN-120B 同等以上	1	1階救急消毒室
②	ユニットシャワー	US808 クラスタント びったりサイズ シャワーユニット 同等以上	1	1階脱衣室
③	ユニットシャワー	US812 クラスタント びったりサイズ シャワーユニット 同等以上	2	2階脱衣室
④	ユニットバス	UB1620 クラスタント MINA ミナ 同等以上	1	2階脱衣室
⑤	ユニットバス	UB1216 クラスタント MINA ミナ 同等以上	1	2階女性用洗面室
⑥	収納ベース	900x438xH60 トヨスチール HS45-B 同等以上	1	1階救急資材庫
	収納棚 (2段引出し)	900x450xH700 トヨスチール HS45-072D 同等以上	1	
	収納棚 (レターケース深)	900x450xH700 トヨスチール HS45-07BA308 同等以上	1	
	鍵付ロッカー (薬品保管引違い)	900x450xH700 トヨスチール HS45-07HAG 同等以上	1	
⑦	懸垂棒	W1000xH500	1	2階訓練室

原図：A2

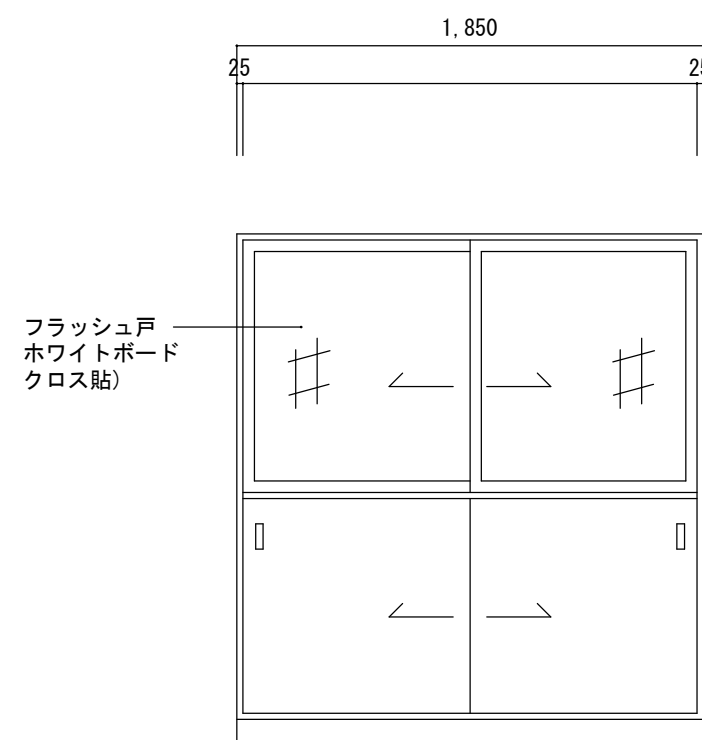


番号	部 品 名	1本当り 数	材 質	備 考
1	天 板	1	SPCC 0.8 t	
2	側 板	2	SPCC 0.8 t	
3	底 板	1	SPCC 0.8 t	
4	裏 板	1	SPCC 0.7 t	
5	縦中仕切板	3	SPCC 0.8 t	
6	横中仕切板	16	SPCC 0.8 t	
7	扉 板	20	SPCC 0.8 t	
8	取 手	20	合成樹脂	
9	名 札 差	—		抜き絞り加工 75×50
10	通 気 孔	—		抜き絞り加工
11	蝶 番 扣	40	SPCC 1.6 t	
12	棚 板	20	ZAM 0.6 t	
13	棚 受	—		抜き絞り加工
	粉体焼付塗装			

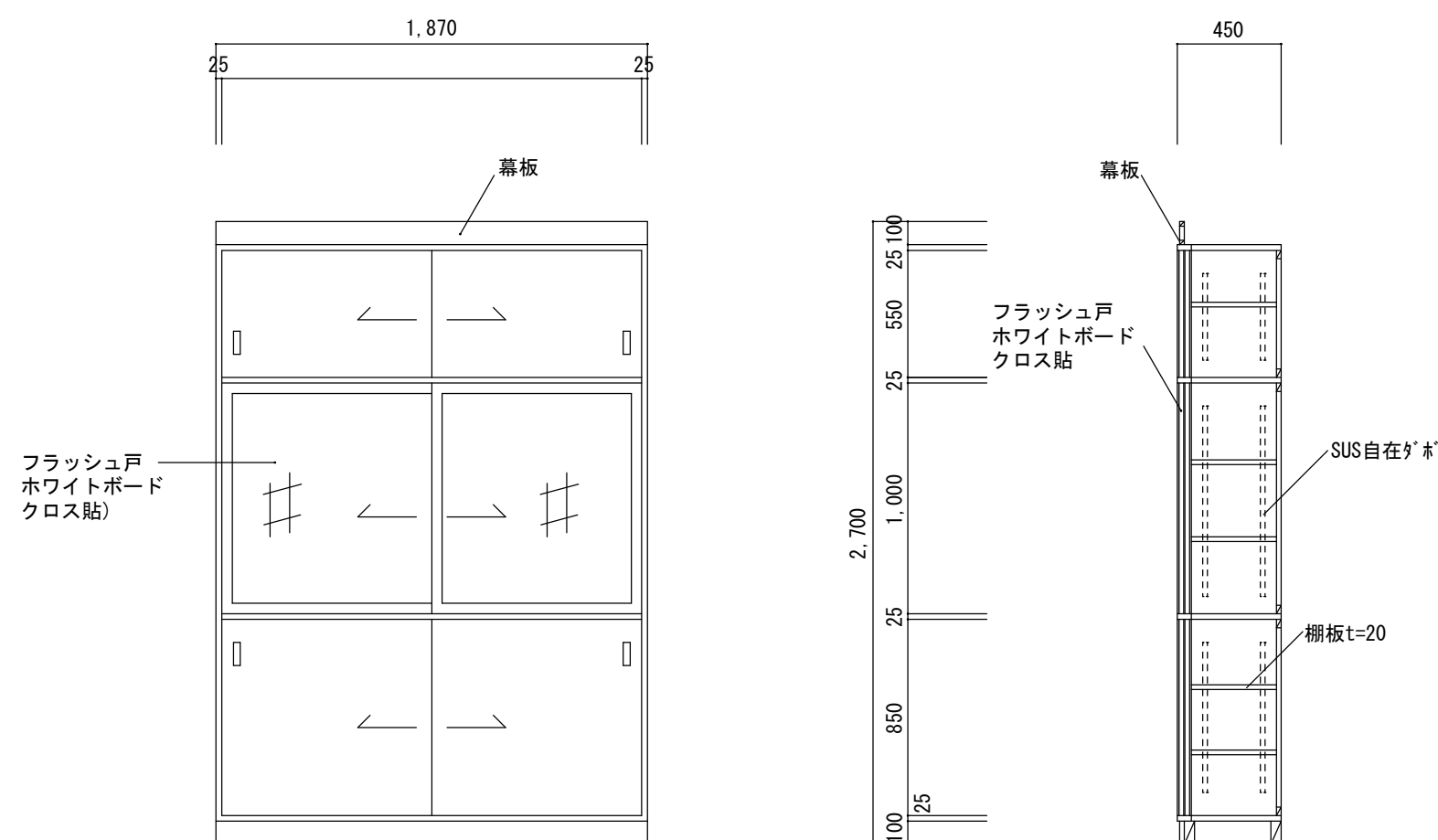
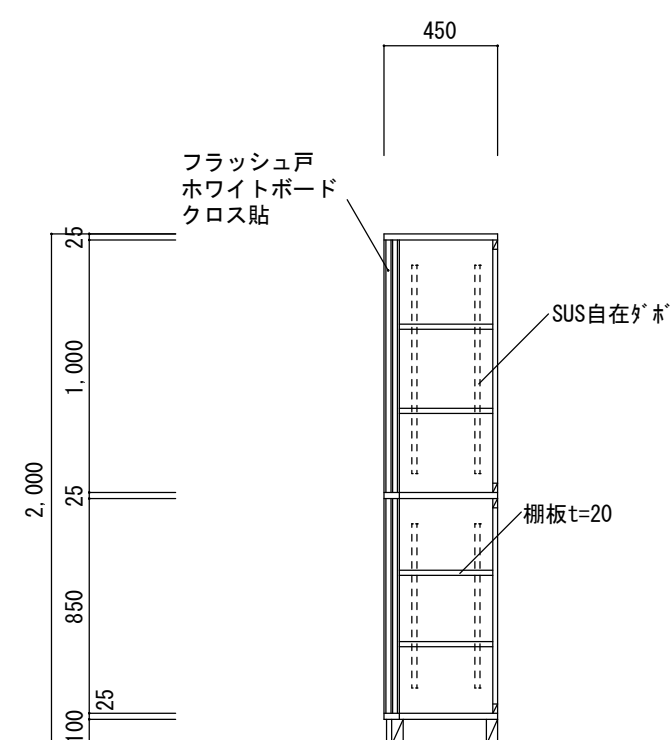


※仕上げ：特記外ホ^{*}リエステル合板

K-2A	W1, 640xD450xH960	2
K-2B	W1, 600xD450xH960	2
K-2C	W1, 500xD450xH960	2
K-2D	W1, 440xD450xH960	2

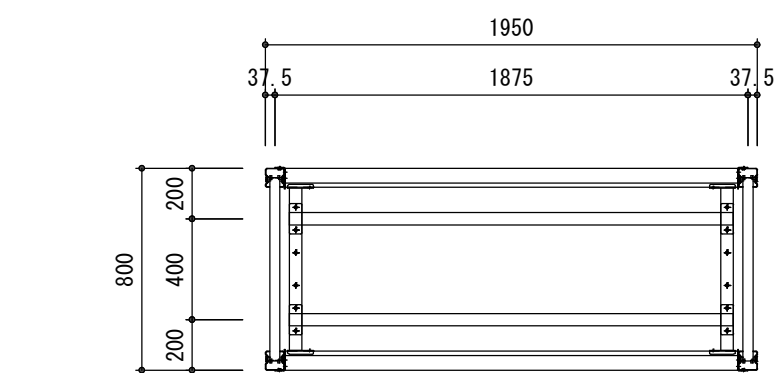


※仕上げ：特記外木[®] リエステル合板



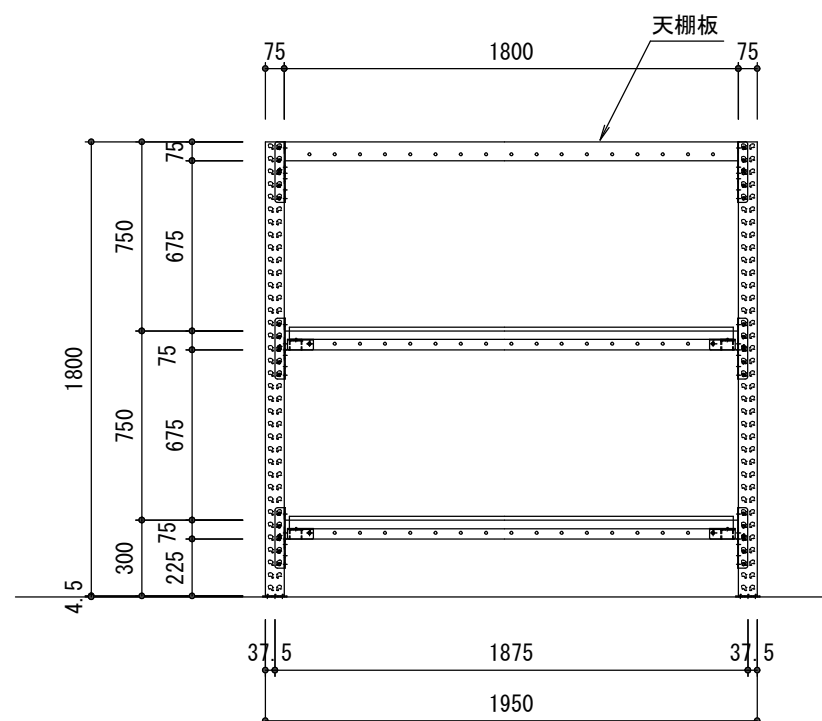
※仕上げ：特記外木^o リエステル合板

原图：A2

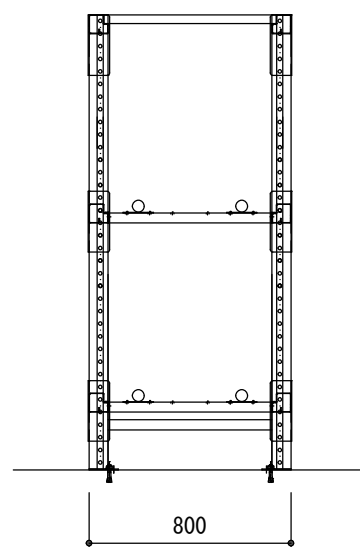


平面图

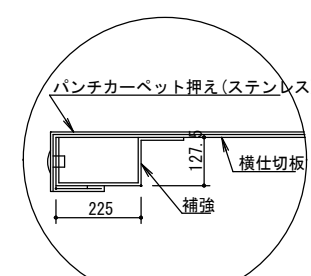
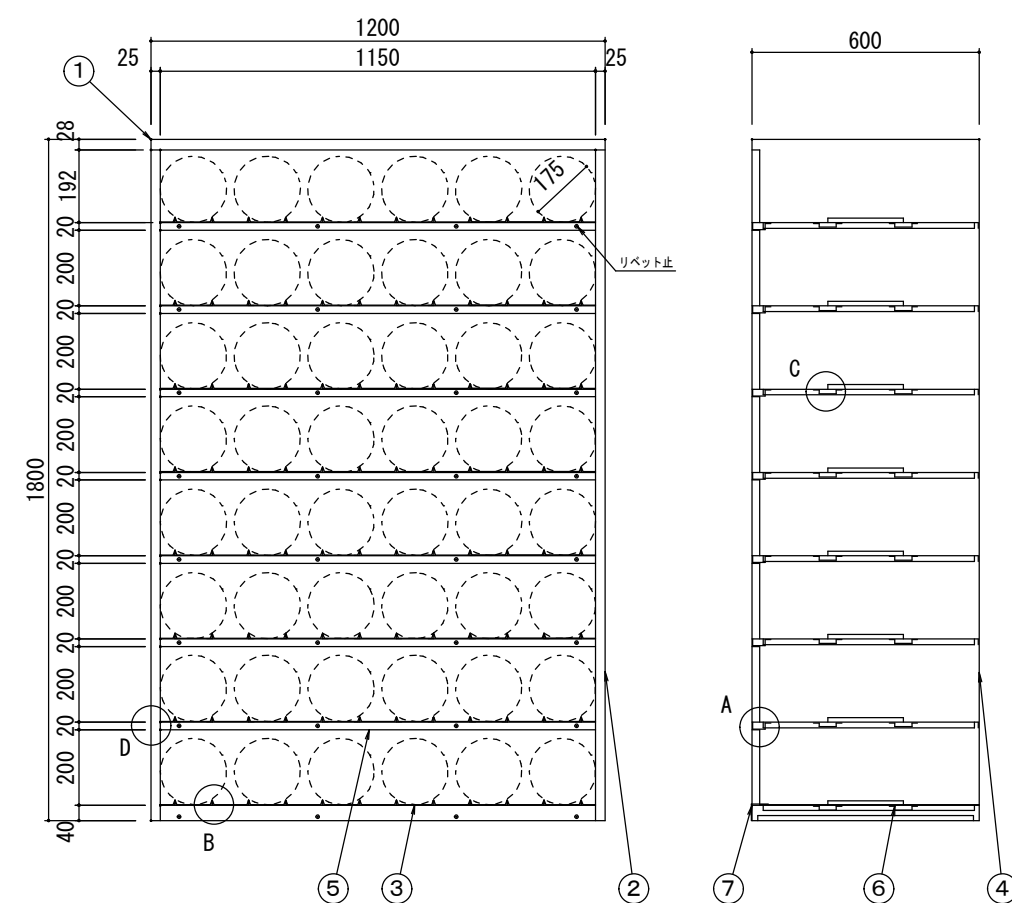
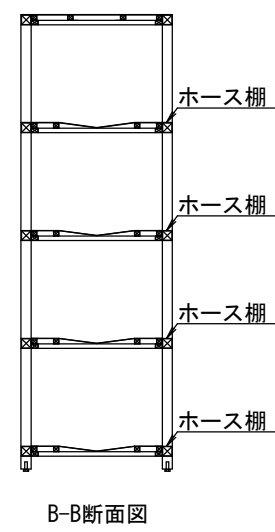
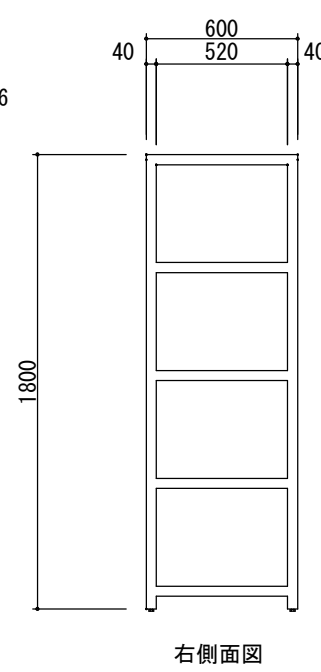
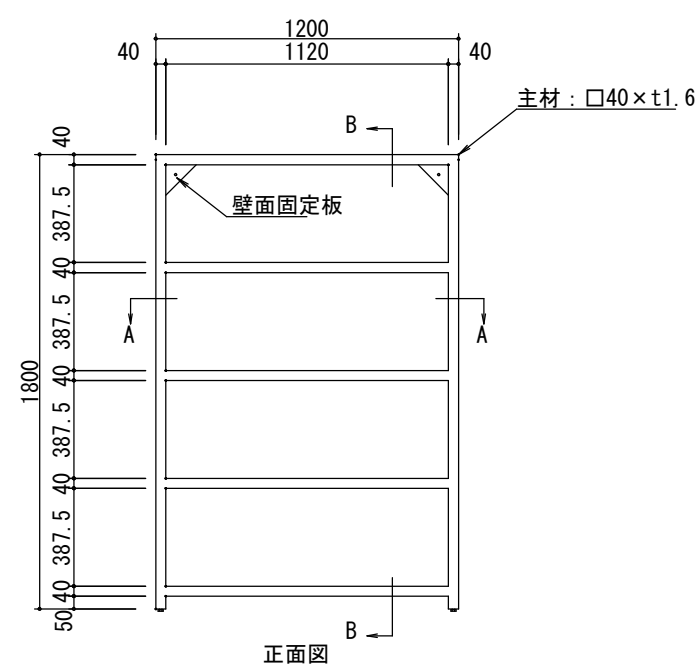
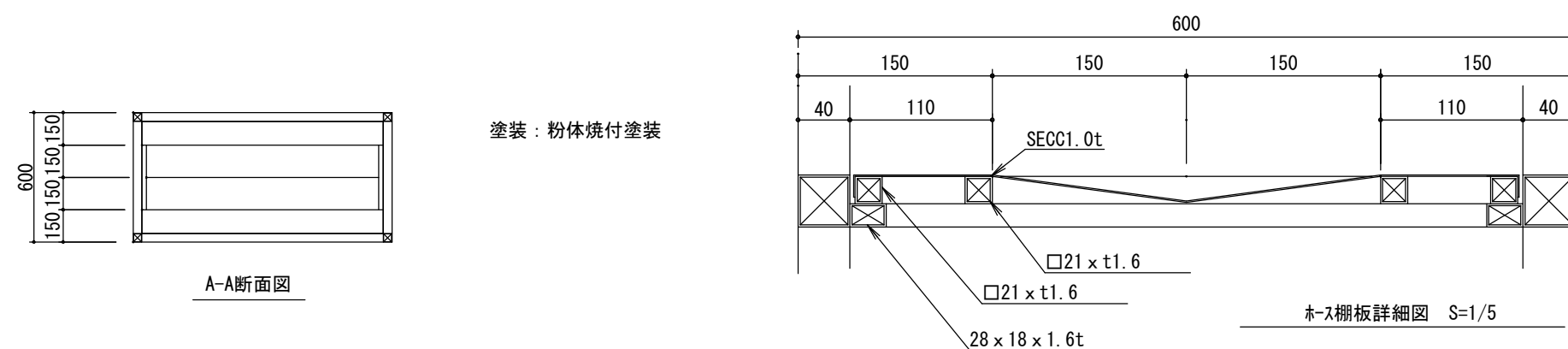
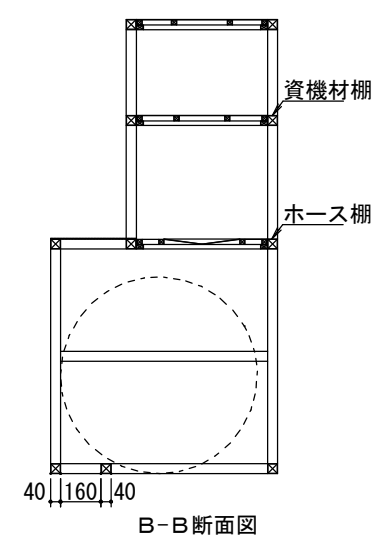
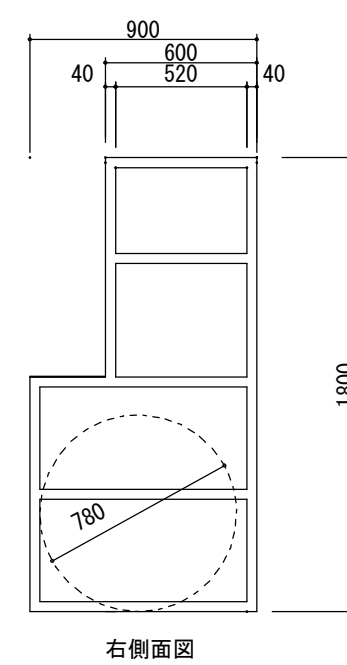
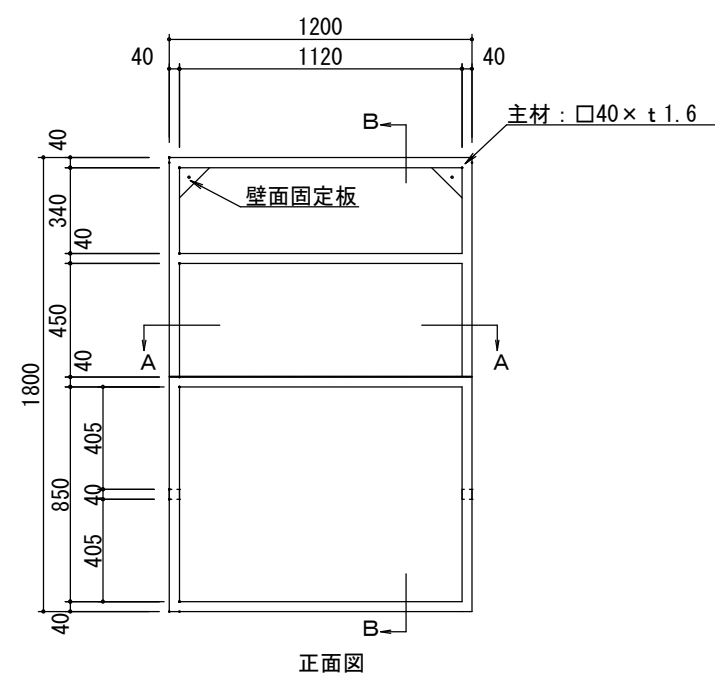
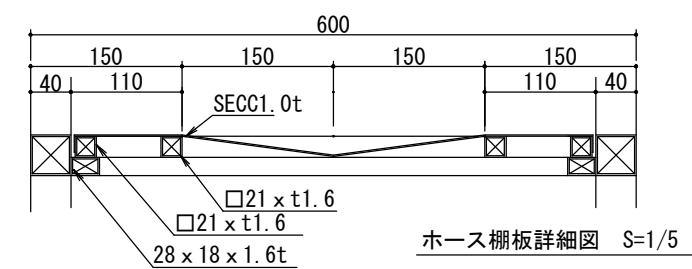
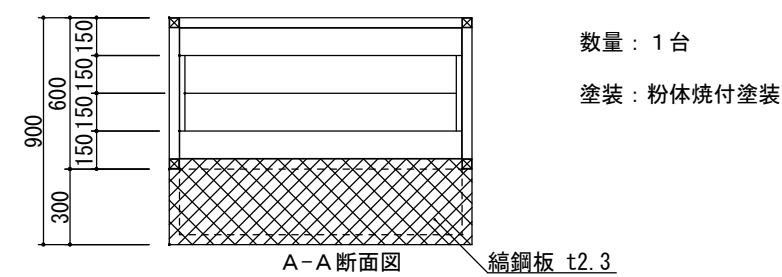
仕様	
サイズ・台数	H1800xW1950xD800 ビーム3段 基本1台
最大積載質量	300kg/段（等分布载荷）
段調整ピッチ	50mmピッチ
オプション	天棚板仕様



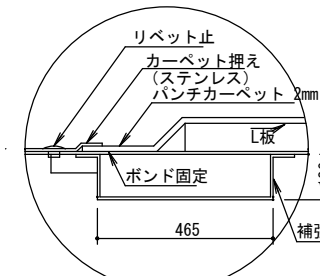
正面図



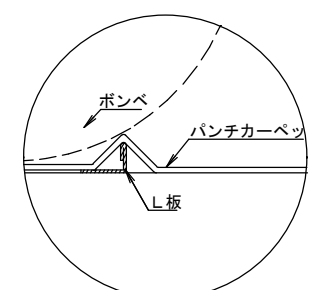
側面図



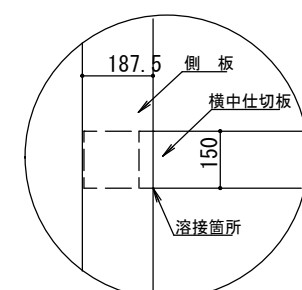
A 部分詳細



C部分詳細

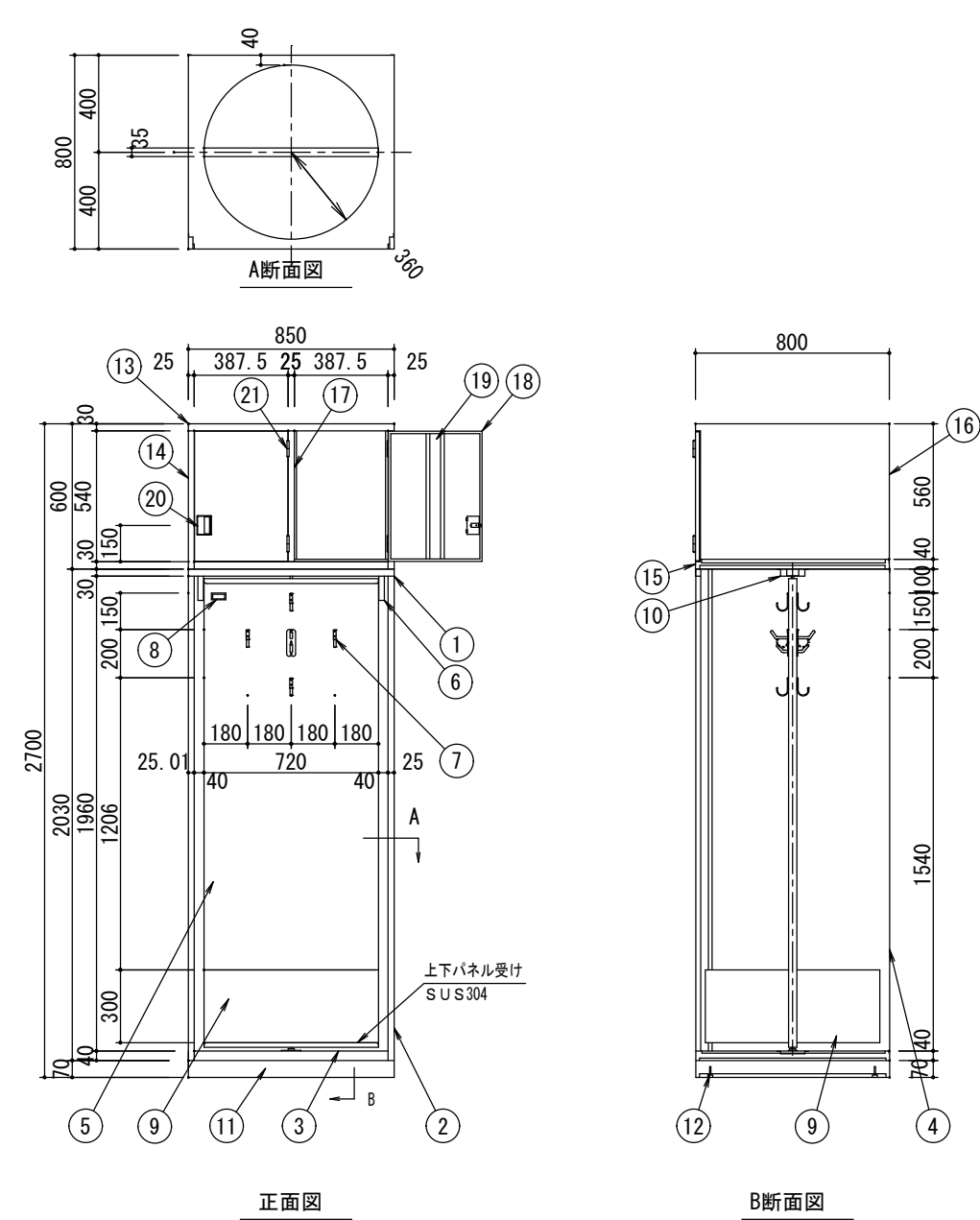
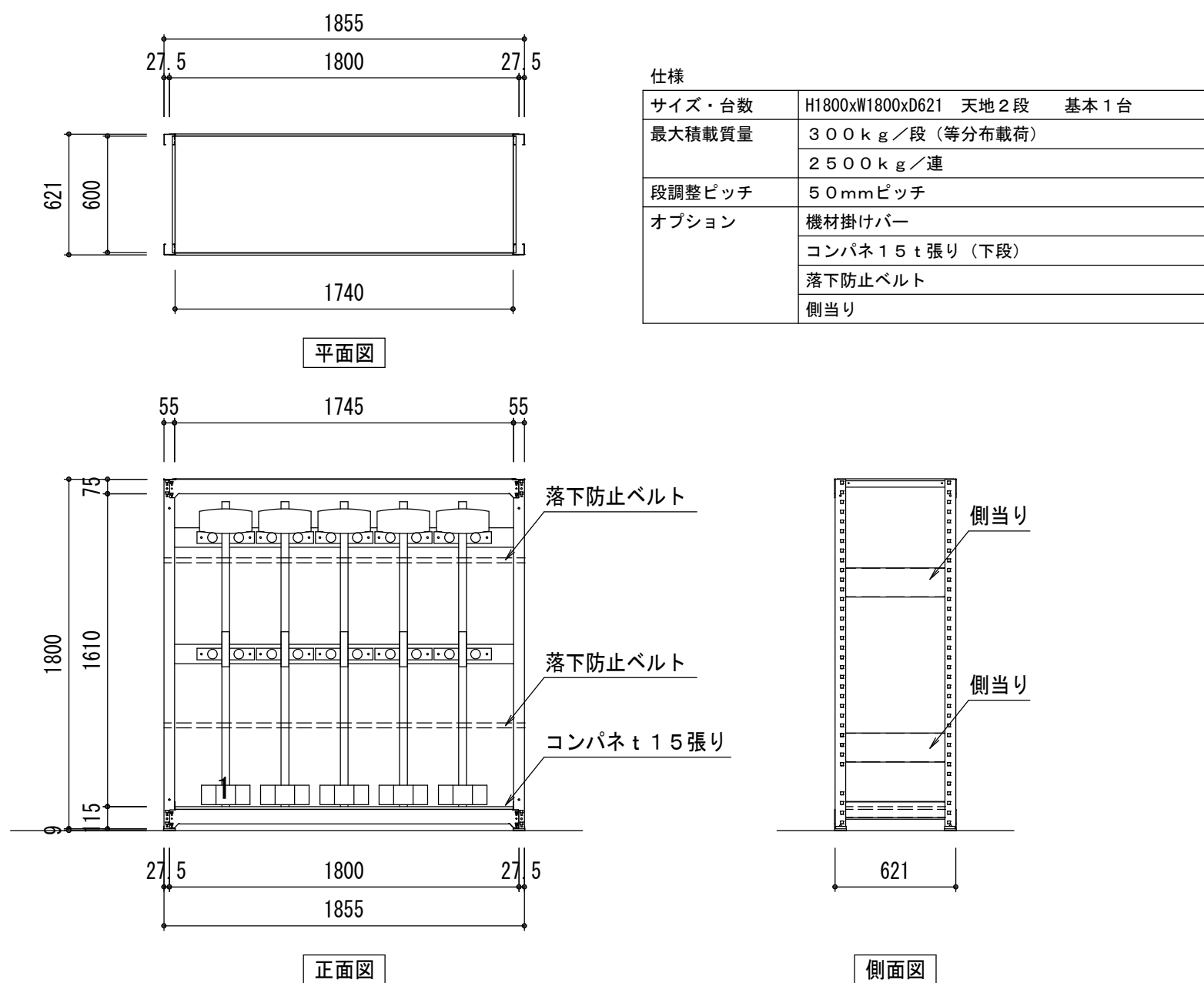


B 部分詳細

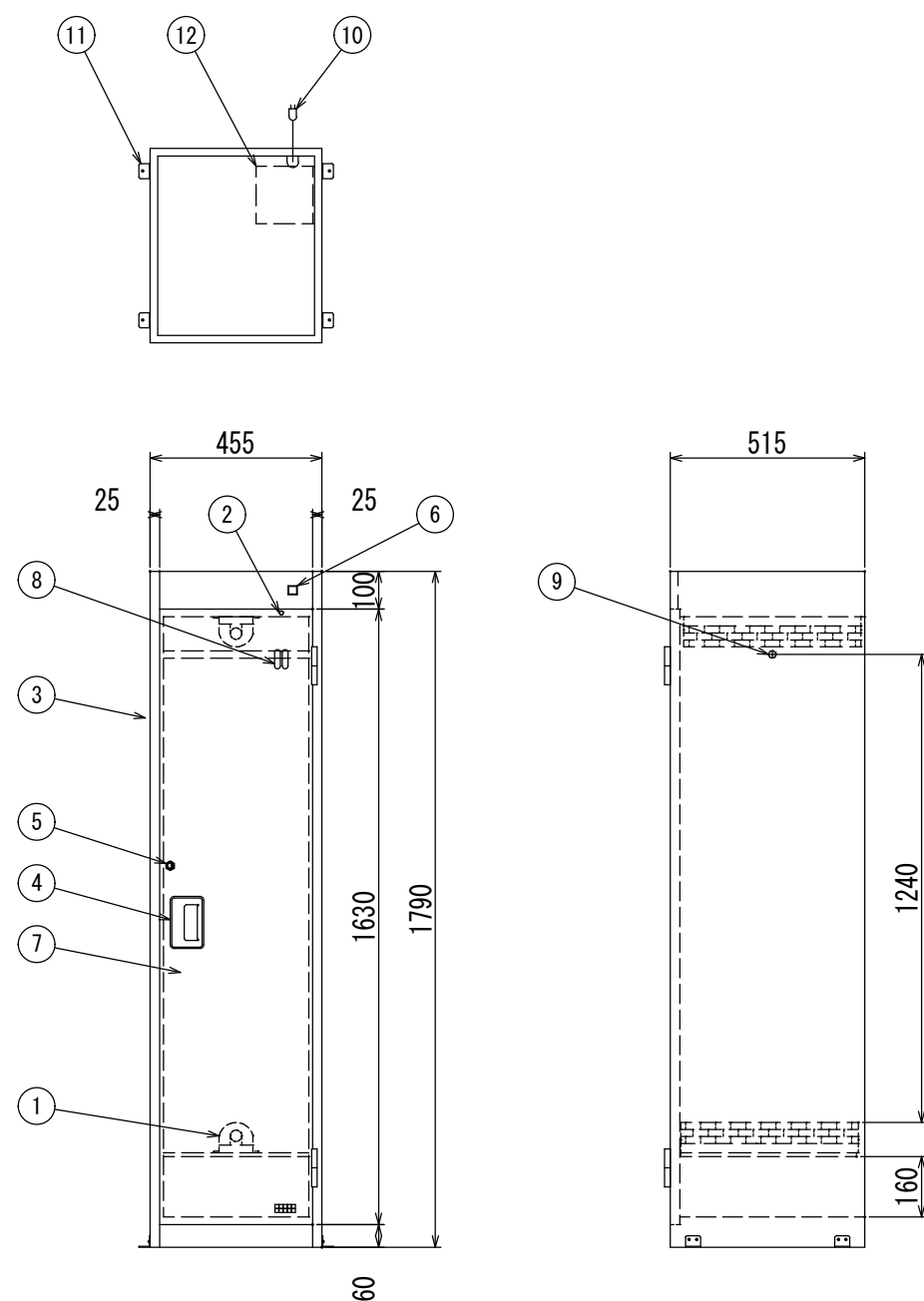


D 側板・横中仕切部分

番号	部 品 名	1.数量	材 質	備 考
1	天 板	1	SECC 1.0 t	
2	側 板	2	SECC 1.0 t	
3	底 板	1	SECC 1.0 t	
4	裏 板	1	SECC 0.8 t	
5	横中仕切板	7	SECC 1.0 t	
6	補 強	23	SECC 0.8 t	スボット留付
7	カーペット押え板	8	SUS034 1.0 t	リベット止
塗装 粉体焼付塗装				



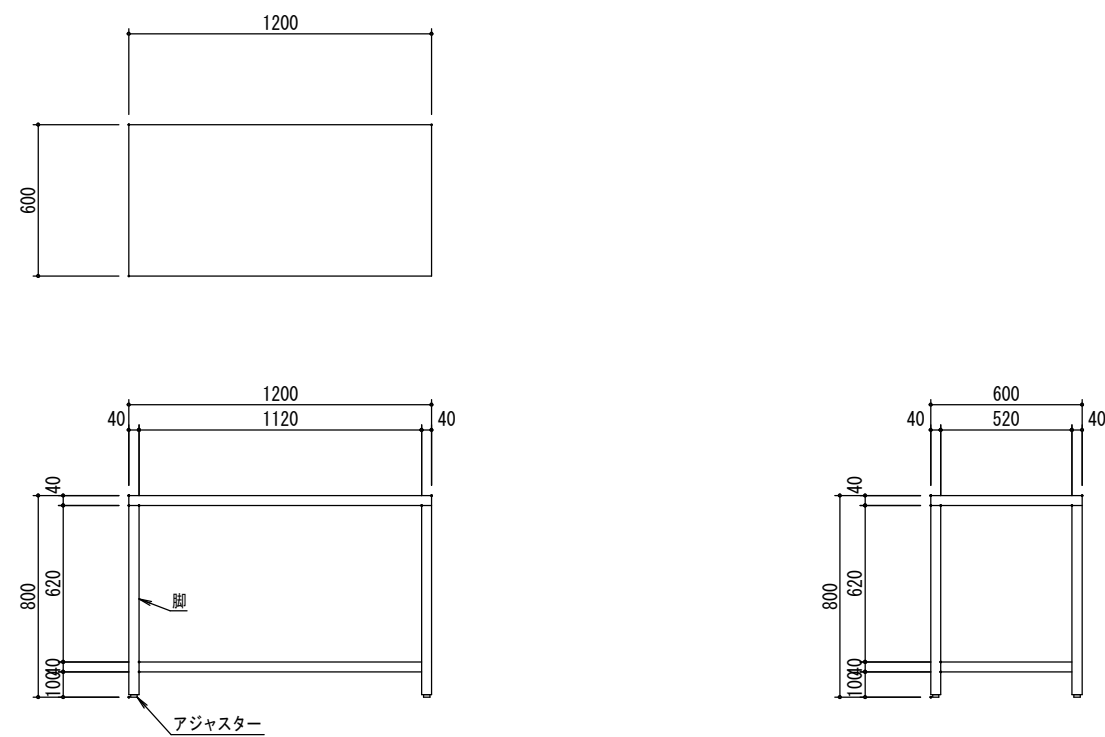
番号	部 品 名	1本当たり 数 量	材 質	備 考
1	天 板	1	ZAM 1.0 t	_____
2	側 板	2	ZAM 1.0 t	_____
3	底 板	1	ZAM 1.0 t	_____
4	裏 板	1	ZAM 0.8 t	_____
5	中仕切板	1	ZAM 0.8 t	_____
6	回転スッパ	2	SUS304 2.0 t	回転式
7	フック	28	ステンレス	Wフック J2型
8	名 札 差	2	合成樹脂	ビタリック E 28×60
9	靴 皿	2	ZAM 1.0 t	_____
10	補 強	2	ZAM 0.8 t	_____
11	ベース	1	SUS304 1.0 t	_____
12	アジャスター	4	_____	H/L 仕上
13	天 板	1	ZAM 0.8 t	_____
14	側 板	2	ZAM 0.8 t	_____
15	底 板	1	ZAM 0.8 t	_____
16	裏 板	1	ZAM 0.8 t	_____
17	縦中仕切板	1	ZAM 0.8 t	_____
18	扉	2	ZAM 0.8 t	_____
19	扉 補 強	2	ZAM 0.8 t	_____
20	取 手	2	合成樹脂	_____
21	蝶 番	4	SPCC 1.6 t	_____
塗装 粉体焼付塗装				

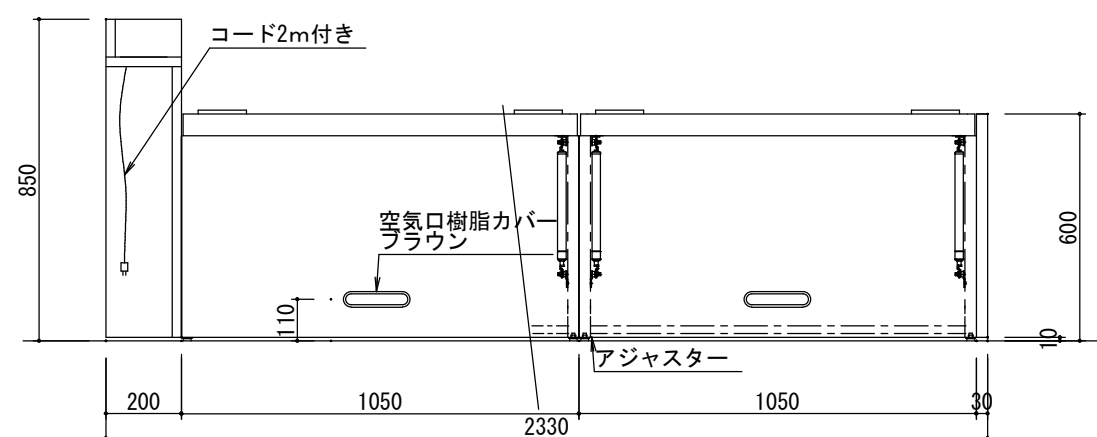
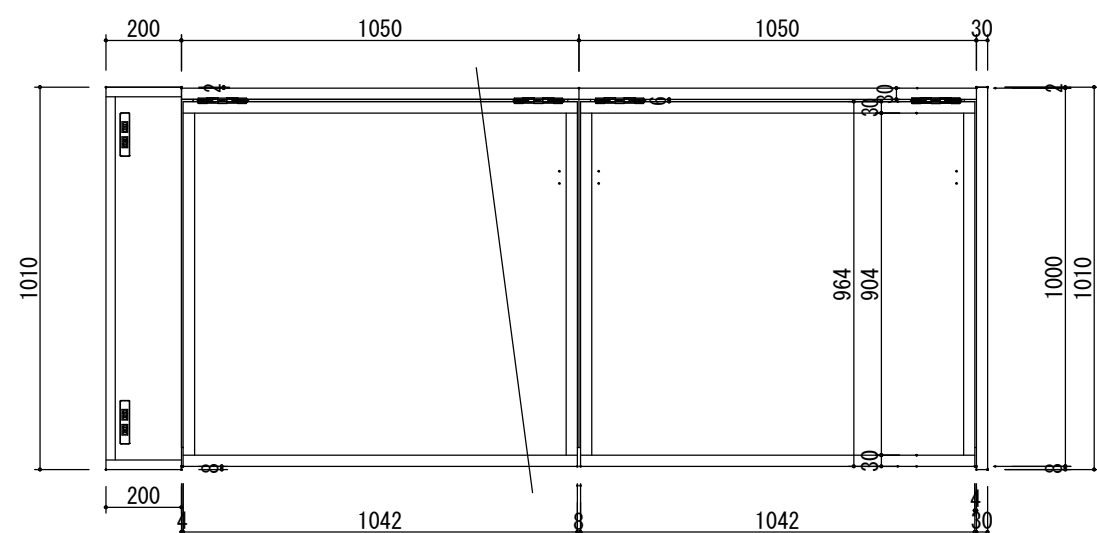


番 号	品 名	材 質	数 量	記 事
1	殺菌灯		2	
2	ドアミット		1	
3	本体	SUS304	1	#400 1.0 t
4	握め込み取手	SUS304	1	
5	鍵	ZDCロムメッキ	1	
6	運転スイッチ		1	ランプ付 (緑)
7	扉	SUS304	1	
8	のぞき窓		1	
9	ハガ「ハ」フ	SUS304	1	φ16
10	電源コード	2sq-3c	2m	アース付プラグ ㊦
11	耐震金具	SUS304	4	
12	制御盤		1	

電源電圧	
消費電力	30W
消費電流	0.3A
本体重量	48 k _g
収納数	白衣5枚

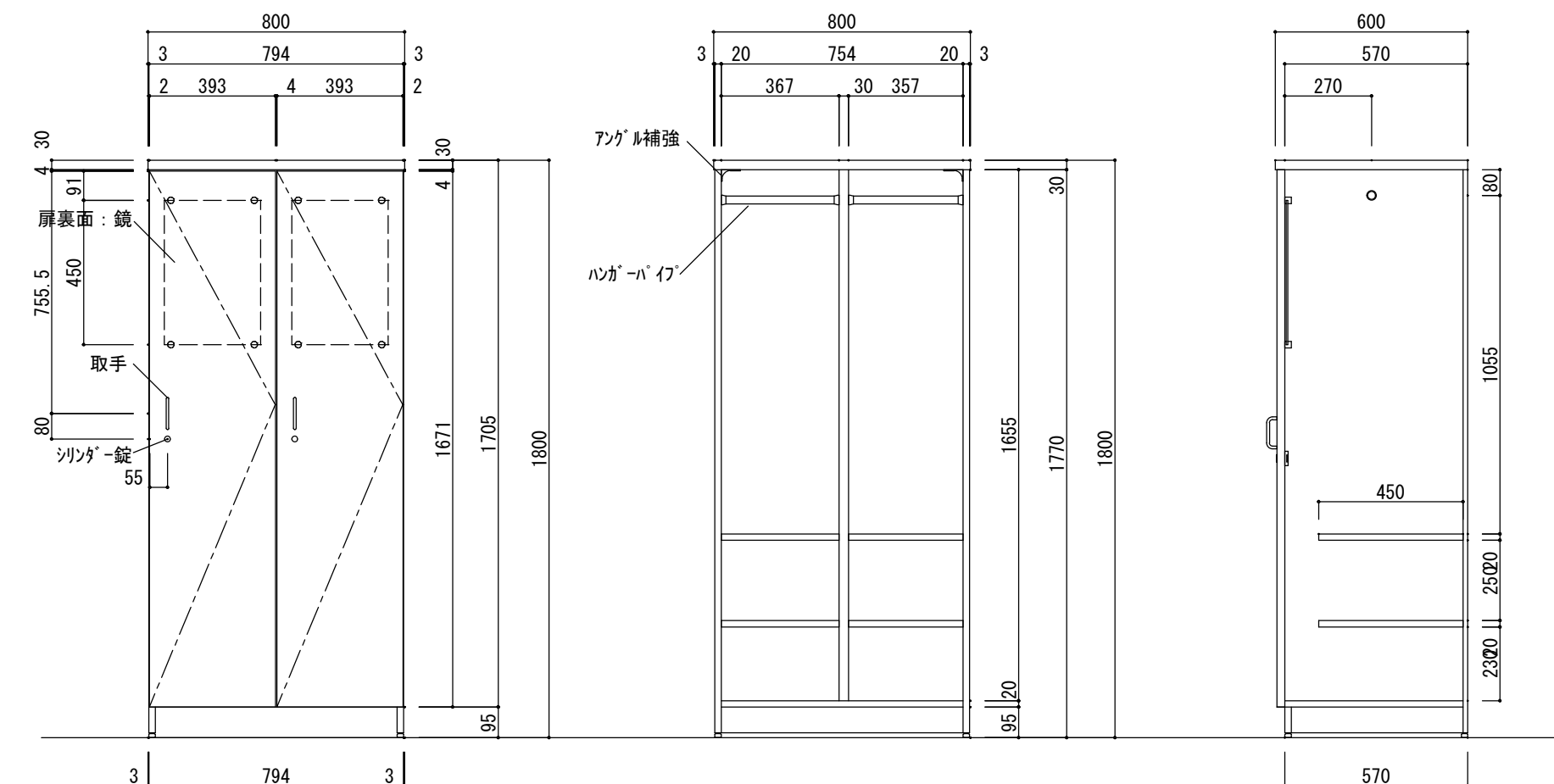
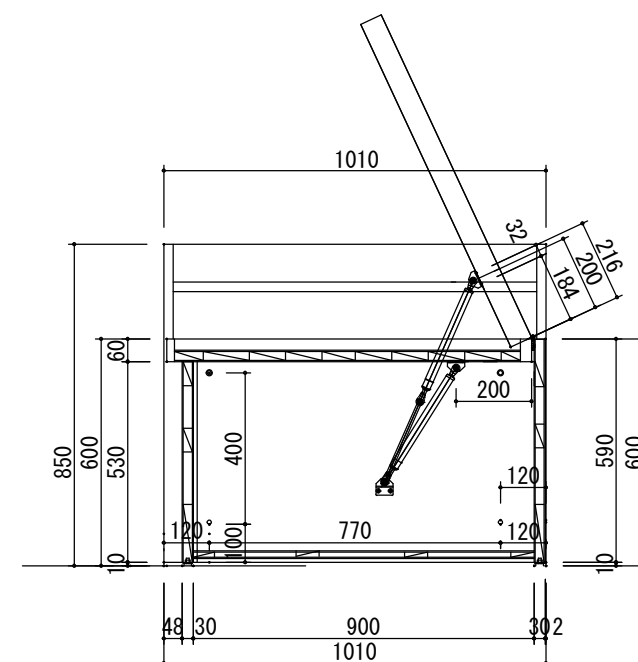
製品名	ステン作業台
台数	W1200 1台
天板	SUS HL
脚	SUS角パイプ 40×40
脚端	フッ素樹脂付





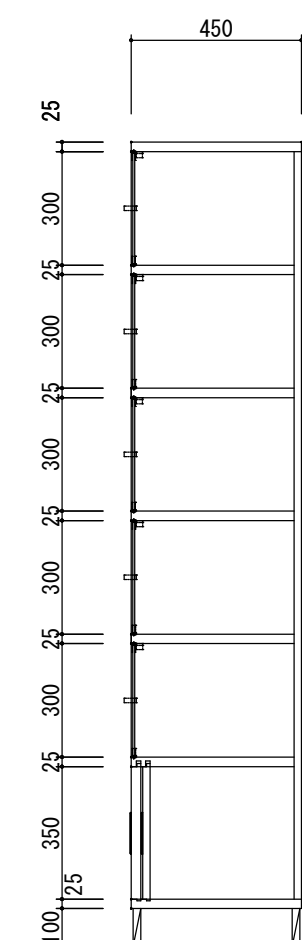
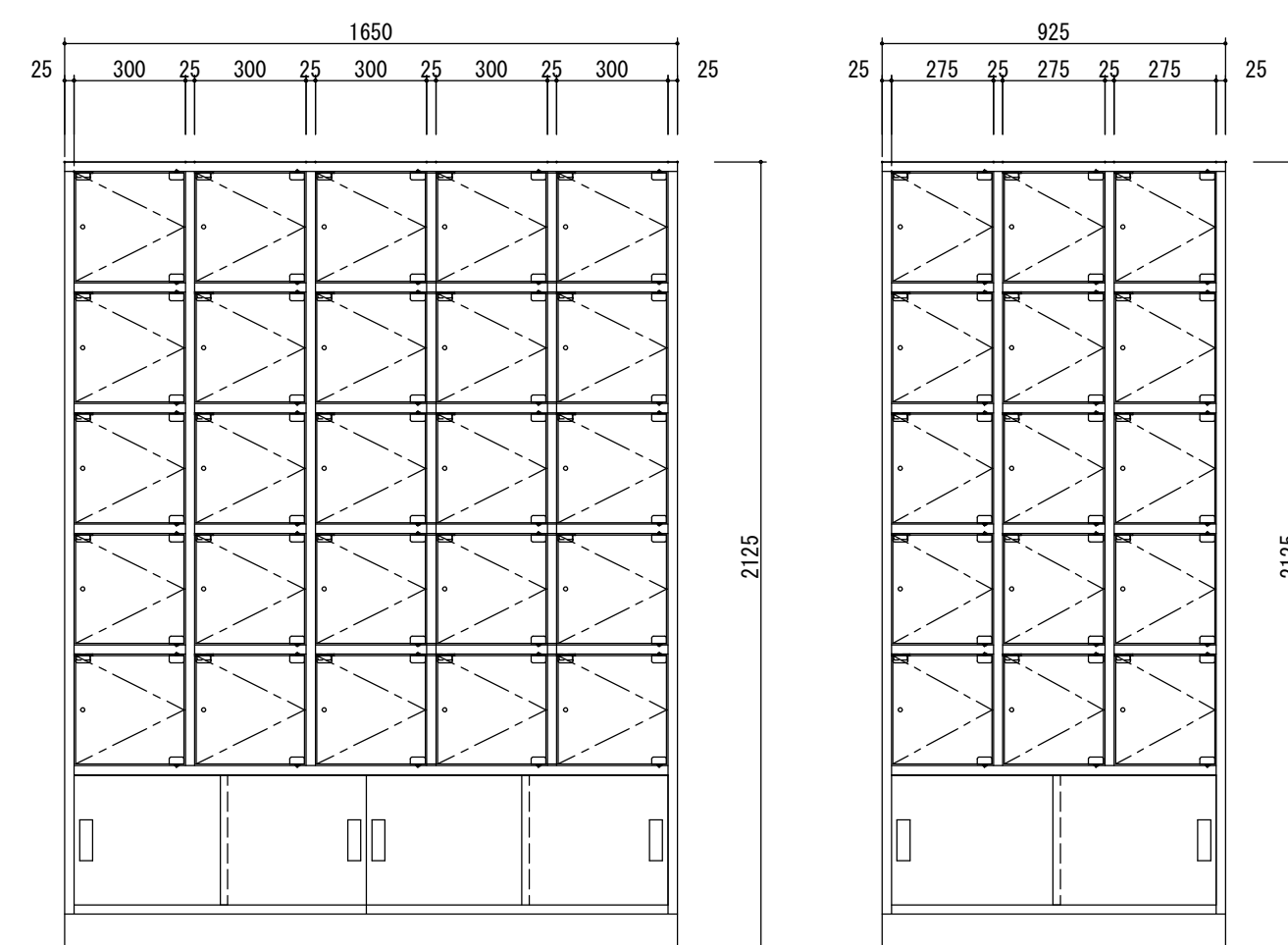
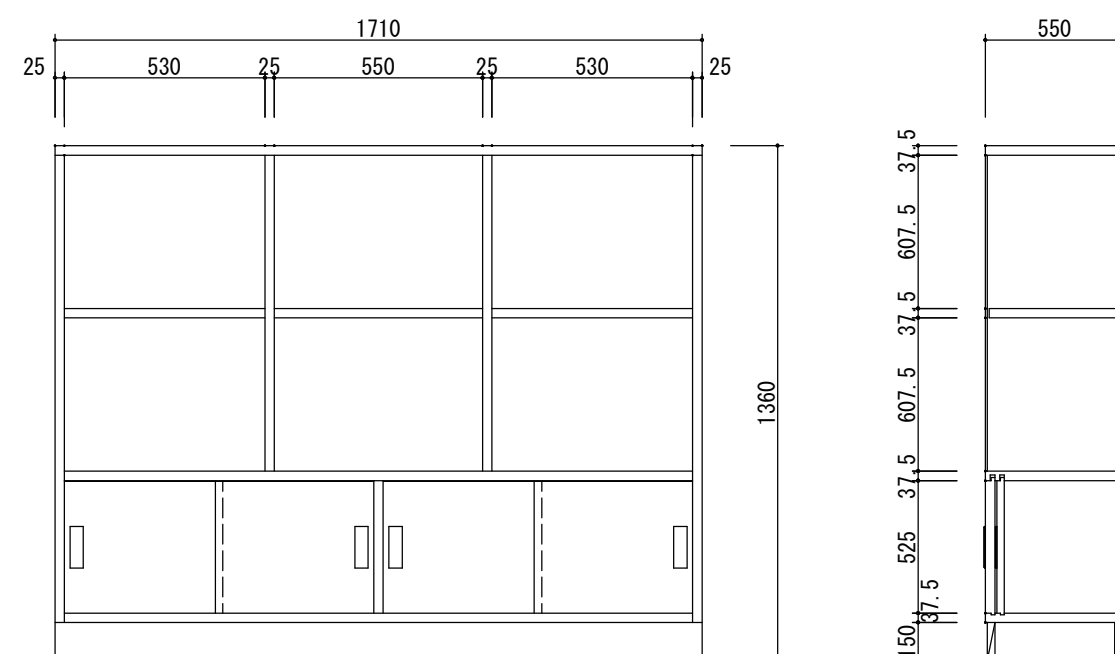
番号	部品名	材 質	備 考
1	本 体	耐摩耗化粧合板	
2	小 口	本体同色テープ仕上げ	1部メッキ使用
3	内 部	メラミン・白化粧合板仕上げ	
4	畳	畳表：イ草、畳床：スチロフォーム	t=30 mm

※ 左右共通仕様



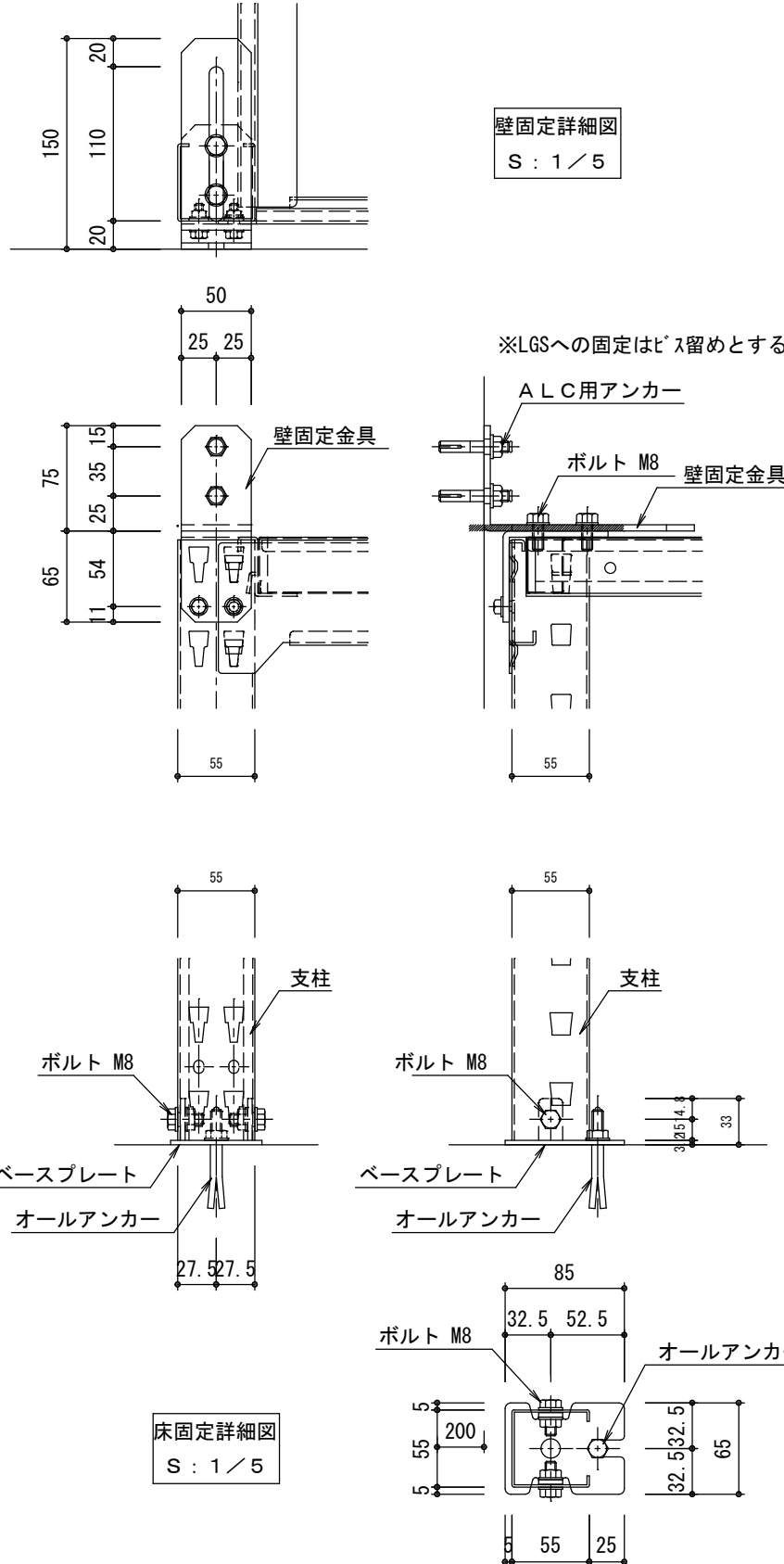
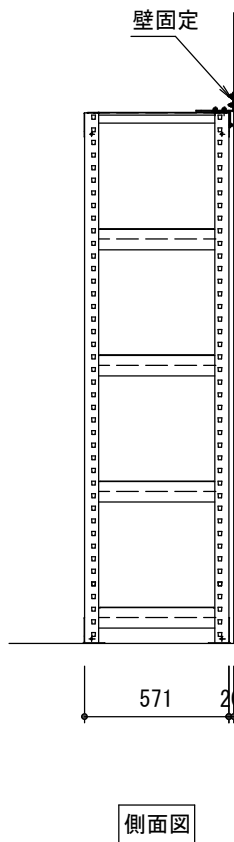
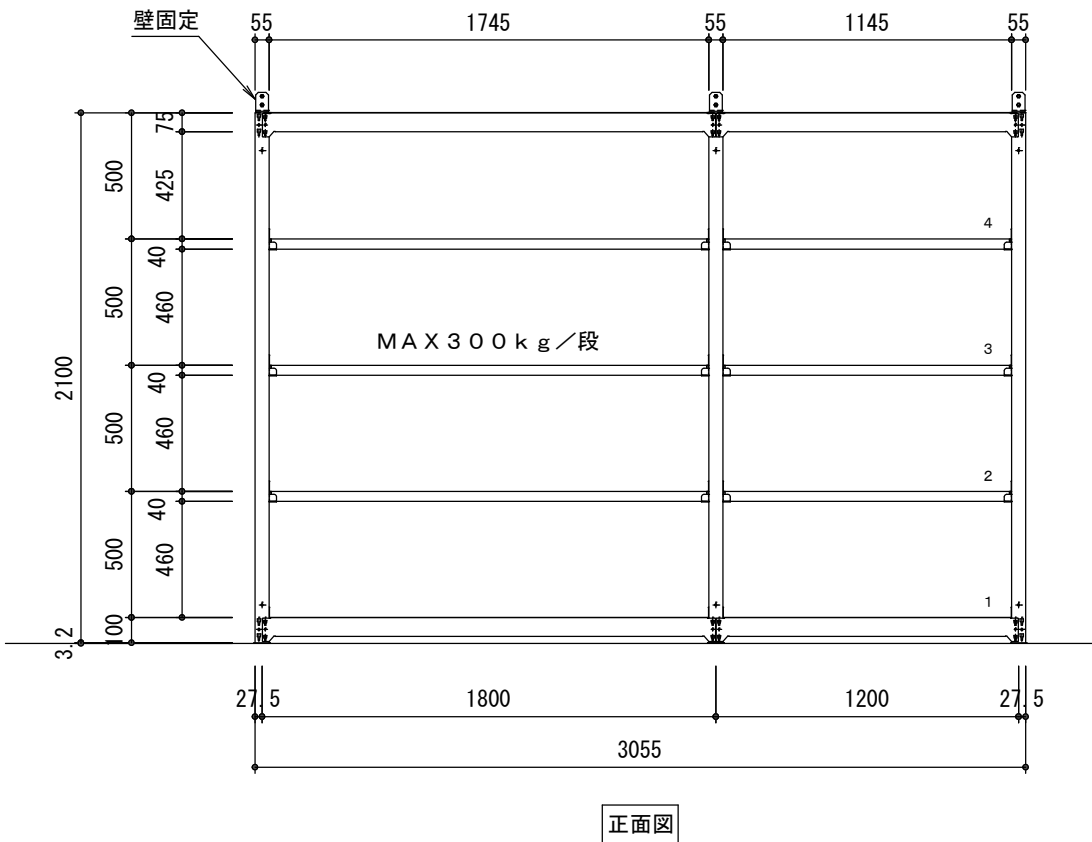
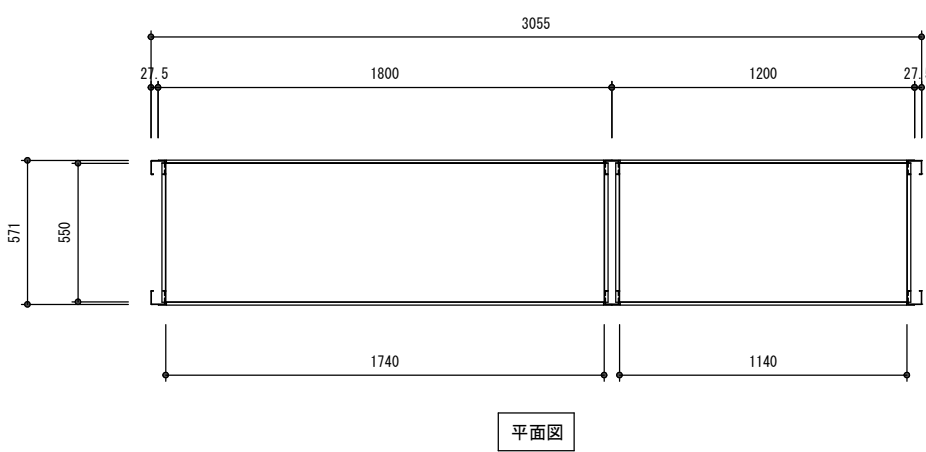
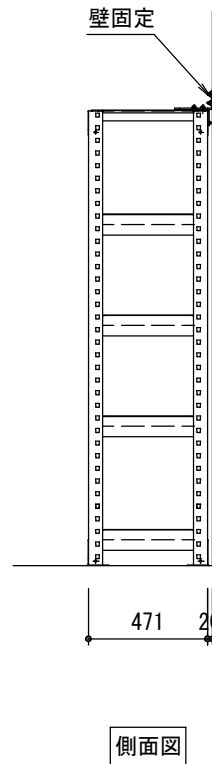
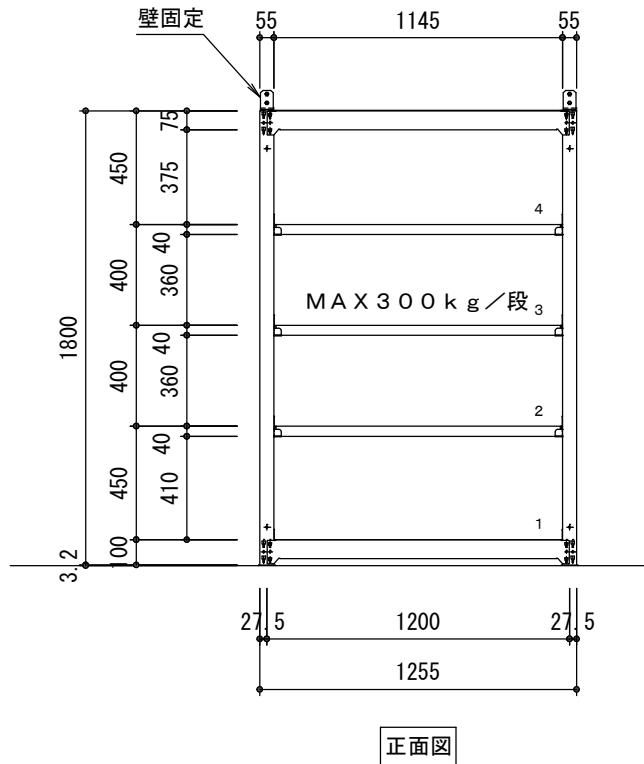
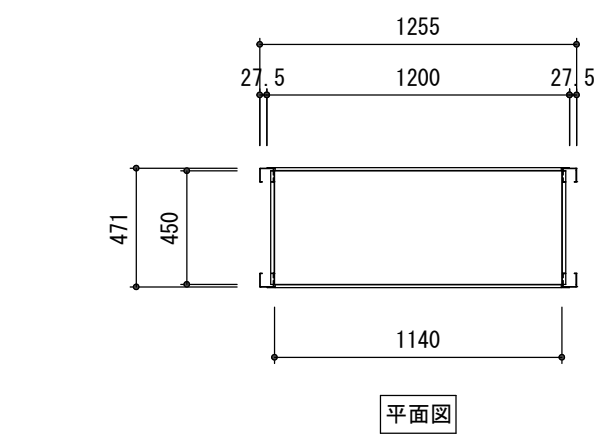
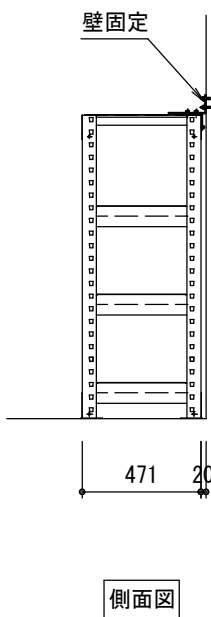
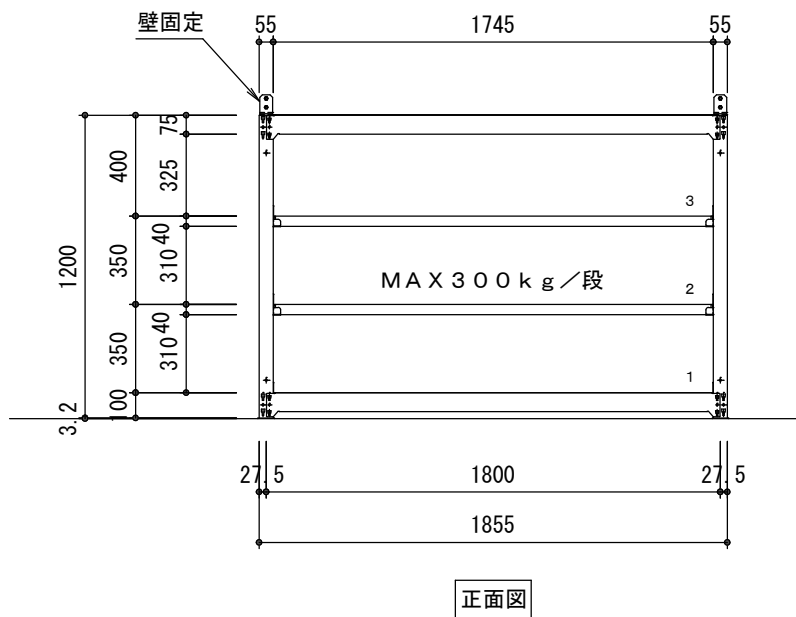
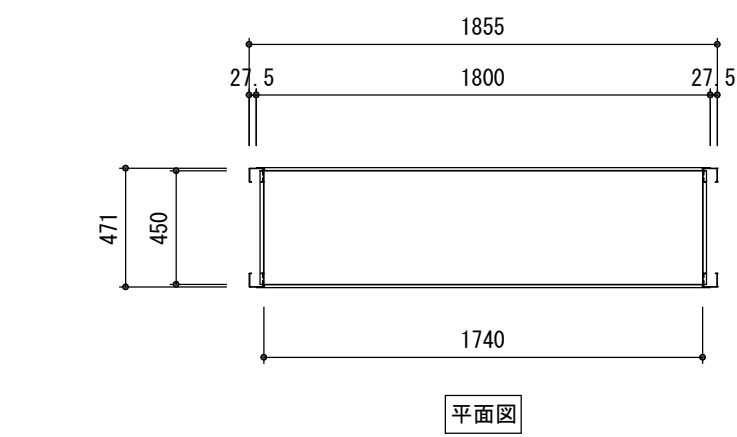
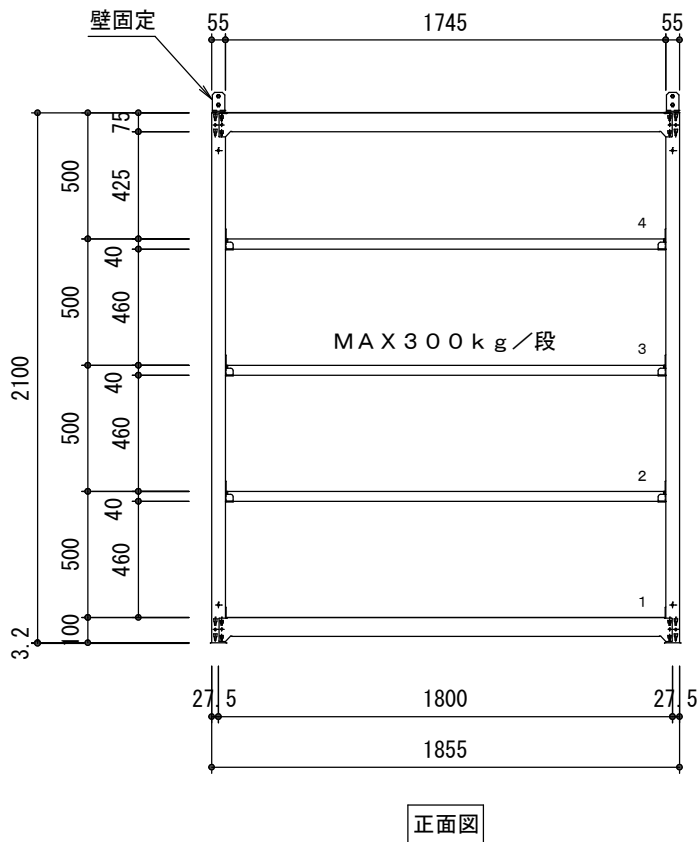
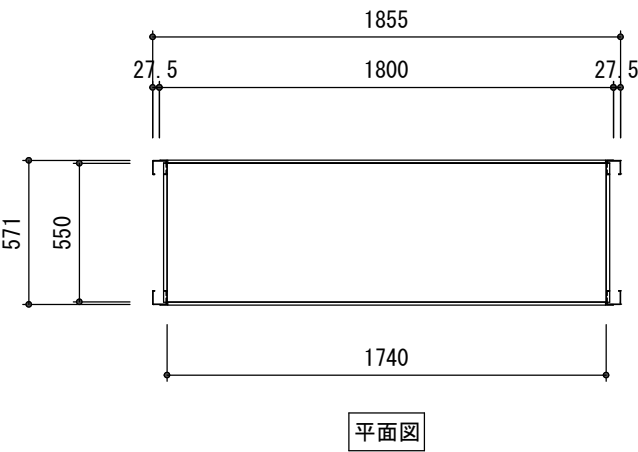
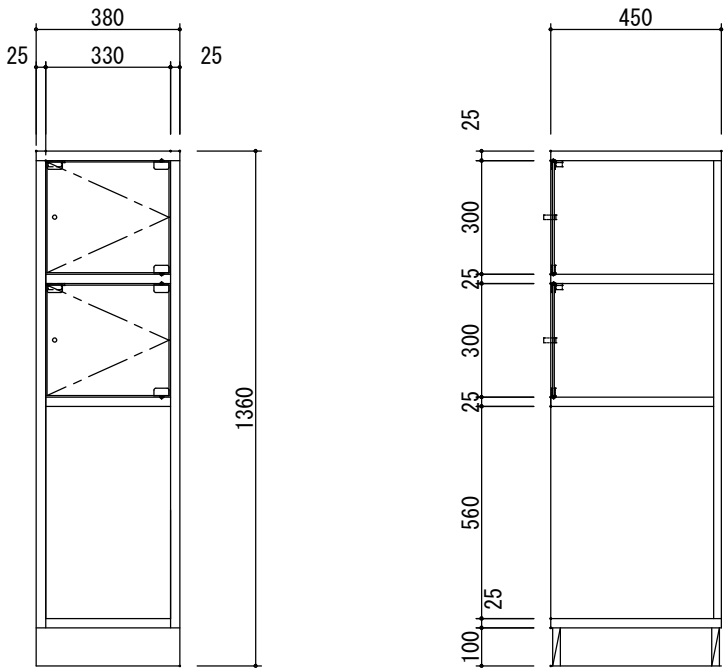
材料及び仕様	
仕様	本体表面：メラミン化粧板
	扉板表面：メラミン化粧板
	内部：プリント化粧板
	シンダー錠 ・ 鏡
	ハンガーパイプ その他

材料及び仕様	
仕様	本体表面：メラミン化粧板
	扉板表面：メラミン化粧板



材料及び仕様	
仕様	本体表面：珪酸化琺瑯板
	扉板表面：珪酸化琺瑯板
	アクリル t5mm
	線番・取手・マグネットキャッチ

材料及び仕様	
仕様	本体表面：珪酸化被板
	扉板表面：珪酸化被板
	アクリル t5mm
	蝶番・取手・マグネットキャッチ



中量ラック 仕様		
番号	サイズ	台数
1	W1200xD471xH1800 (倉庫1)	1
2	W(1800+1200) xD471xH1800 (倉庫1)	1
3	W1800xD571xH2100 (倉庫2)	2
4	W(1500+1500) xD471xH1200 (倉庫3)	1
5	W1800xD471xH1200 (倉庫3)	1
6	W1800xD471xH2100 (倉庫4)	1
7	W1200xD471xH2100 (倉庫4)	1
8	W900xD471xH2100 (倉庫4)	1
9	W(1200+900) xD471xH2100 (救急資材庫)	1
10	W1200xD471xH2100 (救急資材庫)	1
11	W(1800+1800) xD471xH2100 (車庫)	1
12	W1800xD471xH1800 (油庫)	1
13	W(1500x5) xD471xH2100 (書庫)	1
14	W(1500x4) xD471xH2100 (書庫)	1
15	W(1800+900) xD471xH2100 (リネ庫)	1
16	W(1800+1800) xD471xH2100 (リネ庫)	1
最大積載質量	300kg/段 (等分布载荷)	
	2500kg/連	
段調整ピッチ	50mmピッチ	
オプション	壁固定	
	床固定	
	回転式落下防止バー	

カウンター

1/30

ランパ-コア下地
メラミン化粧板張り

R加工

小口
天然木集成材
CL塗装

小口
天然木集成材
CL塗装

ランパ-コア下地
メラミン化粧板張り

SUS補強
200×200×t5

LG90下地

玄関ホール

事務室

足洗い、手洗い

1/30

SUS面台t=1.5

シーリング

CB100積

50角サ-イタイル張り

D13

D10@200

防水モルタル

足洗い： L=1500

SUS面台t=1.5

シーリング

CB100積

SUS面台t=1.5加工

シーリング

45×45

45×90

45×60
@300

排水金物（設備工事）

モルタル金コ-仕上

（木下地）

手洗い： L=1500

洗面バ-ック詳細図

1/10

385
120

メラミン-ストフォーム

シーリング

40

H

ステンレス面台t=1.5

150

シーリング

25

H

LGS下地
W90

映写スクリーン詳細図

1/10

2,800

2,698

41

41

150

21

150

スクリーンボックス

アルミ天板

取付金具
（3ヶ所）

スクリーン

黒マスク

2,438

2,538

131

131

80

150

21

550

490

425

スクリーンボックス

取付金具

アルミ天板

スクリーン

タッピングビス

472

750

105

750

詳細図 S=1/4

CKL-120HBX同等品

φ25アルミパイプ

外観図 S=1/20

懸垂棒詳細図

1/20

ベ-スプレートt=6

φ13

△鉄骨

△天井

SUS304HL
φ34

1,000

500

両端部半球キャップ仕様

アンテナ設置用ボ-ール詳細図

1/10

※仕上：亜鉛メッキ処理の上樹脂コーティング

① 銅管 φ190.7×t5.3 STK400

② 足場ボ-ルトセット W5/8（SW、N2） SS
足場ソケット SS400

③ タキコミキャップ φ190.7用

3

1

2

900

500

500

500

500

2,650

3,200

50

120

380

500

無収縮モルタル

D10@200

防水押え

D13

100

75

4-D16

D10@200

300

50

200

50

50

200

300

50

50

75

600

75

750

A-BOLT4-M16
L=500
B-PL 300×300×22

コンクリート金コ-
クリタ系塗膜防水

アルミサッシ詳細図

1/10

ALC版 t=100

モルタル

シーリング材

開口補強鋼材

7mm額縁

モルタル

シーリング材

バックアップ材

シーリング材

50

50

開口補強鋼材

170

シーリング（PU-2）

防水モルタル

140

シーリング材

モルタル

ALC版 t=100

7mm額縁

W

25

15

開口補強鋼材

アルミ底詳細図

1/10

600

100

M10ボ-ルト・ナット

7mm板

発泡バ-材

コーキング（別途）

スチ-ル下地

19

19

シーリング

9.5

64.2

30

114.2

15

座金50×100×6t

底L=1300

@600×n

150

150

54.2

手押しトリ付ボ-スト

1/20

仕様

形式	1S-BP	1SH-BP
定格荷重（t）		1
揚程（m）	3	6
巻上速度（m/min）	50Hz 4.6 60Hz 5.5	
巻上モ-トル（kW）	50Hz 0.8 60Hz 1.0	
電源（三相）	V，Hz	
操作回路電圧（V）	24	
定格	25 %ED，150 回/h	
周囲温度（℃）	-10 ~ 40	
リンクチェーン	掛数 1 径 7.1 ピ-ッチ 20.2	
概略質量（k・）	52	57

速度表示単位（m/s）の場合

巻上速度（m/s）	50Hz 0.077 60Hz 0.092
-----------	--------------------------

定格荷重1.0tタイプ 揚程6m 巻上速度5.5m/min
（1速形、屋上2点押し卸操作式） 日立1SH-BP+2PBH 同等品

原図：A2

市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第266489号 山口 裕之

設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之

整理番号

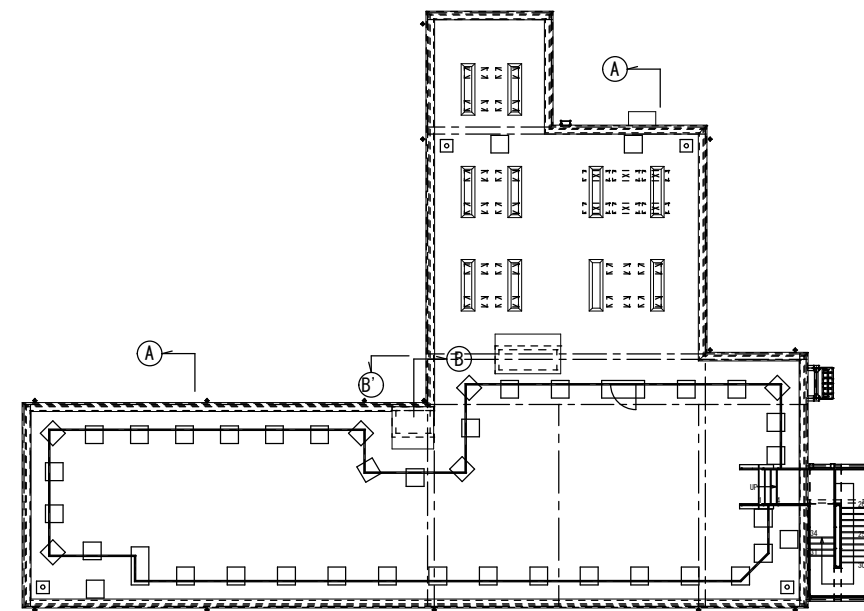
年月日

縮尺 1/10、20、30

工事名 津市久居消防署南分署建築工事

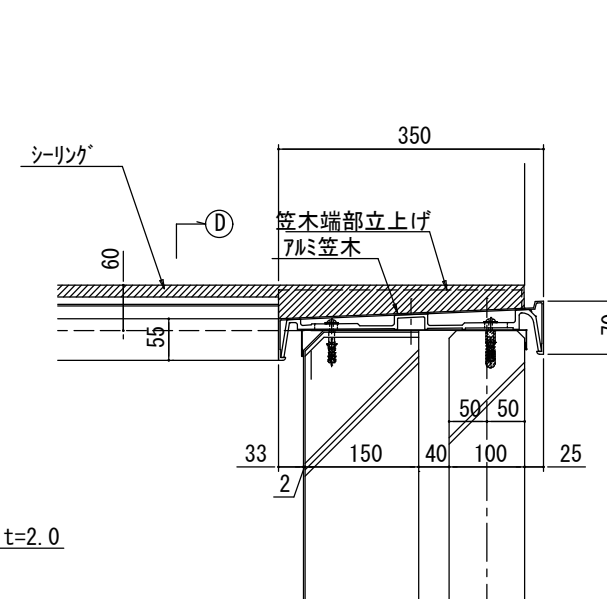
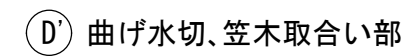
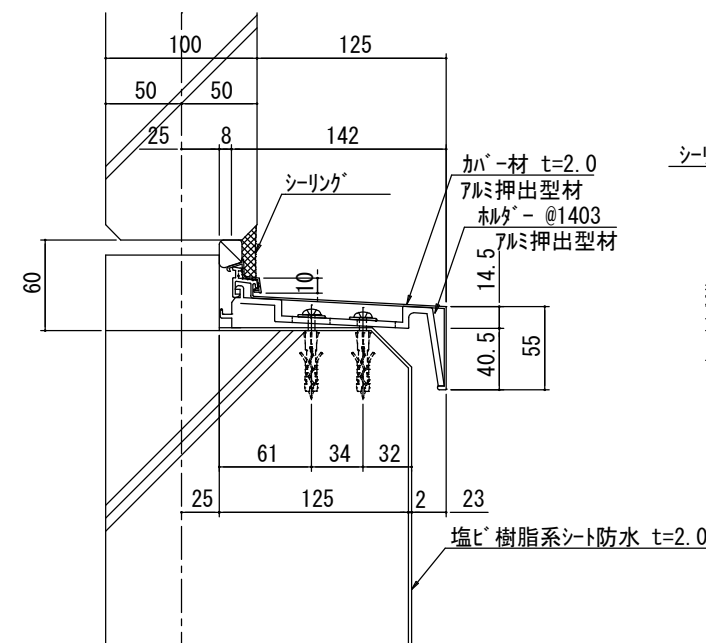
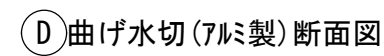
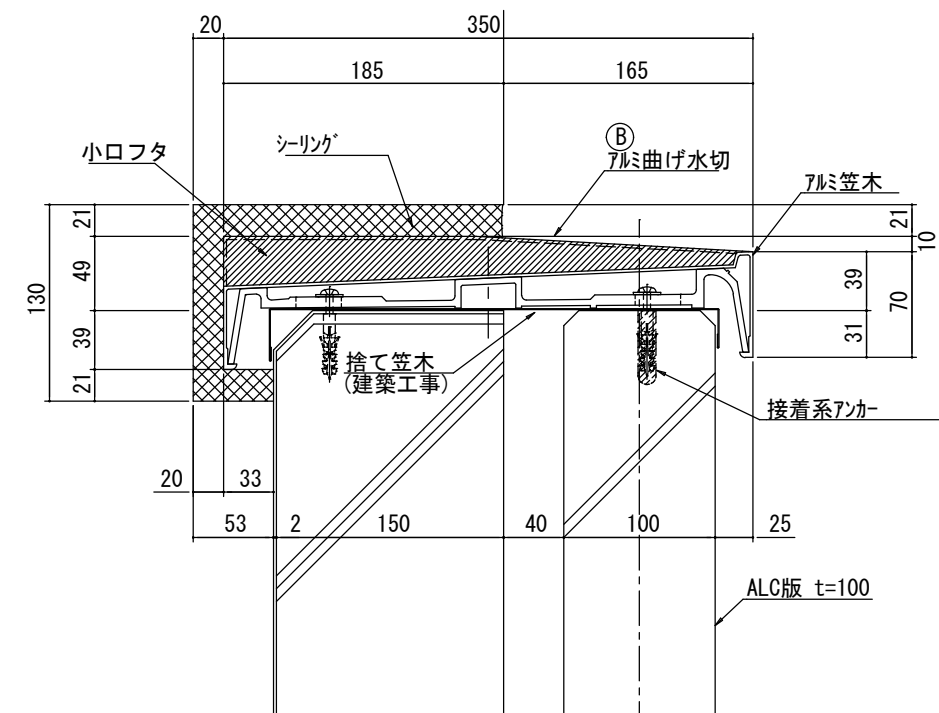
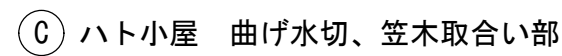
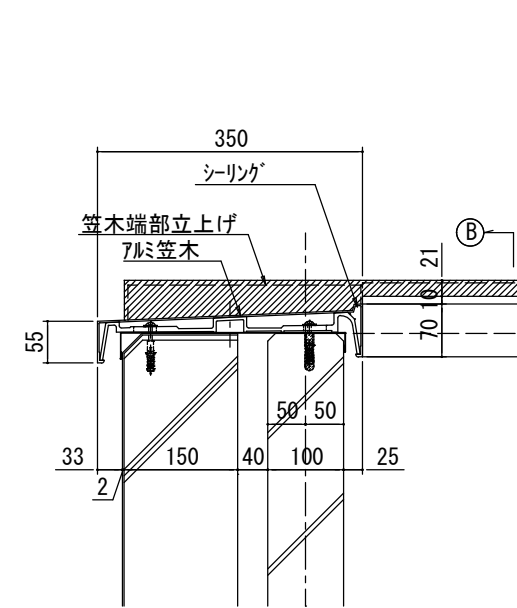
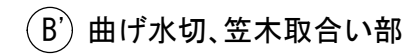
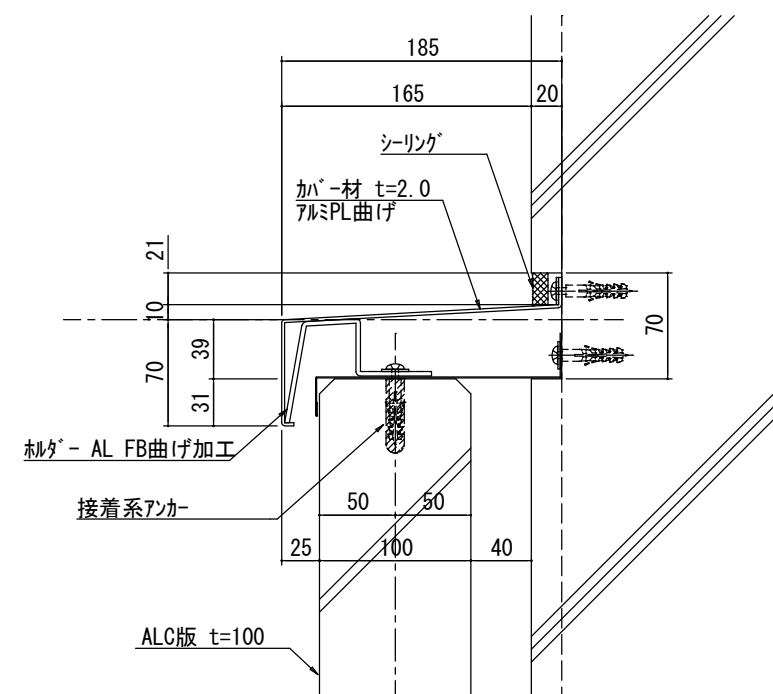
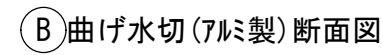
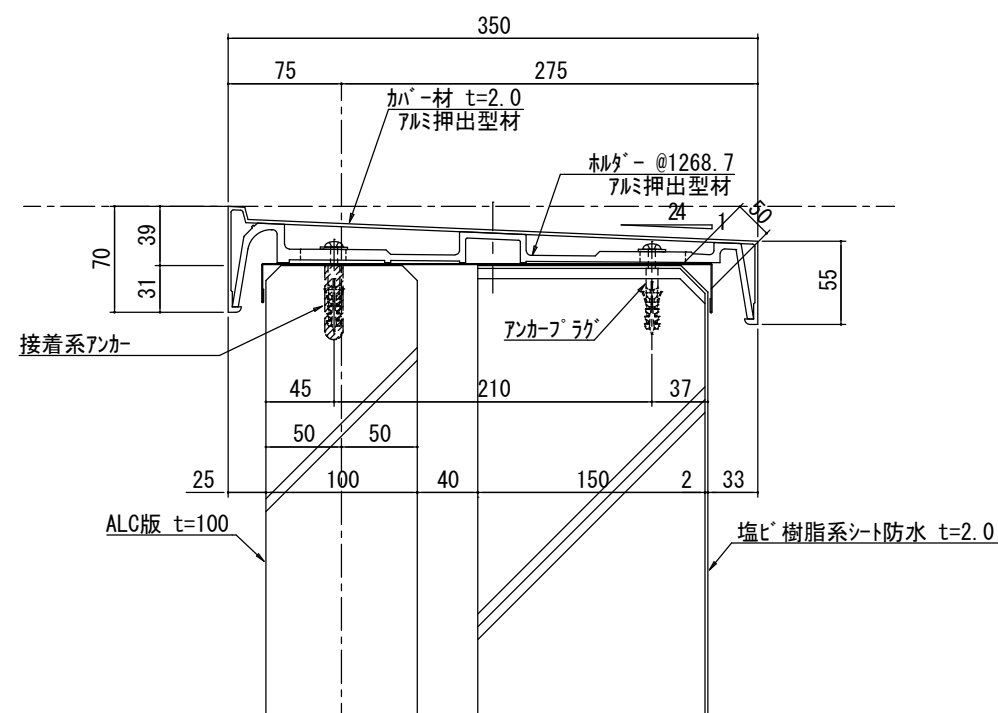
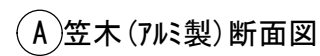
図名 雑詳細図（7）

NO. A—52 / 64

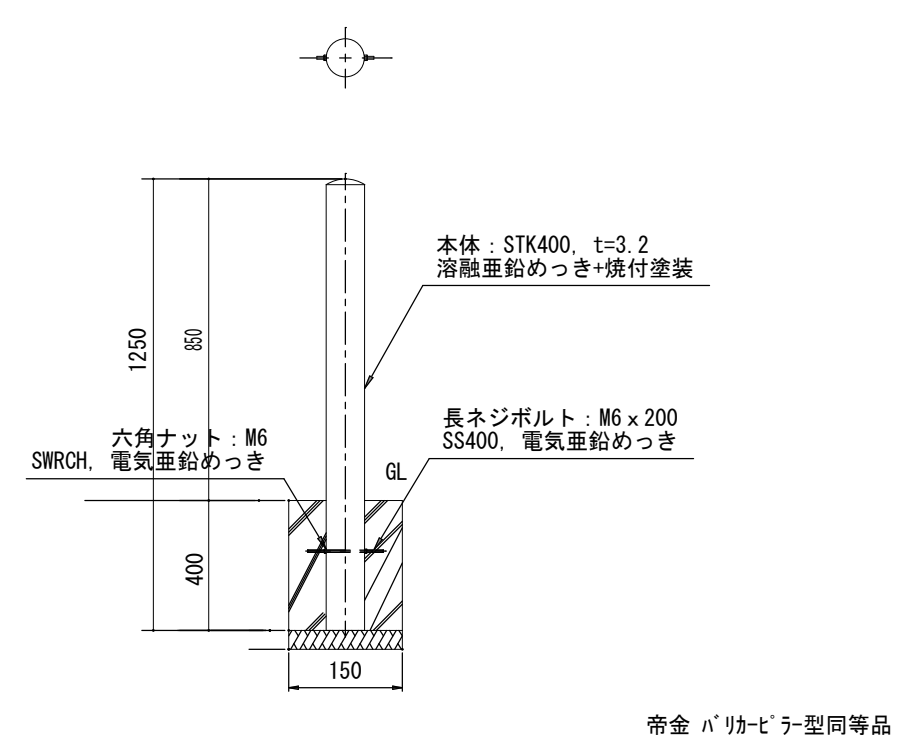
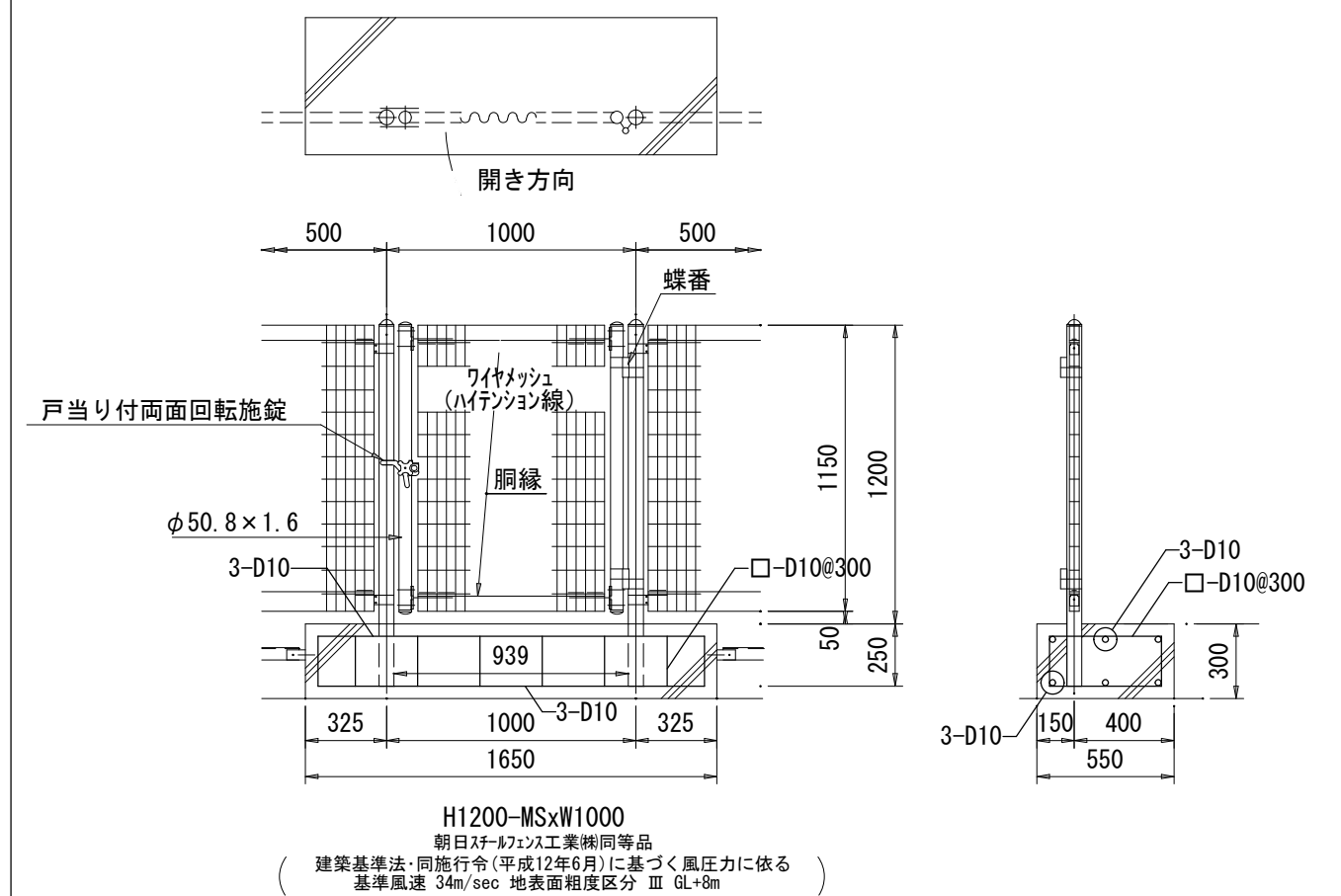
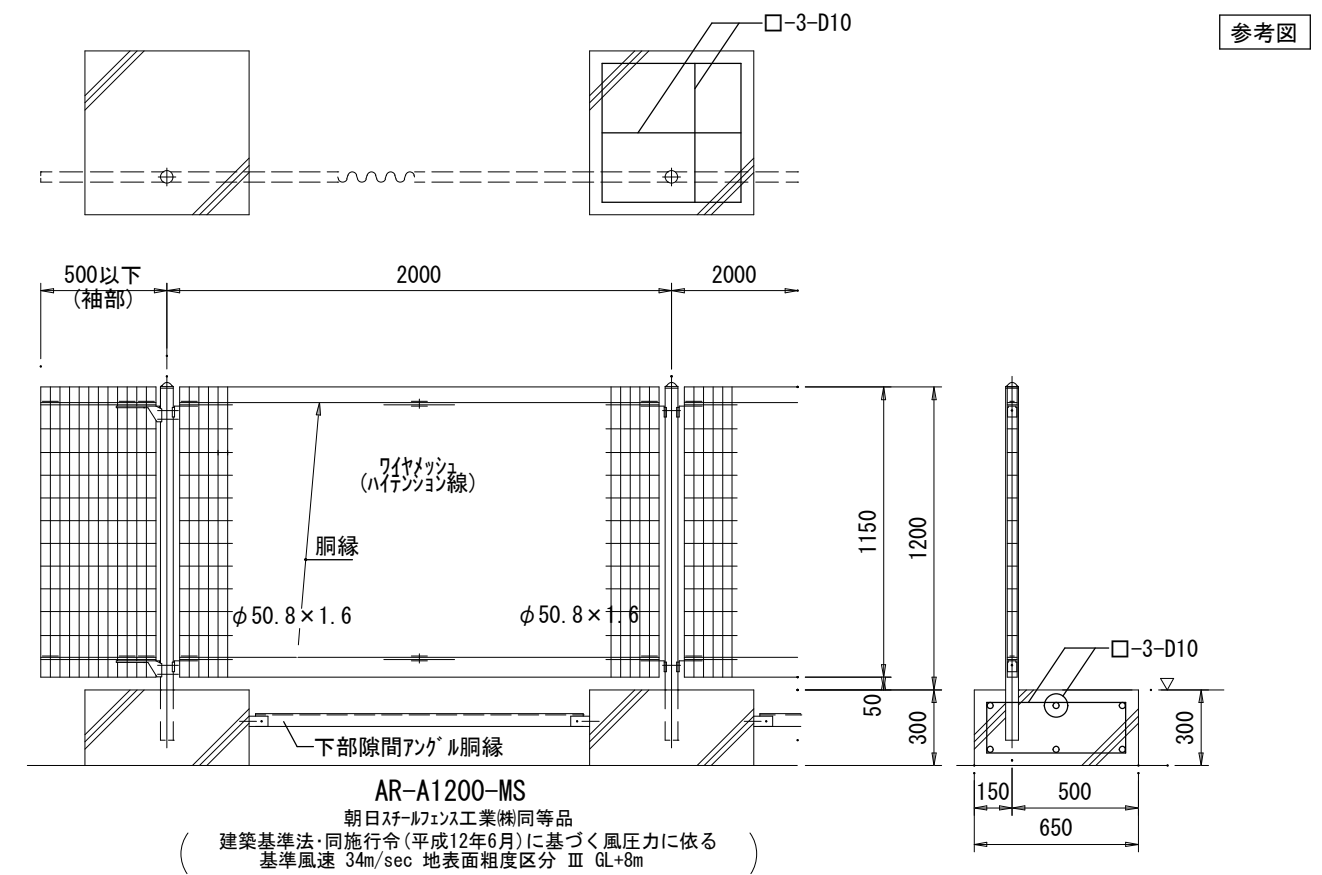


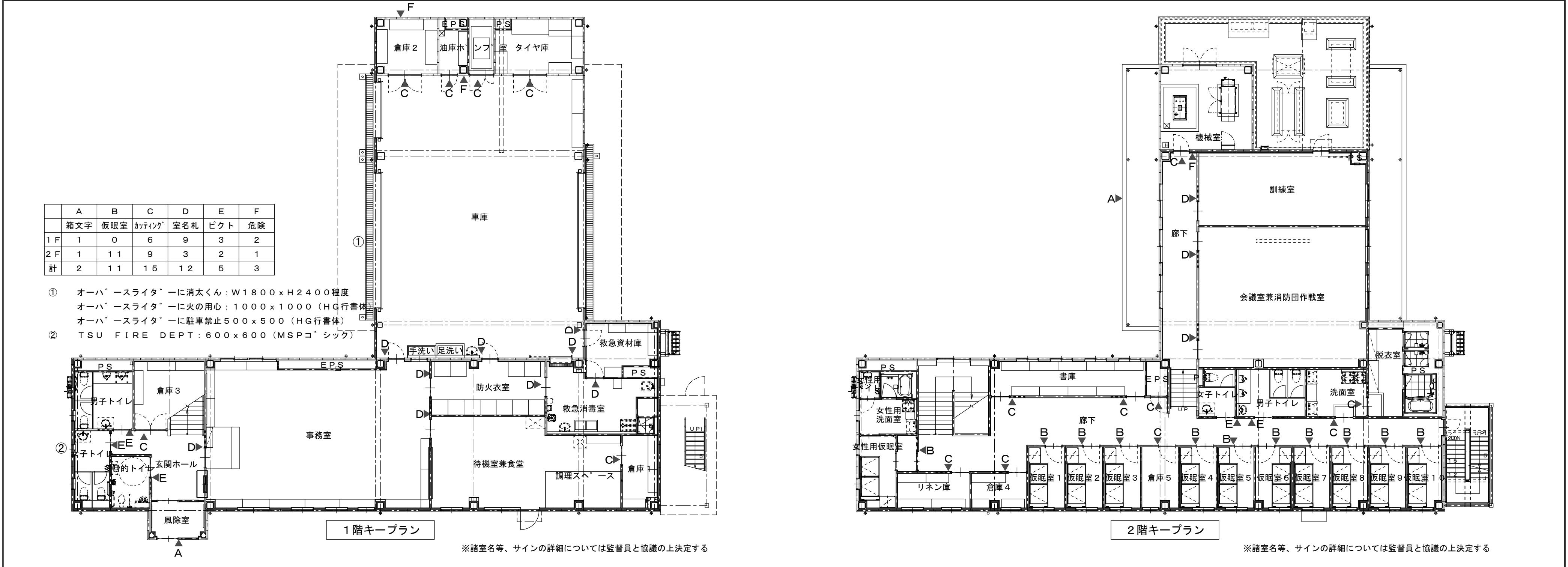
R階キープラン

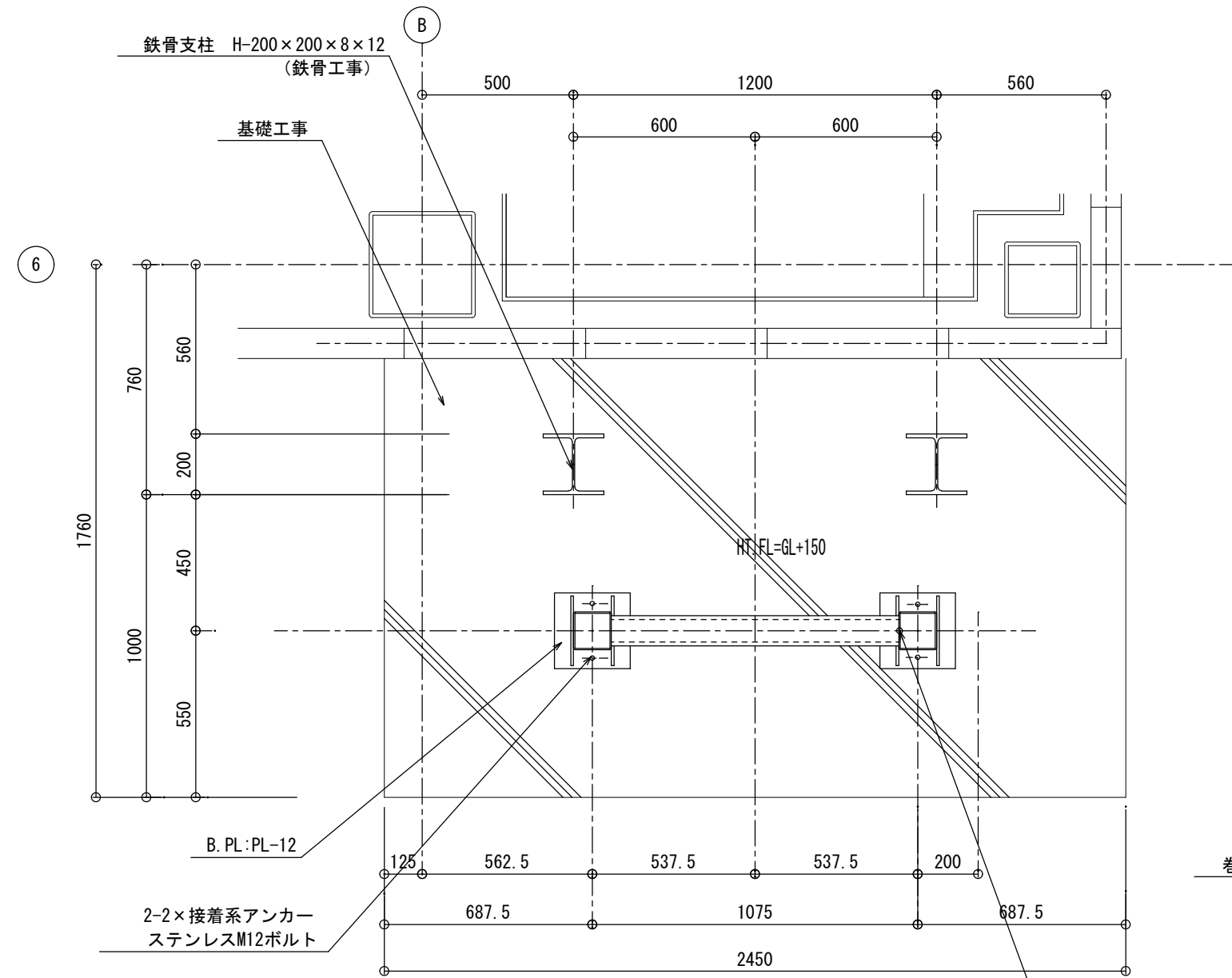
2階キープラン



※塩ビ樹脂系シート防水は、立上りRC壁天端まで巻上とする。（共通）

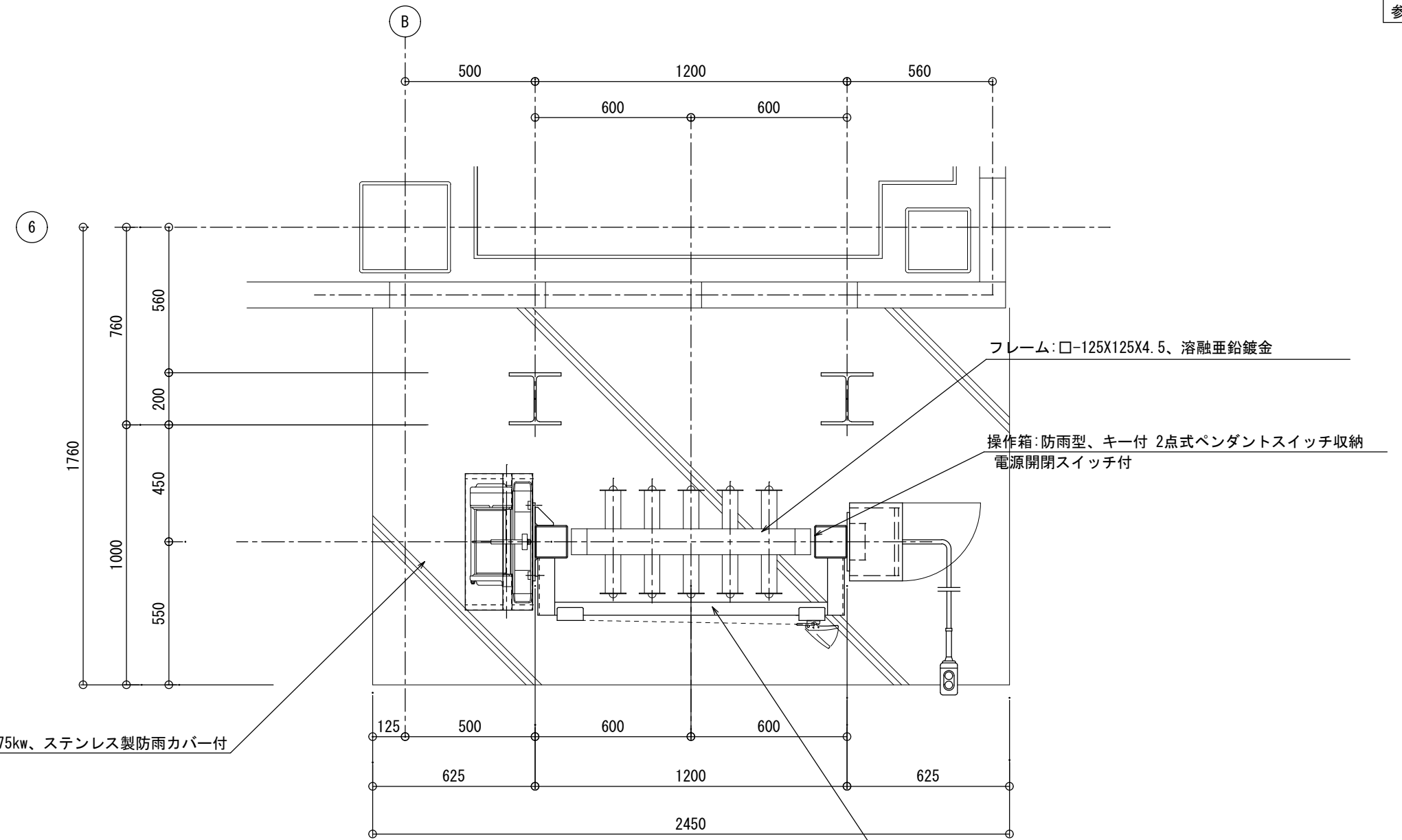




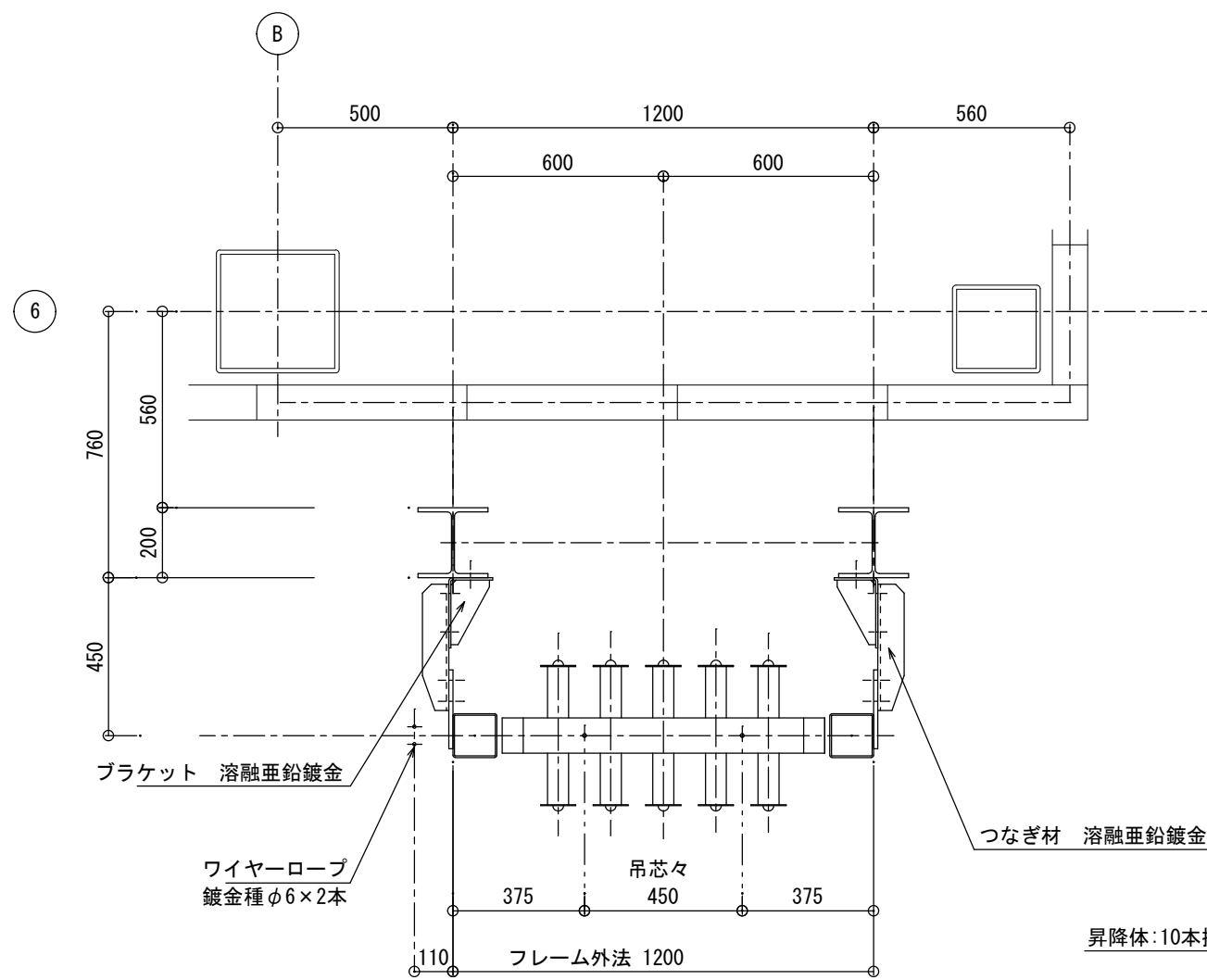


ホースタワー下部平面図 S=1:20

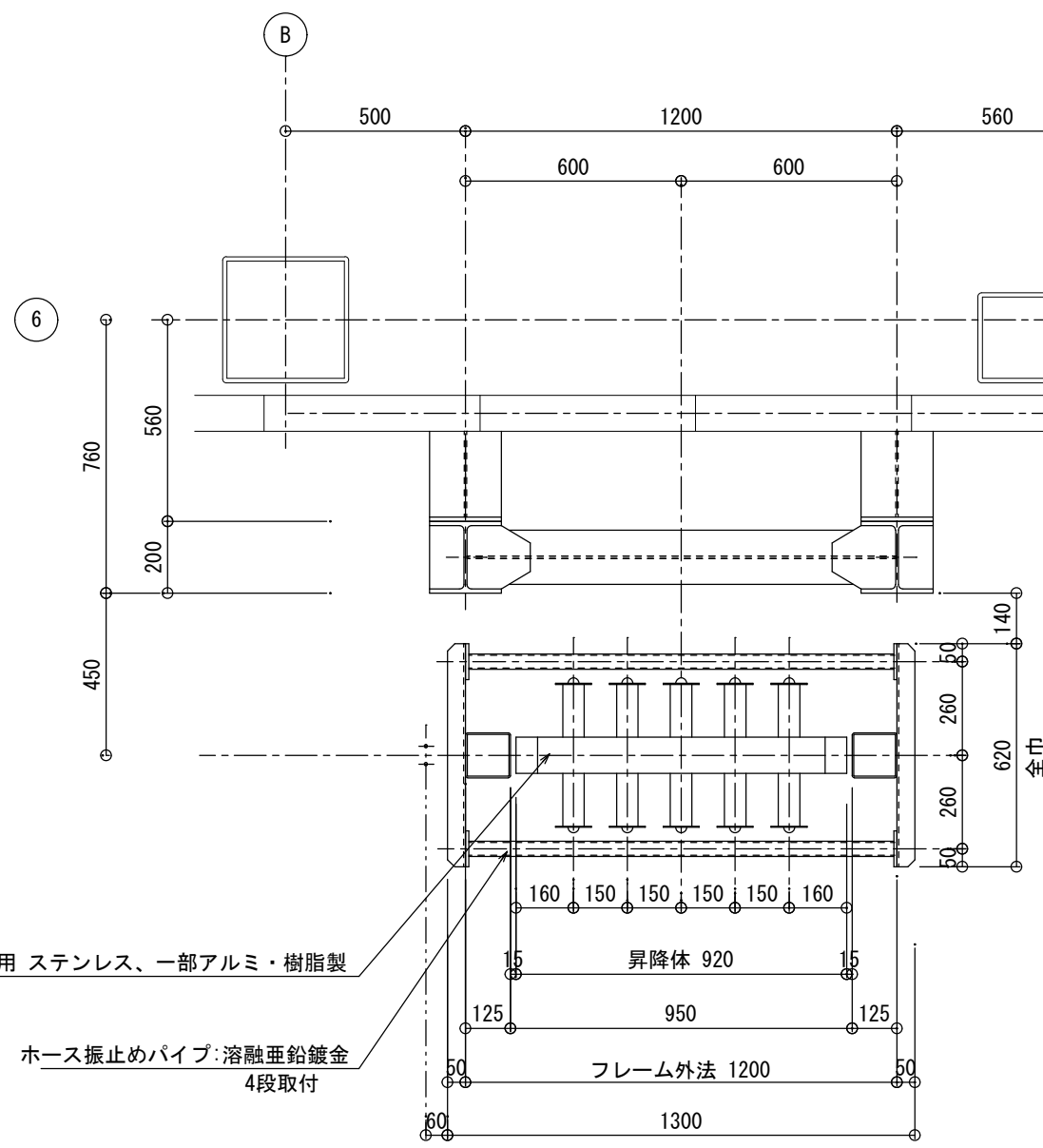
電源位置: 3相AC200V 60Hz 0.75kw (送りアース線含む)
ホースタワー設置後、ホースタワー操作箱までの配管・配線 (電気工事)



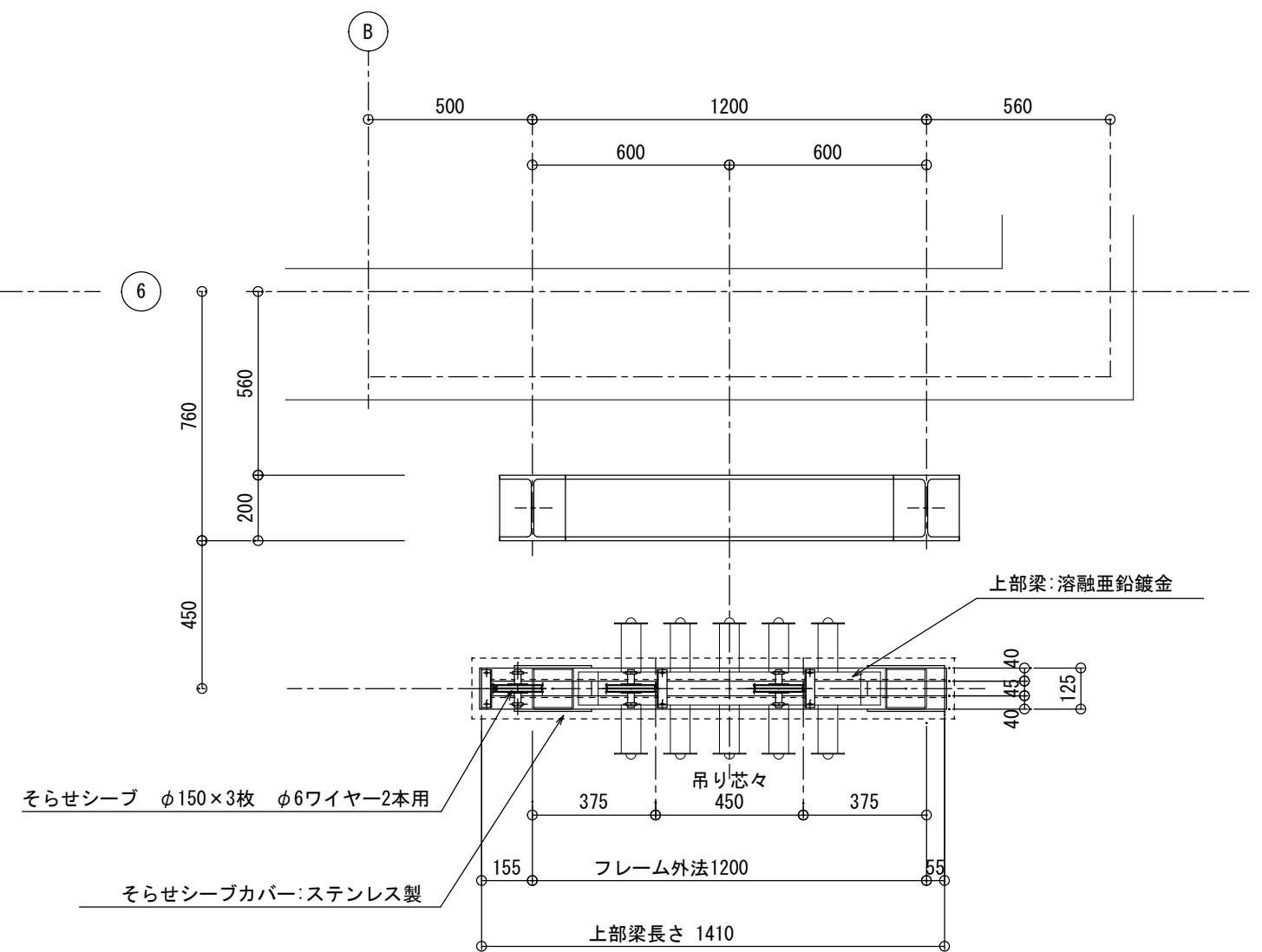
ホースクランプ部平面図 S=1:20



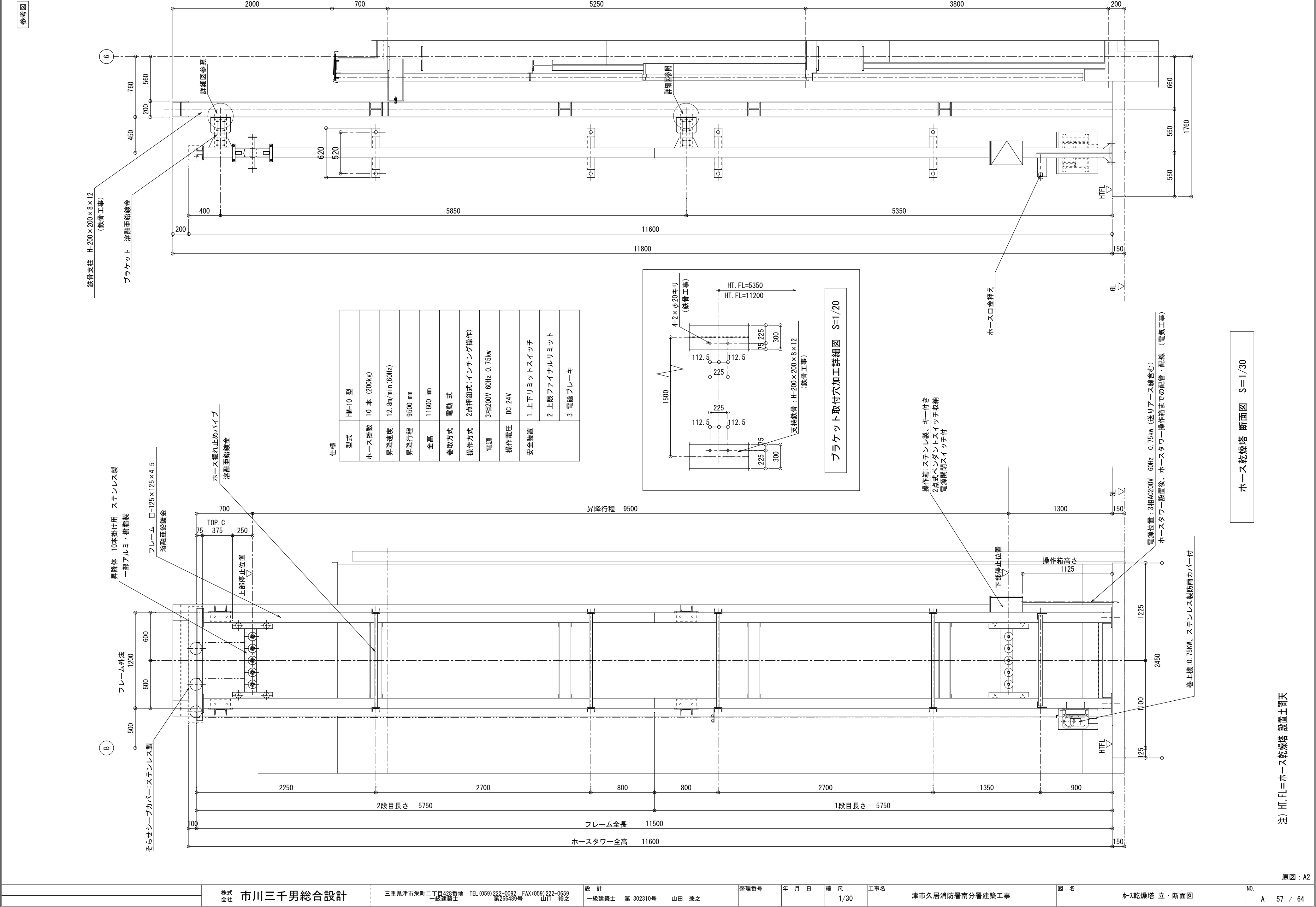
ブラケット取付部平面図 S=1:20



ホース振れ止め取付部平面図 S=1:20



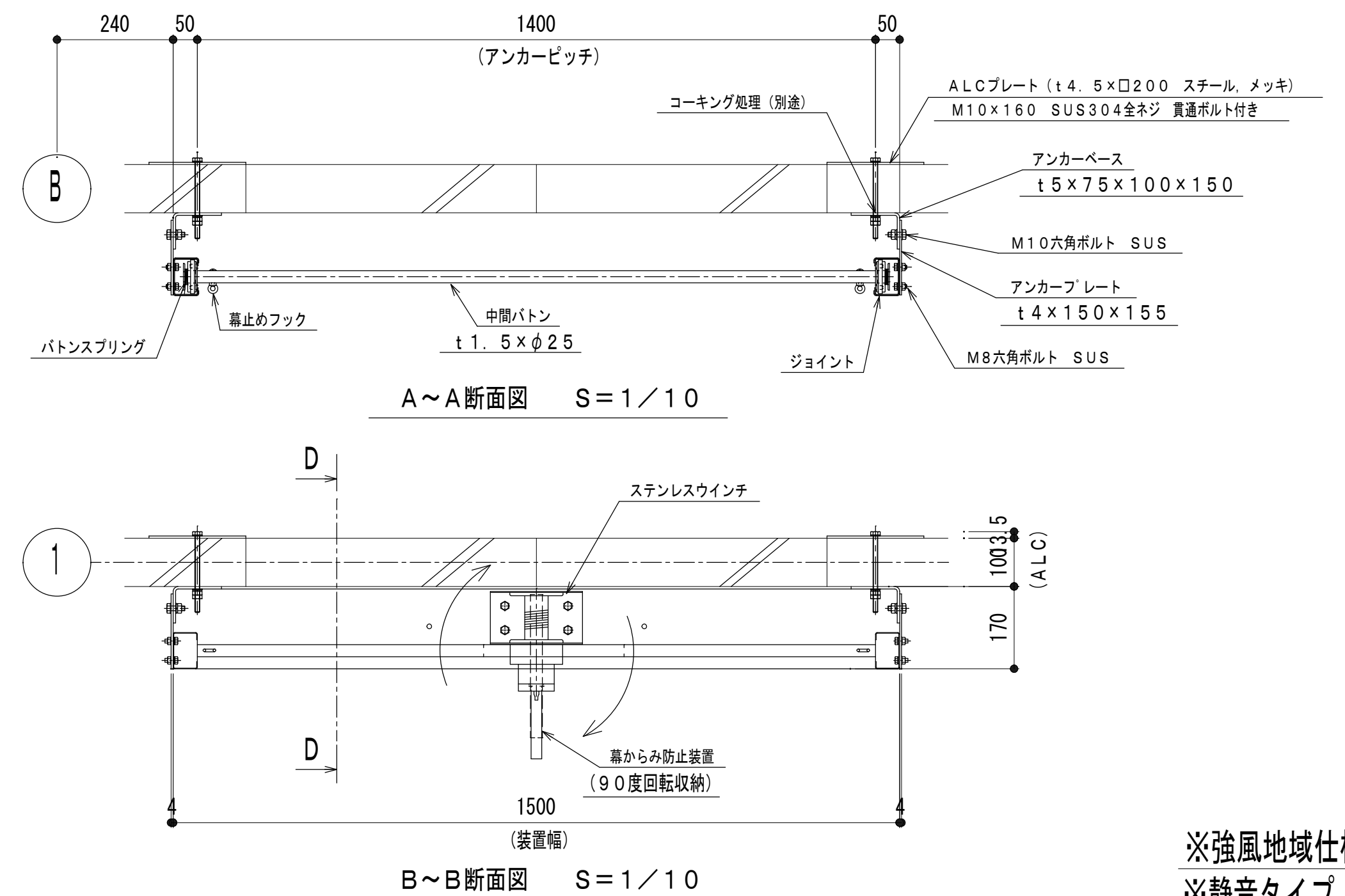
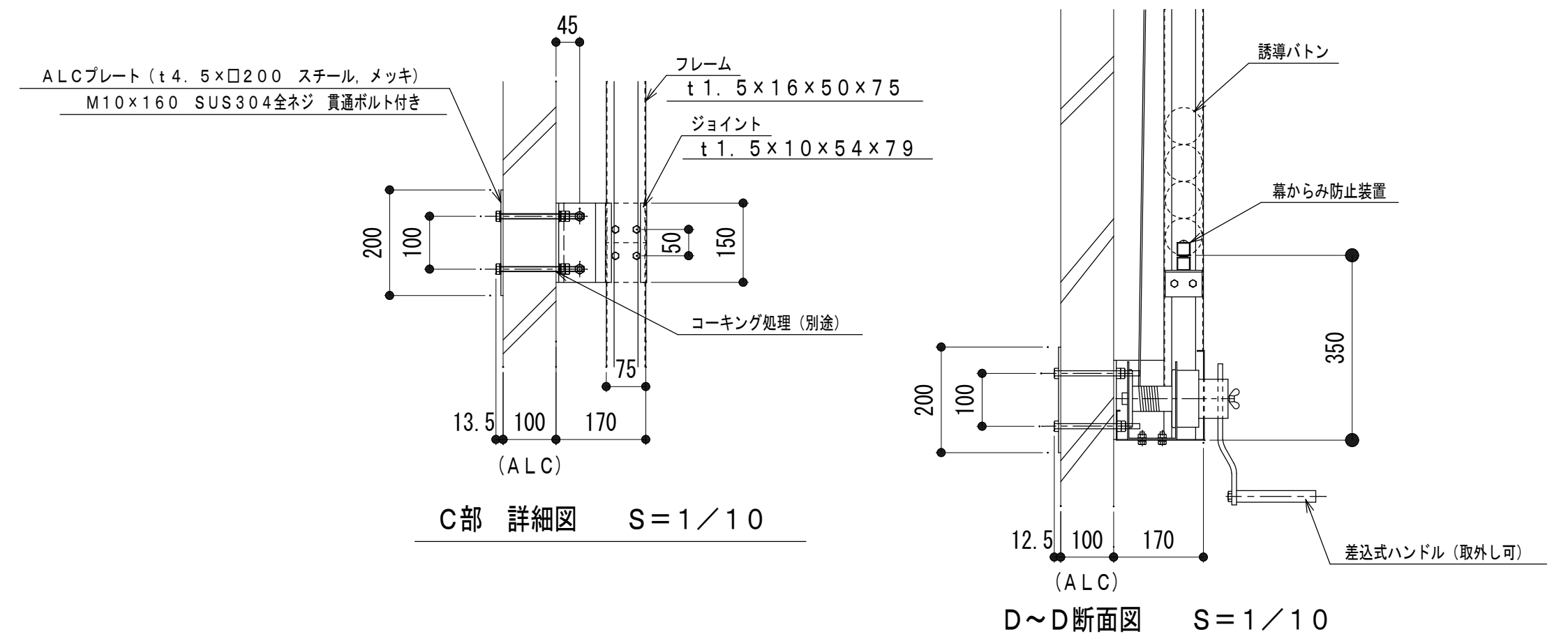
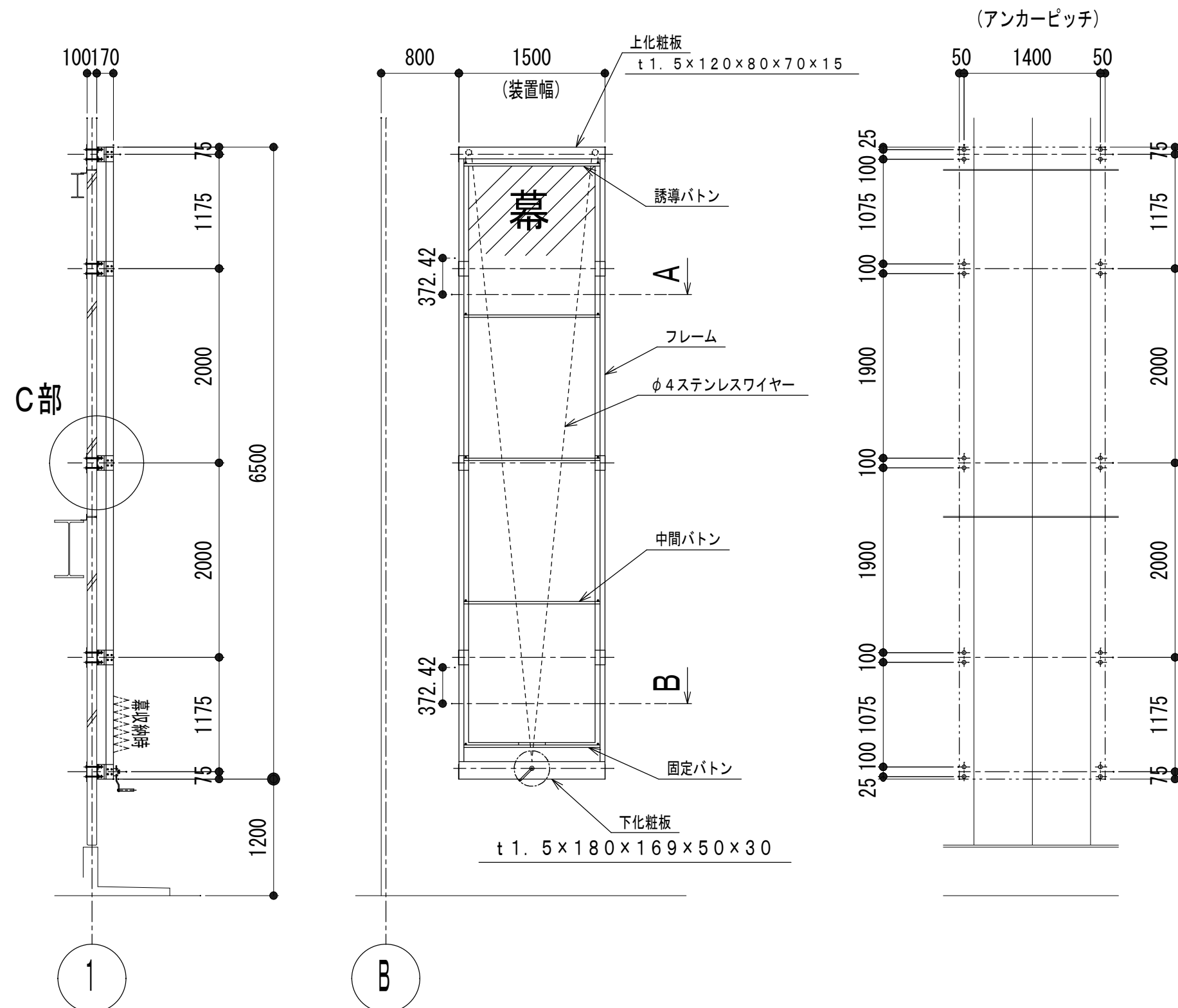
ホース乾燥塔 上部平面図 S=1:20



側面図 1/50

正面図 1/50

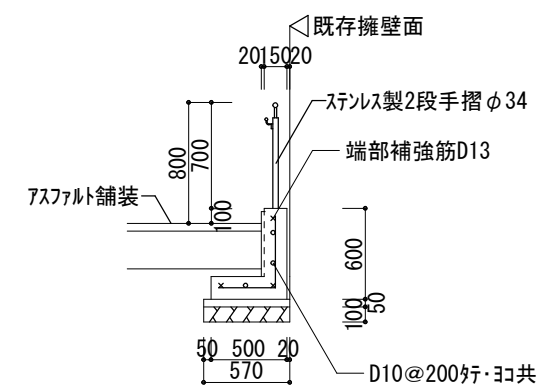
アンカー図 1/50



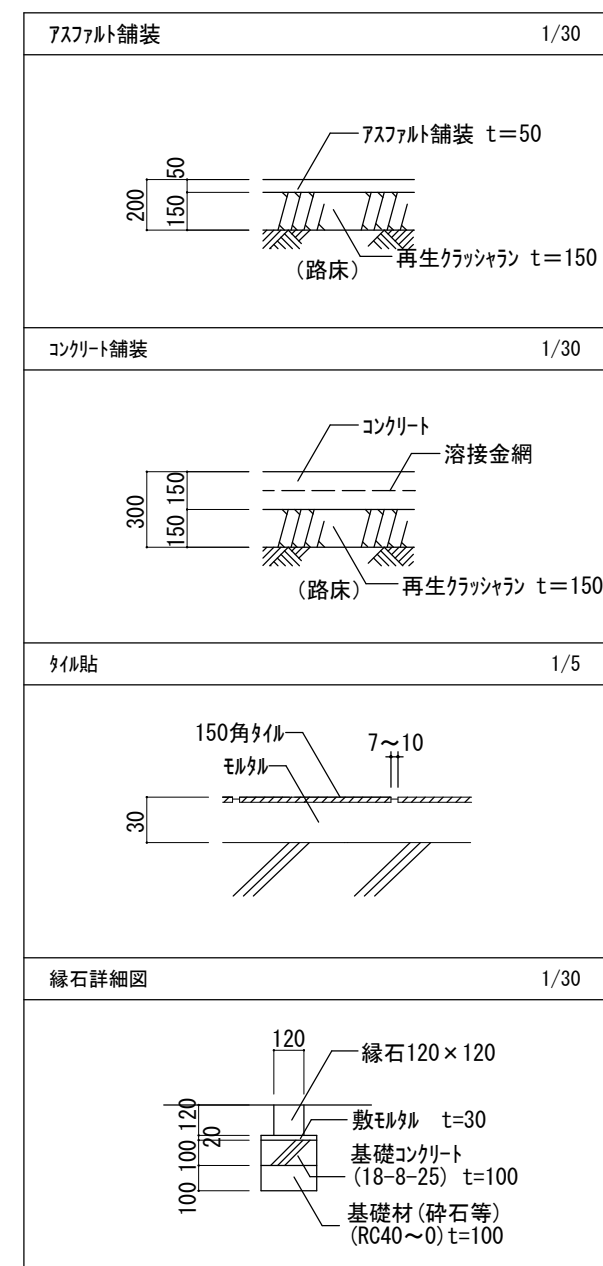
※強風地域仕様
※静音タイプ

「装置仕様」 材質: SUS304 (#400研磨)

装置寸法	W1500×H6500
幕寸法	W1300×H5900
幕ハトメ	4等分

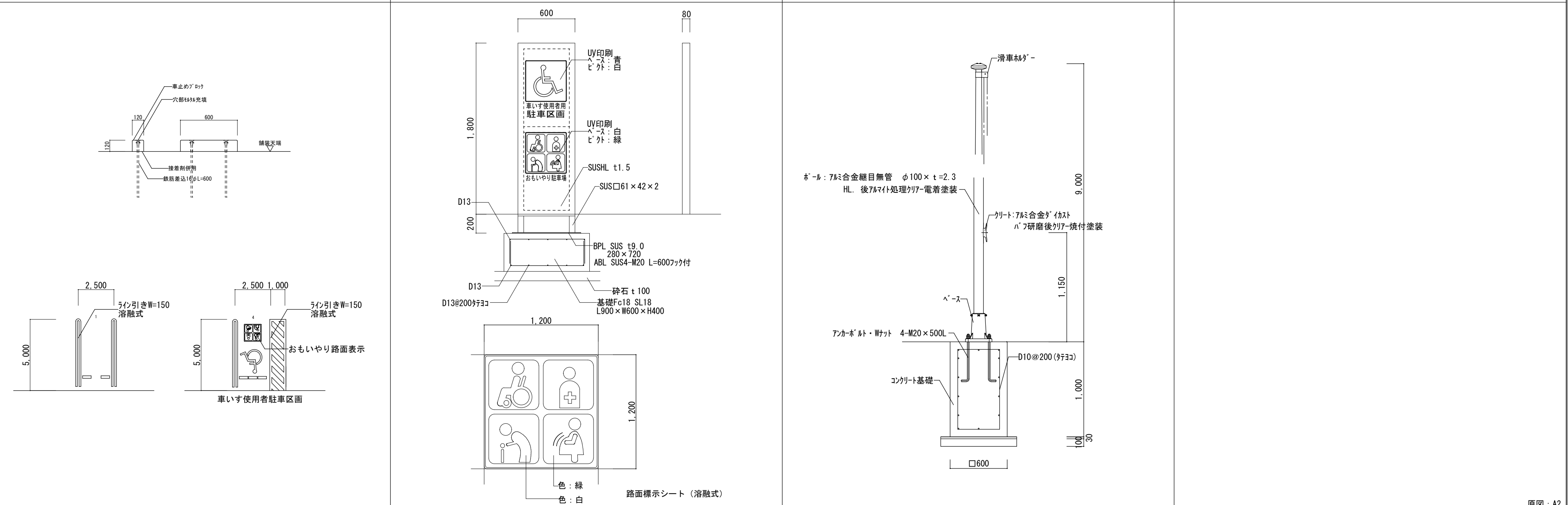
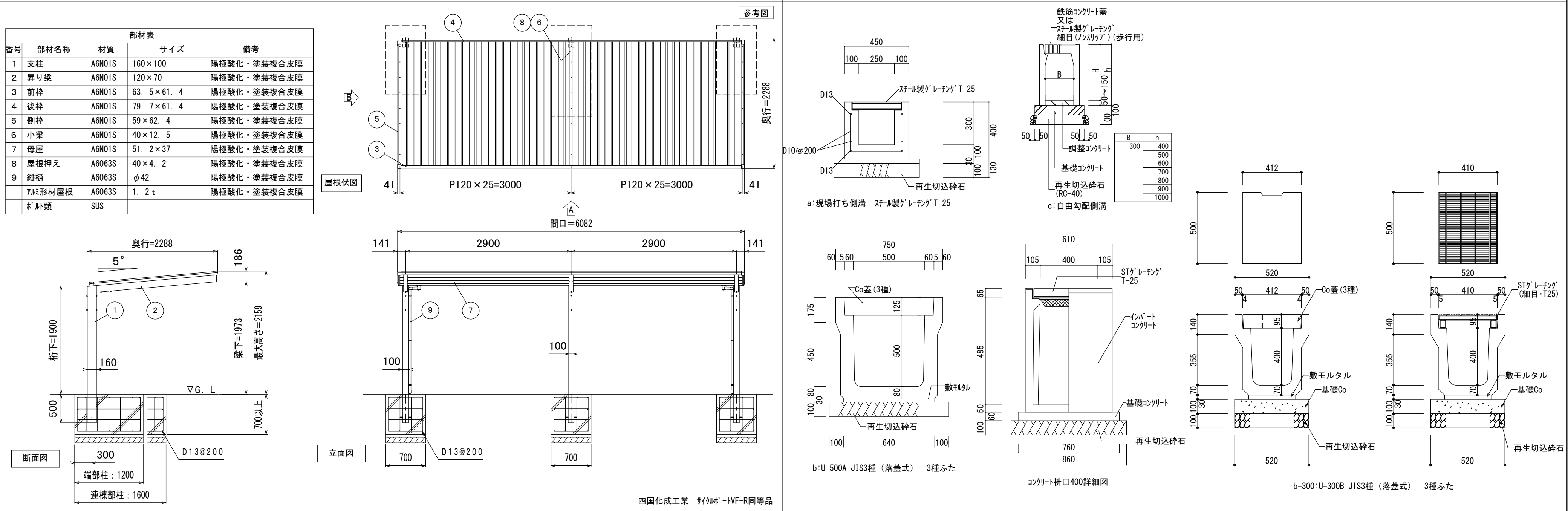


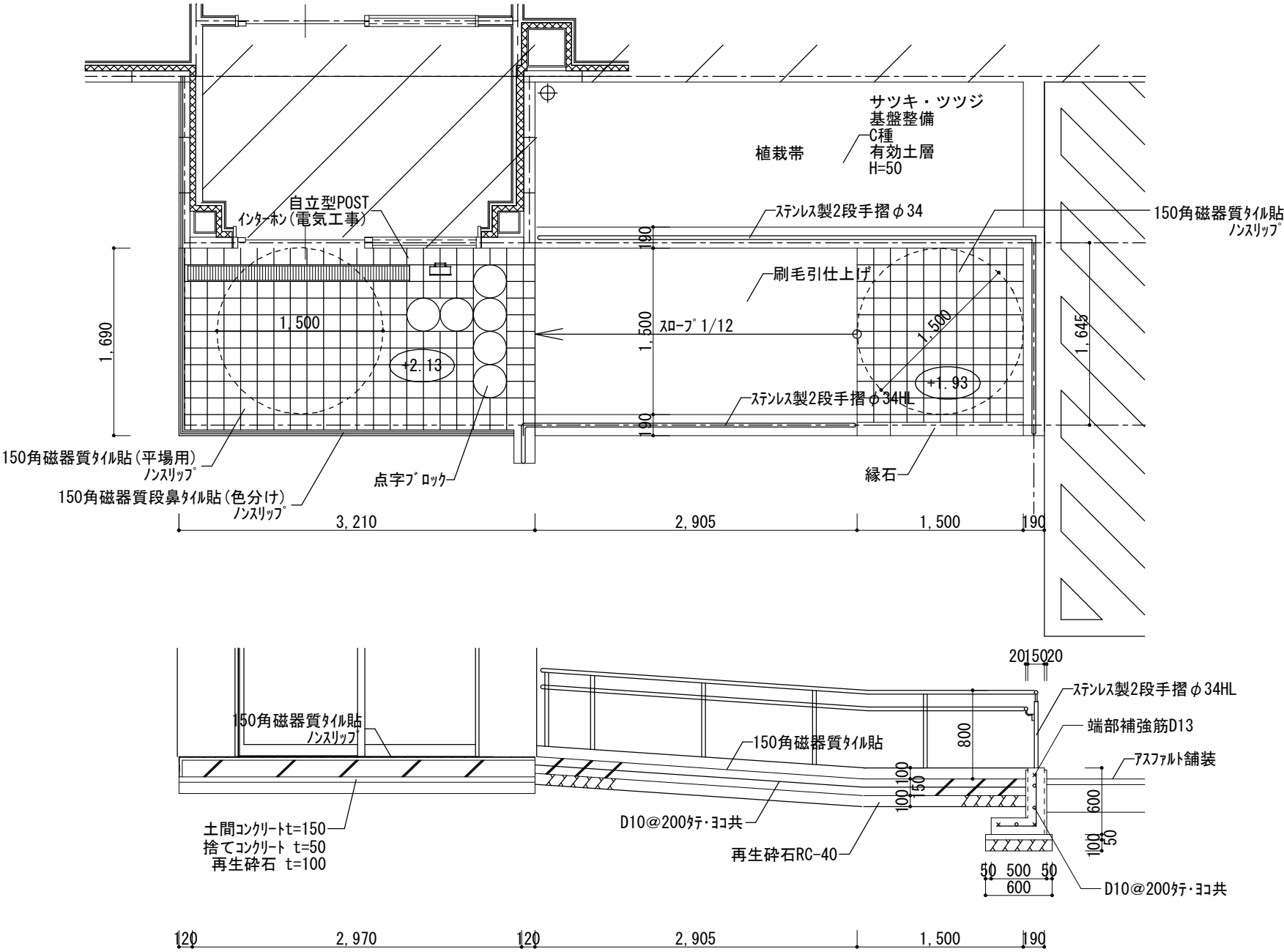
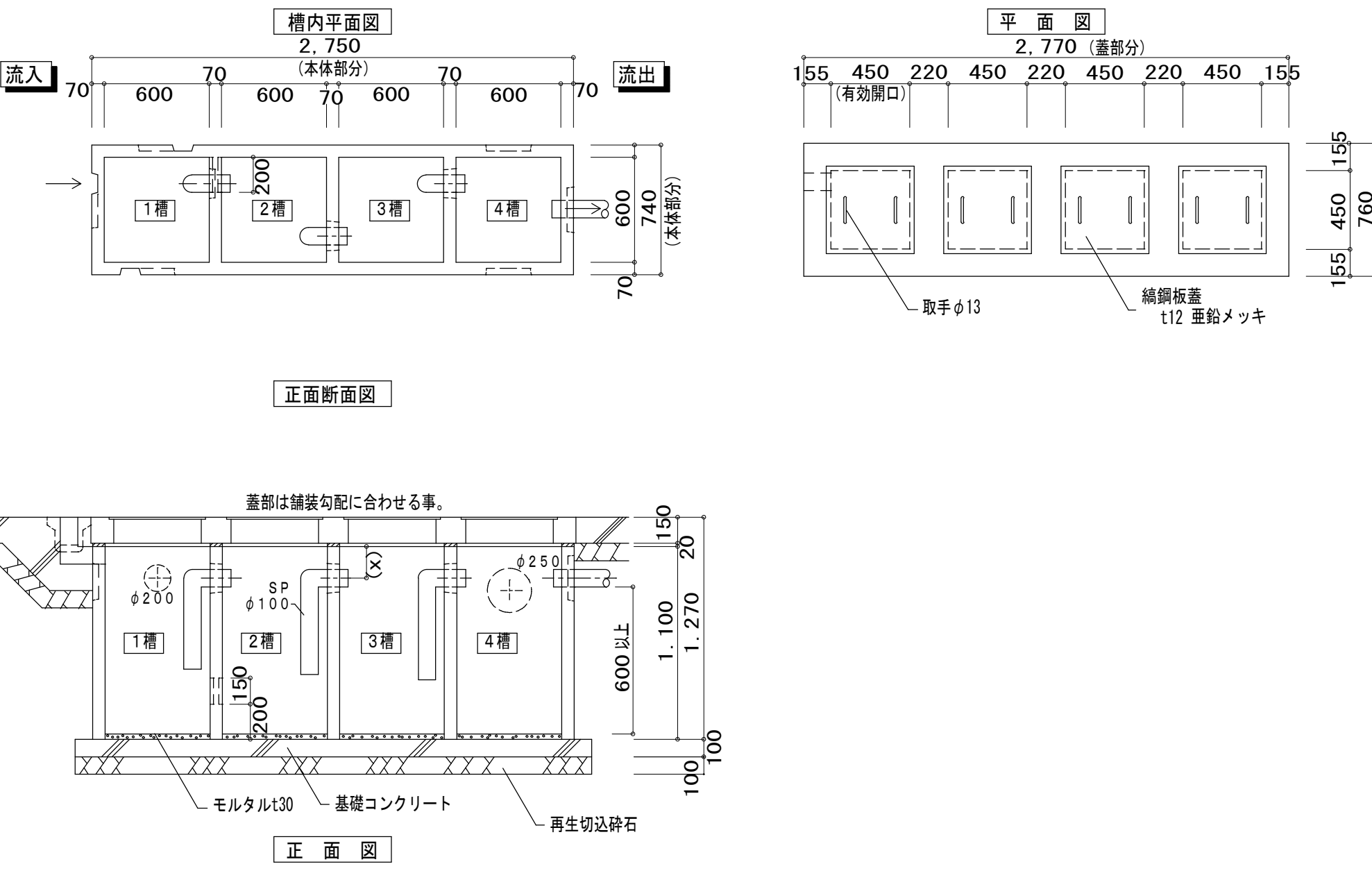
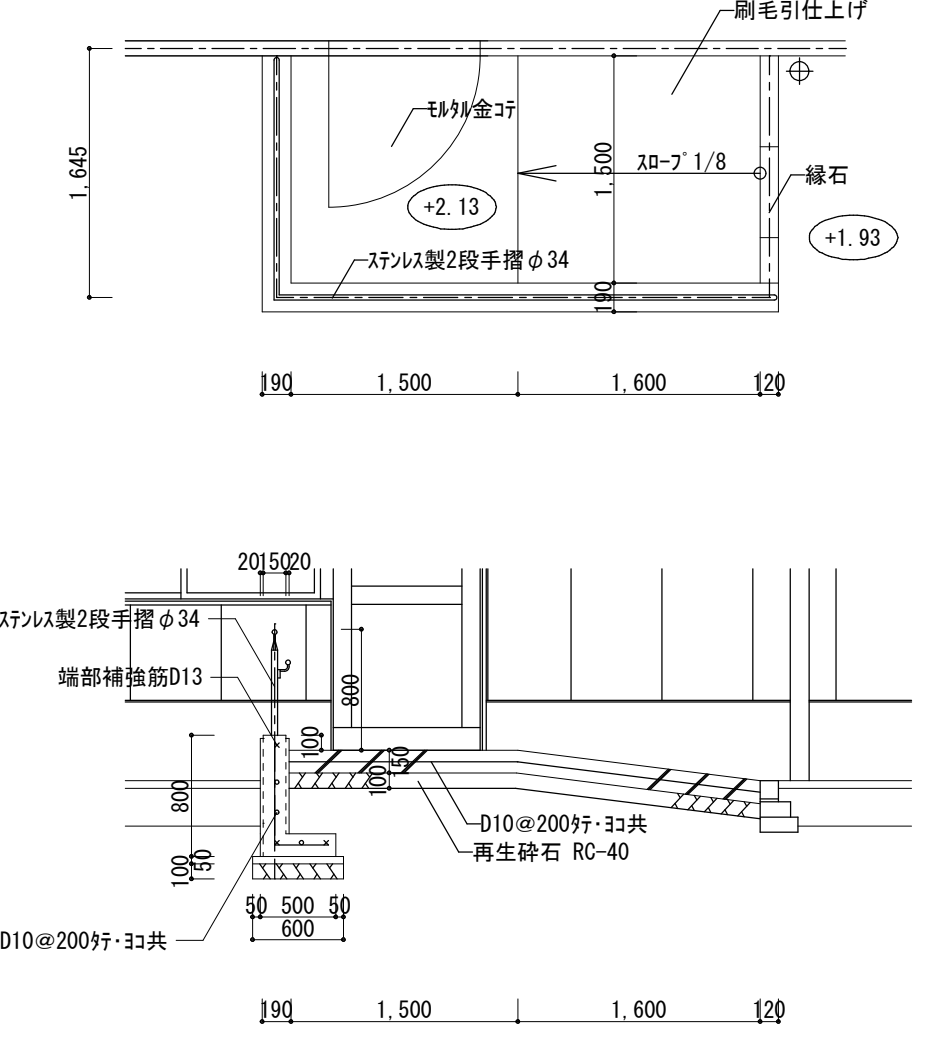
A-A 断面图	1/50
---------	------

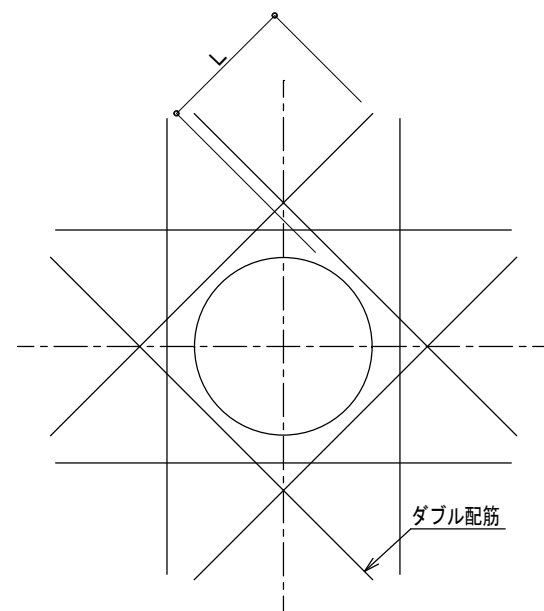
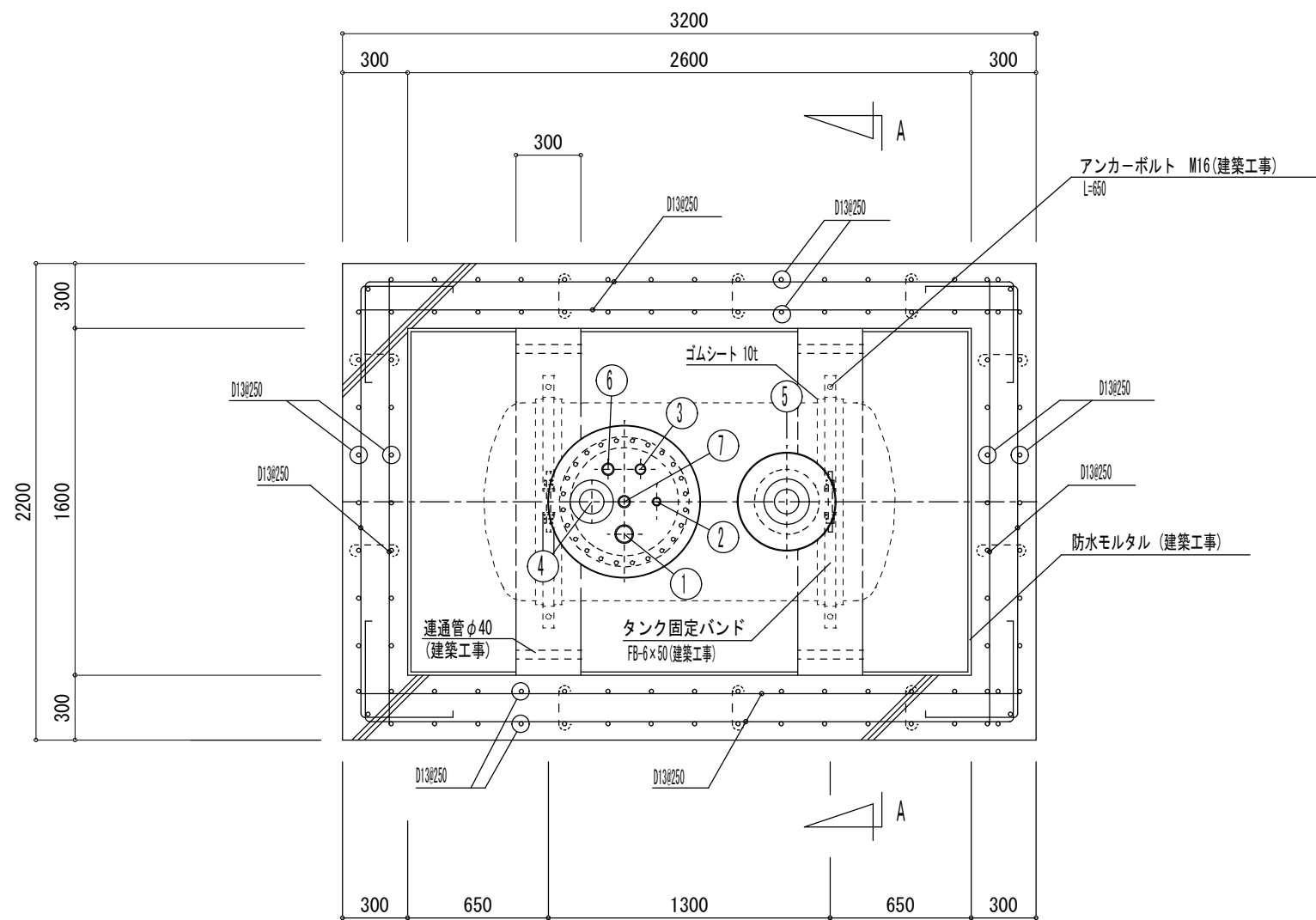


	凡例
	7アスファルト舗装を示す
	コンクリート舗装を示す(≒3000目地切) Fc24 S8
	150角タイル貼
	車止め(反射レンズ 付) 120x120xL600
	ライン引き W=150 溶融式
	縁石 120x120
	現場打ち側溝 スチール製「グレーチング」T-25
	U-500A JIS3種 (落蓋式) 3種ふた
	U-300B JIS3種 (落蓋式) 3種ふた一部スチール「グレーチング」(歩行用)
	自由勾配側溝300 JIS3種 (落蓋式) 3種ふた一部スチール「グレーチング」(車道用) 細目ノンスリップ
	コンクリート枘400角 H600 スチール「グレーチング」T25細目ノンスリップ
	消火器(ABC10型)を示す。スリッド 共(少量危険物用)
	ササグサグ 0.3 × - × 0.4 6本/㎡
	車椅子マーク 1500x1500 W=150 溶融式
	おもいやりマーク 1200x1200溶融式路面表示シート(白・緑)
	計画レベル (KBMからの高さ)を示す
	現況レベル (KBMからの高さ)を示す
	新築建物を示す

原図：A2



スロープ 詳細図 (玄関ホーチ廻り)		1/50	油水分離槽詳細図		1/30
					
スロープ 詳細図 (調理室廻り)			1/50		
					
原図 : A2					
株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 第一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 第一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年月日
			縮尺 1/30, 50	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 外構詳細図 (2)
					NO. A — 61 / 64



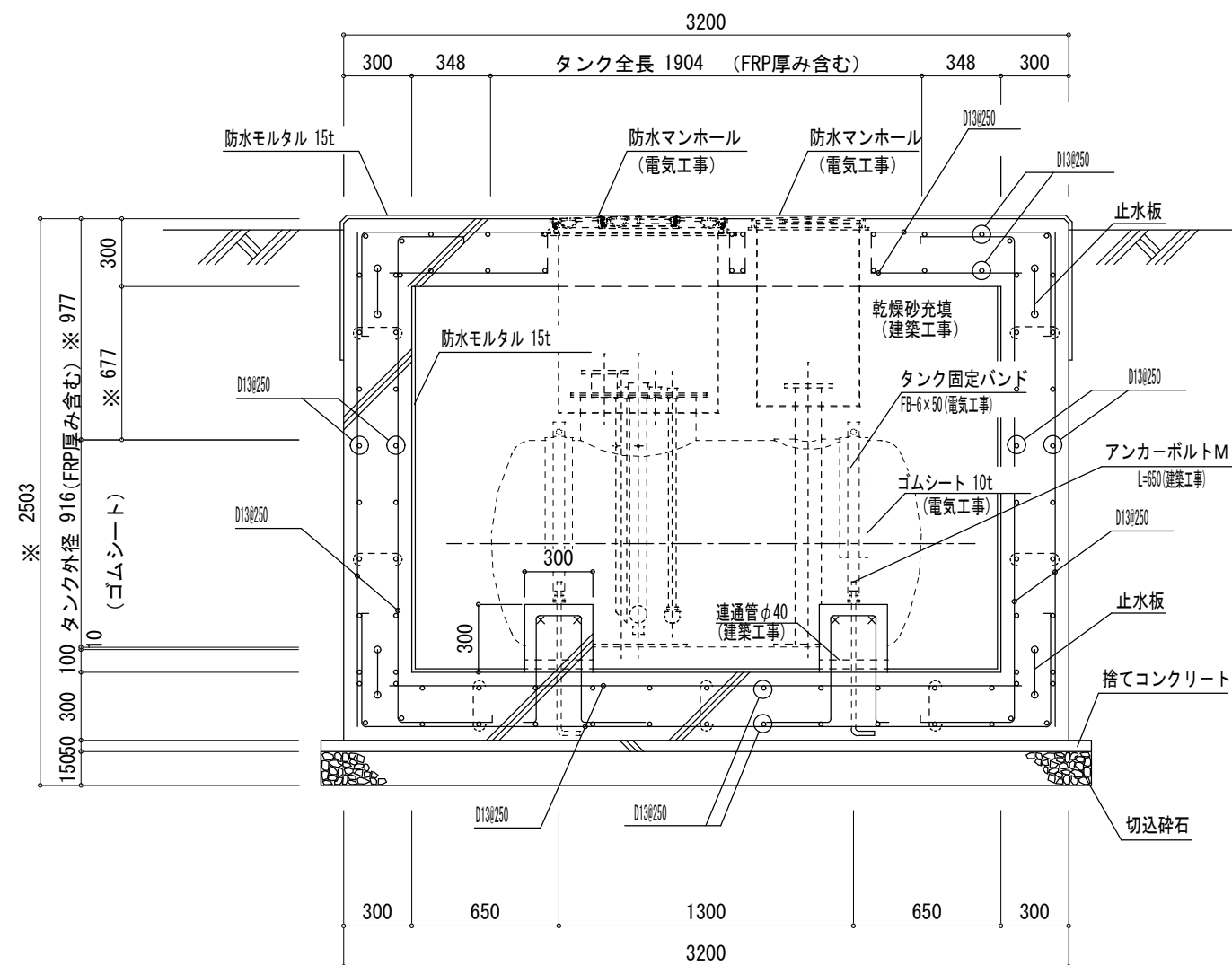
開口部補強要領

注) タンク付近は火気厳禁の事
注) タンク付近は火気厳禁の事

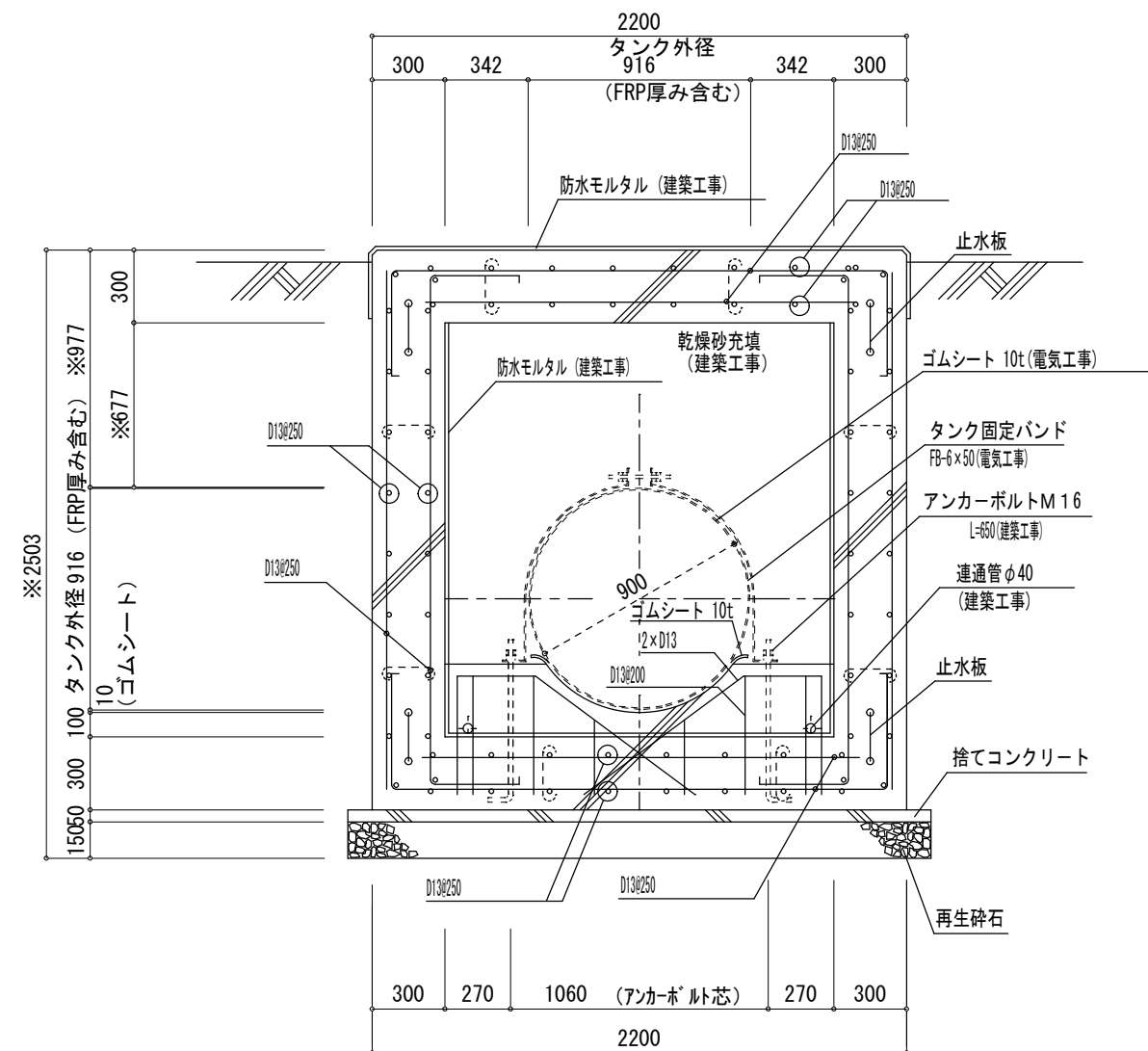
L 及び配筋サイズ、本数はJASS5に準ずる

地下タンク配置図 S = 1 / 30

※オイルタンク本体及び据付 (電気工事)
※タンク付近は火気厳禁

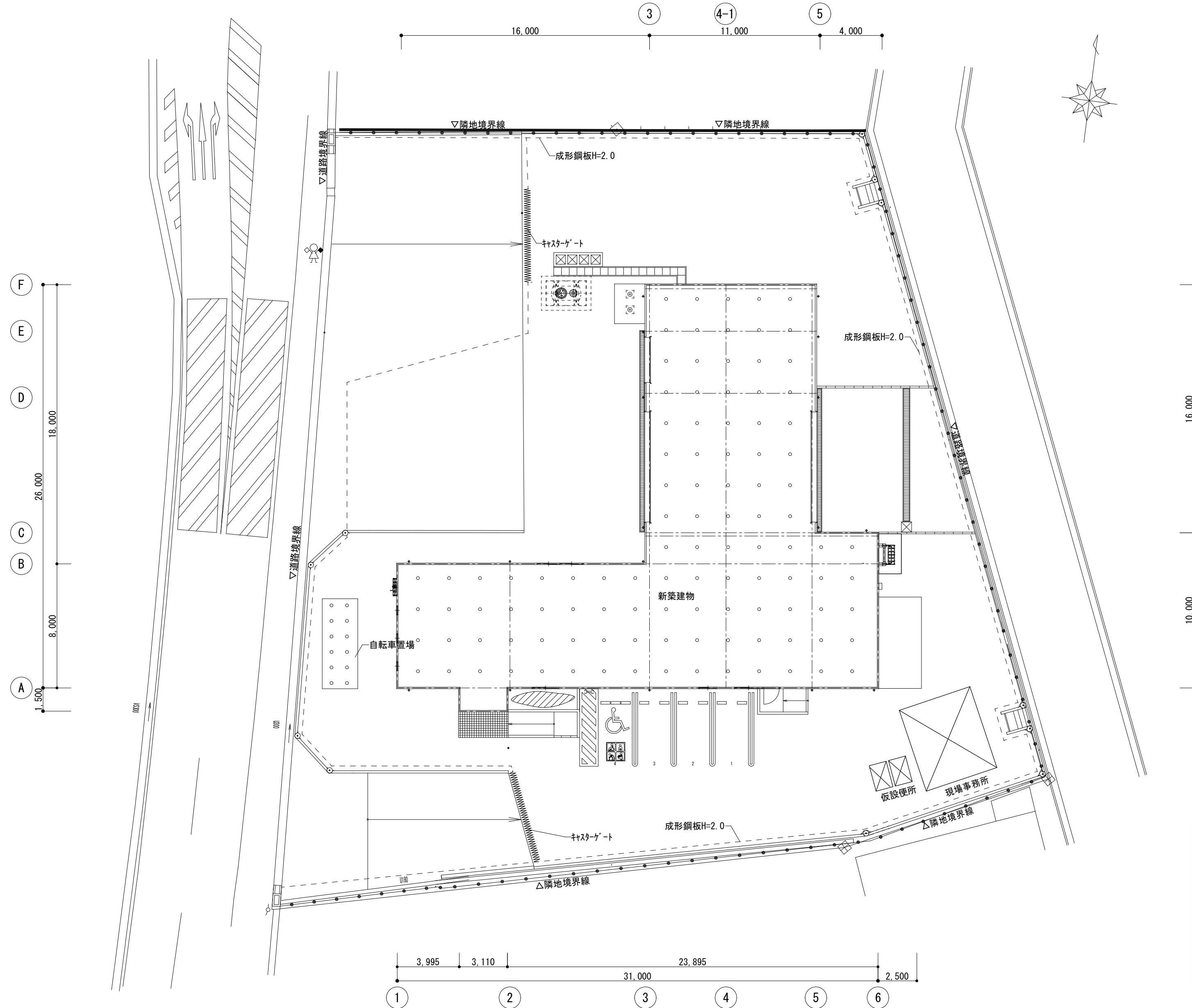


地下タンク側面図 S = 1 / 30



A-A 断面図 S = 1 / 30

原図 : A2



凡例	
	新築建物を示す
	仮囲い(成形鋼板H=2.0)
	キャストゲート W6000×H1800
	交通誘導員 (大型車両進入時)
	現場事務所・仮設便所

仮設計画図 1/200

原図：A2

構造設計概要

- 印は適用事項を示す。
○ 印は採用項目を示す。

1. 建物概要

- (1) 工事種別
● 新築 ○ 増築 ○ 増改築 ○ 改築
- (2) 構造種別
○ 鉄筋コンクリート造 (RC)
● 鉄骨造 (S)
○ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)
○ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
○ 木造 (W)
- (3) 階数
地上 2 階 (構造 3階)
- (4) 屋上付属物
○ 広告塔 ● 高架水槽 ● キュービクル
● 空調室外機
- (5) 増築計画
○ 有 ● 無
- (6) 付帯工事
○ 擁壁 ○ 門・塙 ○ 立体駐車場 ○
- (7) 特殊荷重
○ エレベーター (○ ロープ式 ○ 油圧式)
● 受水槽 30 KN ● ホイストクレーン (吊荷 1.0 ton × 1 基)
○ ダムウエーター
- (8) 設計ルート
X,Y方向：ルート3 (保有水平耐力計算)

2. 使用構造材料

- (1) コンクリート
- | | | |
|----------------|-----------|--------------|
| レディーミクストコンクリート | JIS A5308 | |
| セメント | JIS R5210 | 普通ポルトランドセメント |
| 水 | JIS A5308 | |
| 骨材 | JIS A5005 | |
| 混和剤 | JIS A6204 | |

適用箇所	種類	設計基準強度 f_c N/mm ²					耐久設計基準強度 f_d N/mm ²	品質基準強度 $f_{qmax}(f_c, f_d)$ N/mm ²	スラブ厚 cm	備考
		普通	軽量	15	18	21	24	30		
基礎・基礎梁	○					○			24	18
合成スラブ	○					○			24	18
土間コンクリート	○				○				18	15
捨てコンクリート	○		○						18	15
シンダーコンクリート										

耐久設計基準強度の構造体の計画共用期間の級は標準とし、耐久設計基準強度は24N/mm²とする。
設計基準強度と耐久設計基準強度の大きいほうの値を品質基準強度とする。
調査管理強度は、品質基準強度・温度補正値とする。
強度区分の異なる部位を同時打設する場合は強度の高い方を採用すること。
寒中・暑中コンクリートの実施適用は気象条件及び立地条件、その他を考慮する事。
調査管理強度は設計基準強度及び耐久設計基準強度の大きい方の値に構造体強度補正値を加えた値以上とする。
(JASS5 (2009年版) 参照)
高性能AE減水剤の使用 ○ 有 (F_o≥27以上) ● 無

径	材 質					継 手			備 考
	SD295A	SD345	SD390	圧接	重ね	溶接			
D10～D16	○				○				
D19～D25			○		○				

適用箇所	材 質								備考
	SS400	SN400A	SN400B	SN400C	SN490B	SN490C	BCR295	STKR400	SSC400
柱							○	○	
大梁・片持梁			○		○				
小梁		○							
間柱・耐風梁		○						○	
通しダイアフラム						○			
内ダイアフラム						○			
スプライスプレート			○						
ガセットプレート			○						
山形鋼・溝形鋼									○

- (4) 高力ボルト 注：摩擦面のすべり係数値は0.45以上とする。

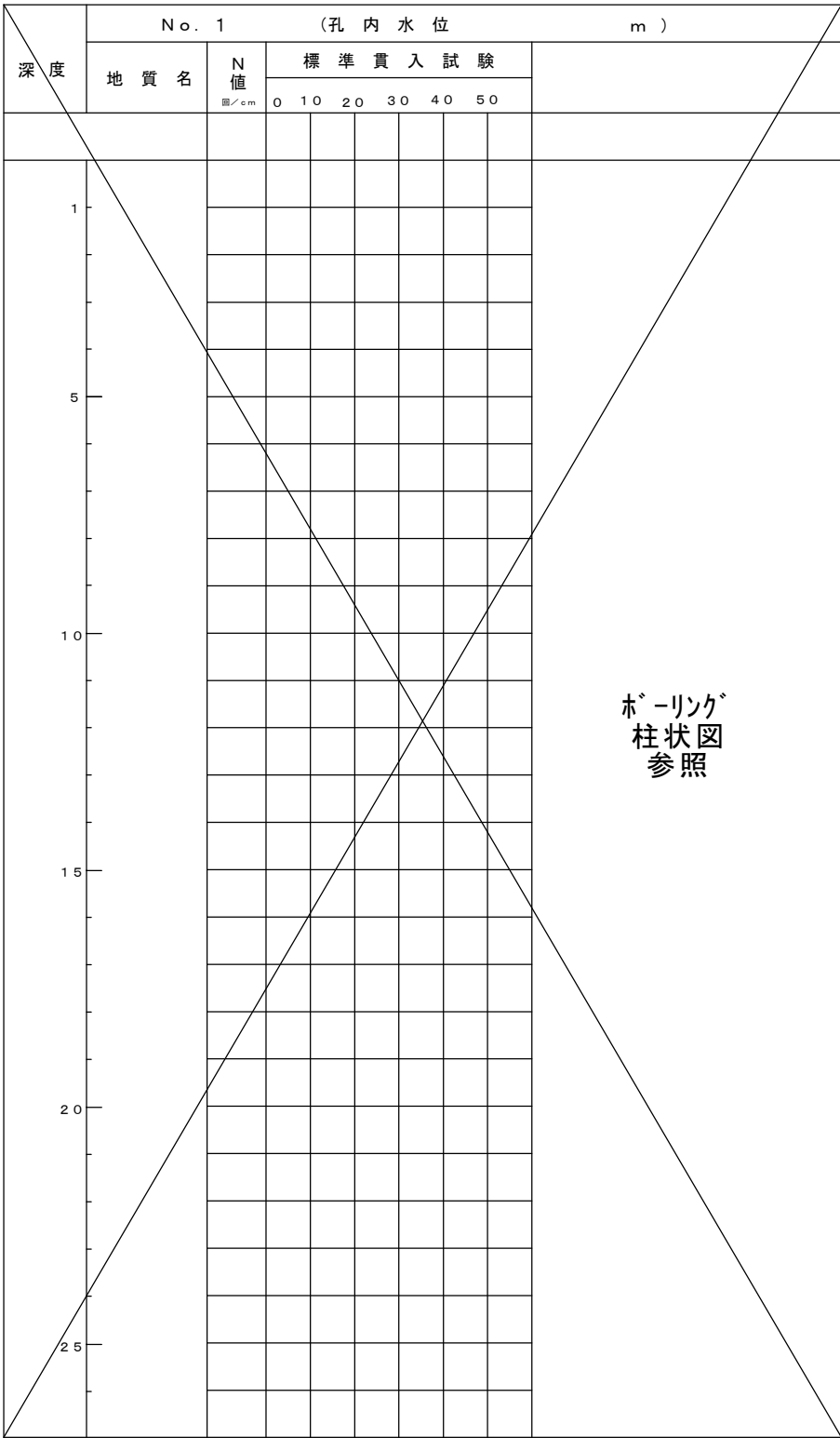
適用	形 状		等 級		使用 サ イ ズ			備 考
	JIS型	トルシア型	S10T	F8T	M16	M20	M22	
○		○		○		○	○	

3. 適用図書

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事 共通仕様書
● 日本建築学会 各工事技術指針 (鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説)
● 日本建築センター 各設計施工指針
○
○

4. 地盤調査

- (1) 地盤調査資料
● 有 (● 敷地内 ○ 近隣)
● ボーリング調査 ○ 静的貫入試験 ● 標準貫入試験
● 水平地盤反力係数の測定 ● 土質試験 ○ 物理探査 ○ 平板載荷試験
○ 無
- (2) 地盤調査計画 (調査資料がある場合の再調査を含む)
○ 有 (○ 敷地内 ○ 近隣)
○ ボーリング調査 ○ 静的貫入試験 ○ 標準貫入試験
○ 水平地盤反力係数の測定 ○ 土質試験 ○ 物理探査 ○ 平板載荷試験
調査計画内容 (本工事に ○ 含む ○ 含まない)
調査深度 m 調査数 ケ所
● 無



5. 地業工事

- (1) 基礎

注：実施にあたり地耐力、くい耐力が設計地耐力、くい耐力と相違する場合は基礎構造の設計変更をする場合がある。

適用箇所	基礎形式			基礎深さ (G.L.—m)	設計くい耐力 (長期, kN/m ²)	備 考
	独立	布	ベタ			

※支持層及び構成地盤の確認を行い監理者に報告すること

- くい地業 ● 杭の施工計画書の提出 ● 杭の施工結果報告書の提出
場所打コンクリートぐい

工 法	径 (mm)	先端深さ (G. L.—m)	設計くい耐力 (長期, t/本)	本数	備 考
○ アースドリル					
○ W工					
○ W工・K工					
○					

種 類	符号	種別 (種)	径 (mm)	杭長 (m)	設計くい耐力 (長期, kN/本)	本数 (本/本)	工 法
○ PHC杭	※杭伏図 参照						
○ PRC杭							
○ STぐい							
● SCぐい							
● 節ぐい							

砂、砂利、割ぐり、捨コンクリート地業

適用箇所	厚 さ (mm)				備 考
	砂	砂利	割ぐり	捨コン	
基礎			100	50	
基礎			100	50	
基礎梁			100	50	
土 間			100	50	十分に転圧、締固めの上施工すること。

注：砂利、割ぐりは砕石を含む。

6. 主な試験、検査

(下記の結果は、後日工事監理者に報告する事。)

	採用	項 目	備 考
地		平板載荷試験	
		くいの載荷試験 (鉛直)	
	○	試験杭 箇所数及び位置は監理者と協議の上決定すること	
業		ためし練り試験	
	○	圧縮強度試験	レミコンの標準品は行わない
	○	打込み直前における品質検査 (スラブ、空気量、温度、単位容積重量、強度推定のための圧縮強度)	供試体による
コンクリート		材料試験	
		ガス圧接工技量確認試験	
		ガス圧接部引張試験	
鉄	○	ガス圧接部超音波探傷検査	
	○	材料試験	
		工場溶接工技量確認試験	
鉄		高力ボルトのすべり係数試験	
	○	工場溶接部の超音波探傷検査	
		工事場溶接工技量確認試験	
骨		工事場溶接部の超音波探傷検査	

鉄骨溶接部の超音波探傷試験について

検査機関	● 第三者 4.0 % AOQL第6水準 (2回抜き取り)
	● 社内 100 %
	○

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者、工事施工者が受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。
外観検査においては、原則として100%とする。
現場溶接部についても、原則として 4.0 % AOQL第6水準で検査を行うこと。

7. 鉄筋コンクリート工事

- コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5による。(2009年度版)
● セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
● コンクリートの品質基準強度は、設計基準強度もしくは耐久設計基準強度のうち、大きい方の値とする。
● 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
● 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得る事。
● 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。
● 鉄筋継手のガス圧接は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
● 施工 (コンクリート、鉄筋、型枠等) はJASS5及び建築工事監理指針に準拠すること。
● 打継部の止水処理は外付けタイプとし、監理者の承認を得ること。

8. 鉄骨工事

- 鉄骨工事は、日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」による。
● 工事監理者の承認を必要とするもの
● 製作工場
● 建設省告示第1103号による認定工場は R グレード以上とすること。
● 製作要領書
● 工作図
● 施工計画書
● 溶接工事作業計画書
● 材料規格証明書
● 工事監理者が行う検査 (監理者の承認の上、省略可)
● 現寸検査
● 組立・開先検査
● 製品検査
● 建方検査
● 錆止め塗装
● JIS K5674、2回塗りとする。
○ JIS H8641 溶融亜鉛めっき
● スタッド溶接
● 日本建築学会制定の「スタッド溶接工技術検定試験」に合格した有資格者とする。
● 溶接完了後、ハンマーにより15度打撃曲げ試験を行う。
本数は100本又は梁・柱材1個に溶接した本数のいずれか少ない方を1ロットとし1ロットにつき1本とする。

9. 令129条の2の4の事項

建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

- 建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
● 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
○ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
○ 煙突が屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

- 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
● 建築物の部分を通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等の有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
● 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
● 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

- 給湯器を設置する場合は『令129条の2の4第1項第二号に規定される平成12建告第1388号』に適合する構造方法とすること。

10. その他

- 諸官庁への届出書類は遅延なく提出すること。
● 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
● 軽量鉄骨天井下地は公共建築工事標準仕様書 (最新版) による。

原図: A2

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第266489号 山口 裕之

設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之

株式会社市川三千男建築設計事務所 一級建築士 第 331882号 山田 兼之
構造設計一級建築士 第 8977号 吉田 明義

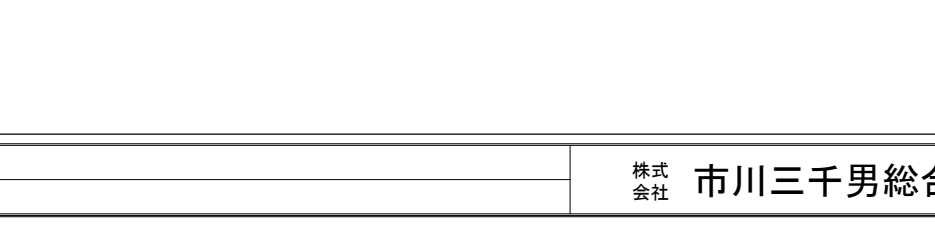
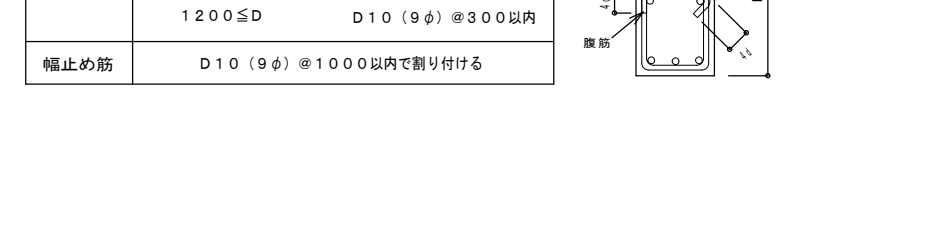
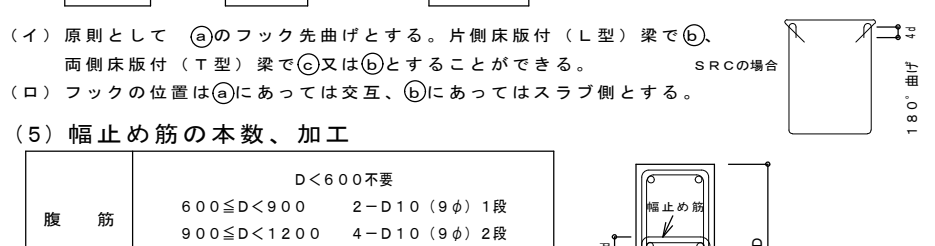
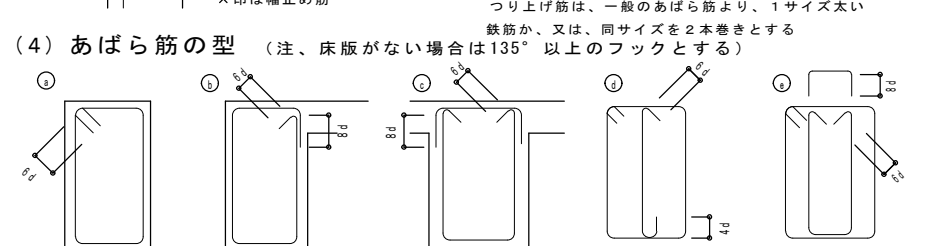
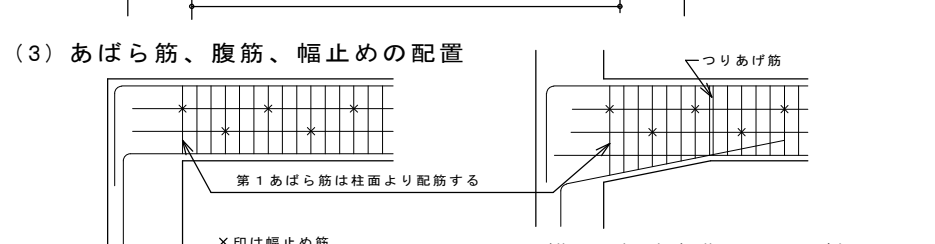
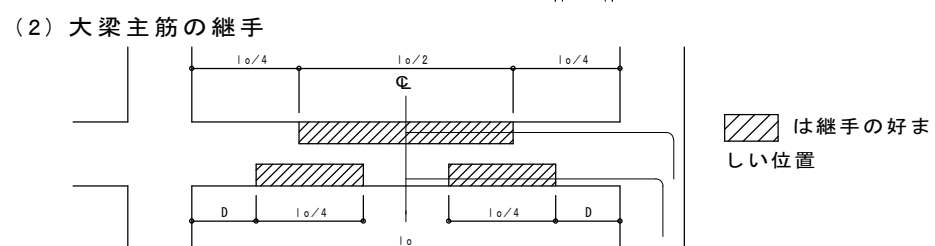
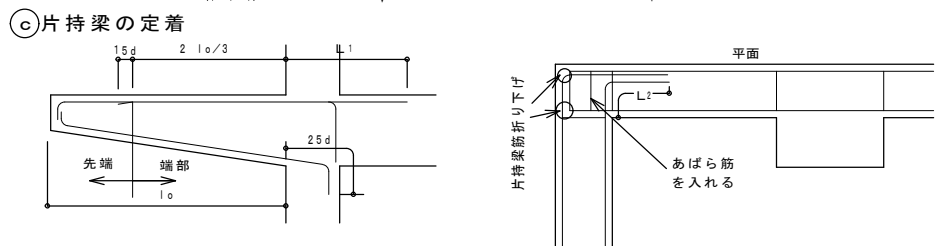
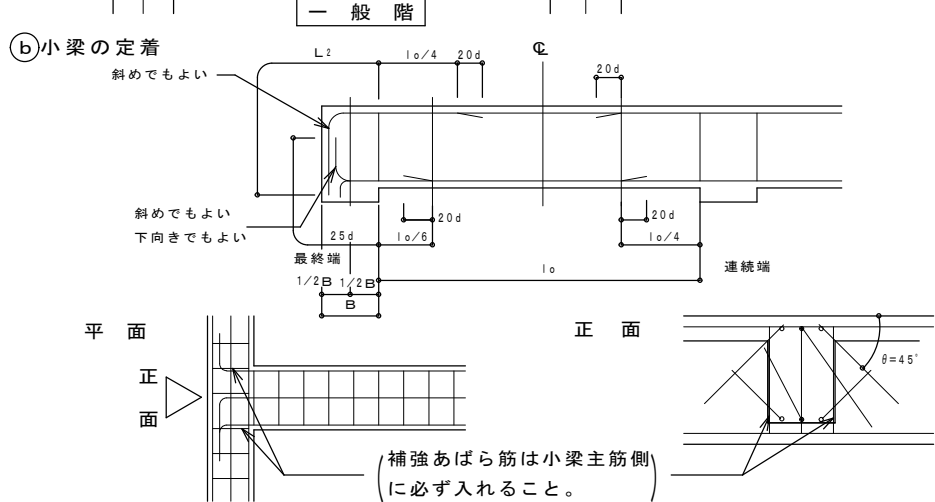
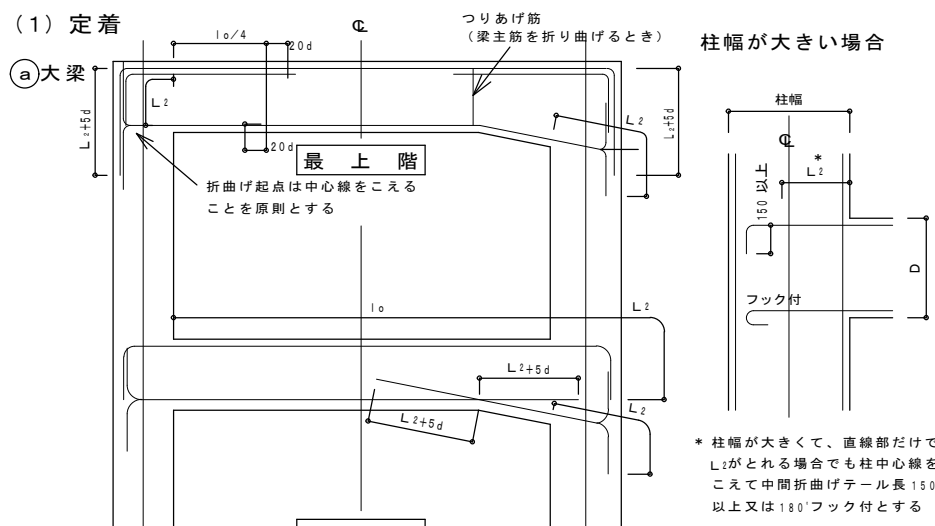
整理番号 年月日 縮尺 工事名 津市久居消防署南分署建築工事

図名 構造設計概要

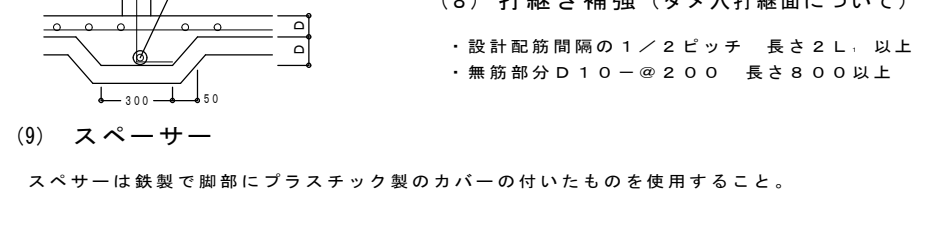
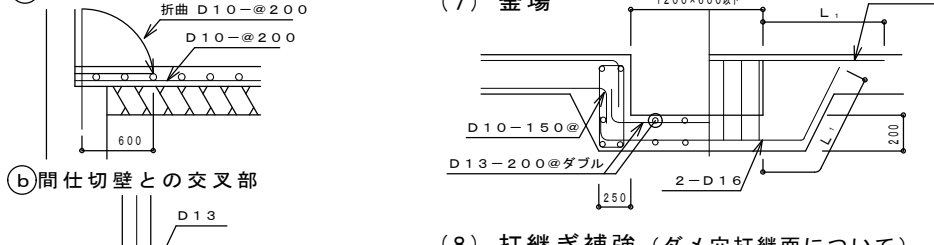
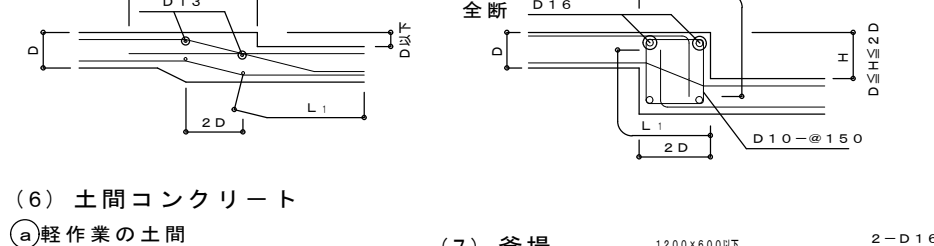
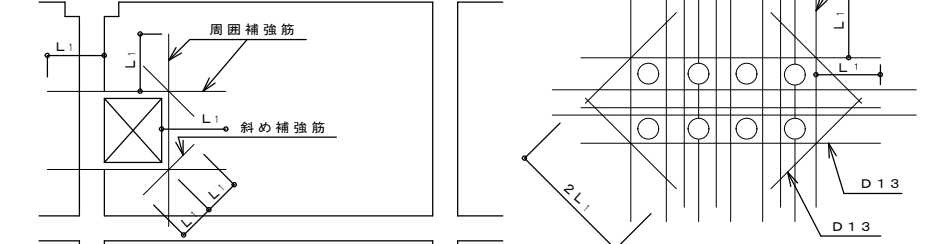
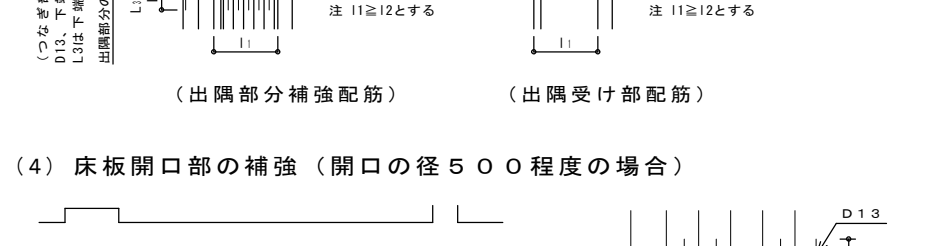
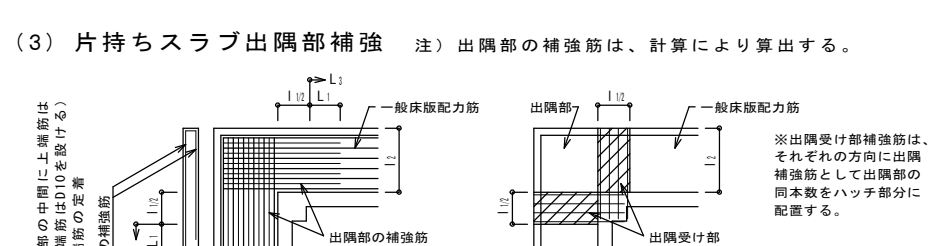
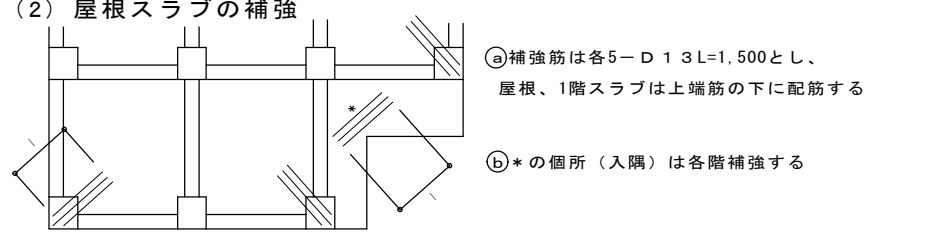
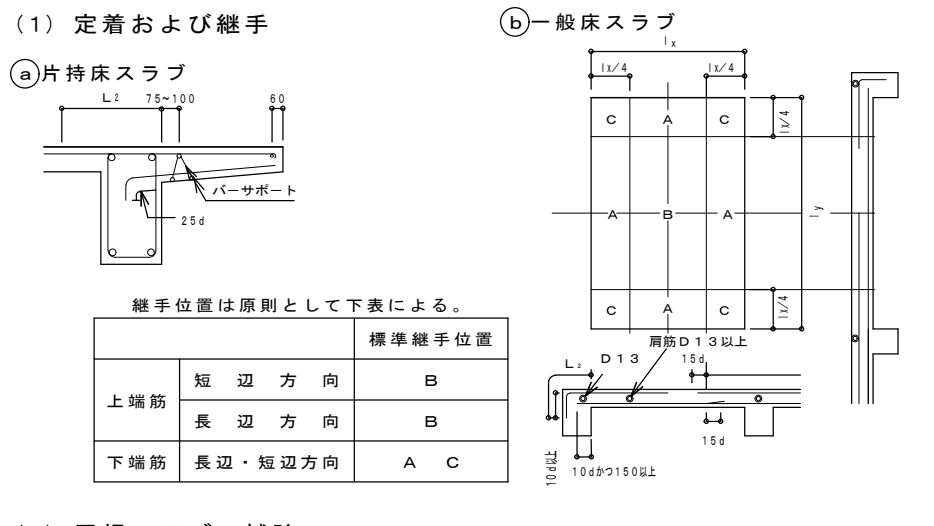
NO. S—01 / 29

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

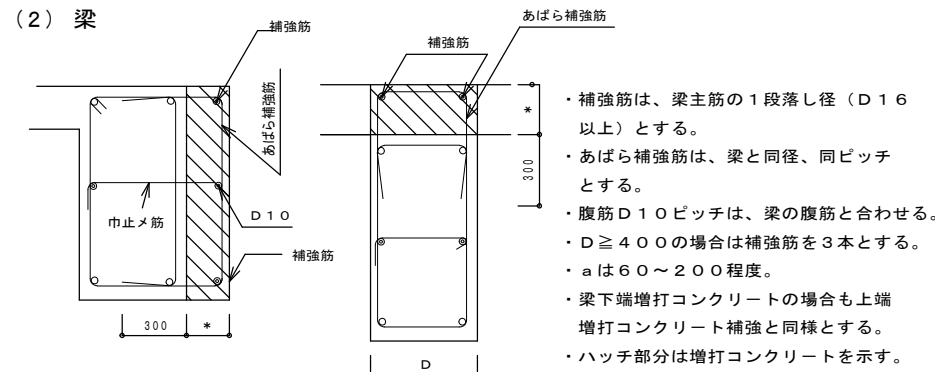
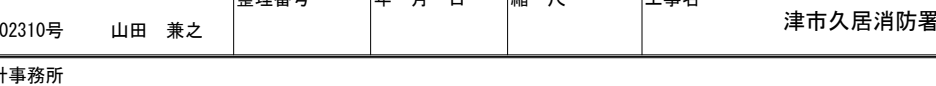
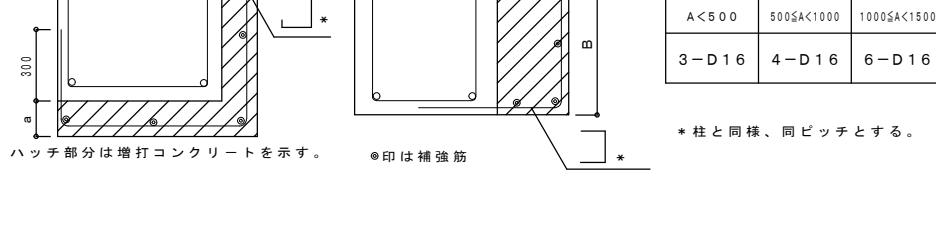
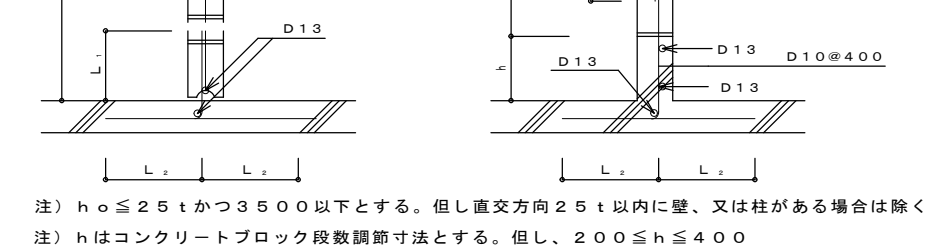
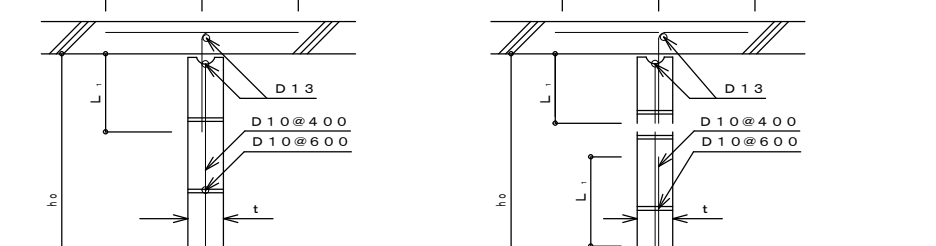
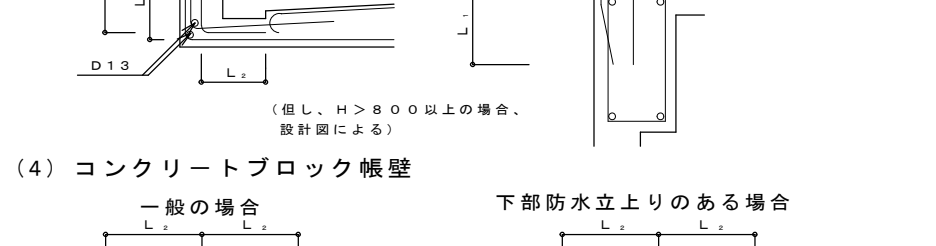
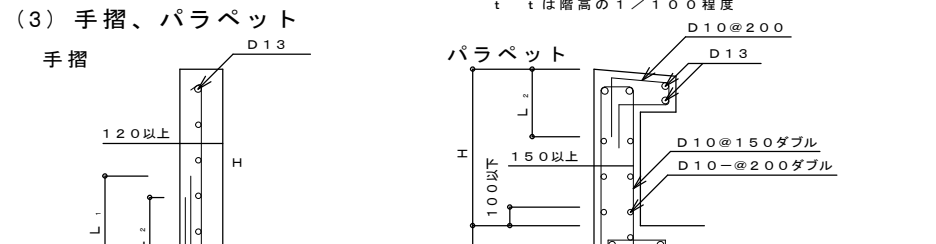
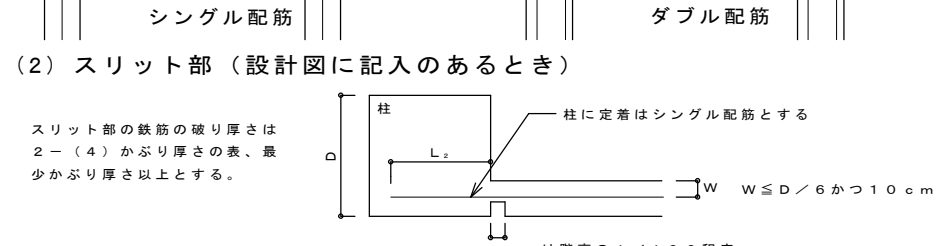
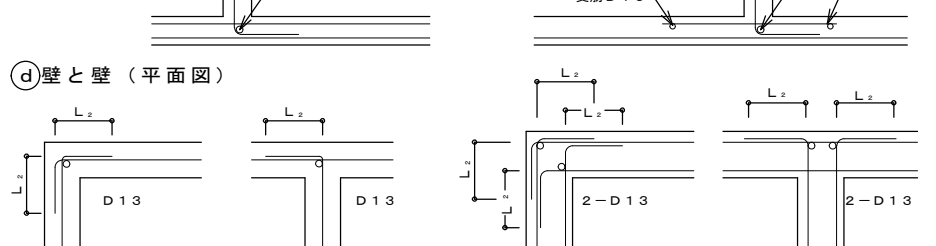
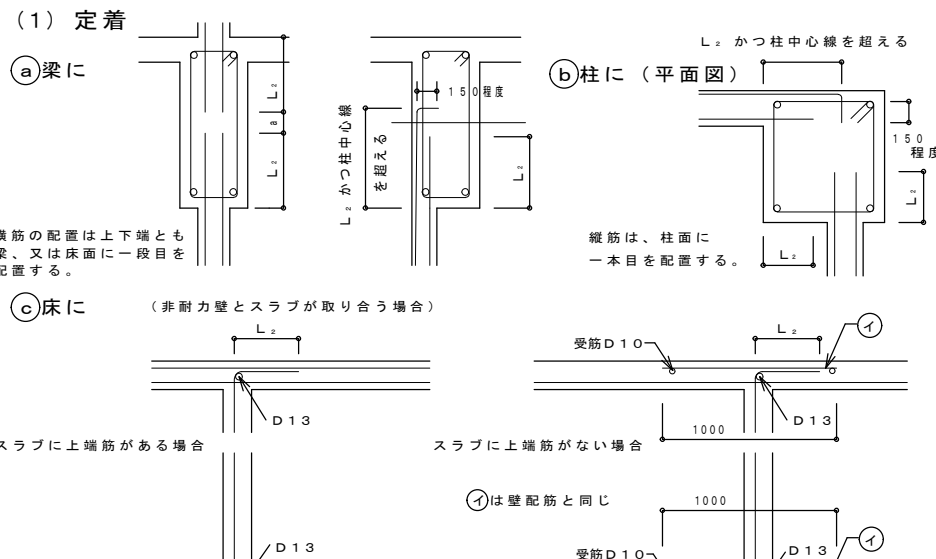
７．大梁、小梁、片持梁



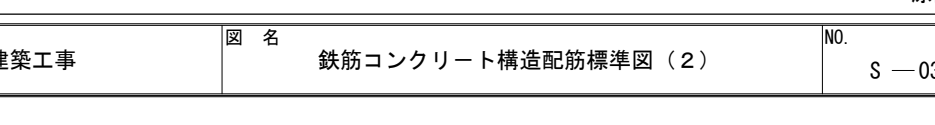
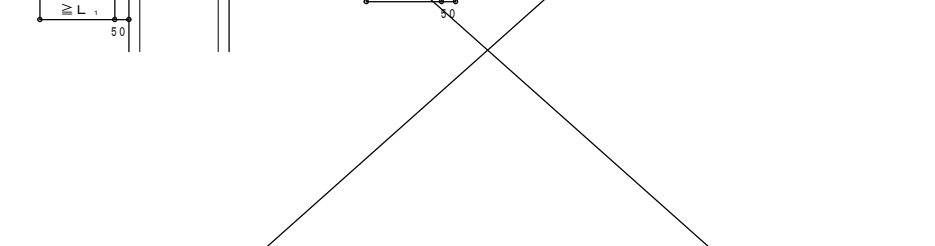
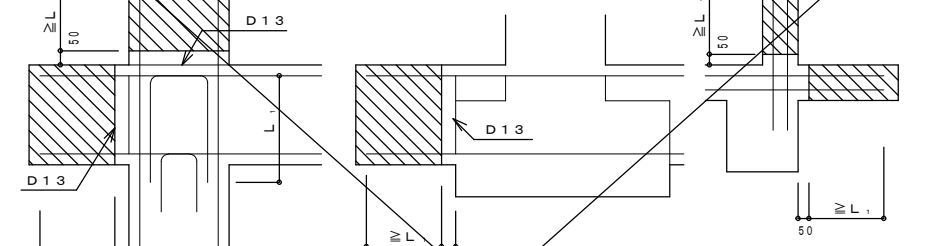
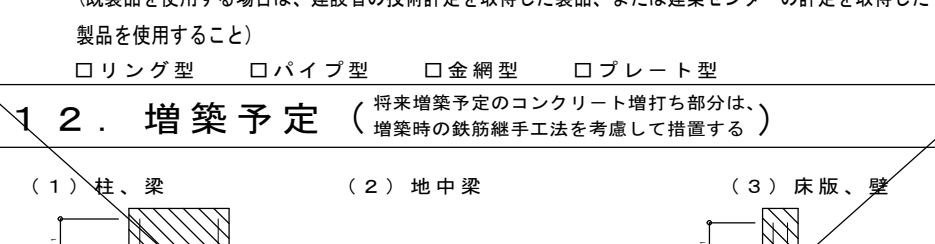
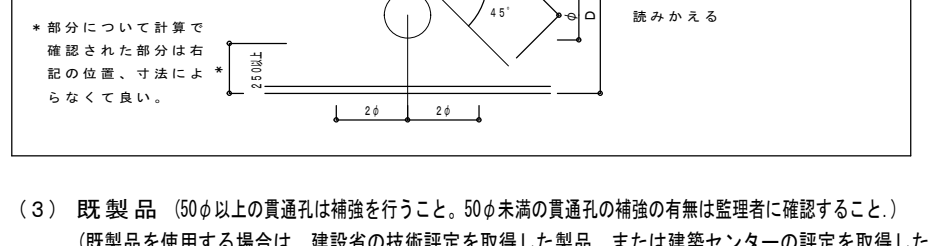
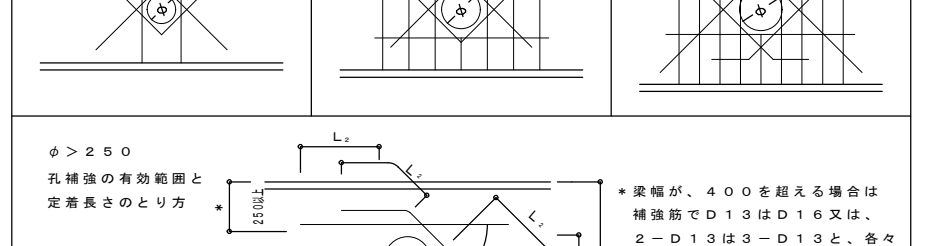
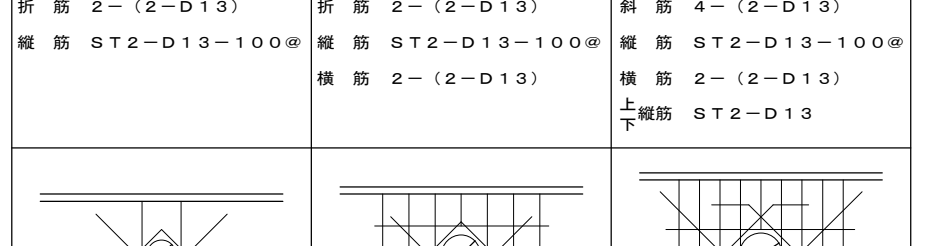
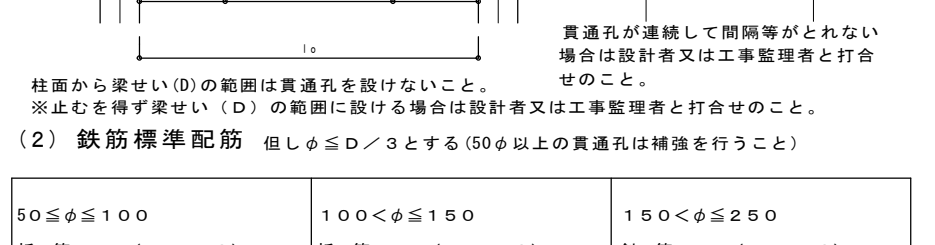
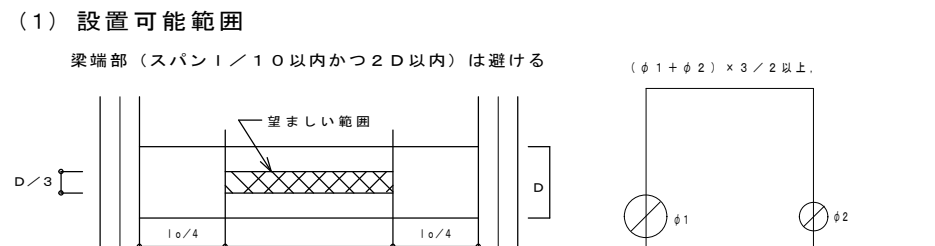
８．床板



９．壁



１１．梁貫通孔補強



鉄骨構造標準図

1. 特記事項

1. 本標準図は、 5 階建程度 以下の小規模鉄骨造を対象に作成したものであるから、本標準図の範囲を超える建物に用いる場合及び、本標準図を適用できない事項については、設計図に必要事項を書き加えること。
2. 材料は原則として J I S 規格品とする。
3. 加工工場は、 建設大臣認定工場の R グレード以上の工場とする。 (H, M, R, J) とする。
4. 加工工場は、製作に先立ち、工作図及び製作要領書を作成し承認を得ること。
5. 立金検査は、「現寸検査」「取付検査」「製品検査」「受け入れ検査」を行う。
6. ハイテンションボルトは、原則としてトルシア形高力ボルトを用いること。
7. エンドタブは、原則としてスチールタブ、フラックスタブ、ゲージタブとする。
8. 錆止は、 J I S K 5 6 7 4 とする。 (5 6 2 1, 5 6 7 4)
塗装は 2 回塗りとする。(工場塗 1 回、現場塗 1 回) (1, 2)
9. 上記以外は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」
日本建築学会 「鉄骨工事技術指針」 による。

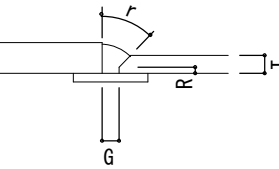
2. 使用材料

構造設計概要参照

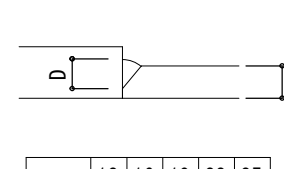
3. 溶接規準

1. 突合せ溶接

(1 - 1) 完全溶け込み溶接

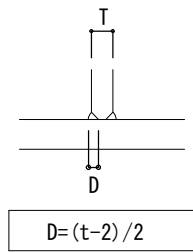


(1 - 2) 部分溶け込み溶接



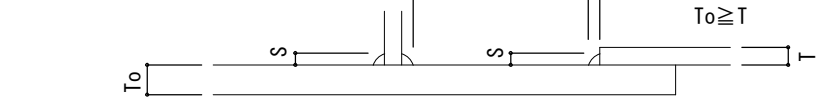
$T \geq 6\text{mm}$ (6mmは角形鋼管のみ) $G=6\text{mm}$ $R=2\text{mm}$ $r=35^\circ$

T	12	16	19	22	25
D	10	11	12	13	13

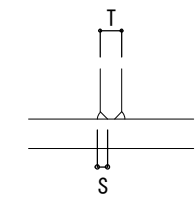


$D=(t-2)/2$

2. すみ肉溶接

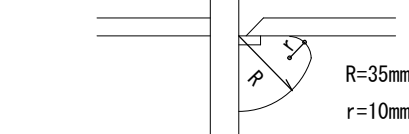


T	4.5	5	6	7	8	9	10	11	12
S	4	4	5	5	6	7	8	8	9



T 形のすみ肉溶接で 16mm を超える場合は、上図のように開先を設けること。

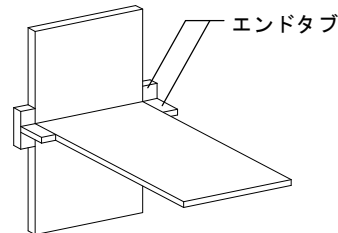
3. スカップ



4. 裏アテ金

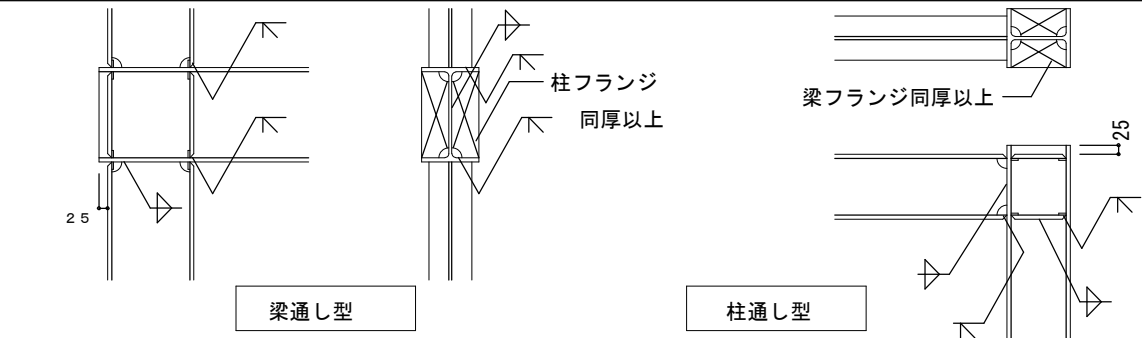
- ・裏アテ金は、厚さ9mm以上とし、幅25mmとする。
- ・角形鋼管の R 部分にも裏アテ金を用いること。
- ・裏アテ金を用いない場合は、裏ハツリを行い溶接すること。

5. エンドタブ



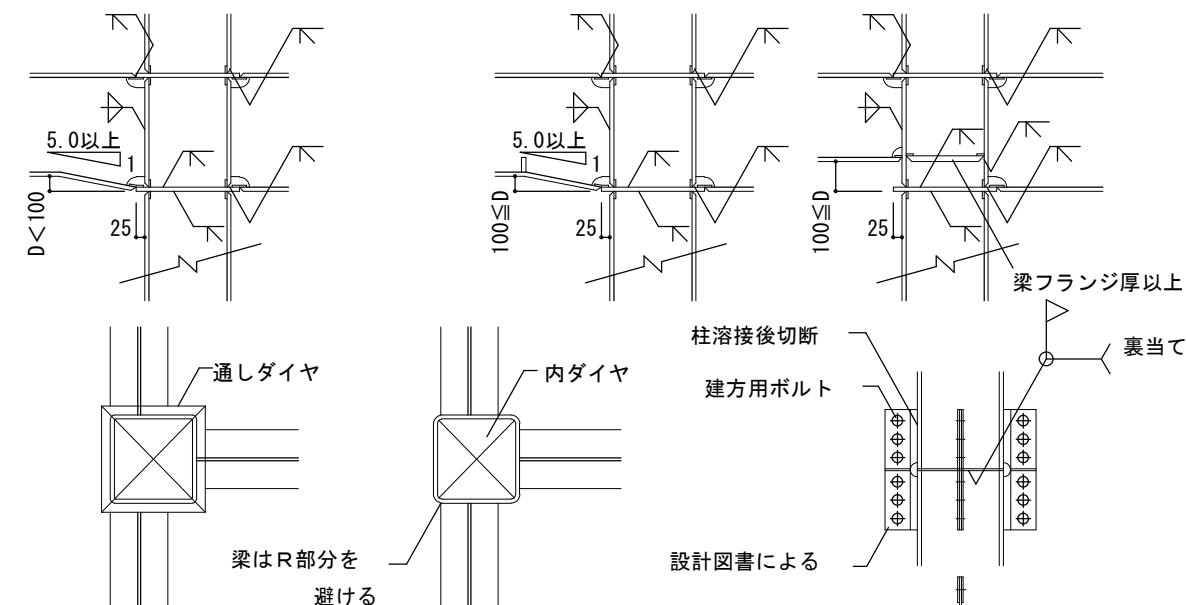
4. 鉄骨詳細

1. H 型鋼柱

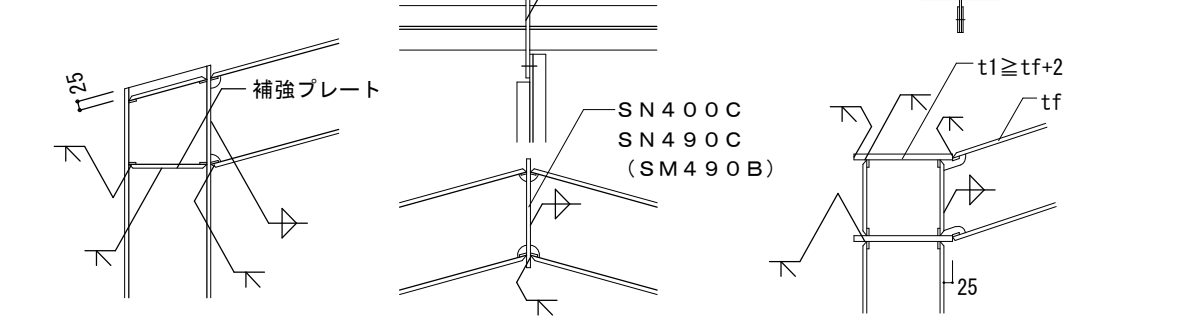


2. 角型鋼管柱

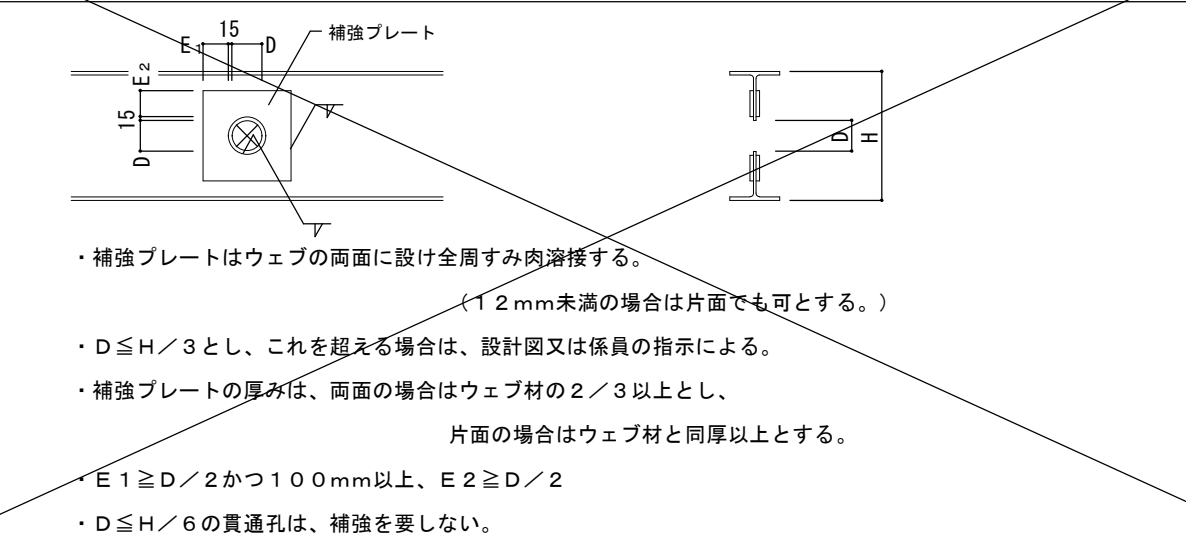
通しダイヤ形式を原則とし、内ダイヤ形式とする場合は、係員の承認を得ること。
ダイヤフラムの厚さは取り付くフランジ厚より 2 サイズアップとする。



3. 山形ラーメン等



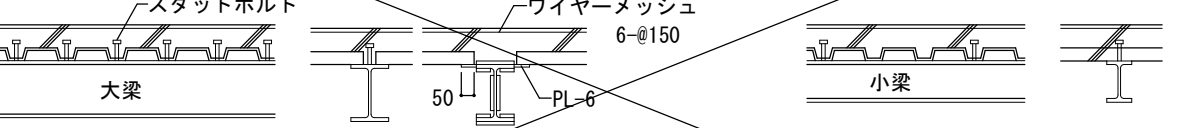
5 梁貫通補強 ・監理者の承認の上、既成品の使用も可とする。



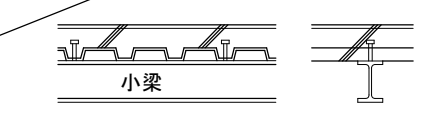
6. デッキプレート部分詳細・頭付スタッドボルト

※スタッドボルトは、アークスタッド溶接を完全に行うこと。

1. 大梁

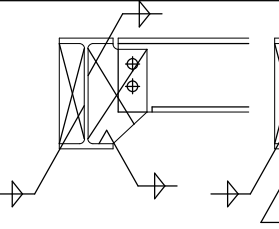


2. 小梁

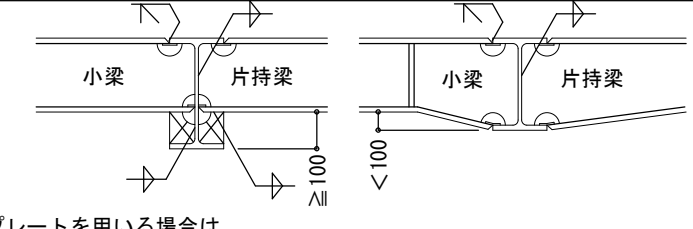


7. 小梁・片持梁

1. 小梁



2. 片持梁



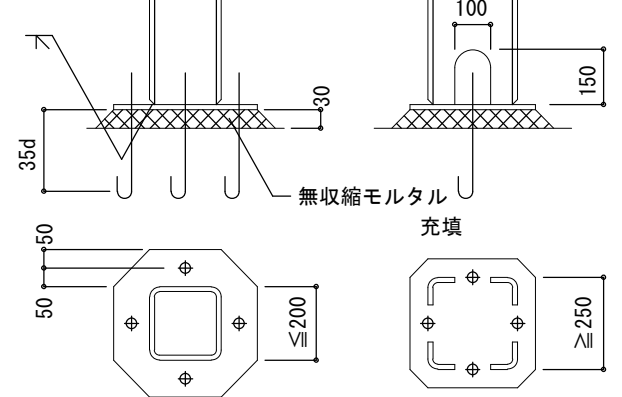
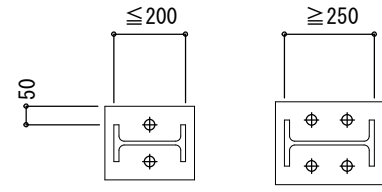
8. ボルトのピッチ及びエッジ標準

	(最小寸法)			
	ボルト径	1 6	2 0	2 2
	p	6 0	6 0	6 0
	e	4 0	4 0	4 0

9. 柱脚

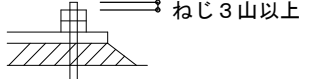
1. 柱脚 (固定度の低い半固定の場合)

※アンカーボルトは 2 重ナット締めとする。



2. 柱脚 (固定、その他の場合)

設計図によること。



1 0. その他

1. 母屋、胴縁の最外端、 B o l t 2 本使用。
2. A L C 床、折板、ルーフデッキ等の大梁取付は、かさ上材として C - 1 0 0 x 5 0 x 2 0 x 2 . 3 を使用。
3. A L C 取付用鋼材については、メーカー仕様による。
4. 棒鋼ブレースは、原則として J I S 規格とする。規格以外の場合もねじ部分は鍛造ねじとする。

原図: A2

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第266489号 山口 裕之

設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之

整理番号

年 月 日

縮 尺

工事名

津市久居消防署南分署建築工事

図 名

鉄骨構造標準図

NO.

S - 04 / 29

株式会社市川三千男建築設計事務所
一級建築士 第 331882号
構造設計一級建築士 第 8977号 吉田 明義

角形鋼管

F値295N/mm² 以下

□-350×350 ～ □-550×550 用

露出型弾性固定柱脚工法 設計施工標準図

ベースパック II 型 同等品

(財) 日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-16」(平成28年9月16日付)

岡部株式会社

TEL03 (3624) 5336

旭化成建材株式会社

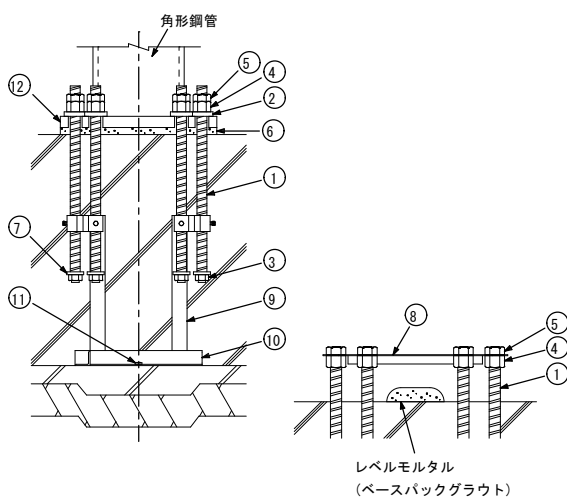
TEL03 (3296) 3515

※同等品も可とする。

2017年5月作成

1. 工法概要

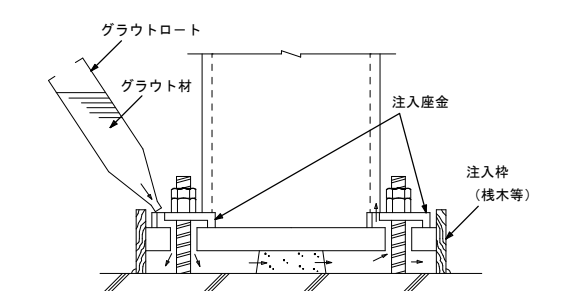
1. 1 構成部材



- ① アンカーボルト
② 注入座金
③ ナット
④ ナット(S)
⑤ ナット(S)
⑥ ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦ 定着座金
- ⑧ テンプレート
⑨ フレームポスト
⑩ フレームベース
⑪ ステコンアンカー(コンクリートアンカー)
⑫ ベースプレート

(注)上記①～⑦の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～⑫は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1. 2 柱脚の定着方法概要



2. 柱

F値(N/mm ²) ²	鋼種	採用
235	BCP235 STKR400	
295	BCR295 JBCR295 TSC295	

3. 構成部材・寸法

3. 1 ベースプレート

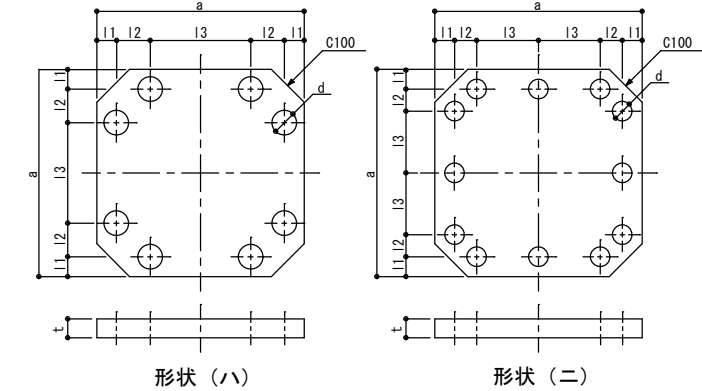
●材質

SN490B

【JIS G 3136】

BT-HT440B-SP

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

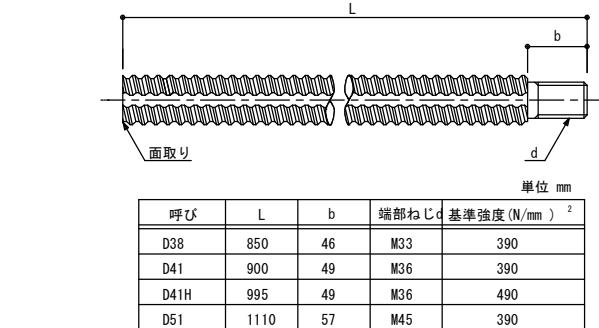
(建築構造用高溶接性高性能S90N/mm² 鋼材)

形状 (A)

形状 (B)

3. 2 アンカーボルト (Dアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



3. 7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

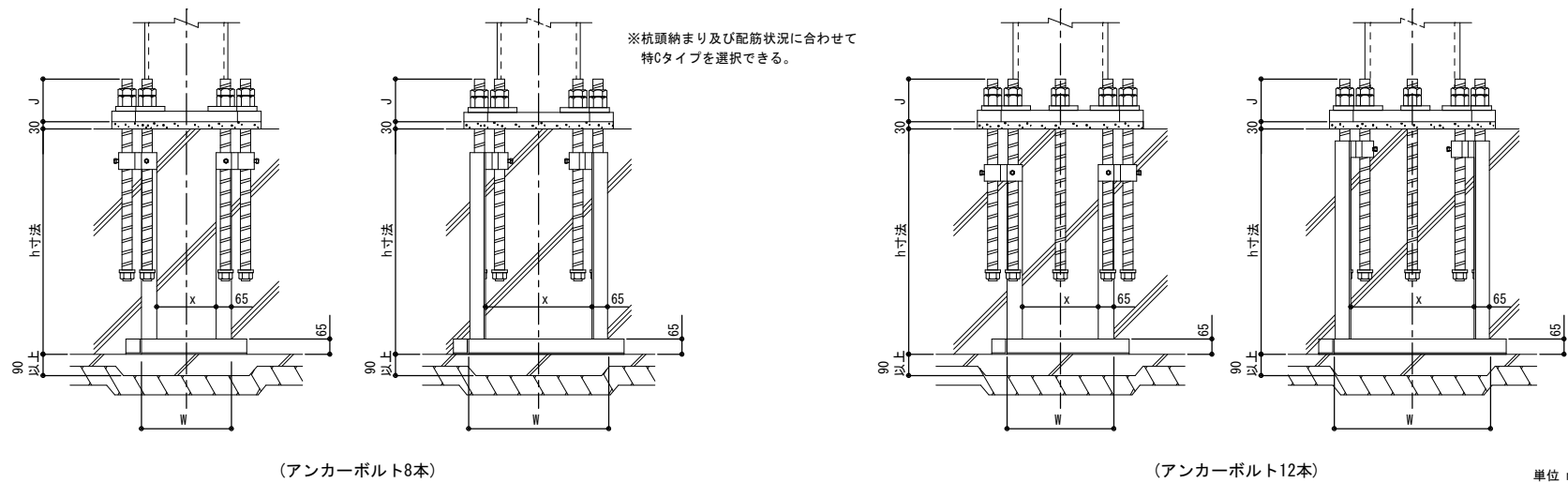
●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型柱端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

< Cタイプ >

< 特Cタイプ >

< Cタイプ >※

< 特Cタイプ >



(アンカーボルト8本)

(アンカーボルト12本)

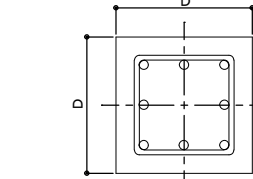
単位 mm

4. コンクリート柱型

4. 1 形状・材質

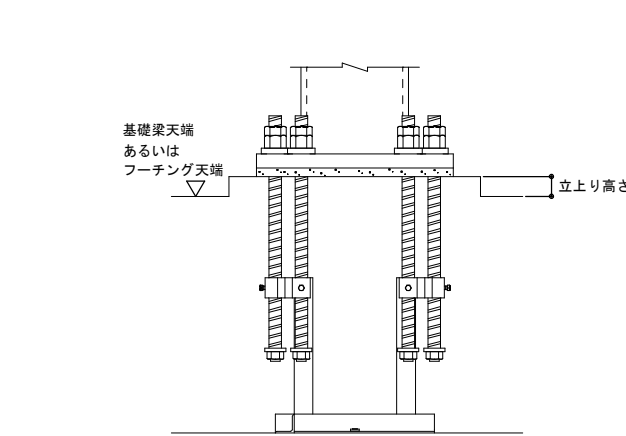
●形状

柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は下表に記載の値とする。●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D22, D25)

4. 3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。



5. 工場製作 (溶接)

■組立

●ベースプレートの中心線(かき線)に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	適用板厚 T (mm)	ルート間隔 G (mm)		ルート面 R (mm)		開先角度 α1 (°)		溶接姿勢
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
	被覆アーク溶接	6~	7	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 45	-2.5, +0 (-5, +0)	下向き
			9	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 35		
	ガスシールドアーク溶接	6~	6	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 45	-2.5, +0 (-5, +0)	下向き
			7	-2, +0 (-3, +0)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 35		

許容差：記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差(上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差)を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚 (mm)	予熱なし	予熱なし
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	40 ≤ t ≤ 50	50℃	50℃
	BT-HT440B-SP	予熱なし	予熱なし	予熱なし
Gt: ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし
	BT-HT440B-SP	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理：7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6. 1 基礎工事

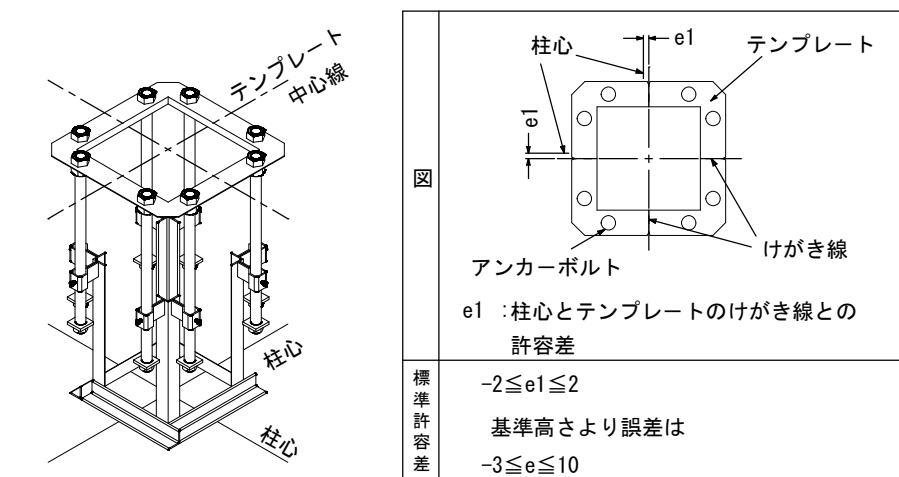
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6. 2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



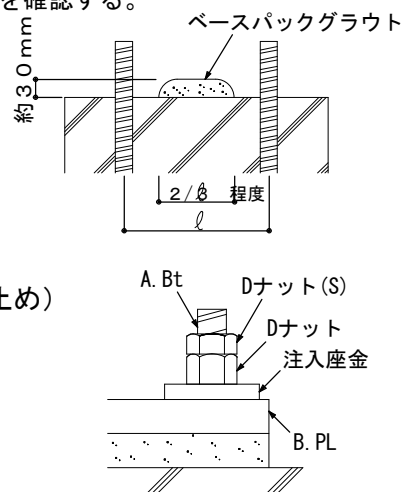
6. 3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6. 4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。



6. 5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に、ダブルナットを標準とする。

●Dナット(S)による弛み止めは右図による。

6. 6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースパック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

原図: A2

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第302310号 山口 裕之

設計 一級建築士 第302310号 山田 兼之

株式会社市川三千男建築設計事務所
一級建築士 第33192号
構造設計一級建築士 第8977号 吉田 明義

整理番号

年 月 日

縮 尺

工事名

津市久居消防署南分署建築工事

図 名

露出型弾性固定柱脚工法 設計施工標準図

No.

S—05 / 29

合成スラブ設計・施工標準

※同等品も可とする。

Q.Lデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工規程・2004」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、Q.Lデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設 計

材 料 / デッキプレート			[ISO 9001認証取得]
デッキプレート種類		板厚(mm)	表 面 処 理
QLデッキ ☑QL99-50 ☐QL99-75	☑端部加工 ☐ヤが有り	☑1.2	☑裏面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) ☐亜鉛めっき (QZ12 QZ27) ☑ZAM(高耐食溶融めっき鋼板) (QK27 QK35) ☐無し
	☑無し	☐1.6	
材 質	J I S G 3 3 5 2 に 定 め る S D P 1 T , S D P 2 , S D P 2 G		

材料/コンクリート	
種 類	☐普通コンクリート ☐軽量コンクリート (☐1種 ☐2種)
設計基準強度	☐18 ☐21 ☐ () N/mm ²
厚さ(QLデッキ山上)	☐60 ☐70 ☐80 ☐85 ☐90 ☐95 ☐100 ☐ () mm

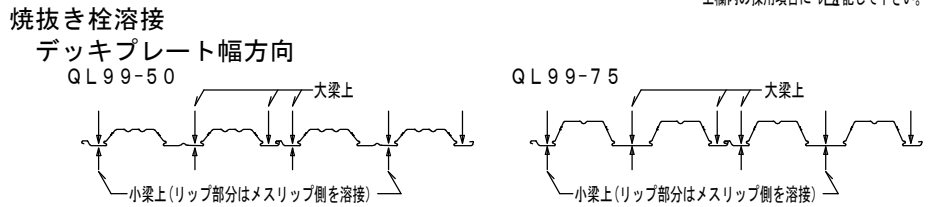
材料/溶接金網・異形鉄筋	
☐溶接金網	JIS G 3551 ☐φ6-150×150 ☐φ6-100×100
☐異形鉄筋	JIS G 3112、3117 ☐D10-@200 ☐ ()

接 合	
☑焼付き栓溶接	下記焼付き栓溶接の項による
☐打込み板	接合箇所は特記による
☑隠付きスタッド	JIS S 108 ☐φ13 ☐φ16 ☐φ19 ☐φ22 各長さ・ピッチは特記による
☐そ の 他	

耐 火	
連 続 支 持	☐FP060FL-9095 ☐FP120FL-9107
単 純 支 持	☐FP060FL-9101 ☐FP120FL-9113
そ の 他	☐ () ☐ () ☐ ()
☐指定なし	

特 記	
支保工有無	☐無 ☐有
その他:	

上欄内の採用項目にV記号して下さい。



デッキプレートスパン方向	
「Q.Lデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。	
A _W = $\frac{1.5Q_d}{Q_1} \times 1000 \text{ mm}$ かつ 600mm 以下	
Q _d : 焼付き栓溶接 1個あたりの長期許容せん断力 (N) Q ₁ : 設計最大せん断力 (N/mm) A _W : 焼付き栓溶接ピッチ	
A _W = (300) mm	
(注) 接合に隠付きスタッドを用いる場合、焼付き栓溶接は不要	

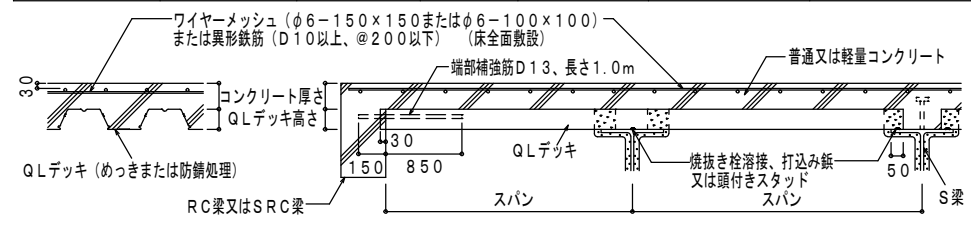
アクセサリ	
フラッシング (Q.Lデッキ割付の幅調整に用いる。)	ハンガー金具 (Q.Lデッキ下溝を利用する天井インサート用金具。)
クローサー (Q.Lデッキの小口ふぎに用いる。)	

耐 火 仕 様

【連続支持合成スラブ】

支 持 梁 : 鉄骨(S)梁 及び 大梁・鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁: 鉄骨(S)梁
コンクリート: 設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート(1種・2種)

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照



【単純支持合成スラブ】

支 持 梁 : 鉄骨(S)梁 コンクリート: 設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート(1種・2種)
耐火補強筋: D13 (デッキプレート各溝300)

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照

支持梁: 鉄骨コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合 コンクリート: 設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート
耐火補強筋: D13 (デッキプレート各溝300)

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5)A 参照 算出式 注5)B 参照

注1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支える梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2) スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは隠付きスタッド(軸径16mm以上、ピッチ300mm以下)で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼付き栓溶接、打込み板、または隠付きスタッドを用いる。
注4) 梁の耐火保護: 梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それに応じ耐火保護を施す。
注5) 許容積載荷重 W 算出式

[A] QL99-50	[B] QL99-75	L: 支持スパン (m)
$W=5.400 \times \left(\frac{2.7}{L}\right)^2$ かつ 9,800 N/m 以下	$W=5.400 \times \left(\frac{3.4}{L}\right)^2$ かつ 9,800 N/m 以下	

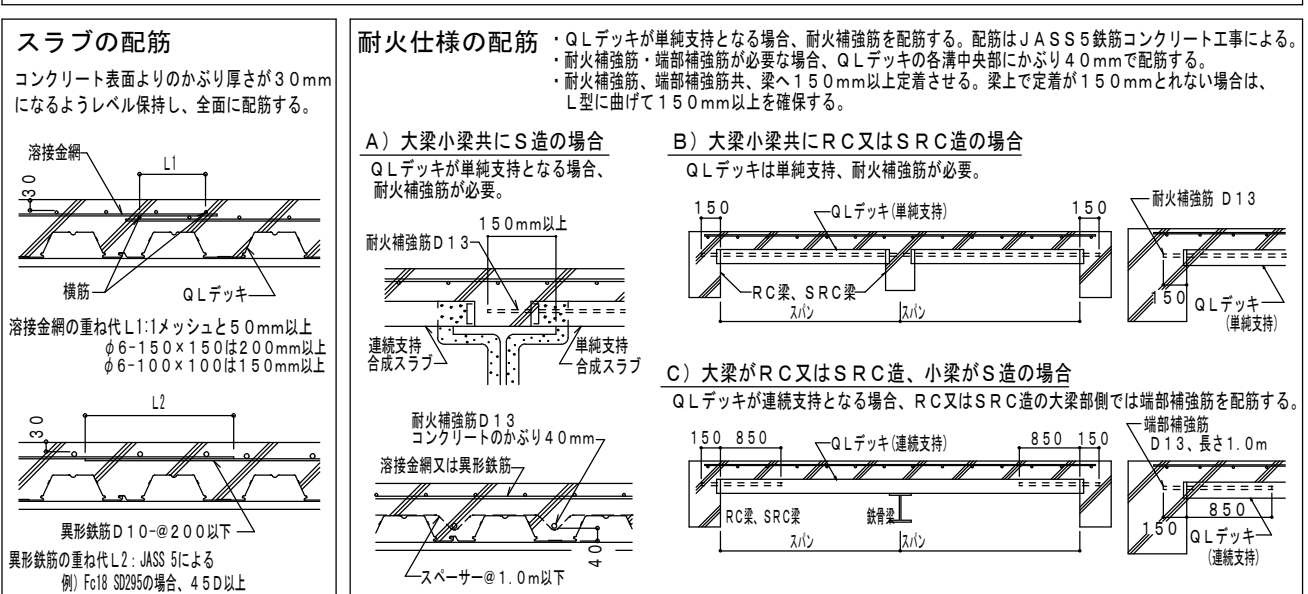
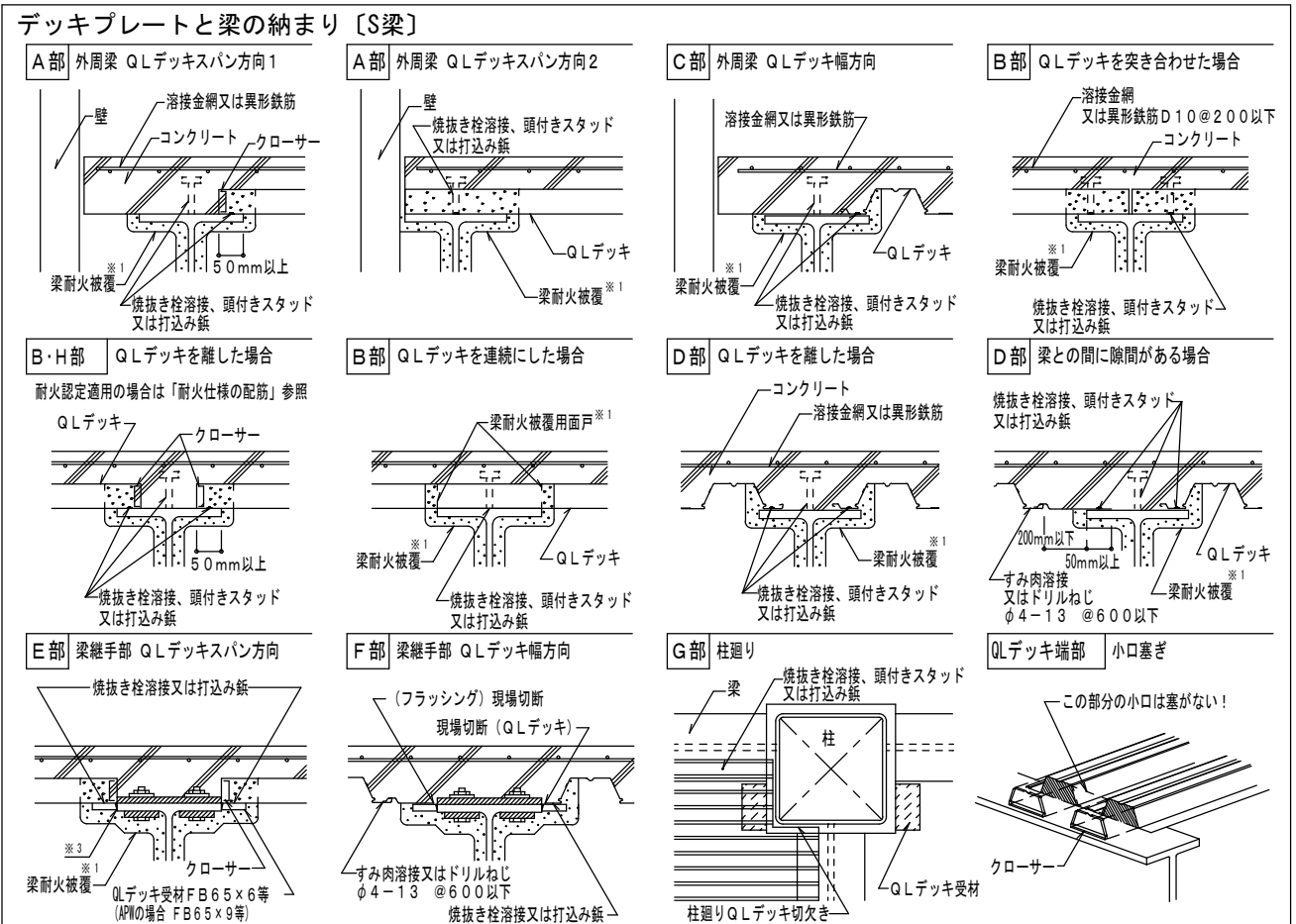
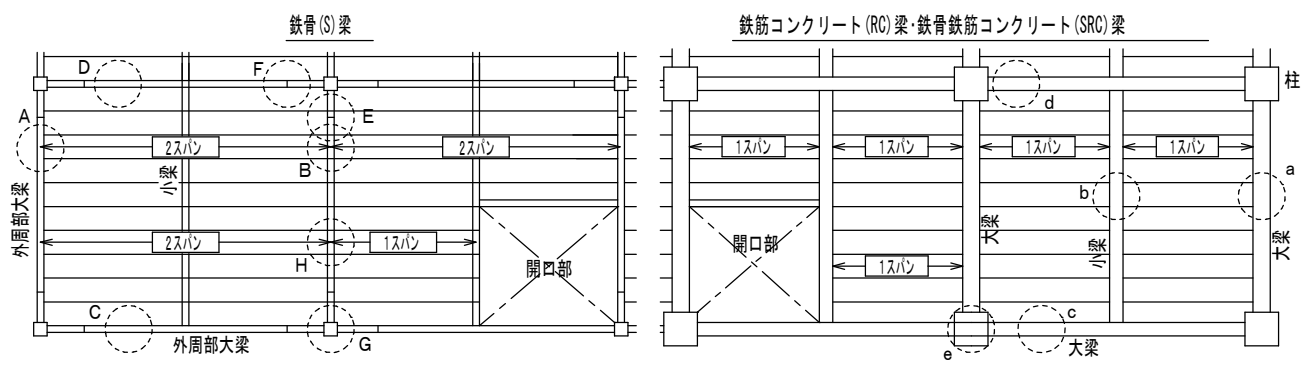
* 許容積載荷重は、床にかかる全荷重（仕上り荷重も含む）から床荷重（デッキプレートとコンクリートの自重）を差し引いた値を示します。

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

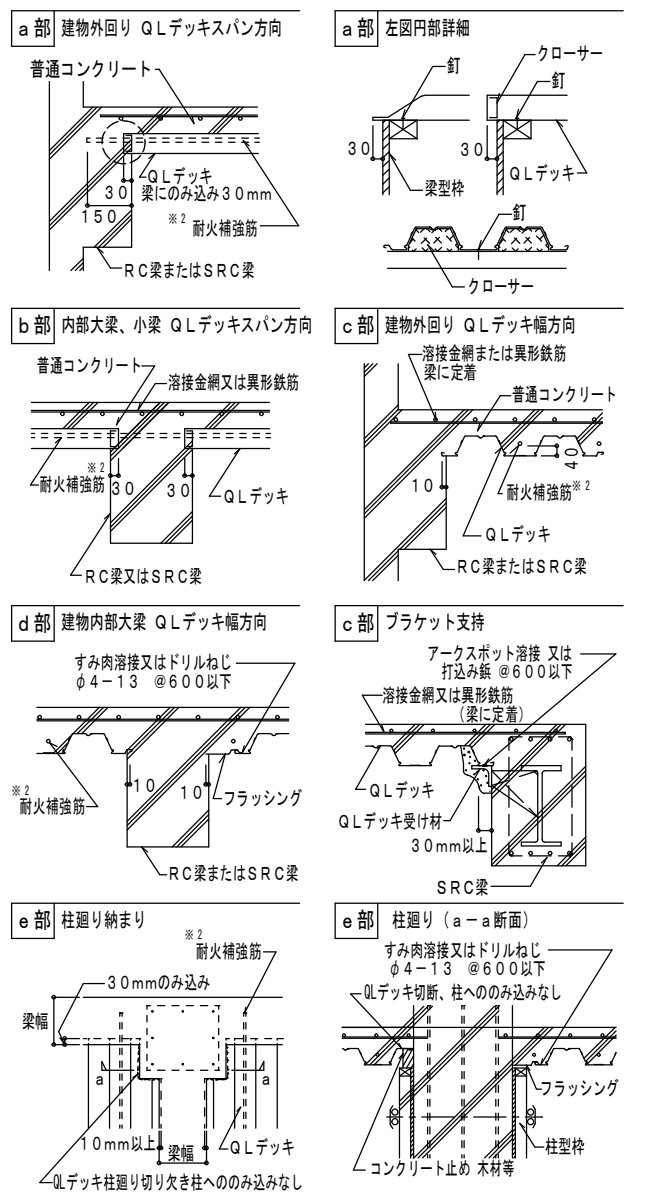
付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小ぶり等によって、ほぼ等間隔に支持されるものとする。

標 準 納 ま り

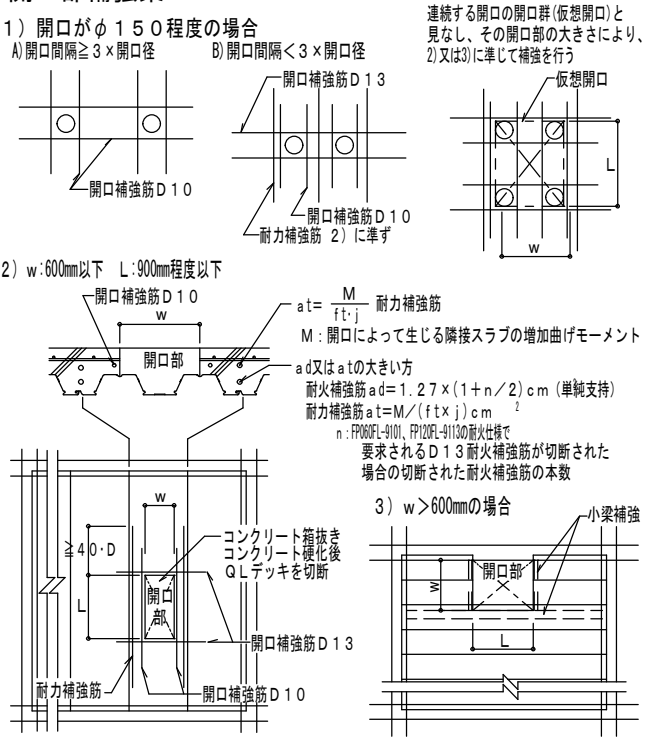
図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2はQ.Lデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※3 溶接方法等は別途検討が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)



デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



開口部補強案



施 工

施工順序	
墨 出 し	敷込み後の溶接
↓	↓
Q.Lデッキと梁との接合	溶接金網敷込み
1) 隠付きスタッド	↓
2) 打込み板	↓
3) 焼付き栓溶接	↓
↓	↓
溶接金網敷込み	↓
↓	↓
検 査	↓
↓	↓
コンクリート打設	

敷 込 み	
鉄骨梁の場合	1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを保止の溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止の溶接する。
	2) 各大梁上にデッキプレートの溝部が来るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合	1) デッキプレートは梁型枠に釘止めする。
	2) デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合	
1) 隠付きスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。	2) 打込み板 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 施工の仕様等については別途製造業者へ確認下さい。 日本ヒルティ(株)、JPF(株)
3) 焼付き栓溶接 第2接合ハ(4)焼付き栓溶接に基づく下記仕様による。(梁フランジの表面処理条件: 黒皮または一般酸止め塗装) 合成スラブ工業会主催の「焼付き栓溶接講習会」の受講が望ましい。	

焼付き栓溶接 [S.P.W.] —アーク手溶接—	
(1) 溶接機 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上	(2) 溶接機 JIS J 3211のS416、S416に定める低水素炭素アーク溶接機 (隠付きスタッドの場合は30mm以上) (溶接機4mmのもの)
(3) 標準溶接条件 梁フランジ厚: 6mm以上 溶 接 電 圧: 190~230A(標準210A)	(4) 溶接工の資格 JIS Z 3301、JIS Z 3304における基本級の資格者
(5) 手順・要領 右の1~4の順に行う。	

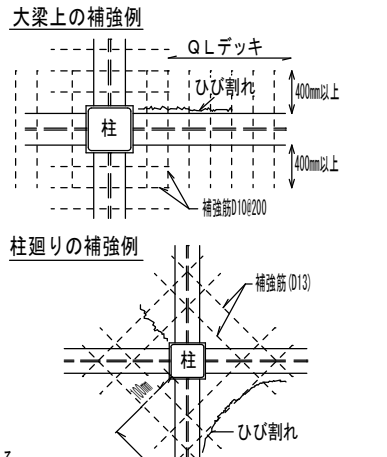
自動焼付き栓溶接 [A.P.W.] —CO ₂ アークスポット溶接—	
(1) 一次側電源の必要容量: 仮設電力の場合 18KVA以上 3相 200V 発電機の場合 35KVA以上 3相 200V	(2) ワイヤの種類と直径: YGW 11、12 φ1.2mm
(3) 標準溶接条件: 下表	
Q.Lデッキ板厚	溶接時間(秒)
1.2mm	溶接時間(秒)
1.6mm	溶接時間(秒)

検 査

【焼付き栓溶接 (S.P.W.) 及び自動焼付き栓溶接 (A.P.W.)】 □事前検査 SPW: 適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。 1) 検流計での計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、10mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが4.5~5.3mmであることを。 A.P.W.: 試し溶接を行って溶接性を確認する。 □溶接後の外観検査 1) 溶接箇所の確認 2) 焼き切れ、余剰不足の有無 3) 溶接部のSPW: 10mm以上 A.P.W.: 25mm以上 □不良部の修繕 SPW の場合: スラッグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。 A.P.W.の場合: 重ね溶接に修繕する。 【その他】 (1) Q.Lデッキ相互の接合状況 (2) 溶接金網の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

(参考) ひび割れ拡大防止のための留意事項

- 設計上の留意点
1) 小梁の剛性を大きくする。
2) ひび割れ拡大防止のための補強筋を設ける。(右図参照例参照)
3) スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。(コンクリート厚さをQ.Lデッキ山上から80~80mmと厚くする。)
4) デッキプレートは各溝部で接合すること
隠付きスタッドの使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。
- 施工上の留意点
1) 水セメント比を小さくする。
【例】単位水量 175リットル/m³以下 1 スランプ 150
高性能AE減水剤
2) 溶接金網の位置—からり厚さ30mm—を確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する)
3) コンクリート打込み後1週間は荷重作業を行わない。歩行程度は可。
4) 打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たった屋上は、散水養生は必須。
5) 打込み後4~7日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

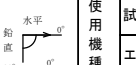
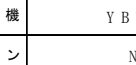
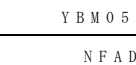


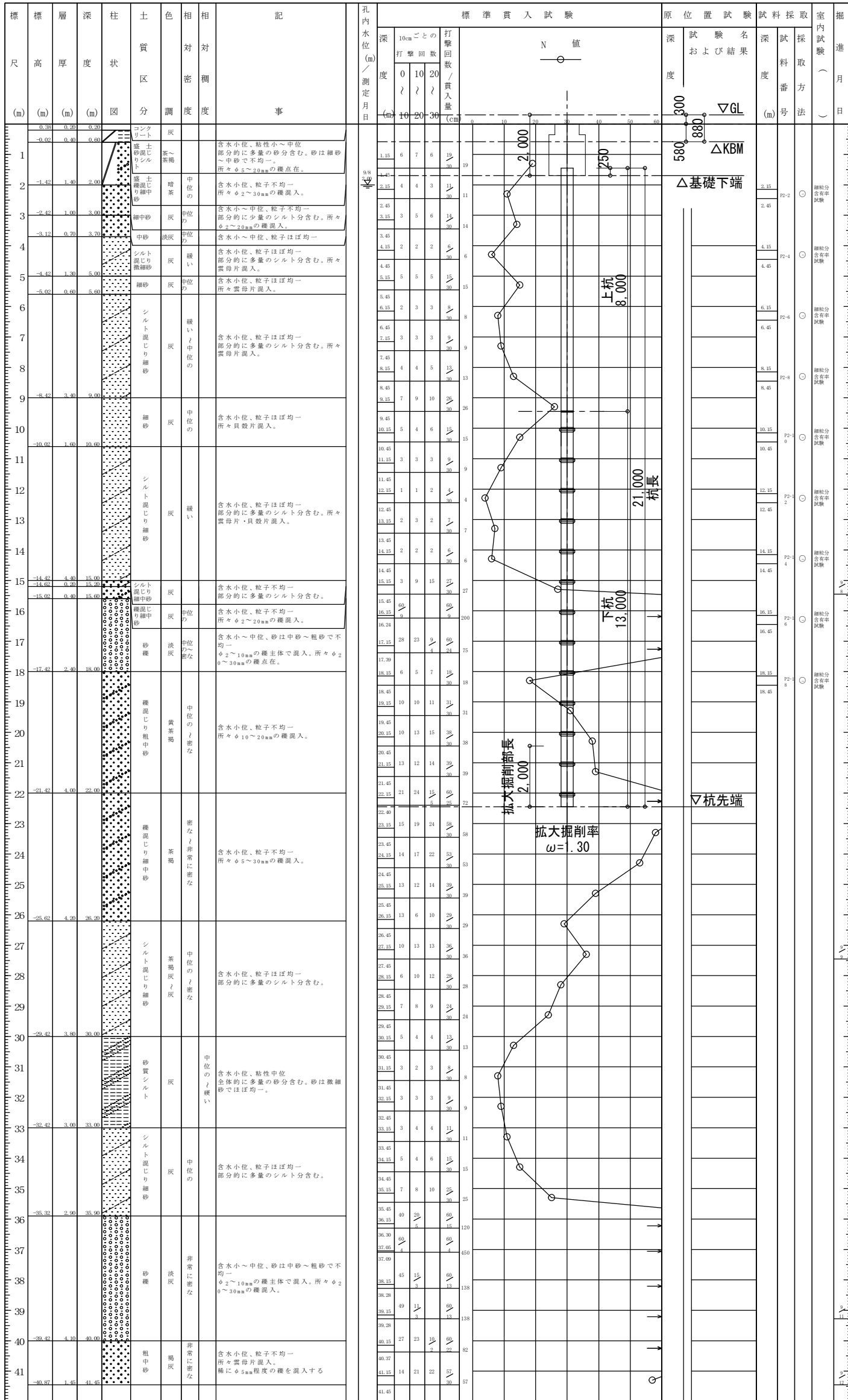
原図:A2



Figure 1: A detailed geological cross-section and test results for a borehole. The left side shows a stratigraphic column with soil types (e.g., 砂, 砂礫, シルト) and depths (e.g., 0.00, 1.00, 2.00 m). The right side shows a graph of test results (e.g., 標準貫入試験, 原位置試験) plotted against depth. The graph includes data points, a trend line, and labels for specific features like 上杭 (Upper Borehole) and 下杭 (Lower Borehole).

ボーリング柱状図 No. 2

ボーリング名	No. 2		調査位置		三重県津市雲出本郷町地内				北緯	34° 39' 53.3"			
発注機関	津市建設部 営繕課				調査期間		平成 29 年 9 月 8 日 ～ 29 年 9 月 12 日				東経	136° 31' 05.8"	
調査業者名	株式会社三重新成コンサルタント				主任技師	長谷川 洋	現地代理人	長谷川 洋	コピ定者	濱田 修	ボーリング責任者	村田 誠	
孔口標高	BIM +0.58m		角			方位			地盤勾配				
総掘進長	41.45m		度			使用機	YBM05DA-2		ハンマー落下用具	半自動落下			
			エンジン	NFAD-9		ポンプ	GP-5						

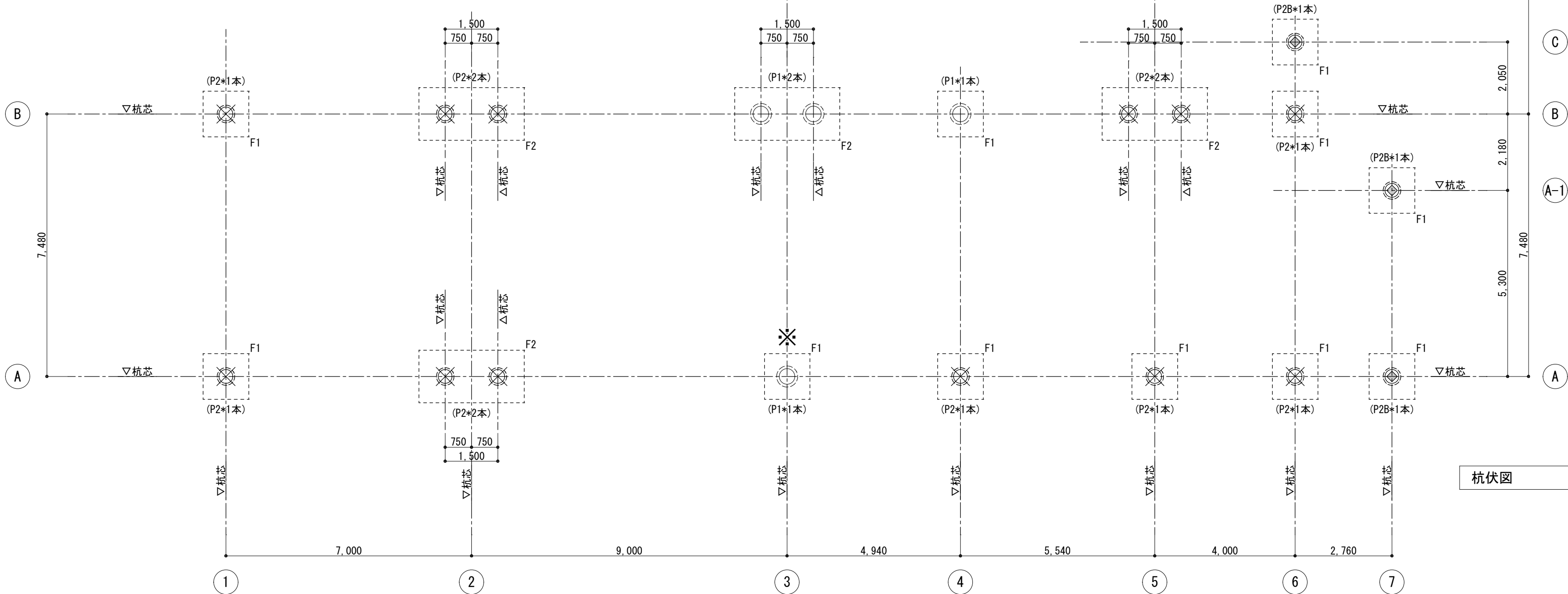


杭リスト

杭工法：ﾌﾞﾚｰｷﾝｸﾞ 拡大根固め工法 高支持力ﾀｲﾌﾟ (Hyper-MEGA工法) ※同等品も可とする

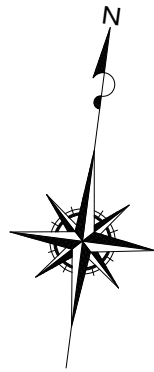
符号	記号	杭長 (m)	杭天端 (m)	杭 種		長さ (m)	杭頭 補強筋	設計用杭耐力 (kN/本)					備考	本数
								鉛直			引抜			
								長期	短期	終局	短期	終局		
P1		21.0	GL-1.75	上杭	SC φ450 SKK400 t=9.0	8.0	8-D25 (SD345)	1180	2360	2660	510	370	拡大掘削率 ω=1.30 拡大掘削長 L=2.0m	4
				下杭	PHC節杭 φ600-450 A種	13.0								
P2		21.0	GL-1.75	上杭	SC φ400 SKK400 t=9.0	8.0	10-D25 (SD345)	860	1720	1850	590	310	拡大掘削率 ω=1.30 拡大掘削長 L=2.0m	16
				下杭	PHC節杭 φ500-400 B種	13.0								
P2A		21.0	GL-1.75	上杭	SC φ400 SKK400 t=9.0	8.0	8-D25 + 6-D25 (SD345)	860	1720	1850	590	310	拡大掘削率 ω=1.30 拡大掘削長 L=2.0m	6
				下杭	PHC節杭 φ500-400 B種	13.0								
P2B		21.0	GL-1.75	上杭	SC φ400 SKK400 t=9.0	8.0	8-D25 (SD345)	860	1720	1850	590	310	拡大掘削率 ω=1.30 拡大掘削長 L=2.0m	3
				下杭	PHC節杭 φ500-400 B種	13.0								

- 1) :SCは、コンクリートの設計基準強度 Fc=80N/mm2
2) :PHC節杭は、コンクリートの設計基準強度 Fc=85N/mm2
3) :継手仕様は、無溶接継手 (TPｼﾞｮｲﾝﾄ工法 (大臣認定工法 : 同等品可)) とする。
4) :※印の杭は試験杭の位置 (2箇所) を示す。

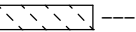
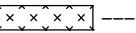
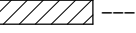


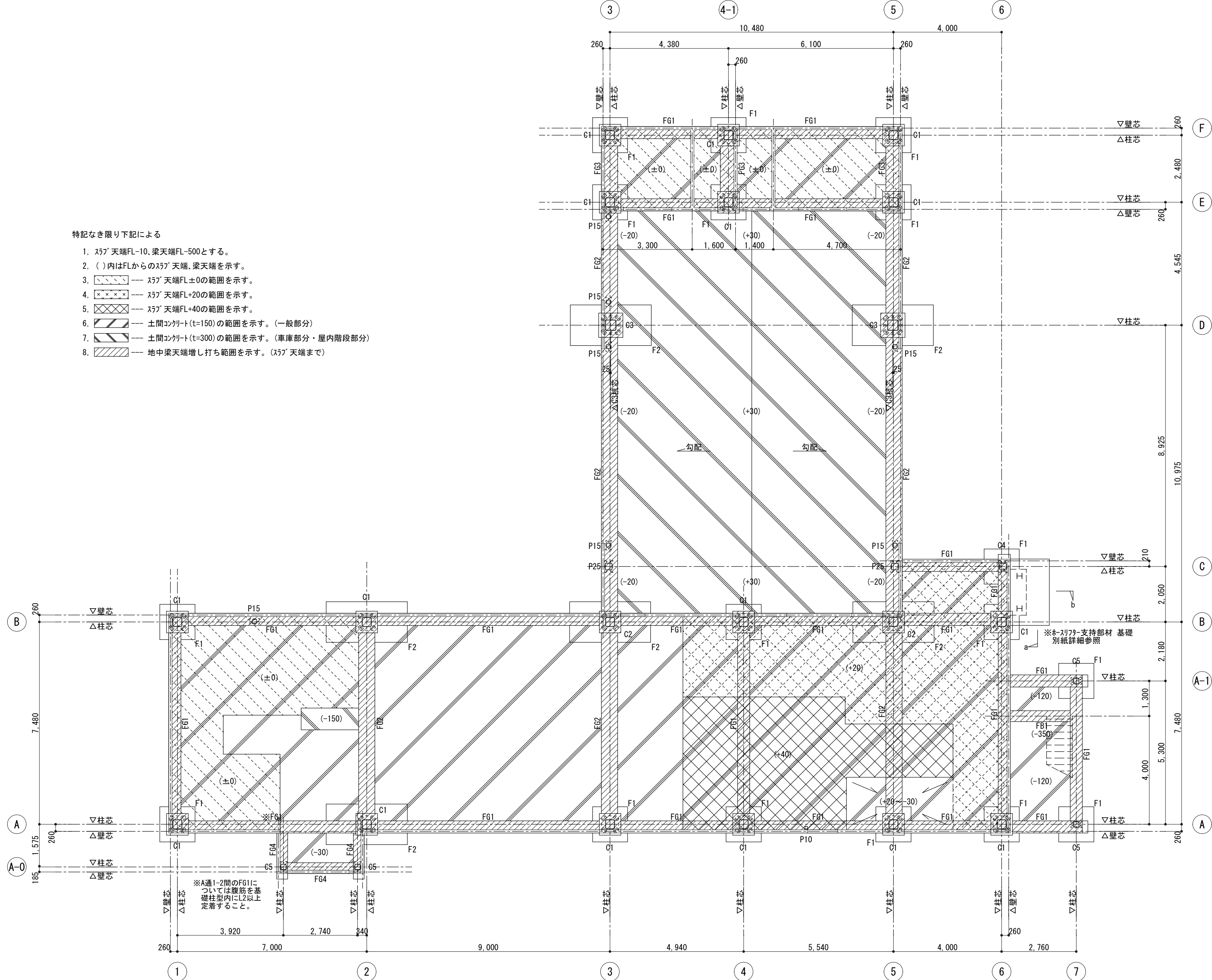
杭伏図 1/100

原図:A2



特記なき限り下記による

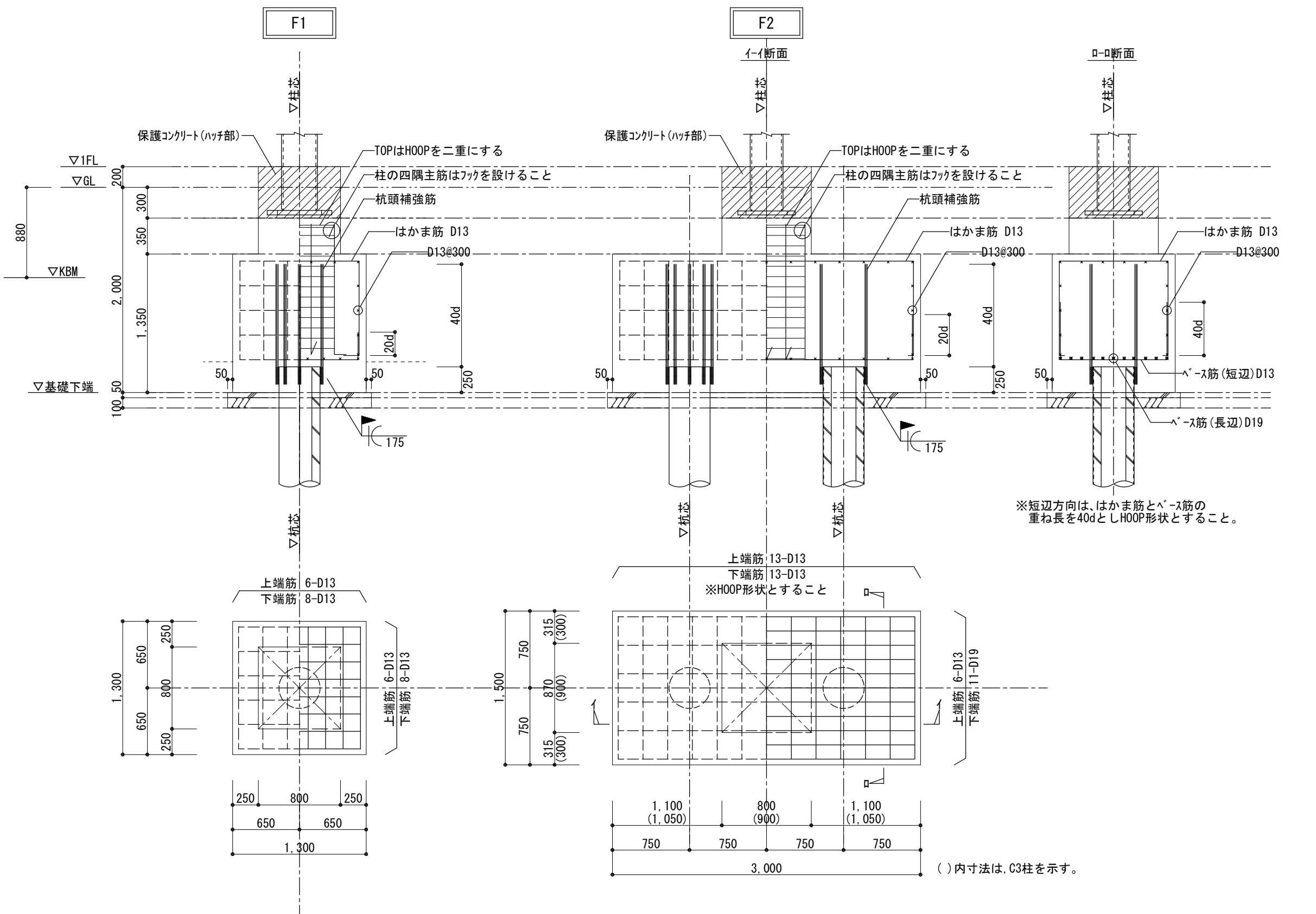
1. スラブ 天端FL-10、梁天端FL-500とする。
2. ()内はFLからのスラブ 天端、梁天端を示す。
3.  スラブ 天端FL±0の範囲を示す。
4.  スラブ 天端FL+20の範囲を示す。
5.  スラブ 天端FL+40の範囲を示す。
6.  土間コンクリート(t=150)の範囲を示す。(一般部分)
7.  土間コンクリート(t=300)の範囲を示す。(車庫部分・屋内階段部分)
8.  地中梁天端増し打ち範囲を示す。(スラブ 天端まで)



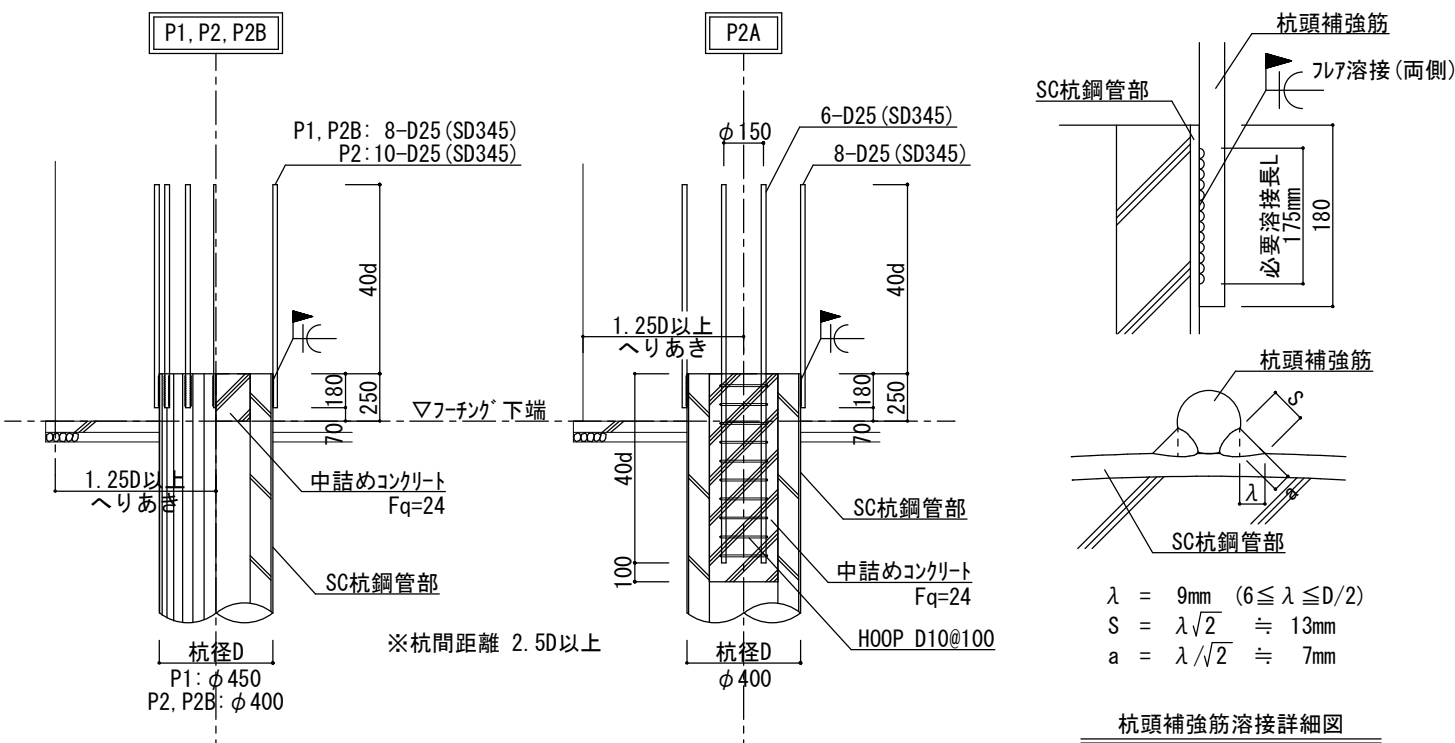
原図:A2

株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/100	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 基礎・1階梁床伏図	NO. S — 13 / 29
----------------	--	--	--------------------------	------	-----	----------	--------------------	--------------	-----------------

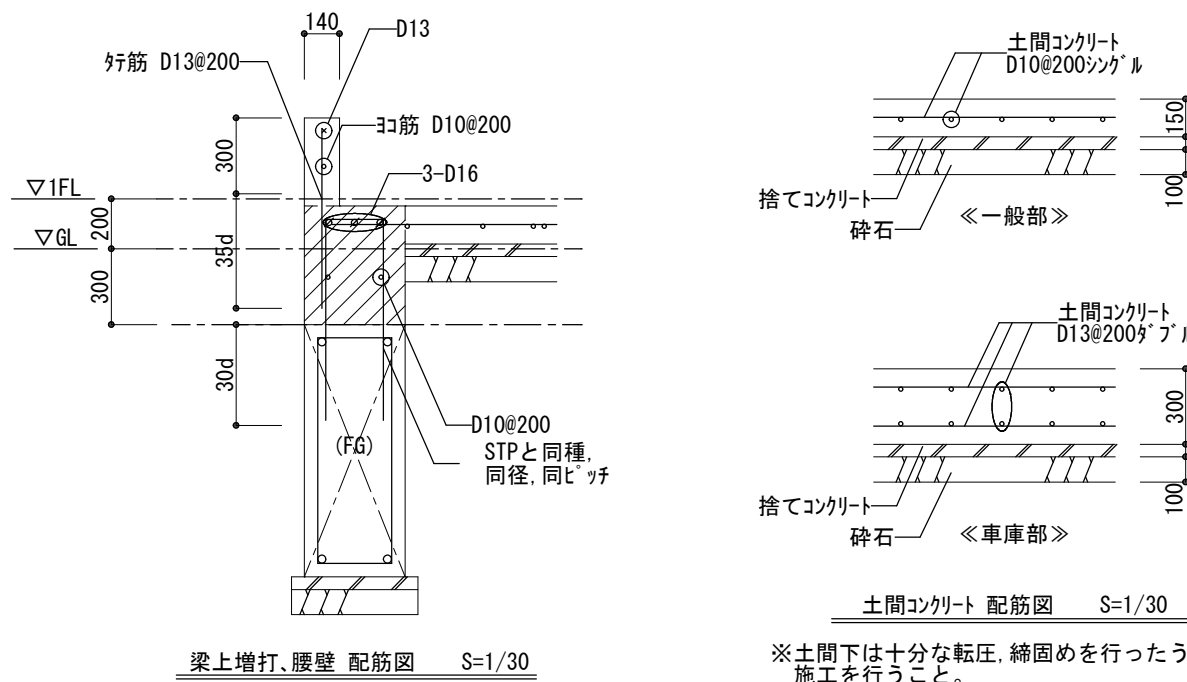
株式会社市川三千男建築設計事務所
一級建築士 第 331882号
構造設計一級建築士 第 8977号 吉田 明義



杭頭処理要領

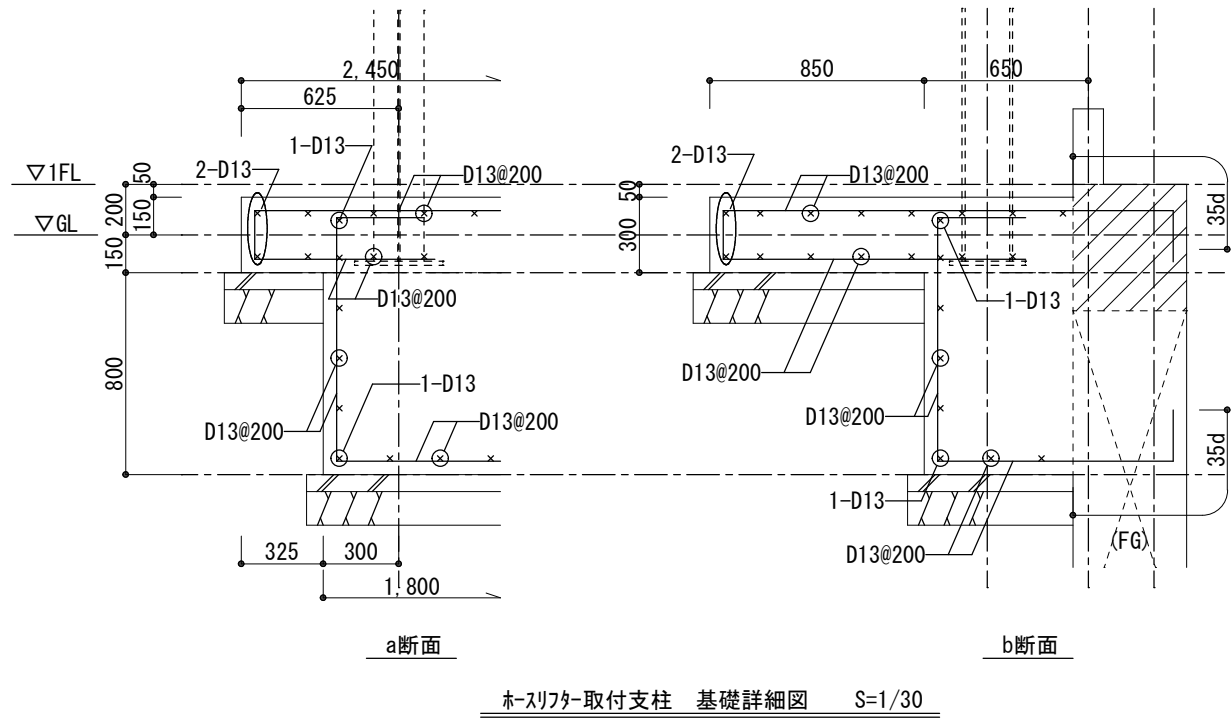


地中部 雑配筋図

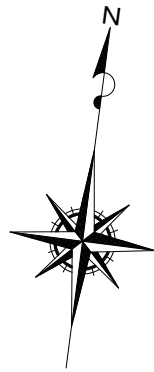


地中梁リスト1/50特記なき限り 幅止筋 D10- 〓 @1,000 以下とする。段受け筋 D10- 〓 @1,000 以下とする。

符 号	FG1	FG2	FG3	FG4	FB1
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面					
Fq=24					
B x D	450x1400	600x1400	600x900	400x900	400x600
上端筋	4-D25	5-D25	5-D25	4-D19	3-D16
下端筋	4-D25	5-D25	5-D25	4-D19	3-D16
スラッ	D13- 〓 -@200	D13- 〓 -@200	D13- 〓 -@100	D13- 〓 -@100	D10- 〓 -@200
腹 筋	8-D13	8-D13	4-D13	4-D13	2-D10
備 考	※A通1-2間のFG1については腹筋を基礎柱型内にL2以上定着すること。				

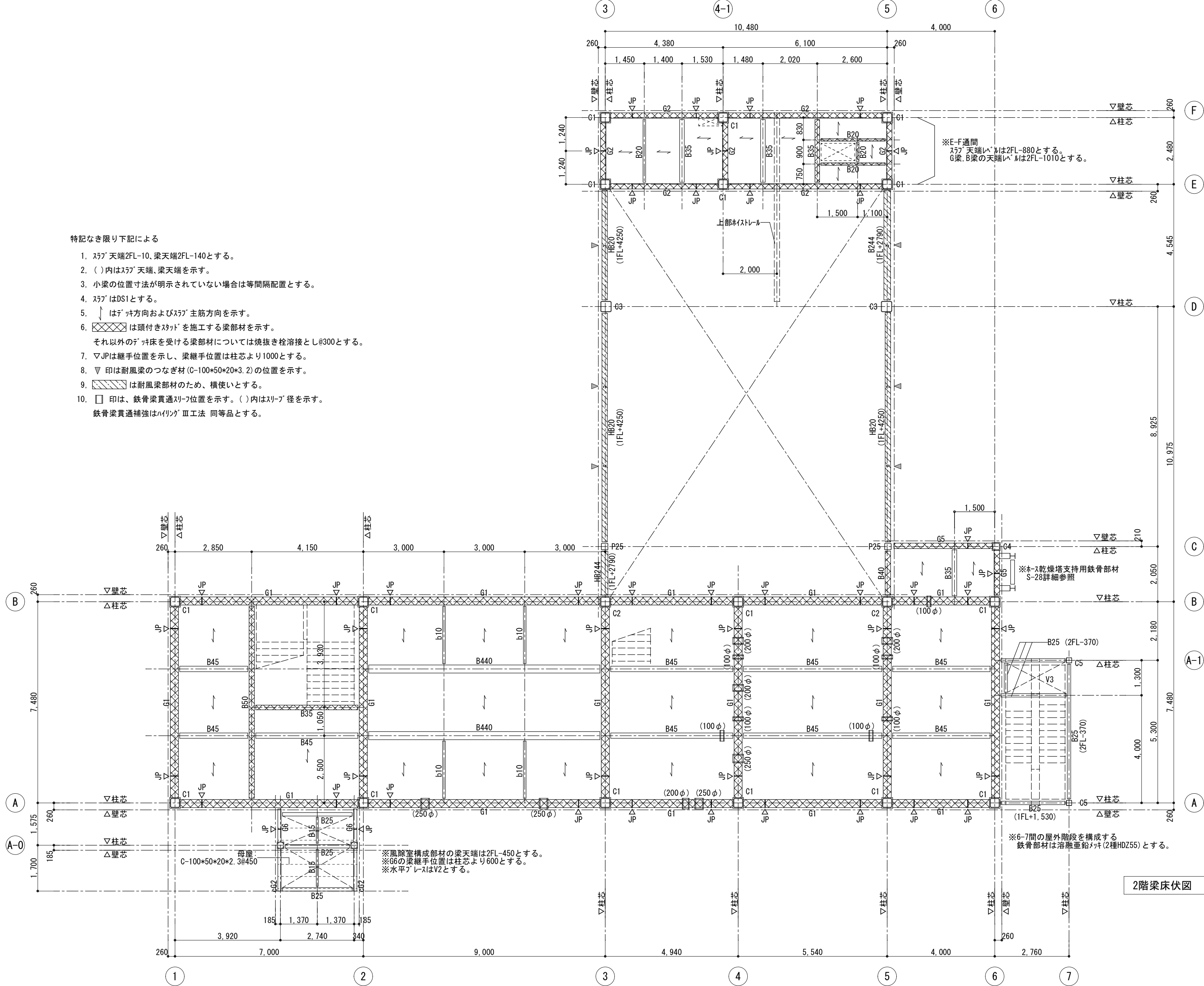


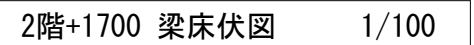
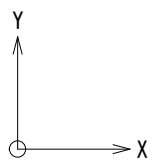
原図:A2

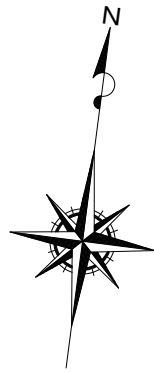


特記なき限り下記による

- スラフ天端2FL-10、梁天端2FL-140とする。
- ()内はスラフ天端、梁天端を示す。
- 小梁の位置寸法が明示されていない場合は等間隔配置とする。
- スラフはDS1とする。
- はデック方向およびスラフ主筋方向を示す。
- は頭付きスラットを施工する梁部材を示す。
それ以外のデック床を受ける梁部材については焼抜き栓溶接としφ300とする。
- ▽JPは継手位置を示し、梁継手位置は柱芯より1000とする。
- ▽印は耐風梁のつなぎ材 (C-100*50*20*3.2) の位置を示す。
- は耐風梁部材のため、横使いとする。
- 印は、鉄骨梁貫通スリフ位置を示す。()内はスリフ径を示す。
鉄骨梁貫通補強はハインク工法 同等品とする。

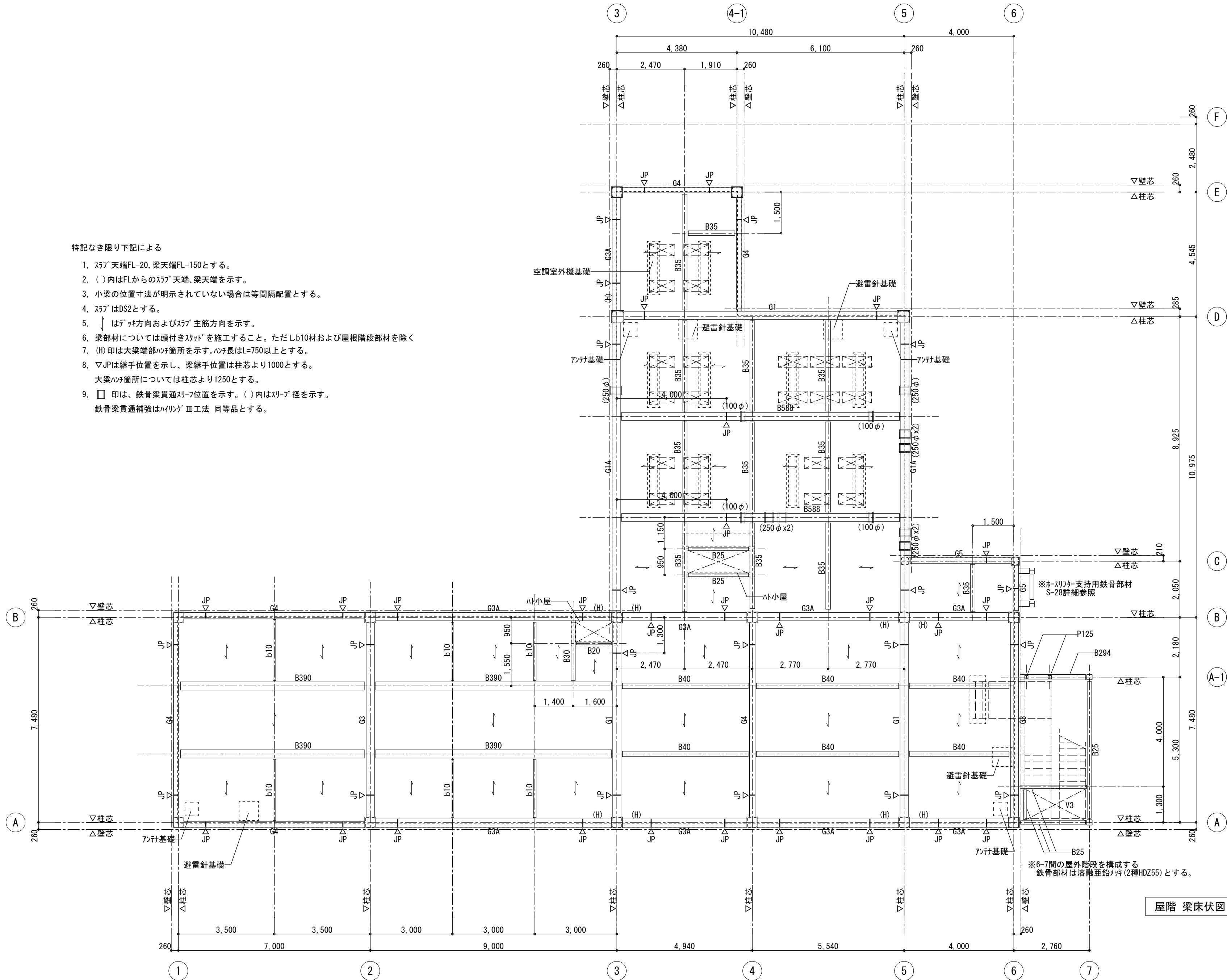






特記なき限り下記による

- スラブ 天端FL-20、梁天端FL-150とする。
- ()内はFLからのスラブ 天端、梁天端を示す。
- 小梁の位置寸法が明示されていない場合は等間隔配置とする。
- スラブ はDS2とする。
- はゲージ方向およびスラブ 主筋方向を示す。
- 梁部材については頭付きスリットを施工すること。ただしb10材および屋根階段部材を除く
- (H)印は大梁端部ハチ箇所を示す。ハチ長はL=750以上とする。
- ▽JPは継手位置を示し、梁継手位置は柱芯より1000とする。
大梁ハチ箇所については柱芯より1250とする。
- 印は、鉄骨梁貫通スリフ位置を示す。()内はスリフ 径を示す。
鉄骨梁貫通補強はハリンク Ⅲ工法 同等品とする。



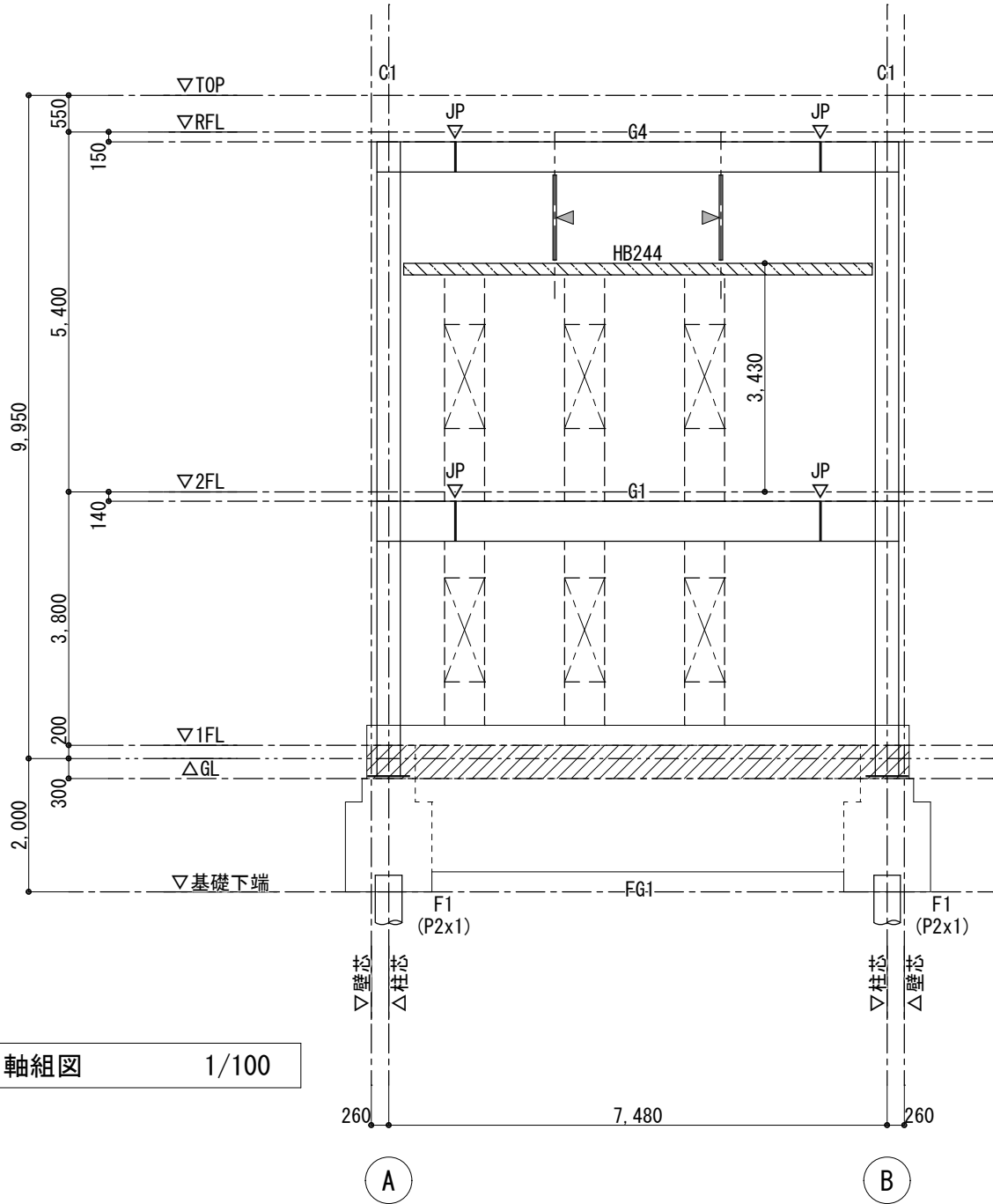
屋階 梁床伏図 1/100

原図:A2

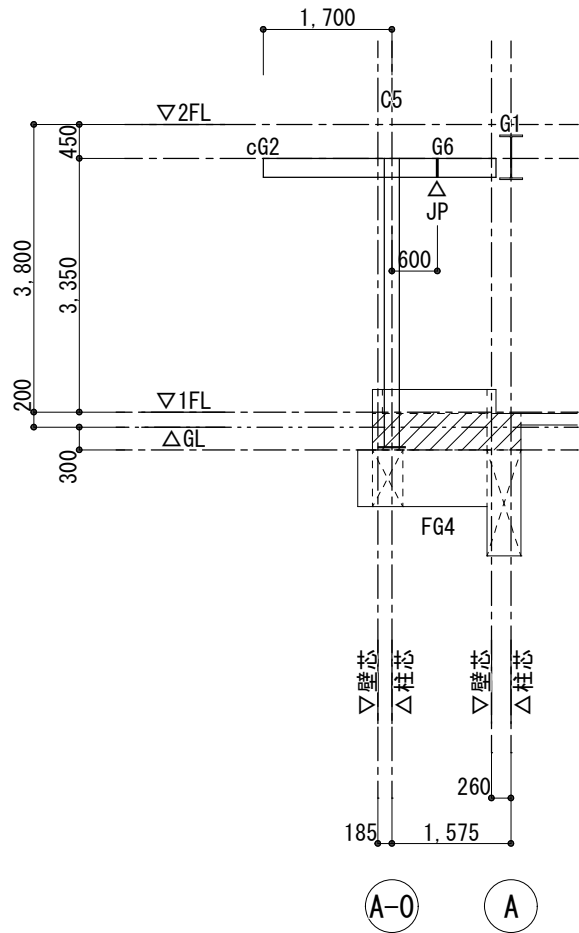
株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第 302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/100	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 屋階 梁床伏図	NO. S — 17 / 29
----------------	--	--	--------------------------	------	-----	----------	--------------------	------------	-----------------

株式会社市川三千男建築設計事務所
一級建築士 第 331882号
構造設計一級建築士 第 8977号 吉田 明義

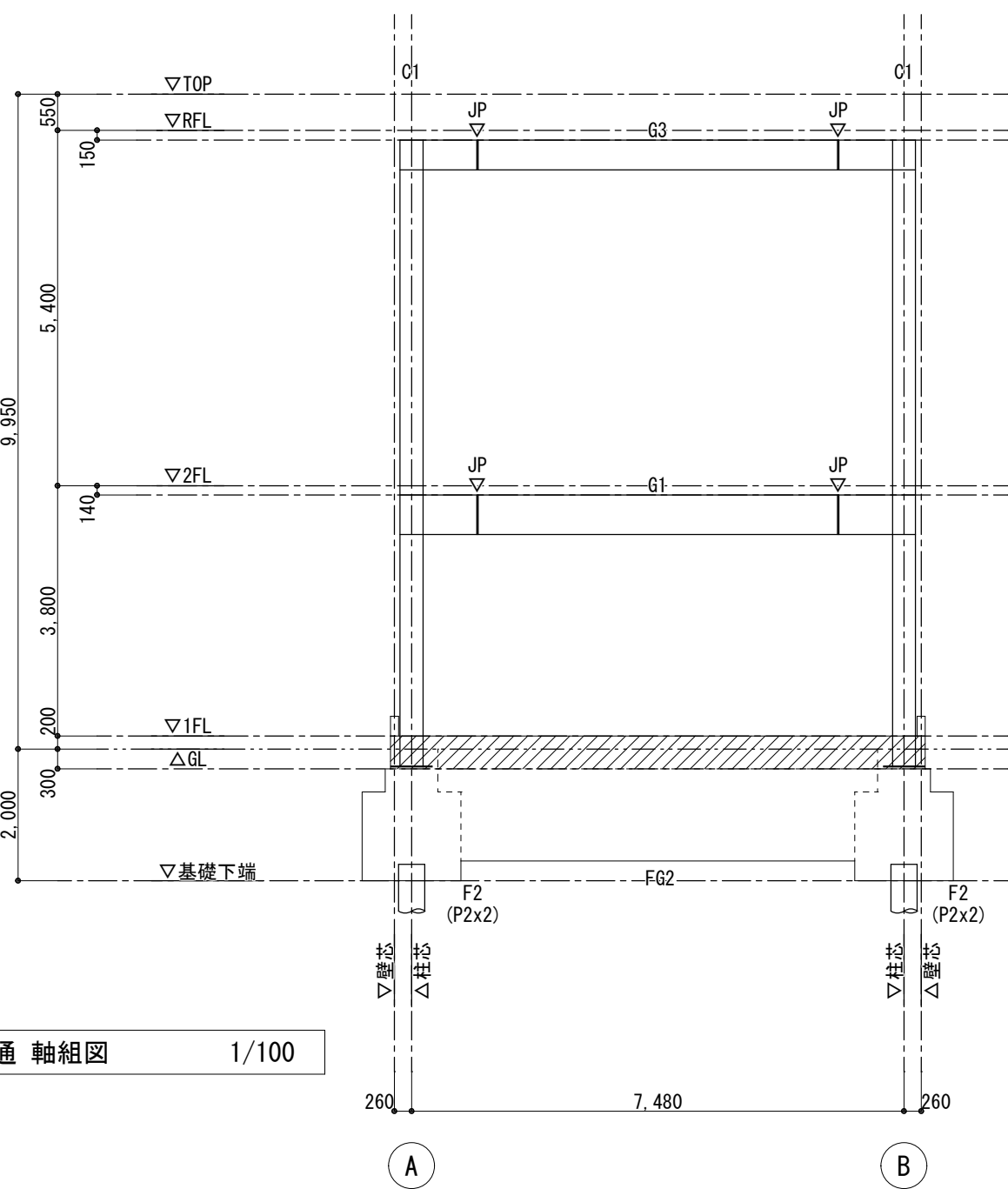
1通 軸組図 1/100



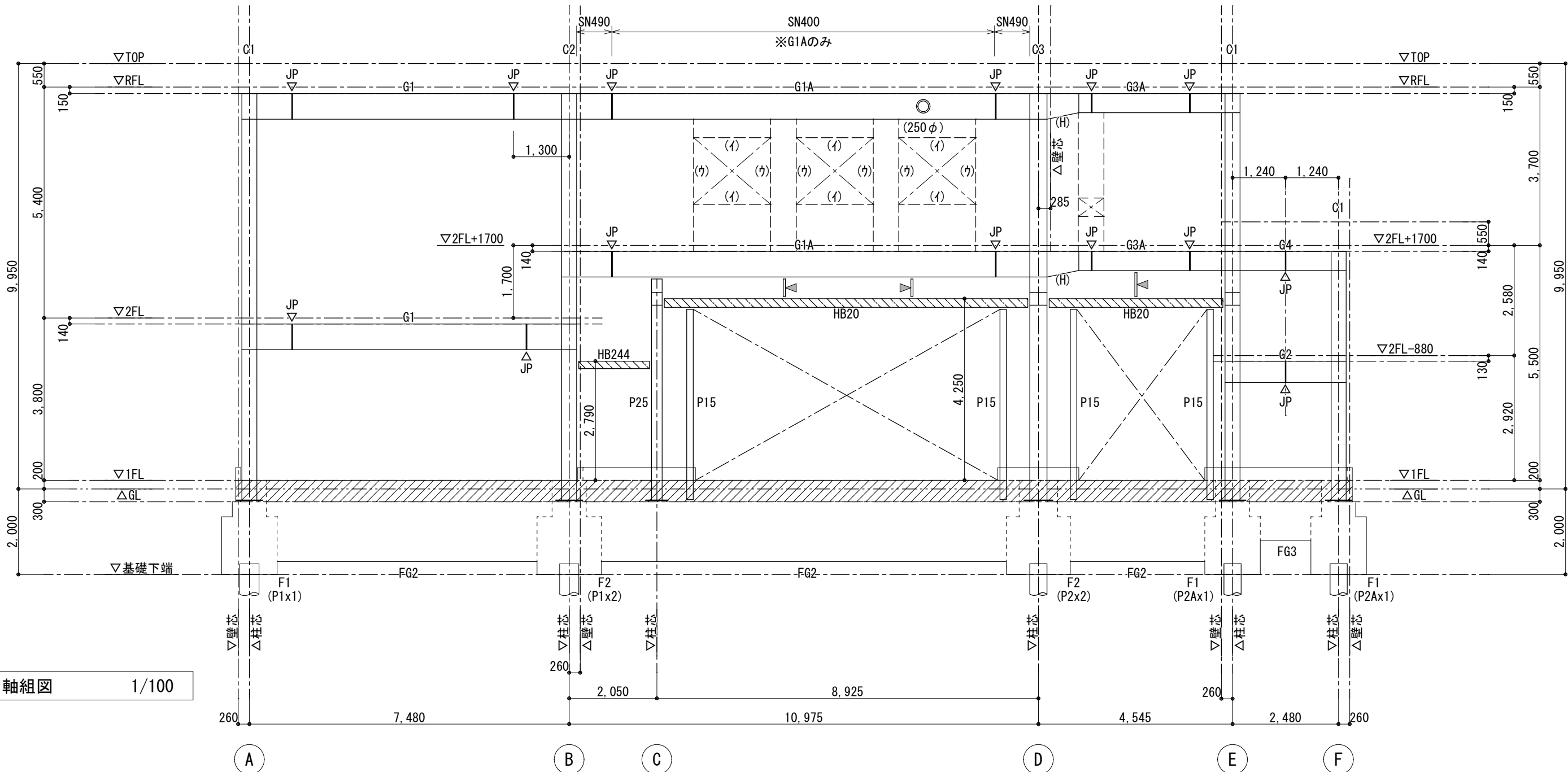
(風除室部分)
1通+3920 軸組図 1/100
2通-340 軸組図



2通 軸組図 1/100



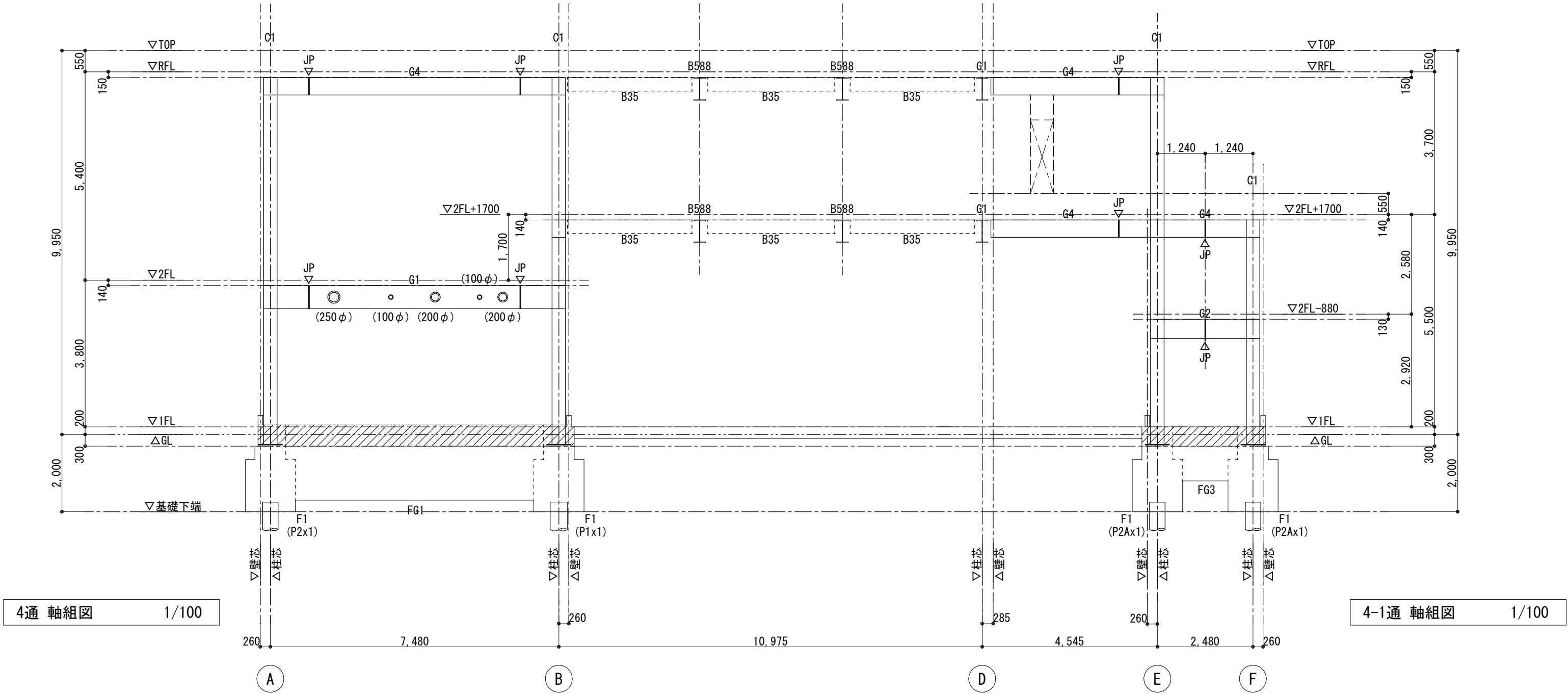
3通 軸組図 1/100



- 特記なき限り下記による
- 地中梁天端増し打ち範囲を示す。(スリ'天端まで)
 - (H)印は大梁端部ハチ箇所を示す。ハチ長はL=750以上とする。
 - ▽JPは継手位置を示し、梁継手位置は柱芯より1000とする。
大梁ハチ箇所については柱芯より1250とする。
 - は耐風梁部材のため、横使いとする。
 - ▽印は耐風梁のつなぎ材 (C-100*50*20*3.2) の位置を示す。
 - 印は、鉄骨梁貫通スリ'位置を示す。()内はスリ'径を示す。
鉄骨梁貫通補強はハリン'Ⅲ工法 同等品とする。
 - (一重点線)は、開口補強部材を示し、部材は以下による。

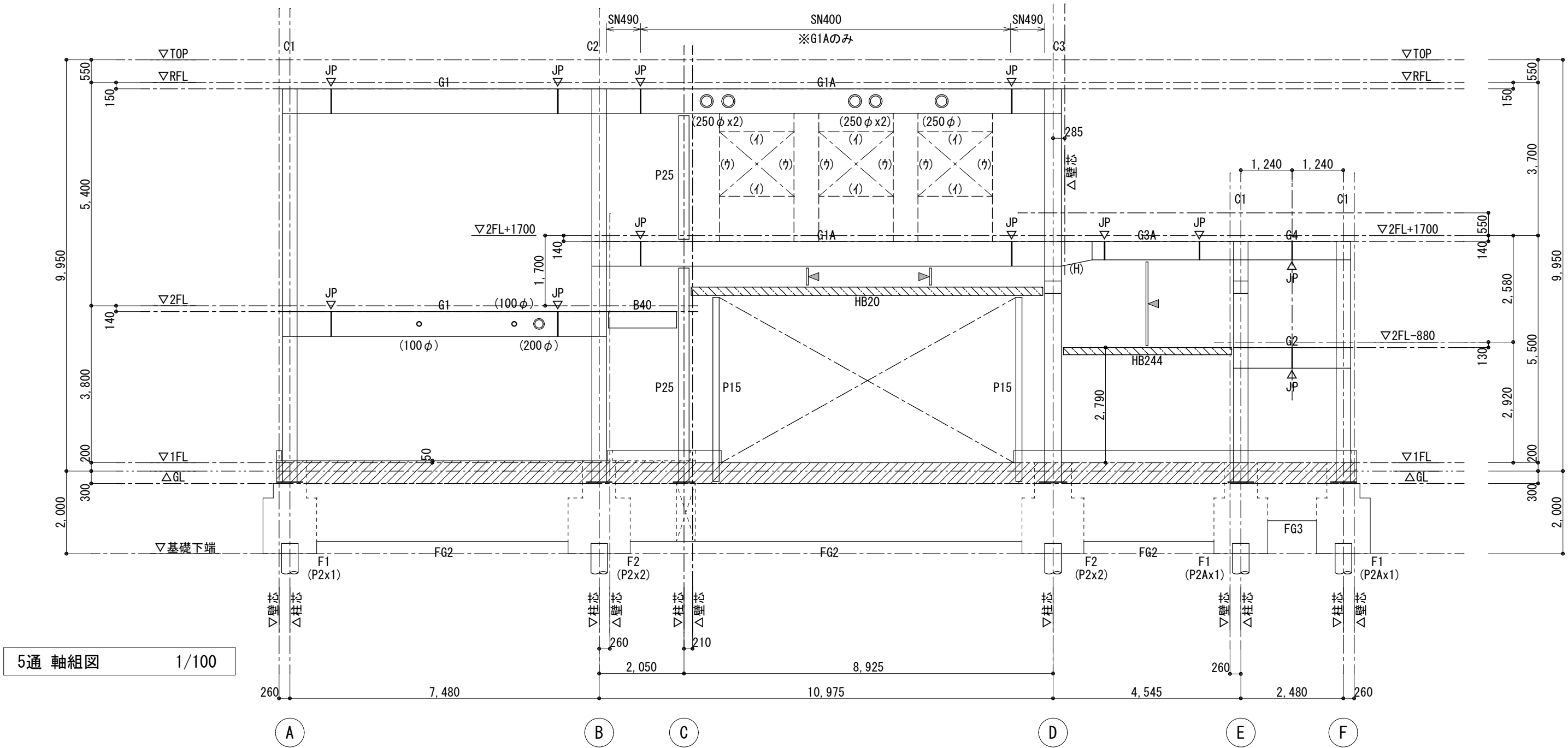
符号	部 材
(7)	L-65*65*6
(4)	L-75*75*6
(7)	L-75*75*9
(I)	L-90*90*6

※特記外は(7)とする。



4通 軸組図 1/100

4-1通 軸組図 1/100



5通 軸組図 1/100

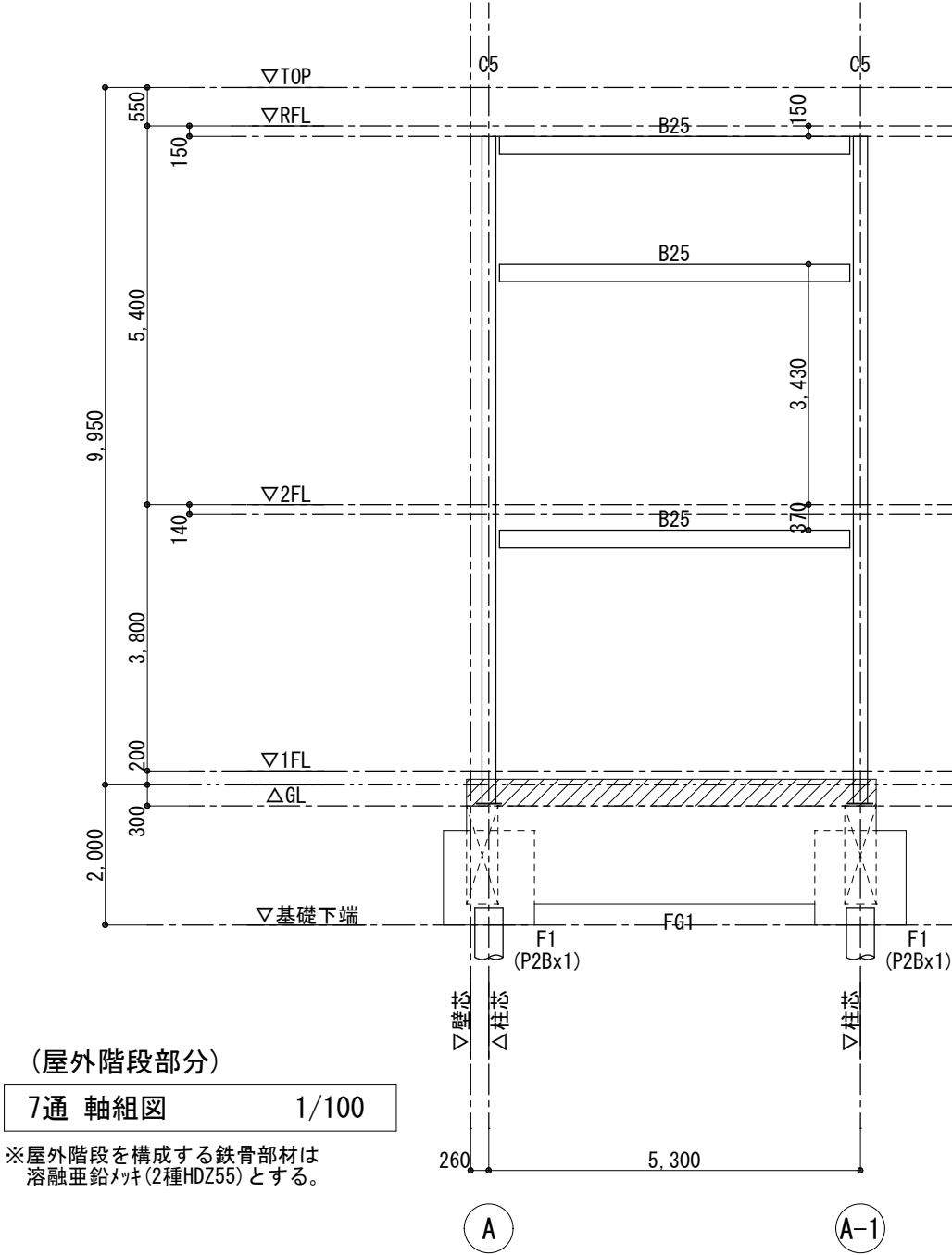
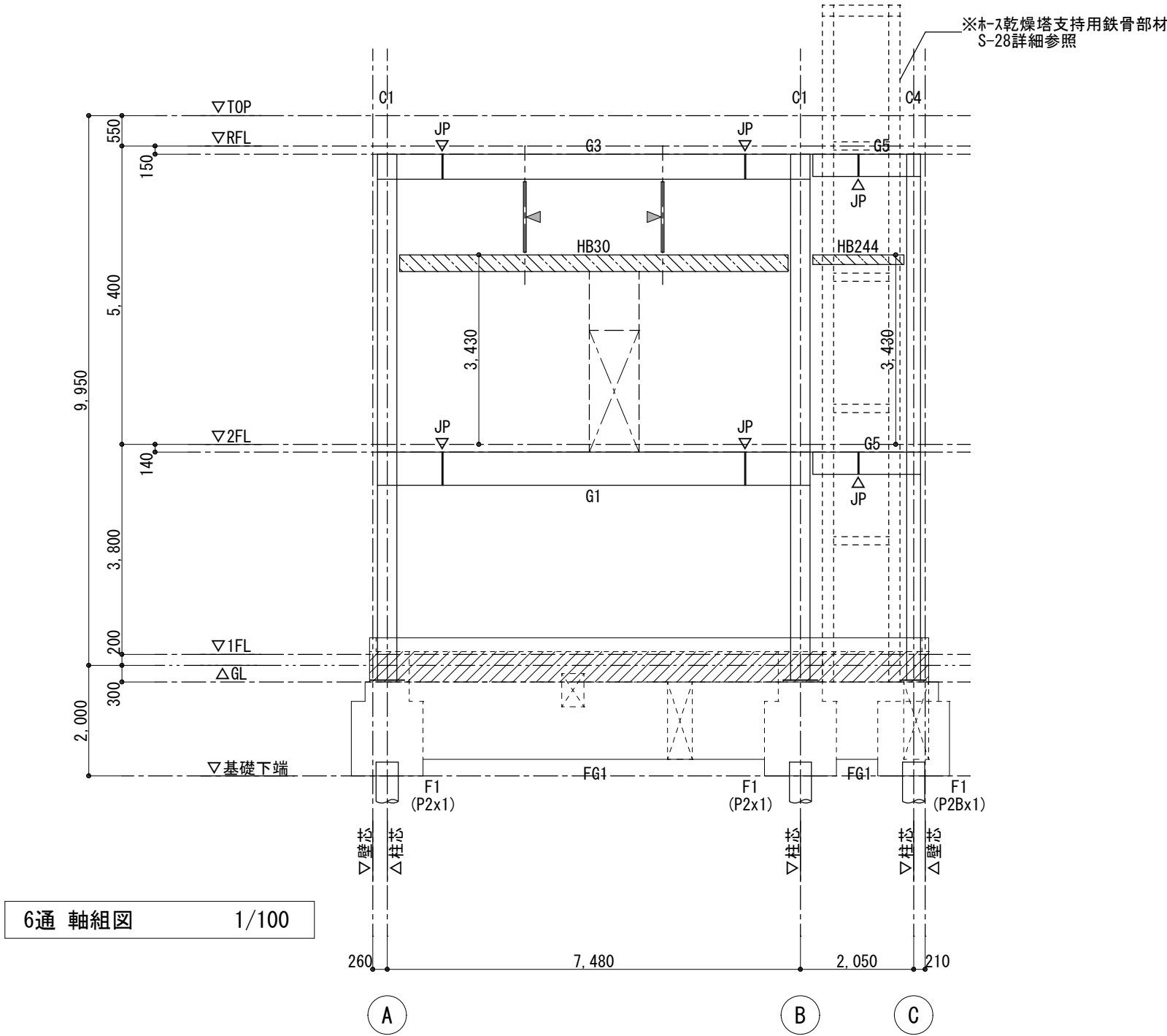
特記なき限り下記による

- 地中梁天端増し打ち範囲を示す。(ｽﾗﾌﾞ天端まで)
- (H)印は大梁端部ﾊﾝﾁ箇所を示す。ﾊﾝﾁ長はL=750以上とする。
- ▽JPは継手位置を示し、梁継手位置は柱芯より1000とする。
大梁ﾊﾝﾁ箇所については柱芯より1250とする。
- 耐風梁部材のため、横使いとする。
- ▽印は耐風梁のつなぎ材 (C-100*50*20*3.2) の位置を示す。
- 印は、鉄骨梁貫通ｽﾘｰﾌ位置を示す。()内はｽﾘｰﾌ径を示す。
鉄骨梁貫通補強はﾊｲﾘﾝｸﾞⅢ工法 同等品とする。
- ―― (一重点線)は、開口補強部材を示し、部材は以下による。

符号	部 材
(ｱ)	L-65*65*6
(ｲ)	L-75*75*6
(ｳ)	L-75*75*9
(ｴ)	L-90*90*6

※特記外は(ｱ)とする。

原図:A2

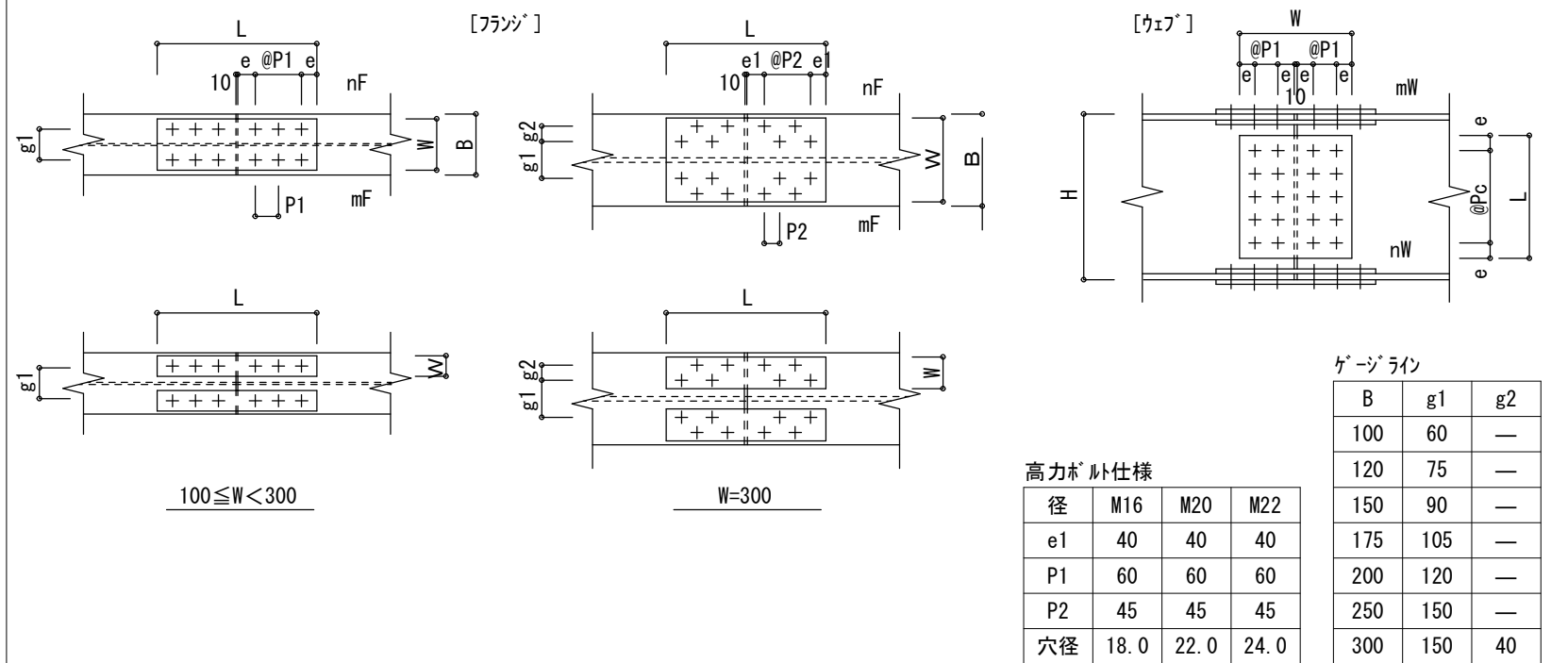


特記なき限り下記による

- 地中梁天端増し打ち範囲を示す。(スリット天端まで)
- (H)印は大梁端部ハチ箇所を示す。ハチ長はL=750以上とする。
- ▽JPは継手位置を示し、梁継手位置は柱芯より1000とする。
大梁ハチ箇所については柱芯より1250とする。
- は耐風梁部材のため、横使いとする。
- ▽印は耐風梁のつなぎ材 (C-100*50*20*3.2) の位置を示す。
- 印は、鉄骨梁貫通スリット位置を示す。()内はスリット径を示す。
鉄骨梁貫通補強はハッキングⅢ工法 同等品とする。
- ―― (一重点線)は、開口補強部材を示し、部材は以下による。

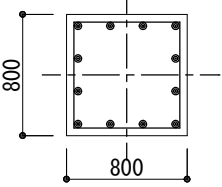
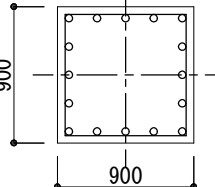
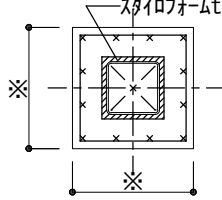
符号	部 材
(7)	L-65*65*6
(4)	L-75*75*6
(9)	L-75*75*9
(1)	L-90*90*6
※特記外は(7)とする。	

鉄骨大梁リスト	特記なき限り 鋼種はSMA40Bとする。 ボルトは高力ボルト(S10T(F10T))とする。 継手仕様はSCSS-H97に準ずる。	デッド床を受ける梁のスタッドは下記による。 梁幅B<300 16φ@200 シングル h=100 梁幅B≥300 16φ@200 ダブル h=100
---------	--	--

[illegible]

使用材料	
・コンクリート	Fq=18 (捨てコンクリート) Fq18 (土間コンクリート) Fq=24 (合成スラブ、屋根スラブ) Fq=24 (基礎梁、基礎)
・鉄 骨	BCR295 (柱) SN400B (大梁) SN490B (大梁G1A端部) SN400A (小梁、耐風梁) STKR400 (間柱) SN490C (ト ーフラム)
・鉄 筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上D25以下)
・保 לט	HTB F10T (S10T) F8T (溶融亜鉛メッキ) 中保לט
・外壁	ALC t=100 縦壁ロックン 工法 (同等工法可)

柱リスト	特記なき限り 鋼種はBCR295とする。
------	----------------------

	C1	C2	C3	保護コンクリート (C1, C2, C3)	C4	C5
部 材	□-350*350*12	□-350*350*16	□-400*400*19		□-250*250*9	□-200*200*9 (STKR400)
細長比λ (最大値)	54.0	49.3	55.1		93.5	145.6
柱 脚	ペ-スハ-ック 35-16R (同等品)	同左	ペ-スハ-ック 40-22R (同等品)		BPL-25 (SN490C) 450x300 A. BOLT 4-M22 (SNR400) L=700	BPL-22 (SN490C) 450x250 A. BOLT 4-M20 (SNR400) L=600
BPL	GL-300	同左	GL-300		GL-300	GL-300
基礎柱型 断面		同左				
Fq=24						
立上り筋	12-D25	同左	16-D25	12-D13		
HOOP	D13@100	同左	D13@100	D10@150		
備 考	柱頭HOOP筋はダブルとする。 四隅主筋の柱頭はフックを設ける。	柱頭HOOP筋はダブルとする。 四隅主筋の柱頭はフックを設ける。	柱頭HOOP筋はダブルとする。 四隅主筋の柱頭はフックを設ける。	C1, C2, C3柱型上部の保護コンクリート		風除室, 屋外階段

鉄骨小梁リスト 特記なき限り 鋼種はSN400Aとする。
ボルトは高力ボルト(S10T(F10T))とする。

符号	部 材		HTB	TYPE	GPL t (mm)	P (mm)	備 考
B588	H-588*300*12*20		6-M22 (2列)	C	12	120	横補剛、継手はG1に準ずる
B50	H-500**200*10*16		5-M20	B	12	60	横補剛
B440	H-440*300*11*18		5-M20	B	12	60	横補剛
B45	H-450*200* 9*14		5-M20	B	12	60	横補剛
B390	H-390*300*10*16		4-M20	B	9	60	横補剛
B40	H-400*200* 8*13		4-M20	B	9	60	横補剛
B340	H-340*250* 9*14	両側	4-M20	B	9	60	横補剛
		片側	8-M20 (2列)	C	9	60	
B35	H-350*175* 7*11	両側	4-M20	B	9	60	横補剛
		片側	8-M20 (2列)	C	9	60	
B294	H-294*200* 8*12		3-M20	B	9	60	溶融亜鉛メッキ F8T
B30	H-300*150*6. 5*9		3-M20	B	9	60	
B25	H-250*125* 6* 9		2-M20	B	9	90	溶融亜鉛メッキ F8T
			3-M20	B	9	60	
B20	H-200*100*5. 5* 8		2-M16	B	6	60	
B15	H-150* 75* 5* 7		2-M16	A	6	60	
b10	[-100*50*5*7. 5		2-M16	A	6	60	横補剛
HB30	H-300*300*10*15		2-M20		12	60	耐風梁 横使い
HB244	H-244*175* 7*11		2-M20		9	60	耐風梁 横使い
HB20	H-200*200* 8*12		2-M20		9	60	耐風梁 横使い
母屋	C-100*50*20*2. 3		1-12φ		6		GPL-4. 5 @450 中ボルト

〔TYPE-A〕

※厚みはGPLと同等

〔TYPE-B〕

※厚みはGPLと同等

バツ7φe=40mm

〔TYPE-C〕

※厚みはGPLと同等

バツ7φe=40mm

両側取付

片側取付

テ*ツクスラフ* リスト

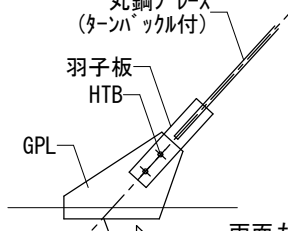
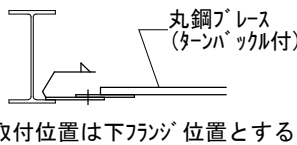
符号	断面
DS1	溶接金網 (φ6-150x150) 80 50 130 - 合成床版用「ㄗ」ㄗㄗ」レト - QL99-50 同等品 板厚$t=1.2$ - 表面处理: 錆止め塗装 (JIS K 5674)
DS2	主筋 D13+D10@200 (交互) 配力筋 D10@200 150 主筋 D10@200 - フラット「ㄗ」ㄗㄗ」レト - N「ㄗ」ㄗㄗ」又はJF「ㄗ」ㄗ 同等品 板厚$t=1.0$ - 表面处理: Z12

鉄骨間柱リスト	特記なき限り	鋼種はSTKR400とする。 ボルトは高力ボルト(S10T(F10T))とする。
---------	--------	---

[illegible]

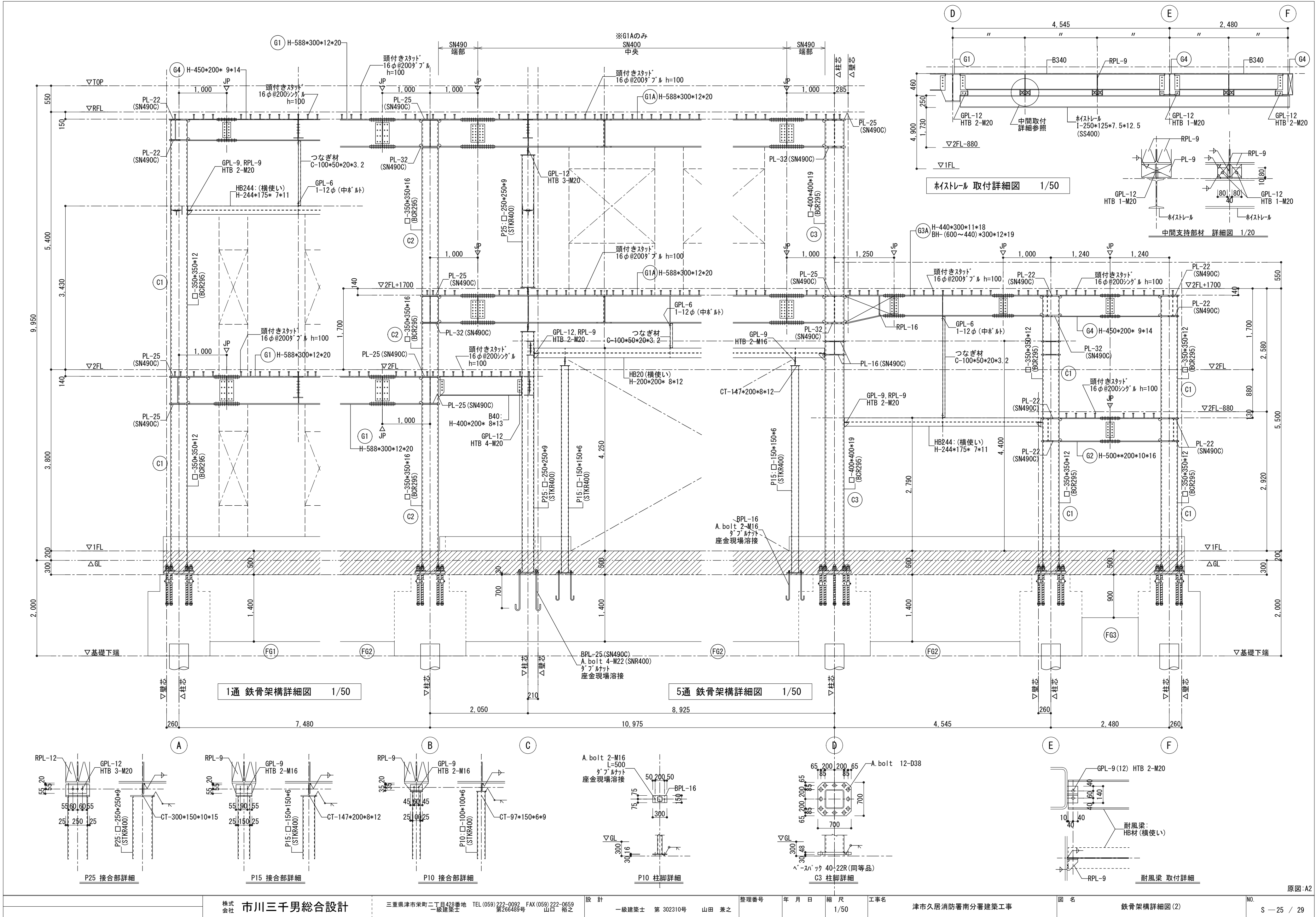
水平フ レースリスト	特記なき限り JIS 規格品とする。 (ターンバックル付)
------------	----------------------------------

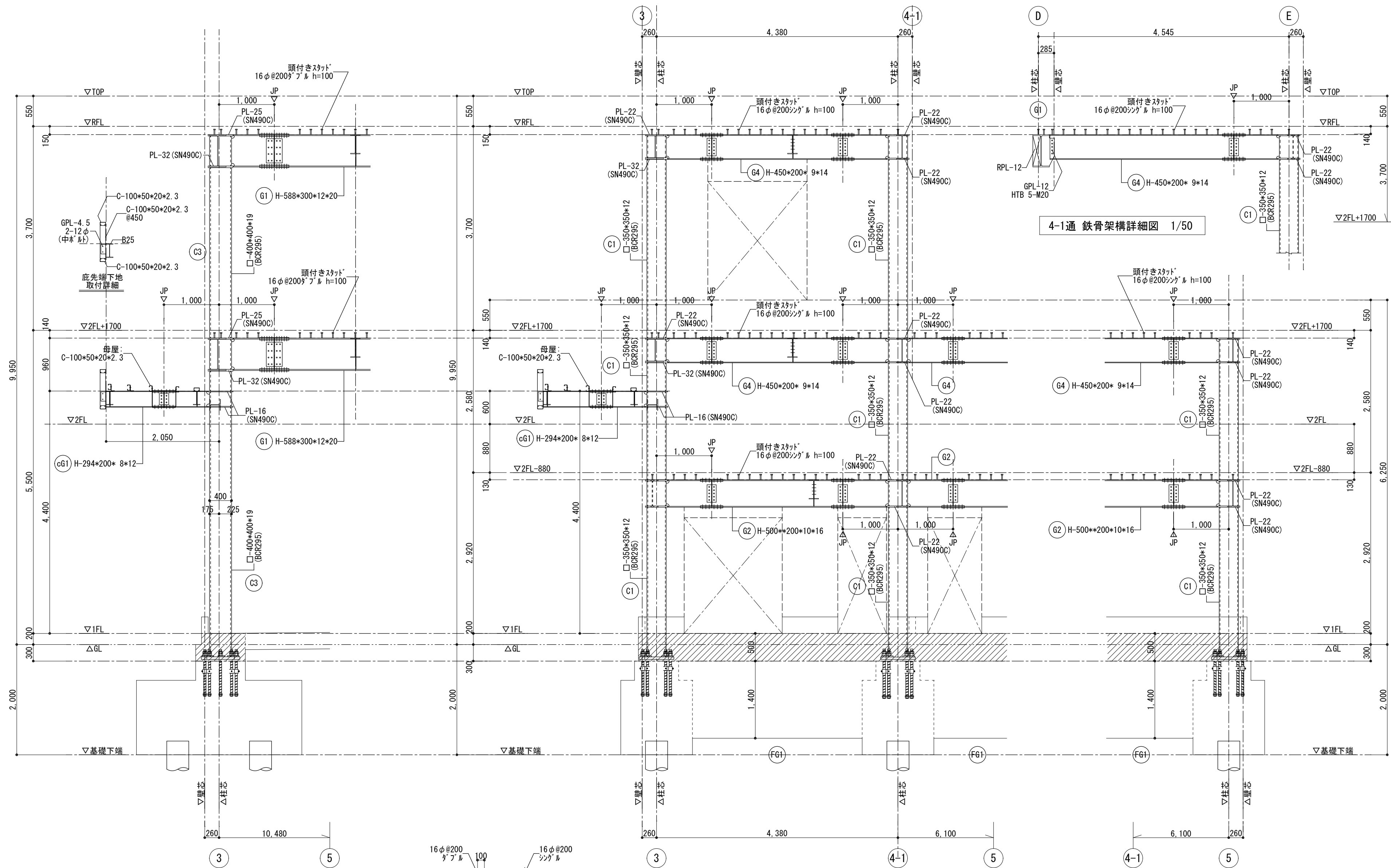
符 号	ﾌﾟﾚｽ	HTB	GPL	備考
V1	M12	1-M16	6	車庫底
V2	M20	1-M20	9	ENT底
V3	M24	2-M20	9	屋外階段(2種HDZ55)

両面もしくは片面隅肉溶接



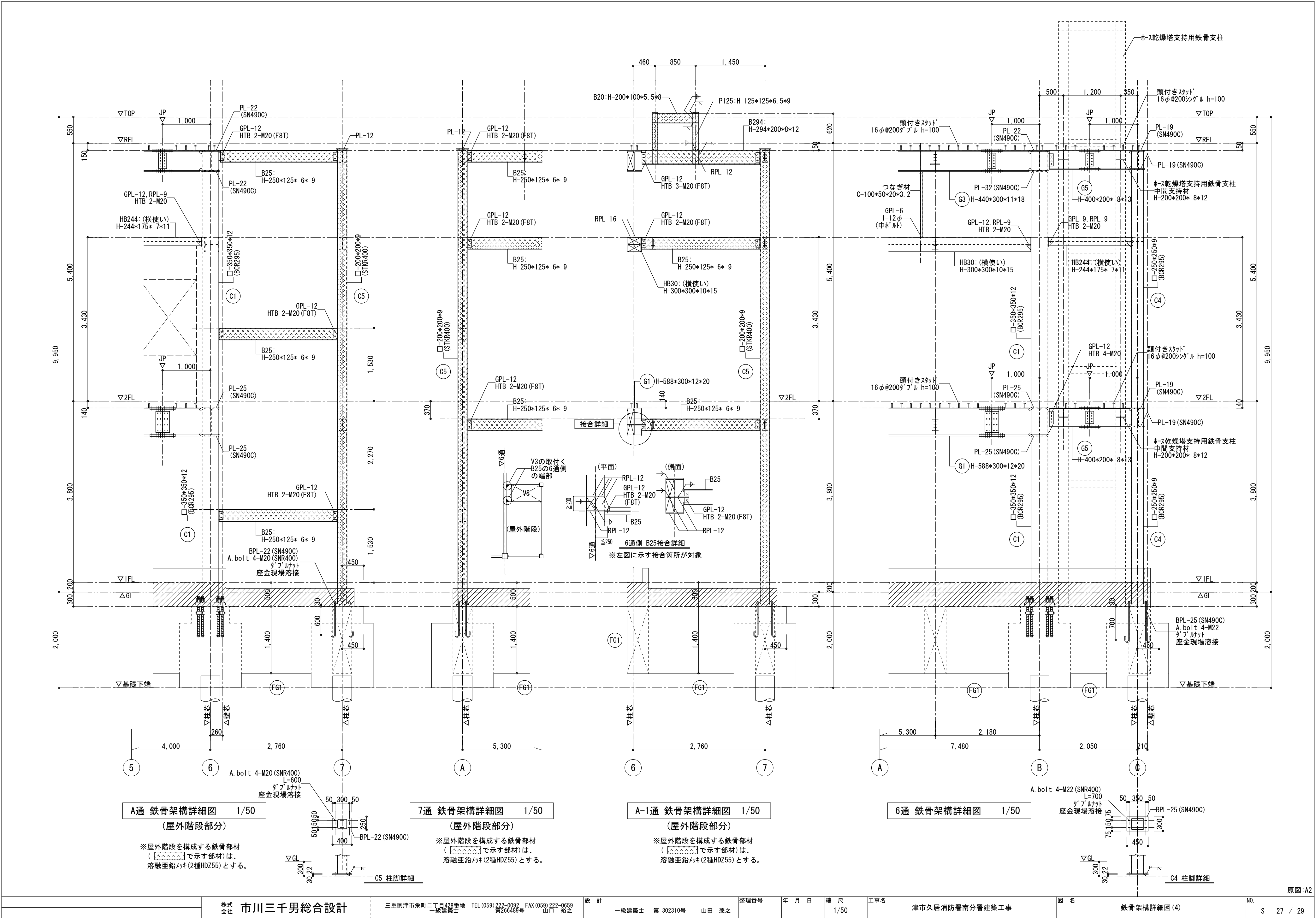


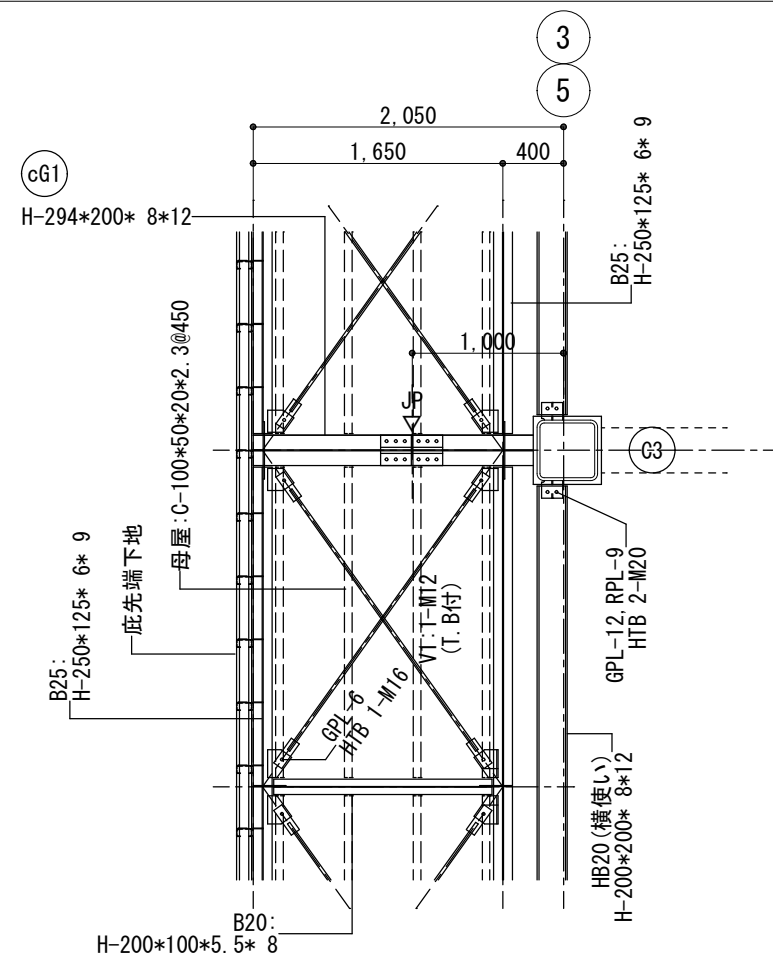


原図:A2

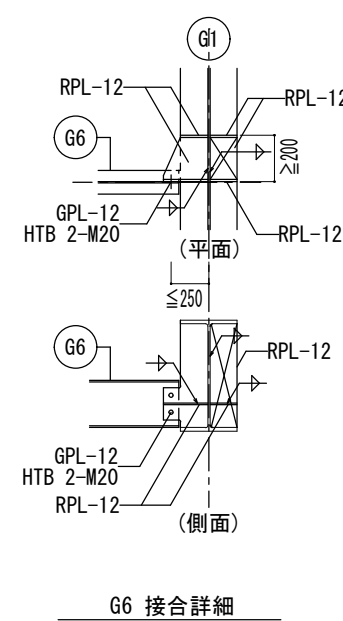
株式会社 市川三千男総合設計		三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第266489号 山口 裕之	設計 一級建築士 第302310号 山田 兼之	整理番号	年月日	縮尺 1/50	工事名 津市久居消防署南分署建築工事	図名 鉄骨架構詳細図(3)	NO. S-26 / 29
----------------	--	--	-------------------------	------	-----	---------	--------------------	---------------	---------------

株式会社市川三千男建築設計事務所
一級建築士 第331882号
構造設計一級建築士 第8977号 吉田 明義

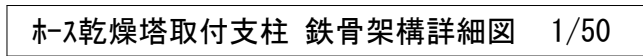




車庫庇 鉄骨架構詳細図 1/50



A-0通 鉄骨架構詳細図 1/50
(風除室部分)



※ホース乾燥塔取付支柱を構成する鉄骨部材はすべて溶融亜鉛メッキ(2種HDZ55)とする。
 ※A-56のホース乾燥塔詳細図についても参照すること。
 ※特記なき限りはSS400とする

雑詳細図			
ハ'ラヘ'ット 配筋図 1/20	設備基礎、避雷針基礎 配筋図 1/30	屋内鉄骨階段 詳細図 1/40	屋外鉄骨階段 詳細図 1/40